



2020年度

東京医科歯科大学全学共通科目

東京医科歯科大学教養部



目次

哲学Ⅰ	6
哲学Ⅱ	8
倫理学Ⅰ	10
倫理学Ⅱ	12
心理学Ⅰ	14
心理学Ⅱ	16
宗教学Ⅰ	18
宗教学Ⅱ	20
芸術Ⅰ	22
芸術Ⅱ	24
歴史学AⅠ	26
歴史学AⅡ	28
歴史学BⅠ	30
歴史学BⅡ	32
科学史Ⅰ	34
科学史Ⅱ	36
文学AⅠ	38
文学AⅡ	40
文学BⅠ	42
文学BⅡ	44
法学Ⅰ	46
法学Ⅰ（憲法）	49
法学Ⅱ	52
政治学Ⅰ	55
政治学Ⅱ	57
経済学Ⅰ	59
経済学Ⅱ	61
社会学AⅠ	63
社会学AⅡ	66
社会思想史Ⅰ	69
社会思想史Ⅱ	71
文化人類学Ⅰ	73
文化人類学Ⅱ	75
Japanese Culture and SocietyⅠ	78
グローバル教養科目・Linguistics	80
グローバル教養科目・Men and Women in the Modern World	82
グローバル教養科目・Japanese linguistics	85
グローバル教養科目・An Introduction to Moral Philosophy	87
グローバル教養科目・Introduction to Political Economy	89
グローバル教養科目・Better Never to Have Been	91
グローバル教養科目・Understanding Globalization	93
グローバル教養科目・Science as Culture: Between the US and Japan	95
人文社会科学特論（多文化多民族共生論）	98
人文社会科学特論（高齢者福祉論）	100
人文社会科学特論（科学と社会）	102
物理学入門	104
生物学入門	106
化学入門	108

数学ⅠM.....	110
数学ⅠD.....	112
数学ⅠT.....	114
物理学ⅠM.....	116
物理学ⅠD・T.....	118
数学Ⅱ(α).....	120
数学Ⅱ(β).....	122
数学Ⅱ(γ).....	124
物理学ⅡM.....	126
物理学ⅡD・T.....	128
統計学(α).....	130
統計学(β).....	132
化学(一般化学)M.....	134
化学(一般化学)D.....	138
化学(一般化学)T.....	141
化学基礎(α).....	145
化学基礎(β).....	147
生物学(細胞・遺伝子)M.....	149
生物学(細胞・遺伝子)DT.....	151
生物学(構造・機能)M.....	153
生物学(構造・機能)DT.....	155
細胞生物学基礎.....	157
人体の生物学基礎.....	159
英語.....	161
英語a.....	162
英語a.....	165
英語a.....	168
英語a.....	171
英語a.....	174
英語a.....	177
英語a.....	180
英語a.....	183
英語a.....	185
英語a.....	188
英語a.....	191
英語a.....	194
英語a.....	197
英語b.....	200
英語b.....	203
英語b.....	205
英語b.....	207
英語b.....	209
英語b.....	211
英語b.....	213
英語b.....	215
英語b.....	217
英語b.....	219
英語b.....	221
英語b.....	223
英語b.....	225

英語 c.....	228
英語 c.....	231
英語 c.....	234
英語 c.....	237
英語 c.....	240
英語 c.....	243
英語 c.....	246
英語 c.....	249
英語 c.....	251
英語 c.....	254
英語 c.....	257
英語 c.....	260
英語 c.....	263
英語 d.....	266
英語 d.....	268
英語 d.....	271
英語 d.....	273
英語 d.....	275
英語 d.....	277
英語 d.....	279
英語 d.....	281
英語 d.....	283
英語 d.....	285
英語 d.....	287
英語 d.....	289
英語 d.....	291
日本語 a.....	294
日本語 b.....	296
日本語 c.....	298
日本語 d.....	299
ドイツ語 a.....	300
ドイツ語 a.....	302
ドイツ語 a.....	305
ドイツ語 a.....	308
ドイツ語 a.....	311
ドイツ語 b.....	314
ドイツ語 b.....	317
ドイツ語 b.....	320
ドイツ語 b.....	323
ドイツ語 b.....	326
ドイツ語 b.....	328
ドイツ語 c.....	331
ドイツ語 c.....	333
ドイツ語 c.....	336
ドイツ語 c.....	339
ドイツ語 c.....	342
ドイツ語 d.....	345
ドイツ語 d.....	348
ドイツ語 d.....	350
ドイツ語 d.....	353

ドイツ語 d.....	355
ドイツ語 d.....	357
フランス語 a.....	360
フランス語 a.....	363
フランス語 b.....	366
フランス語 b.....	369
フランス語 c.....	372
フランス語 c.....	375
フランス語 d.....	378
フランス語 d.....	381
中国語 a.....	384
中国語 a.....	387
中国語 b.....	390
中国語 b.....	393
中国語 c.....	396
中国語 c.....	399
中国語 d.....	402
中国語 d.....	404
スペイン語 a.....	406
スペイン語 a.....	408
スペイン語 b.....	410
スペイン語 b.....	412
スペイン語 c.....	414
スペイン語 c.....	416
スペイン語 d.....	418
スペイン語 d.....	420
物理学実験.....	422
化学実験.....	424
生物学実験.....	426
サイエンス PBL 入門.....	428
科学基礎実験 T.....	432
科学基礎実験 N・O・K.....	434
科学基礎演習.....	436
情報科学 N.....	438
情報科学 T.....	441
情報科学 O・K.....	444
情報処理(a).....	447
情報処理(B).....	450
スポーツ・健康科学.....	453
スポーツ・健康科学.....	458
フィットネスマネジメント.....	462
フィットネスマネジメント (前期 木3).....	464
フィットネスマネジメント (前期 木4).....	467
フィットネスマネジメント (前期 金3).....	470
フィットネスマネジメント (前期 金4).....	473
フィットネスマネジメント (後期 木A).....	476
フィットネスマネジメント (後期 木B).....	479
フィットネスマネジメント (後期 金A).....	482
フィットネスマネジメント (後期 金B).....	485
S・メンタルトレーニング.....	487

S・英語で学ぶ医学哲学.....	489
S・フランスとヨーロッパの現在.....	491
S・Essentials of Human Biology.....	494
R・離散構造.....	497
S・現代中国社会研究.....	499
S・イギリス文学講読.....	501
S・タンパク質の科学.....	503
S・分子分光学演習：基礎編.....	505
S・数学基礎.....	507
S・基礎力学.....	509
S・水の科学.....	511
S・Topics in the News.....	513
S・英語で学ぶ力学.....	516
S・現代パフォーミング・アーツ入門.....	517
S・Essentials of Medical Language.....	519
S・フランス語でニュースを読む.....	522
R・Japanisches Denken を読む.....	525
S・糖の科学.....	528
S・数学解析.....	530
S・実用統計学.....	532
S・Discussions on Human Behavior.....	534
S・一般化学演習.....	537
S・Basic Concepts in Physics.....	539
S・翻訳演習.....	541
S・データサイエンス入門.....	543
S・Understanding Poetry from a Comparative Perspective.....	545
S・プログラミングで学ぶ幾何学デザイン.....	547
S・数理生物学入門.....	549
S・江戸文学散歩.....	551
S・サイエンスフロンティア概論.....	553
教養総合講座.....	555

時間割番号	000001				
科目名	哲学 I			科目 ID	LA-110100-Z
担当教員	田中 智彦[TANAKA TOMOHIKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
◇ 曜日・時間: 月曜 1 限					
◇ 対象学科: 全学科					
◇ 受入人数: 15 名程度					
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)					
別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する					
別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る					
別表 1-7) 人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等					
人間はどのようにものごとを考え、感じ、そして行動するのか——誰も一度ならず思い浮かべたことのある問いだろう。哲学も古来、その問いをめぐる思考を重ねてきた。哲学者や思想家が特別だったわけではない。他の人たちが「当たり前のこと」「わかったこと」にしてしまうところで、ただ彼らはそうせず、その問いにもう一歩ふみこんで、答えを求めてさらに先へと、思考を深めていったにすぎない。そうした哲学の歩みは今日、私たちに何を教えてくれるだろうか。現代思想の入門書を手がかりに、それを受講者みなでじっくり読み解くことを通じて、「人間とはどのような存在なのか」をあらためて問い、考えてゆくことにしたい。					
授業の到達目標					
(1) 哲学・思想の入門書を「読める」ようになること。					
(2) 現代哲学・思想の「問いの立て方」と「論点」について基本的な理解を得ること。					
(3) 批判的に問いを立て、考えるための基本的な構えを身につけること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/11	09:10-10:40		田中 智彦	
2	5/18	09:10-10:40		田中 智彦	
3	5/25	09:10-10:40		田中 智彦	
4	6/1	09:10-10:40		田中 智彦	
5	6/8	09:10-10:40		田中 智彦	
6	6/15	09:10-10:40		田中 智彦	
7	6/22	09:10-10:40		田中 智彦	
8	6/29	09:10-10:40		田中 智彦	
9	7/6	09:10-10:40		田中 智彦	
10	7/13	09:10-10:40		田中 智彦	
11	7/20	09:10-10:40		田中 智彦	
12	7/27	09:10-10:40		田中 智彦	
13	8/31	09:10-10:40		田中 智彦	
14	9/7	09:10-10:40		田中 智彦	
15	9/14	09:10-10:40		田中 智彦	
授業方法					
授業はセミナー形式で進める。テキスト(入門書)は一章ずつ、みなで読み進めてゆく。受講者には授業の前に、テキストの該当箇所をあらかじめ読み、疑問点やコメントを書いて提出することが求められる。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。					
授業内容					
(1) 近代の西洋哲学・思想は「人間」について何を、どのように問い、考えたか。					
(例: ヘーゲル、マルクス、ニーチェ)					

(2)現代の西洋哲学・思想は「人間」について何を、どのように問い、考えたか。 (例:フーコー、レヴィ=ストロース、ラカン) (3)上の(1)(2)から、「人間」とはどのような存在であると考えられるか。
成績評価の方法 ◇評価:期末レポート 60% 授業への参加度 40%(事前課題への取り組み、議論への参加度など) ◇再評価:有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 受講者には授業の前に、テキストの該当箇所をあらかじめ読み、疑問点やコメントを書いて提出することが求められる。それはまず自分なりにテキストを理解し、その時点での到達点を言葉にした上で授業に臨むということである。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。こうしたプロセスを経ることで、自分の「読み」の深さを省みるとともに、他の「読み」の可能性にも自分を開いていけるようになる。そのためにも、準備段階から授業における解説・議論までの能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則3分の2以上の出席
教科書 寝ながら学べる構造主義／内田樹:文芸春秋, 2002 テキストの他にも文献等を用いる。その場合は随時コピーを配布する。
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介する。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。
連絡先(メールアドレス) tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期:毎週月曜日 12:30～13:30 管理研究棟2階 哲学研究室 後期:第1・第3水曜日 12:30～15:00 管理研究棟2階 哲学研究室

時間割番号	000002				
科目名	哲学Ⅱ			科目ID	LA-110200-Z
担当教員	田中 智彦[TANAKA TOMOHIKO]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
◇ 曜日・時間: 月曜 1 限					
◇ 対象学科: 全学科					
◇ 受入人数: 15 名程度					
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)					
別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する					
別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る					
別表 1-7) 人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等					
「身体」は、西欧の言語では body(英), corpus(仏), Körper(独)のように、物体一般と同じ語で示される。だから特に「人間の身体」を表そうとするなら、living body や human body と記すことになる。他方、「身」という日本語はどうだろうか。「身なり」「身がまえ」「身を立てる」「身のほど知らず」「身につまされる」「身を入れる」のように、時には姿かたちを、時には心のもち方を、あるいは社会的な自己、個としての自己を表し、また心身の区別を越えた広い意味をもつこともある。「身」はただの物質としての「身体」ではない。そこには、現に生きられ、経験されている身体へのまなざしがある。そして現代の西欧哲学・思想は、ある意味、こうした「身」のありようを捉え、表現することを求めて、思索を重ねてきたところがある。					
これはもちろん「日本(語)はすぐれている」などといった話ではない。むしろ日本の場合、その「近代化」「西欧化」の帰結として、「身」という身体へのまなざしは文化からも社会からも、すでに失われつつあるとも見なせるだろう。実際、人びとの「身体」の考え方、あつかい方は、個人においても、また医療においても、living body の見方が当たり前になってはいないだろうか。しかしそうなったのは、日本だけでなく西欧にあっても、近代になってからのことにすぎない。言い換えるなら、個人においても医療においても今「当たり前」となっている身体の考え方・あつかい方は、それがけって「当たり前」ではないことのいわば無知の上に成り立っているのである。					
こうしたことは身体について、また現代の医療や文化、社会について、何を教えるのだろうか。そこにはどのような問うべきこと、検討すべきことがあるのだろうか。身体をめぐる哲学と思想史の入門書を手がかりに、それを受講者みなでじっくり読み解くことを通じて、「身体」へのまなざしから「人間とはどのような存在なのか」をあらためて問い、考えてゆくことにしたい。					
授業の到達目標					
(1) 哲学・思想(史)の入門書を「読める」ようになること。					
(2) 現代哲学・思想の「問いの立て方」と「論点」について基本的な理解を得ること。					
(3) 批判的に問いを立て、考えるための基本的な構えを身につけること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	09:10-10:40		田中 智彦	
2	10/12	09:10-10:40		田中 智彦	
3	10/19	09:10-10:40		田中 智彦	
4	10/26	09:10-10:40		田中 智彦	
5	11/2	09:10-10:40		田中 智彦	
6	11/9	09:10-10:40		田中 智彦	
7	11/16	09:10-10:40		田中 智彦	
8	11/23	09:10-10:40		田中 智彦	
9	11/30	09:10-10:40		田中 智彦	
10	12/7	09:10-10:40		田中 智彦	
11	12/14	09:10-10:40		田中 智彦	
12	12/21	09:10-10:40		田中 智彦	
13	1/18	09:10-10:40		田中 智彦	

14	1/25	09:10-10:40		田中 智彦
15	2/1	09:10-10:40		田中 智彦
授業方法 授業はセミナー形式で進める。テキスト(入門書)は一章ずつ、みなで読み進めてゆく。受講者には授業の前に、テキストの該当箇所をあらかじめ読み、疑問点やコメントを書いて提出することが求められる。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。				
授業内容 (1)近代化の過程で「身体」はどのように変容してきた(させられてきた)か。 (2)そのような「身体」の変容をもたらした思想的・歴史的・文明的な要因は何か。 (3)その帰結として今日、「身体」はどのような問題をかかえているか。 (4)そうした問題を解きほぐしてゆくとき、「身体」の理解はどのように変わってゆくか。				
成績評価の方法 ◇評価:期末レポート 60% 授業への参加度 40%(事前課題への取り組み、議論への参加度など) ◇再評価:有(レポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 受講者には授業の前に、テキストの該当箇所をあらかじめ読み、疑問点やコメントを書いて提出することが求められる。それはまず自分なりにテキストを理解し、その時点での到達点を言葉にした上で授業に臨むということである。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。こうしたプロセスを経ることで、自分の「読み」の深さを省みるとともに、他の「読み」の可能性にも自分を開いていけるようになる。そのためにも、準備段階から授業における解説・議論までの能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。				
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則として3分の2以上の出席				
教科書 身体の零度——何が近代を成立させたか／三浦雅士:講談社, 1994 テキストの他にも文献等を用いる。その場合は随時コピーを配布する。				
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介する。				
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。				
連絡先(メールアドレス) tanaka.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー 前期:毎週月曜日 12:30～13:30 管理研究棟2階 哲学研究室 後期:第1・第3水曜日 12:30～15:00 管理研究棟2階 哲学研究室				

時間割番号	000003				
科目名	倫理学 I			科目 ID	LA-110300-Z
担当教員	田中 智彦[TANAKA TOMOHIKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
◇ 曜日・時間: 金曜 2 限					
◇ 対象学科: 全学科					
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)					
別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る					
別表 1-9)市民としての倫理観を養う					
別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる					
授業の目的、概要等					
私たちは今日、「いのち」と「ひと」をめぐって倫理的にどのような状況にあるのだろうか。またその状況は、どのようにして今日あるようになったのだろうか。そしてそれは、どのような明日をもたらしうるのだろうか。					
この授業ではこうした問いについて考えてゆきたい。その過程において、私たちの生・病・老・死を取り囲んでいるいわば「4 つの bio」——生権力(biopower)・生政治(biopolitics)・生命倫理(bioethics)・生命科学技術(biotechnology)——を歴史的・批判的に検討することになるだろう。					
したがって、倫理の諸理論を概説するという形はとらない。むしろ過去の、また現在の具体的な事例をとりあげ、そこにどのような問題を見いだすか、それらをどのように考えるかに関して一つの視座を示してゆく。そしてそのことを通じて、「限りあるいのちをいかに生きるべきか」「いのちに関わる医療者はいかにあるべきか」という問いを、受講者一人ひとりが自ら探究する手がかりを提供したいと思っている。					
授業の到達目標					
(1)「倫理的に考える」ために必要な知的構えの基本を身につけること。					
(2)「いのち」と「ひと」をめぐり現代にはどのような問題があるのかを、なぜそうなったのかという理由・来歴とともに理解すること。					
(3)「医療者になる」とはどういうことかについてあらためて考え、理解を深めること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/8	10:50-12:20		田中 智彦	
2	5/15	10:50-12:20		田中 智彦	
3	5/22	10:50-12:20		田中 智彦	
4	5/29	10:50-12:20		田中 智彦	
5	6/5	10:50-12:20		田中 智彦	
6	6/12	10:50-12:20		田中 智彦	
7	6/19	10:50-12:20		田中 智彦	
8	6/26	10:50-12:20		田中 智彦	
9	7/3	10:50-12:20		田中 智彦	
10	7/10	10:50-12:20		田中 智彦	
11	7/17	10:50-12:20		田中 智彦	
12	7/24	10:50-12:20		田中 智彦	
13	7/31	10:50-12:20		田中 智彦	
14	9/4	10:50-12:20		田中 智彦	
15	9/11	10:50-12:20		田中 智彦	
授業方法					
授業は講義形式で行う(ただし受講者が少ない場合には、セミナー形式に変更することもありうる)。授業ではパワーポイントとレジュメを併用し、折々にドキュメンタリー等の視聴覚資料も用いる。					

授業内容 次の大きく4つのテーマを軸に、また相互に関連づけながら検討してゆく。 1) 生権力・生政治の歴史 2) 生権力・生政治の現在 3) 生命倫理の意義と限界 4) 生命科学技術のゆくえ そしてそれらをふまえて、いのちをめぐる倫理はどのように語られうるか、語られなければならないかを考察してゆく。
成績評価の方法 ◇評価: 期末レポート 70% 授業への参加度 30% ◇再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による
準備学習等についての具体的な指示 この授業は講義形式をとるが、メインとなるのはたんなる知識の伝達などではなく、問いかけとその積み重ねであり、そうして視野を広げ、深めてゆこうとする試みである。そうであるからこそ受講者には、ともすれば今からすでに「専門」へと閉じてゆきかねない自らの視野を、大きく開かれたものにするようこの機会を活用してもらいたい。そのためにも、授業に能動的に参加し、そこで提示される問いや視点についてじっくりと考え、それを専門課程で学ぶことと自ら結びつけてゆく姿勢が望まれる。
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格: 原則として3分の2以上の出席
教科書 教科書は用いず、必要な文献・資料はコピーして配布する。
参考書 メタバイオエシックスの構築へ——生命倫理を問いなおす／小松美彦、香川知晶 編著: NTT 出版, 2010 いのちの選択——今、考えたい脳死・臓器移植／小松美彦、市野川容考、田中智彦 編: 岩波書店, 2010 精神医学とナチズム——裁かれるユング、ハイデガー／小俣和一郎: 講談社, 1997 死と身体——コミュニケーションの磁場／内田樹: 医学書院, 2004 死なないでいる理由／鷲田清一: 角川学芸出版, 2008 その他の参考書等は授業の中で随時紹介する。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。
連絡先(メールアドレス) tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期: 毎週月曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室 後期: 第1・第3水曜日 12:30～15:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号	000004				
科目名	倫理学Ⅱ			科目ID	LA-110400-Z
担当教員	田中 智彦[TANAKA TOMOHIKO]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
◇ 曜日・時間: 金曜 2 限					
◇ 対象学科: 全学科					
◇ 受入人数: 15 名程度					
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)					
別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る					
別表 1-7) 人間の心への理解を深める					
別表 1-9) 市民としての倫理観を養う					

授業の目的、概要等

医療が「患者を助けたい」という医療者の善意にもとづき、また支えられていることは、誰しもが認めるところだろう。にもかかわらず、医療が、医療者が、いのちや人間の尊厳を――時にはいのちや人間それ自体を――深く損なうようなことが繰り返されてきたし、今もなくなっているのではない。なぜなのだろうか。

医療過誤のことを言っているのではない。一部の「悪い」医療者がした犯罪的な行為や、よその国・地域の出来事を言っているのでもない。例えば、患者の一生にわたる強制隔離、強制労働、強制断種と中絶、そして裁判なしの処罰――それは日本の医療が、医療者が行ったことであり、その多くはむしろ「善意」の人たちだった。また、そうした一連の行為・施策を法的に正当化しさえした「らい予防法」と「優生保護法」が廃止されたのは、戦後半世紀も過ぎた 1996 年のことだった。

こうしたことは過去の不幸な出来事であり、もう済んだことなのだろうか。これからはもうそうしたことは起こらないのだろうか。だが「過去に目を閉ざす者は、現在に対してもやはり盲目となる」と言う。そうであるとするなら、むしろ今こそ、あらためて問わなければならないだろう――なぜそのようなことが起こりえたのか、と。そして、同じようなことが繰り返されるのを押しとどめるには何が必要なのか、と。

この授業では、ハンセン病の問題を手がかりに、文献・資料を受講者みなで読み解くことを通じて、上の一連の問いを考えてゆく。それは、いのちと人間の尊厳を真に守ろうとするなら、医療に、また医療者に求められることは何なのかを問い、その答えを見いだそうとすることでもある。

授業の到達目標

(1)「倫理的に考える」ために必要な知的構えの基本を身につけること。

(2)医学・医療の過去の問題と向き合い、その理由と来歴を理解すること。

(3)そこから医学・医療の現在と未来とをよりよくするための視点を得ること。

(4)「医療者になる」とはどういうことかについてあらためて考え、理解を深めること。

(5)「いのち」と「人間」の尊厳についてあらためて考え、理解を深めること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/9	10:50-12:20		田中 智彦
2	10/16	10:50-12:20		田中 智彦
3	10/23	10:50-12:20		田中 智彦
4	10/30	10:50-12:20		田中 智彦
5	11/6	10:50-12:20		田中 智彦
6	11/13	10:50-12:20		田中 智彦
7	11/20	10:50-12:20		田中 智彦
8	11/27	10:50-12:20		田中 智彦
9	12/4	10:50-12:20		田中 智彦
10	12/11	10:50-12:20		田中 智彦
11	12/18	10:50-12:20		田中 智彦
12	1/8	10:50-12:20		田中 智彦

13	1/15	10:50-12:20		田中 智彦
14	1/22	10:50-12:20		田中 智彦
15	1/29	10:50-12:20		田中 智彦
授業方法 授業はセミナー形式で進める。テキスト(文献)は一章ずつ、みなで読み進めてゆく。受講者には授業の前に、テキストの該当箇所をあらかじめ読み、疑問点やコメントを書いて提出することが求められる。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。				
授業内容 昨年度の授業で扱った文献・資料は次の通り。 映画『あん』と原作『あん』(ドリアン助川、ポプラ文庫、2015 年) 荒井英子『ハンセン病とキリスト教』(岩波書店、1996 年)から二つの章 映画『風の舞』『弐雄二 ハンセン病とともに生きる』(元患者のドキュメンタリー) 無らい県運動研究会編『ハンセン病絶対隔離政策と日本社会』(六花出版、2014 年)から二つの論文 香川知晶「積極的に知らせる必要はない」検査——優生思想と生命倫理」(『生命倫理の源流』岩波書店、2014 年) 橘直矢「生と死と麻酔医と」(『内科』1969 年 5 月号) 鷲田清一『死なないでいる理由』(角川文庫、2008 年)から二つの章 内田樹『死と身体——コミュニケーションの磁場』(医学書院、2004 年)から一つの章 なお、今年度の授業で一部の文献・資料を入れ替えることもありうる。				
成績評価の方法 ◇評価: 期末レポート 60% 授業への参加度 40%(事前課題への取り組み、議論への参加度など) ◇再評価: 有(レポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示 受講者には授業の前に、テキスト(文献)の該当箇所をあらかじめ読み、疑問点やコメントを書いて提出することが求められる。それはまず自分なりにテキストを理解し、その時点での到達点を言葉にした上で授業に臨むということである。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。こうしたプロセスを経ることで、自分の「読み」の深さを省みるとともに、他の「読み」の他の可能性にも自分を開いていけるようになる。そのためにも、準備段階から授業における解説・議論までの能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。				
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格: 原則 3 分の 2 以上の出席				
教科書 文献・資料はコピーして配布する。				
参考書 隔離の記憶——ハンセン病といのちと希望と／高木智子: 彩流社、2015 上記文献(『隔離の記憶』)は授業期間中、受講者全員に一冊ずつ貸与する。 その他の参考書等は授業の中で随時紹介する。				
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。				
連絡先(メールアドレス) tanaka.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー 前期: 毎週月曜日 12:30~13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室 後期: 第 1・第 3 水曜日 12:30~15:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室				

時間割番号	000005				
科目名	心理学 I			科目 ID	LA-110500-L
担当教員	佐藤 舞[SATOU Mai]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-7) 人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等					
心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。このため、扱う領域は多岐にわたり、複数の分野に細分化されています。「心理学 I」では、それらのなかでも、より基礎的な内容を中心に上げます。これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。					
授業の到達目標					
心理学の基本的な原理を理解し、心まつわるさまざまな問題を科学的に捉える考え方を身につけることを目標とします。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/11	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
2	5/18	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
3	5/25	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
4	6/1	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
5	6/8	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
6	6/15	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
7	6/22	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
8	6/29	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
9	7/6	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
10	7/13	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
11	7/20	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
12	7/27	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
13	8/31	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
14	9/7	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
15	9/14	10:50-12:20		佐藤 舞, 木	

				谷 真紀子	
授業方法 講義形式					
授業内容 第 1 回: ガイダンス 第 2 回: 感覚と知覚 第 3 回: 記憶 第 4—6 回: 学習 第 7 回: 思考 第 8 回: 知能 第 9—10 回: 動機づけ 第 11—12 回: 感情 第 13—14 回: ストレスと健康 第 15 回: まとめ					
成績評価の方法 評価 : 試験 または レポート 70% ・ その他(授業中の小課題) 30% 知識の確実な習得を重視します。 再評価: 有(レポート)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 予習は求めません。適宜必要に応じて復習してください。					
教科書 特に指定しません。必要な資料は配布します。					
参考書 講義の中で随時紹介します。					
履修上の注意事項 ・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。					

時間割番号	000006				
科目名	心理学Ⅱ			科目ID	LA-110600-L
担当教員	佐藤 舞[SATOU Mai]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-7) 人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等					
心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。このため、扱う領域は多岐にわたり、複数の分野に細分化されています。「心理学Ⅱ」では、それらのなかでも、より応用的な内容を中心に取り上げます。これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。					
授業の到達目標					
心理学の基本的な原理を理解し、心に関わるさまざまな問題を科学的に捉える考え方を身につけることを目標とします。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
2	10/12	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
3	10/19	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
4	10/26	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
5	11/2	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
6	11/9	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
7	11/16	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
8	11/23	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
9	11/30	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
10	12/7	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
11	12/14	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
12	12/21	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
13	1/18	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	
14	1/25	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子	

15	2/1	10:50-12:20		佐藤 舞 木 谷 真紀子	
授業方法 講義形式					
授業内容 第1回:ガイダンス 第2—3回:パーソナリティ 第4—7回:発達 第8—10回:臨床 第11—14回:社会 第15回:まとめ					
成績評価の方法 評価：試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の小課題) 30% 知識の確実な習得を重視します。 再評価: 有(レポート)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 予習は求めません。適宜必要に応じて復習してください。					
教科書 特に指定しません。必要な資料は配布します。					
参考書 講義の中で随時紹介します。					
履修上の注意事項 ・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。					

時間割番号	000007				
科目名	宗教学 I			科目 ID	LA-110700-Z
担当教員	宮田 義矢[MIYATA YOSHIYA]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－3)、1－4)、1－5)					
授業の目的、概要等					
目的: 諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7～8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。 概要: 授業では世界宗教を事例に宗教学の様々なアプローチについて学んでいきます。					
授業の到達目標					
宗教学的な考え方にに基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/8	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
2	5/15	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
3	5/22	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
4	5/29	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
5	6/5	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
6	6/12	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
7	6/19	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
8	6/26	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
9	7/3	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
10	7/10	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
11	7/17	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
12	7/24	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
13	7/31	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
14	9/4	10:50-12:20		宮田 義矢	

				木谷 真紀子	
15	9/11	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
授業方法 パワーポイントを用い、講義形式で行いますが、到達目標で掲げた「宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること」を達成するため、講義内容に即したテーマについて、適宜リアクションペーパーを提出して頂きます。授業内で提起される問題について、考える姿勢で臨んでください。					
授業内容 1. ガイダンス:宗教学のスタンス、講義内容、成績評価について 2. 「宗教」とは何か:地域・文化から宗教を見る 3. ユダヤ教①:「唯一の神」とは何者か 4. ユダヤ教②:「唯一の神」と「選びの民」の歴史 5. キリスト教①:「唯一の神」とイエスの教え 6. キリスト教②:三位一体の「唯一の神」 7. キリスト教③:三大宗派の展開 8. イスラーム①:「唯一の神」対偶像 9. イスラーム②:「唯一の神」の世界化 10. イスラーム③:宗教を通じた異文化理解 11. 仏教①:「仏」の登場 12. 仏教②:「仏」の悟りとは何か 13. 仏教③:三大潮流の「仏」の位置づけ 14. 修行と戒律:比較による特徴の把握 15. 授業内試験:試験と授業のまとめ					
成績評価の方法 評価 : 試験 — % ・ レポート 50% ・ その他(リアクションペーパー、小レポート) 50% 再評価: 有(レポート)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 予習:講義のまとめりと、テーマを発表しますので、関連する書籍・辞典等に目を通してください。 復習:各回の講義を、設定した問いこの観点から要約し、宗教学的視点を養うようにしてください。					
教科書 教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。					
履修上の注意事項 リアクション・ペーパーの配分が大きいので、授業への出席状況が、成績評価に反映します。欠席・遅刻のないよう、心がけてください。出欠は、教員がとる出欠(リアクション・ペーパー、出席カード)を優先します。期末試験を受験するには、原則として、授業回数の 2/3 の出席が必要です。					

時間割番号	000008				
科目名	宗教学Ⅱ			科目ID	LA-110800-Z
担当教員	宮田 義矢[MIYATA YOSHIYA]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－3)、1－4)、1－5)					
授業の目的、概要等					
目的: 諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7～8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。					
概要: 授業では世界宗教を事例に宗教学の様々なアプローチについて学んでいきます。					
授業の到達目標					
宗教学的な考え方にに基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/9	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
2	10/16	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
3	10/23	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
4	10/30	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
5	11/6	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
6	11/13	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
7	11/20	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
8	11/27	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
9	12/4	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
10	12/11	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
11	12/18	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
12	1/8	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
13	1/15	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
14	1/22	10:50-12:20		宮田 義矢	

				木谷 真紀子	
15	1/29	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子	
授業方法 パワーポイントを用い、講義形式で行いますが、到達目標で掲げた「宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること」を達成するため、講義内容に即したテーマについて、適宜リアクションペーパーを提出して頂きます。授業内で提起される問題について、考える姿勢で臨んでください。					
授業内容 1. ガイダンス:宗教学のスタンス、講義内容、成績評価について 2. 「無宗教」の日本人:「無宗教」意識の来源 3. 日本の宗教①:神道と仏教 4. 日本の宗教②:スピリチュアル 5. 日本の宗教③:宗教事件と報道 6. 宗教学的な視点①:「カルト」の分析的理解 7. 宗教学的な視点②:「神秘体験」の心理学 8. 宗教学的な視点③:シャーマニズムと近代 9. 宗教学的な視点④:ある精神科医の死生観 10. 宗教と現代①:聖典と現代アメリカ 11. 宗教と現代②:現代に息づく神話 12. 宗教と現代③:修行と現代中国 13. 宗教と現代④:社会制度化した修行 14. 聖地と巡礼:「宗教」を通じて見ることの意義 15. 授業内試験:試験と授業のまとめ					
成績評価の方法 評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他(リアクションペーパー、小レポート) 50% 再評価: 有(レポート)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 予習:講義のまとめりと、テーマを発表しますので、関連する書籍・辞典等に目を通してください。 復習:各回の講義を、設定した問いにこの観点から要約し、宗教学的視点を養うようにしてください。					
教科書 教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。					
履修上の注意事項 リアクション・ペーパーの配分が大きいので、授業への出席状況が、成績評価に反映します。欠席・遅刻のないよう、心がけてください。出欠は、教員がとる出欠(リアクション・ペーパー、出席カード)を優先します。期末試験を受験するには、原則として、授業回数の 2/3 の出席が必要です。					

時間割番号	000009				
科目名	芸術 I			科目 ID	LA-110900-Z
担当教員	木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮 押元 一敏 武内 優記 横山 麻衣[KIZU FUMIYA, SAITO NORIHIKO, MIKAMI Ryou, OSHIMOTO Kazutoshi, TAKEUCHI Yuuki, YOKOYAMA Mai]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間:金曜2限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-6					
主な講義場所 第 1～9 回:10 番教室 第 10～15 回:13 番教室					
授業の目的、概要等 絵画、彫刻、工芸、デザイン、映像メディア等の芸術における様々な分野の表現について講義と実習を通して学ぶ。芸術の視点から、人間、社会、歴史、分野、表現等について幅広く捉え、特に人間と美術の関わりについて探求する。					
授業の到達目標 人間活動としての芸術とその歴史、表現について理解する。人間と美術の関わりについて理解する。特定分野の表現を実習で実現できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/8	10:50-12:20		武内 優記 木谷 真紀子, 横山 麻衣	
2	5/15	10:50-12:20		押元 一敏 木谷 真紀子, 横山 麻衣	
3	5/22	10:50-12:20		押元 一敏 木谷 真紀子, 横山 麻衣	
4	5/29	10:50-12:20		三上 亮 木 谷 真紀子, 横山 麻衣	
5	6/5	10:50-12:20		三上 亮 木 谷 真紀子, 横山 麻衣	
6	6/12	10:50-12:20		木津 文哉 木谷 真紀子, 横山 麻衣	
7	6/19	10:50-12:20		木津 文哉 木谷 真紀子, 横山 麻衣	
8	6/26	10:50-12:20		齋藤 典彦 木谷 真紀子, 横山 麻衣	

9	7/3	10:50-12:20		齋藤 典彦, 木谷 真紀子, 横山 麻衣
10	7/10	10:50-12:20		横山 麻衣, 木谷 真紀子, 横山 麻衣
11	7/17	10:50-12:20		横山 麻衣, 木谷 真紀子, 横山 麻衣
12	7/24	10:50-12:20		横山 麻衣, 木谷 真紀子, 横山 麻衣
13	7/31	10:50-12:20		横山 麻衣, 木谷 真紀子, 横山 麻衣
14	9/4	10:50-12:20		横山 麻衣, 木谷 真紀子, 横山 麻衣
15	9/11	10:50-12:20		横山 麻衣, 木谷 真紀子, 横山 麻衣
授業方法 初回にガイダンスを行う。全 15 回の授業うち、1-9 回は各専門分野の講師による講義。10-15 回はデッサン実習とする。				
授業内容 第 1 回:ガイダンス、彫刻論 第 2・3 回:映像メディア論 第 4・5 回:絵画論 第 6・7 回:デザイン論 第 8・9 回:工芸論 第 10～15 回:デッサン実習				
成績評価の方法 評価 : 試験 % ・ レポート 60% ・ その他(デッサン実習) 40% オムニバス形式の授業であり、授業への参加度を重視する。 再評価: 無				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 各回、美術の専門分野をもった教員による講義となる。自主的に美術館や博物館等で興味のある美術・工芸に関わる作品を幅広く鑑賞しておく事が望ましい。				
履修上の注意事項 レポート提出には 3 分の 2 以上の出席が必要				
備考 キーワード: 芸術				

時間割番号	000040				
科目名	芸術Ⅱ			科目ID	LA-111000-Z
担当教員	室田 尚子[MUROTA NAOKO]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-4)、1-6)、1-7)、3-4)					
授業の目的、概要等					
目的: オペラの魅力と芸術的価値を知る。 概要: 現在でも欧米では、オペラに精通しているかどうかはその人の教養を測る一つの物差しとなるケースがある。それほど、西洋芸術音楽の中でも特別な位置を占めている。本講義では、オペラの作品の鑑賞を通して、そこに描かれた人間像に触れ、オペラの多角的な魅力を理解するとともに、「音楽」「美術」「文学」「演劇」が一つになった「総合芸術」であるオペラの芸術的価値について考察する。					
授業の到達目標					
1)オペラの成り立ちや歴史を知ること。 2)オペラ作品の中に登場する男女の姿を通して、人間の様々な感情や生き方を知ること。 3)各作品における音楽的特徴を知り、歴史の中に位置付けることで、オペラの芸術的価値について学ぶこと。 4)現代社会においてオペラがどのような位置付けにあるのかを知ること。 5)作品鑑賞を通して感じたり考えたりしたことを、他者に的確に伝えられるように言語化すること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/9	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子	
2	10/16	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子	
3	10/23	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子	
4	10/30	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子	
5	11/6	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子	
6	11/13	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子	
7	11/20	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子	
8	11/27	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子	
9	12/4	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子	
10	12/11	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子	
11	12/18	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子	
12	1/8	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子	
13	1/15	10:50-12:20		室田 尚子,	

				木谷 真紀子
14	1/22	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子
15	1/29	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子

授業方法

CD や DVD を鑑賞しながらの講義。適宜、作品の感想や考察を提出してもらう。

授業内容

1. 授業内容についてのガイダンス
2. オペラの発祥とその歴史
3. 愛に生きた女性～ヴェルディ『椿姫』
4. 悪女像①～ビゼー『カルメン』
5. イケメン考～モーツァルト『ドン・ジョヴァンニ』
6. 肉体の愛と精神の愛～ワーグナー『タンホイザー』
7. 男の愛と生涯～オッフェンバック『ホフマン物語』
8. 女の愛と生涯～リヒャルト・シュトラウス『ばらの騎士』
9. 悪女像②～リヒャルト・シュトラウス『サロメ』
10. 悪女像③～ベルク『ルル』
11. ジェンダー格差について考える～プッチーニ『蝶々夫人』
12. ジェンダー越境の愉楽～モーツァルト『フィガロの結婚』
13. オペラにおけるリアル～レオンカヴァッロ『道化師』
14. オペラ劇場の歴史
15. 学期末試験

成績評価の方法

評価：試験 70% ・ その他(授業への参加度) 30%
再評価：有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習は特に必要なし。復習については、授業で鑑賞した作品を自分でもう一度鑑賞し直すことを勧める。授業内容について自筆でノートにまとめておくこと。

教科書

特に指定しない

参考書

『オペラの館がお待ちかね』室田尚子著(清流出版、2012 年)

履修上の注意事項

・出欠は教員が調査票によって取るものを優先させる。 ・鑑賞が中心の授業なので、きちんと出席し授業を受けることが何よりも重要である。 ・原則として授業開始 30 分を過ぎてからの遅刻は認めない。 ・授業はパワーポイントによって行うが、その内容を配布することはないので各自ノートをとること。 ・授業中パワーポイントの画面を撮影することは禁止する。 ・出席日数が授業日数の3分の2に満たない場合は期末試験の受験を認めない。

備考

キーワード:音楽、クラシック、オペラ、オペレッタ、舞台

時間割番号	000012				
科目名	歴史学A I			科目ID	LA-111100-Z
担当教員	相馬 保夫[SOUMA Yasuo]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3) 人間の歴史的営みを理解する					
3-4) 外国文化を理解する					
授業の目的、概要等					
＜ドイツ・ヨーロッパ近代史＞19 世紀初めまでヨーロッパの中部から東部にかけては、神聖ローマ帝国、ロシア帝国、オスマン帝国が支配していたが、フランス革命とナポレオンの侵略を契機にして、神聖ローマ帝国は崩壊し、ドイツ・中欧地域は再編の過程に入りました。この地域にはドイツ系、ハンガリー系、さらに多くのスラヴ系の人たちが住んでおり、それだけにこの多民族的地域の近代化の歩みは、イギリスやフランスの場合と異なる経過をたどります。					
このような 19 世紀から 20 世紀初めのドイツ・中欧の歴史的歩みは、ある意味でヨーロッパ近代の歴史の縮図であるとともに、日本やアジアとの世界史的な比較の対象としても興味深いものです。ここでは、主にドイツ・中欧地域の歴史的な歩みを、ヨーロッパおよび世界と比較しながらたどり、この地域が抱え、現代に連なる諸問題について、ヴィジュアルな資料も用いながら歴史的に考察しようと思います。					
授業の到達目標					
1. ドイツ・中欧という具体的な事例をもとに、近代世界の形成過程を比較史的・構造的に捉えられるようにします。					
2. 近代社会の形成過程を理解することによって、現在も世界で続く近代化過程とその問題点を理解できるようにします。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/11	10:50-12:20		相馬 保夫	
2	5/18	10:50-12:20		相馬 保夫	
3	5/25	10:50-12:20		相馬 保夫	
4	6/1	10:50-12:20		相馬 保夫	
5	6/8	10:50-12:20		相馬 保夫	
6	6/15	10:50-12:20		相馬 保夫	
7	6/22	10:50-12:20		相馬 保夫	
8	6/29	10:50-12:20		相馬 保夫	
9	7/6	10:50-12:20		相馬 保夫	
10	7/13	10:50-12:20		相馬 保夫	
11	7/20	10:50-12:20		相馬 保夫	
12	7/27	10:50-12:20		相馬 保夫	
13	8/31	10:50-12:20		相馬 保夫	
14	9/7	10:50-12:20		相馬 保夫	
15	9/14	10:50-12:20		相馬 保夫	
授業方法					
講義、ただし適宜アクティヴ・ラーニングの方法を取り入れます。					
授業内容					
1. ドイツの近代:「ドイツ」、「ドイツ人」とは？					
2. ドイツ・ヨーロッパ地域の近代化					
3. フランス革命とナポレオンの衝撃					
4. プロイセン改革					
5. 市民革命と産業革命					
6. 1848 年革命 (1): フランクフルト国民議会とドイツ統一問題					
7. 1848 年革命 (2): ハプスブルク帝国と民族問題					

8. オーストリア-ハンガリー二重王国の成立 9. 高度工業化の進展 10. ドイツ帝国の成立 11. ドイツ帝国と明治日本 12. 帝国主義と植民地 (1):ドイツ帝国の進路 13. 帝国主義と植民地 (2):オーストリア-ハンガリー帝国の進路 14. サライェヴォ事件から 1914 年 7 月危機へ 15. 第一次世界大戦の勃発
成績評価の方法 評価 : 試験 0 % ・ レポート 70% ・ その他(出欠, コメントシートなどの授業への参加度) 30% 知識の確実な習得を重視する。 再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 本シラバスに「参考書」として挙げた文献, 授業中に配布するプリントに挙げる参考文献などを読んで授業前後の理解を深めることが望ましい。
教科書 とくになし。授業当日にプリントを配布します。
参考書 若尾祐司・井上茂子『近代ドイツの歴史——18 世紀から現代まで』ミネルヴァ書房, 2005 年 木村靖二編『ドイツ史』山川出版社, 2001 南塚信吾編『ドナウ・ヨーロッパ史』山川出版社, 1999
履修上の注意事項 出欠については, 出欠管理システムの記録と, 教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。
備考 キーワード:ドイツ, プロイセン, ハプスブルク帝国, 市民革命, 産業革命, ナショナリズム

時間割番号	000013				
科目名	歴史学AⅡ			科目ID	LA-111200-Z
担当教員	相馬 保夫[SOUMA Yasuo]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3) 人間の歴史的営みを理解する					
3-4) 外国文化を理解する					
授業の目的、概要等					
<ドイツ・ヨーロッパ現代史> 史上初の総力戦となった第一次世界大戦の結果、ヨーロッパの中部から東部にかけては、四つの帝国(ドイツ帝国、オーストリア-ハンガリー帝国、ロシア帝国、オスマン帝国)が崩壊し、それらを継承する新たな中東欧国民国家の体制が成立しました。大戦後のヴェルサイユ体制において、国際連盟を中心とした新たな国際秩序が平和と安定を約束するはずでしたが、戦後の革命期、1920 年代の束の間の安定期、世界恐慌期を経て、この地域にはファシズム、ナチズム、権威主義の体制が成立します。1930 年代後半、ナチスによる侵略とそれをきっかけとした第二次世界大戦によって、ヨーロッパは再び悲惨な戦争に突入することになりました。第二次世界大戦後の国際体制は、戦争に勝利した米・ソを中心とする社会主義国と資本主義国との冷戦・熱戦状態となり、ドイツは二つに分裂してヨーロッパ冷戦の最前線となりました。1989/90 年の東欧・ドイツの社会主義体制の崩壊、そして 1991 年のソ連崩壊によって、世界は平和を取り戻したと思ったのも束の間、各地で民族・宗教紛争が起こり、世界はそれ以前にもまして紛争と対立が渦巻く昏迷状態に入りました。 このように 20 世紀のドイツ・中欧の歴史的歩みは、ヨーロッパ現代の歴史の縮図であるとともに、日本やアジアとの世界史的な比較の対象としても興味深いものです。ここでは、主にドイツ・中欧地域の歴史的な歩みを、ヨーロッパおよび世界と比較しながらたどり、この地域が抱え、現代に連なる諸問題について、ヴィジュアルな資料も用いながら歴史的に考察しようと思います。					
授業の到達目標					
1. ドイツ・中欧という具体的な事例をもとに、現代世界の形成過程を比較史的・構造的に捉えられるようにします。					
2. 現代社会の形成過程を理解することによって、現在も世界で続く国際問題を理解できるようにします。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	10:50-12:20		相馬 保夫	
2	10/12	10:50-12:20		相馬 保夫	
3	10/19	10:50-12:20		相馬 保夫	
4	10/26	10:50-12:20		相馬 保夫	
5	11/2	10:50-12:20		相馬 保夫	
6	11/9	10:50-12:20		相馬 保夫	
7	11/16	10:50-12:20		相馬 保夫	
8	11/23	10:50-12:20		相馬 保夫	
9	11/30	10:50-12:20		相馬 保夫	
10	12/7	10:50-12:20		相馬 保夫	
11	12/14	10:50-12:20		相馬 保夫	
12	12/21	10:50-12:20		相馬 保夫	
13	1/18	10:50-12:20		相馬 保夫	
14	1/25	10:50-12:20		相馬 保夫	
15	2/1	10:50-12:20		相馬 保夫	
授業方法					
講義、ただし適宜アクティヴ・ラーニングの方法を取り入れます。					
授業内容					
1. ドイツ・中欧の現代: 世界戦争、ファシズム、戦後冷戦					

2. 第一次世界大戦の諸原因 3. 総力戦体制の形成 4. ロシア革命と世界戦争の展開 5. 中欧諸国の敗戦と戦後秩序の再編 6. ヴェルサイユ条約とサン＝ジェルマン条約 7. 戦後危機とヴァイマル共和国, ファシズム (1) 8. 戦後危機とヴァイマル共和国, ファシズム (2) 9. ヒトラーの権力掌握 10. 第三帝国の内政と外交 11. 第二次世界大戦とホロコースト 12. 戦後占領とドイツの分裂 13. 分断国家ドイツ 14. ベルリンの壁の崩壊と冷戦の終焉 15. ドイツ再統一から現在まで
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(出欠, コメントシートなどの授業への参加度) 30% 知識の確実な習得を重視する。 再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 本シラバスに「参考書」として挙げた文献, 授業中に配布するプリントに挙げる参考文献などを読んで授業前後の理解を深めることが望ましい。
教科書 とくになし。授業当日にプリントを配布します。
参考書 若尾祐司・井上茂子『近代ドイツの歴史——18世紀から現代まで』ミネルヴァ書房, 2005年 木村靖二編『ドイツ史』山川出版社, 2001 南塚信吾編『ドナウ・ヨーロッパ史』山川出版社, 1999
履修上の注意事項 出欠については, 出欠管理システムの記録と, 教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。
備考 キーワード: ドイツ, オーストリア, ヴェルサイユ体制, 社会主義, ファシズム, ナチズム, 冷戦, 社会主義体制の崩壊

時間割番号	000010				
科目名	歴史学B I			科目ID	LA-111300-Z
担当教員	相馬 保夫[SOUMA Yasuo]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜 1 限 募集人数: 15 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3) 人間の歴史的営みを理解する 3-4) 外国文化を理解する					
授業の目的、概要等					
<歴史とは何か: 歴史学の方法と課題> 高校で日本史や世界史を履修した皆さんの中には、歴史とは殺風景な暗記物で苦手だという方もいらっしゃるかもしれません。歴史を通史的に理解することはひじょうに重要な歴史学の基礎ですが、歴史学の面白さ、醍醐味はそれにとどまるものではありません。例えば、最近また話題になった阿部謹也『ハーメルンの笛吹き男——伝説とその世界』(ちくま文庫, 1988)を読んでみてください。たんなるおとぎ話・伝説と思われていた話が実はドイツの田舎町ハーメルンで起こったある悲劇的な事件を基にしていたことが、推理小説のような手法を用いて明らかにされています。 イギリスの外交官からロシア・ソヴィエト史の大家となった歴史家 E.H. カーは、有名な『歴史とは何か』(岩波新書, 1962)の中で「歴史とは、現在と過去との間の尽きことを知らぬ対話なのであります」と述べています。われわれの人生が親から受け継がれた土台から出発して、現在を生き、未来を切り開いていくのと同様に、歴史学は、現在の立場から過去の埋もれた幾重もの地層を探索し、未来に向けての生きる指針を得ようとするものなのです。そうした歴史学の営みを知ることは、幅広い人文的教養を深める手がかりともなるはずです。					
授業の到達目標					
歴史に関わる書物をどう読むのか、そこでの課題の立て方、論証の方法、そして結論はどのようなものなのかを具体的な書物を手がかりにして理解し、歴史学の面白さ、醍醐味を味わっていきましょう。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/8	09:10-10:40		相馬 保夫	
2	5/15	09:10-10:40		相馬 保夫	
3	5/22	09:10-10:40		相馬 保夫	
4	5/29	09:10-10:40		相馬 保夫	
5	6/5	09:10-10:40		相馬 保夫	
6	6/12	09:10-10:40		相馬 保夫	
7	6/19	09:10-10:40		相馬 保夫	
8	6/26	09:10-10:40		相馬 保夫	
9	7/3	09:10-10:40		相馬 保夫	
10	7/10	09:10-10:40		相馬 保夫	
11	7/17	09:10-10:40		相馬 保夫	
12	7/24	09:10-10:40		相馬 保夫	
13	7/31	09:10-10:40		相馬 保夫	
14	9/4	09:10-10:40		相馬 保夫	
15	9/11	09:10-10:40		相馬 保夫	
授業方法					
授業はセミナー方式で進めます。テキストを章ごとに割り当てて、発表してもらいます。発表者以外の受講者は授業の前にテキストを読んで、疑問点やコメントを提出してもらいます。それを基に授業でテキスト内容についての理解を深めます。					
授業内容					

1. 歴史学とはどのようなものなのか、具体的なテキストを通して学びます。 2. 歴史学の課題の立て方、論証の方法、そして結論までの道筋を理解します。 3. 以上を通して歴史学の面白さ、醍醐味を味わいます。
成績評価の方法 評価：試験 0 % ・ レポート 60% ・ その他(課題の発表とコメント、議論への参加度など) 40% セミナー形式の授業であり、授業への参加度を重視する。 再評価： 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 受講者は、章ごとに割り当てられたテキストについて発表し、発表者以外の受講者は授業の前にテキストを読んで、疑問点やコメントを提出してもらいます。それを基に授業でテキスト内容について議論します。授業への能動的・積極的な参加が望まれます。
教科書 ジャレド・ダイヤモンド『銃・病原菌・鉄——1万3000年にわたる人類史の謎』上・下、倉骨彰訳(草思社文庫、2012) このテキスト以外は授業中に指示します。
参考書 参考書などは授業中に指示します。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。

時間割番号	000011				
科目名	歴史学B II			科目ID	LA-111400-Z
担当教員	相馬 保夫[SOUMA Yasuo]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜 1 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
1-3) 人間の歴史的営みを理解する					
3-4) 外国文化を理解する					
授業の目的、概要等					
<ヒトラーの「東方生存圏」構想とホロコースト> 第二次世界大戦中にナチ・ドイツは、現代史上で稀に見る非道な犯罪、数百万人とも言われるヨーロッパ・ユダヤ人の絶滅を引き起こしました。このいわゆるホロコースト(ユダヤ人大量虐殺)はなぜ起きたのでしょうか。ある者はヒトラーの反ユダヤ的世界観に、またある者はヒトラーの部下たちの権力争いというナチ体制の構造にその主たる原因を求めました。しかし、現在では、ホロコーストは、ヒトラーの戦争、とくに独ソ戦の停滞、ドイツ支配地域の占領体制、およびナチ・ドイツの「東方生存圏構想」の行き詰まりといった複合的な要因から起こったことが明らかにされています。 本授業では、ホロコーストをヒトラーの「東方生存圏」構想と関連づけて明らかにするとともに、それらが 19 世紀以来のドイツの人種論的な反ユダヤ主義と「東方への衝動」とも関連していることを歴史的に理解することを目指します。ホロコーストの歴史を知ることはまた、現代世界におけるジェノサイドの歴史的理解にも通じています。					
授業の到達目標					
ナチ・ドイツによるホロコースト(ユダヤ人大量虐殺)をナショナリズムと反ユダヤ主義だけからではなく、ヒトラーの「東方生存圏」構想とも関連づけて理解することによって、現代世界における戦争とジェノサイドの歴史的な理解に資することになります。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/9	09:10-10:40		相馬 保夫	
2	10/16	09:10-10:40		相馬 保夫	
3	10/23	09:10-10:40		相馬 保夫	
4	10/30	09:10-10:40		相馬 保夫	
5	11/6	09:10-10:40		相馬 保夫	
6	11/13	09:10-10:40		相馬 保夫	
7	11/20	09:10-10:40		相馬 保夫	
8	11/27	09:10-10:40		相馬 保夫	
9	12/4	09:10-10:40		相馬 保夫	
10	12/11	09:10-10:40		相馬 保夫	
11	12/18	09:10-10:40		相馬 保夫	
12	1/8	09:10-10:40		相馬 保夫	
13	1/15	09:10-10:40		相馬 保夫	
14	1/22	09:10-10:40		相馬 保夫	
15	1/29	09:10-10:40		相馬 保夫	
授業方法					
講義、ただし適宜アクティヴ・ラーニングの方法を取り入れます。					
授業内容					
1. はじめに: 世界戦争とジェノサイド, ホロコースト					
2. 国民国家と人種主義・反ユダヤ主義 (1)					

3. 国民国家と人種主義・反ユダヤ主義 (2) 4. 帝政期～ヴァイマル期のドイツ東方政策 (1) 5. 帝政期～ヴァイマル期のドイツ東方政策 (2) 6. ナチス以前のドイツの人種主義・反ユダヤ主義, 東方政策 7. ヒトラーの反ユダヤ主義政策 (1) 8. ヒトラーの反ユダヤ主義政策 (2) 9. ヒトラーの「東方生存圏」政策 (1) 10. ヒトラーの「東方生存圏」政策 (2) 11. ヒトラーの「東方生存圏」政策 (3) 12. ユダヤ人絶滅政策と東部占領地政策 (1) 13. ユダヤ人絶滅政策と東部占領地政策 (2) 14. ユダヤ人絶滅政策と東部占領地政策 (3) 15. アウシュヴィッツとホロコースト
成績評価の方法 評価 : 試験 0 % ・ レポート 70% ・ その他(出欠, コメントシートなどの授業への参加度) 30% 知識の確実な習得を重視する。 再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 本シラバスに「参考書」として挙げた文献, 授業中に配布するプリントに挙げる参考文献などを読んで授業前後の理解を深めることが望ましい。
教科書 とくになし。授業当日にプリントを配布します。
参考書 芝 健介『ホロコースト——ナチスによるユダヤ人大量殺戮の全貌』中公新書, 2008 M.ペーレンバウム『ホロコースト全史』芝 健介監修, 創元社, 1996 R.S. ヴィストリヒ『ヒトラーとホロコースト』相馬保夫監修, 大山 晶訳, ランダムハウス講談社, 2006
履修上の注意事項 出欠については, 出欠管理システムの記録と, 教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。
備考 キーワード: ナチ・ドイツ, ユダヤ人, ホロコースト, 「東方生存圏」構想, 第二次世界大戦, 独ソ戦, アウシュヴィッツ

時間割番号	000014				
科目名	科学史 I			科目 ID	LA-111500-Z
担当教員	田中 丹史[TANAKA Akashi]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－3 人間の歴史的営みを理解する					
授業の目的、概要等					
現代社会において科学技術が重要な役割を担っているのは言うまでもない。本講義では、歴史学のアプローチから科学や技術が過去にどのような意義を持っていたのかを分析する。その上で現代社会における科学技術の特徴や科学技術と市民社会との関係を考察することを目標としている。					
授業の到達目標					
1. 科学史・技術史の基礎を理解する。					
2. 現代社会における科学技術の意義を考察できる。					
3. 医療の概史を知ることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/8	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
2	5/15	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
3	5/22	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
4	5/29	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
5	6/5	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
6	6/12	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
7	6/19	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
8	6/26	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
9	7/3	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
10	7/10	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
11	7/17	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
12	7/24	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
13	7/31	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
14	9/4	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	

15	9/11	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
授業方法 板書を中心とする講義形式をとる。ただし適宜リアクションペーパーを配布し、アクティブラーニングも実施する。					
授業内容 第1回: ガイダンス(本講義の目的) 第2回: 古代ギリシャ・ローマと科学・技術 第3回: 古代ギリシャ・ローマ医学史: ヒポクラテスとガレノス 第4回: 病院と医学史 第5回: 中世の産業革命と12世紀ルネサンス 第6回: 疾病史: ペストとコレラ 第7回: ルネサンスと科学・技術 第8回: 科学革命 第9回: 産業革命と科学・技術、19世紀以降のエンジニア 第10回: 科学の職業化と専門化 第11回: 20世紀以降の科学技術政策 第12回: 医療政策の展開 第13回: 日本の公害 第14回: 日本の科学技術の歴史 第15回: 日本の薬害					
成績評価の方法 評価 : 試験 — % ・ レポート100 % ・ その他() % 授業で得た知識の理解度を確認する 再評価: 有(再評価方法 レポート)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 授業中に指示した文献等を使い、各自で予習・復習してください。					
教科書 なし					
参考書 橋本毅彦『科学の発想』をたずねて: 自然哲学から現代科学まで』左右社, 2010. 中島秀人『社会の中の科学』放送大学教育振興会, 2008.					
履修上の注意事項 出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先します。					

時間割番号	000015				
科目名	科学史Ⅱ			科目ID	LA-111600-Z
担当教員	田中 丹史[TANAKA Akashi]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－3 人間の歴史的営みを理解する					
授業の目的、概要等					
本講義では現代社会における先端科学技術をめぐる議論の中でもとくに重要な対象となっている環境問題をテーマとして取り上げる。分析視角としては社会的な決定手続きや倫理の観点を重視しつつ、豊富な事例分析に基づき議論を進めていく予定である。					
授業の到達目標					
1. 現代の環境問題の基礎を理解する。					
2. 環境問題に関する社会的手続きについて理解する。					
3. 環境倫理の基礎を理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/9	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
2	10/16	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
3	10/23	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
4	10/30	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
5	11/6	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
6	11/13	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
7	11/20	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
8	11/27	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
9	12/4	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
10	12/11	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
11	12/18	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
12	1/8	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
13	1/15	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
14	1/22	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	

15	1/29	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子	
授業方法 板書を中心とする講義形式をとる。ただし適宜リアクションペーパーを配布し、アクティブラーニングも実施する。					
授業内容 第1回:ガイダンス(本講義の目的) 第2回:水俣病の歴史的考察 第3回:水俣病の歴史的考察(2) 第4回:水俣病とイタイイタイ病の比較検討 第5回:地球温暖化論とコミュニケーション 第6回:地球温暖化論と科学諮問・国際関係 第7回:環境リスクマネジメントの概論 第8回:生物多様性の基礎 第9回:遺伝資源へのアクセスと利益配分 第10回:生物多様性と希少種の保全・保護 第11回:アメリカの自然の権利訴訟 第12回:日本の自然の権利訴訟 第13回:動物の権利論の概説 第14回:動物の権利論と生命操作 第15回:環境倫理概論					
成績評価の方法 評価 : 試験 100 % ・ レポート % ・ その他() % 授業で得た知識の理解度を確認する 再評価: 有(再評価方法 レポート)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 授業中に指示した文献等を使い、各自で予習・復習してください。					
教科書 なし					
参考書 授業中に指示します。					
履修上の注意事項 出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先します。					

時間割番号	000016				
科目名	文学A I			科目ID	LA-111700-Z
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間： 月曜 1 限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。 1-6)優れた芸術作品に触れて完成を高める 1-7)人間の心への理解を高める 3-2)自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける					
授業の目的、概要等 この授業では、医療に関わる人物が登場する近代文学の精読を通し、「医学」がどのように文学に著されているかを考え、自らの言葉で表現することを目的とする。授業で扱う作品の数作には、実在の人物が登場する。作家が何故、その人物を描き、テーマを扱ったか、その時期に発表したのかを検討するために、作品発表時や作品内時間の社会背景から、医学と時代との関わりも分析したい。					
授業の到達目標 ①文学作品を生み出した社会状況を理解し、時代や社会と「医学」との関係について考える。 ②作品に関する意見交換やレポートを通し、「医学」について考え、自分の言葉で表現する。 ③一年生として、医学や歯学の社会での役割について検討し、医療従事者としての未来をデザインする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/11	09:10-10:40		木谷 真紀子	
2	5/18	09:10-10:40		木谷 真紀子	
3	5/25	09:10-10:40		木谷 真紀子	
4	6/1	09:10-10:40		木谷 真紀子	
5	6/8	09:10-10:40		木谷 真紀子	
6	6/15	09:10-10:40		木谷 真紀子	
7	6/22	09:10-10:40		木谷 真紀子	
8	6/29	09:10-10:40		木谷 真紀子	
9	7/6	09:10-10:40		木谷 真紀子	
10	7/13	09:10-10:40		木谷 真紀子	
11	7/20	09:10-10:40		木谷 真紀子	
12	7/27	09:10-10:40		木谷 真紀子	
13	8/31	09:10-10:40		木谷 真紀子	
14	9/7	09:10-10:40		木谷 真紀子	
15	9/14	09:10-10:40		木谷 真紀子	
授業方法 講義形式で行うが、ディスカッションや発表などを取り入れる。毎授業リアクションペーパーを提出する。					
授業内容 1)ガイダンス。医療を扱った様々な文学や、本授業で読む作品の紹介 2)有吉佐和子「華岡青洲の妻」①「全身麻酔」誕生のドラマと有吉佐和子の時代 3)有吉佐和子「華岡青洲の妻」②登場人物の役割とジェンダー 4)有吉佐和子「華岡青洲の妻」③「医学」の歴史と文学 5)魯迅「藤野先生」①登場人物 6)魯迅「藤野先生」②医学と文学					

7)太宰治「惜別」①太宰治と戦争 8)太宰治「惜別」②作品内時間の医学と文学 9)太宰治「惜別」③「医学」を学ぶ主人公と同級生たち 10)太宰治「惜別」④医学と文学、医学者と文学者 11)さだまさし「風に立つライオン」①作品の構成と登場人物 12)さだまさし「風に立つライオン」②医師の「役割」と医師への「願望」 13)さだまさし「風に立つライオン」③メディアミックス作品としての「風に立つライオン」 14)さだまさし「風に立つライオン」④曲と小説の時代 15)総括 文学と医学、その時代
成績評価の方法 評価：レポート 50% ・ その他(毎授業でのリアクションペーパー 15%、提出物 30%、講義内の発表など 5%) 合計 50% 再評価： 有(再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 作品を必ず読破したうえで授業に臨むこと。授業中に課した課題については、必ず翌週に提出するものと
教科書 有吉佐和子『華岡青洲の妻』(新潮文庫)、 太宰治『惜別』(新潮文庫)、 さだまさし『風に立つライオン』(幻冬舎文庫)
参考書 授業中に指示
履修上の注意事項 授業内で扱う作品は、社会状況などにより変更する可能性がある。 出欠は毎回取るが、出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。遅刻を三回で一回の欠席とする。出欠管理システムより、教員自身が取ること出欠を優先させる。

時間割番号	000017				
科目名	文学AⅡ			科目ID	LA-111800-Z
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間： 月曜 1 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：					
1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。					
1-6)優れた芸術作品に触れて完成を高める					
1-7)人間の心への理解を高める					
3-3)自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける					
授業の目的、概要等					
本年は三島由紀夫の没後50年にあたる。本講義では三島由紀夫の「病院」が舞台となった戯曲と「医師」が主人公である小説を扱う。前者では古典文学から近現代文学の流れの中で登場人物を解釈する視点としての「時代」や「医学」について考える。後者では昭和 31 年代の「東京」という都市空間における精神科医と患者の物語を通し、都市と文学、そして医学について考える。					
授業の到達目標					
①文学作品を生み出した社会状況を理解し、時代や社会と「医学」との関係について考える。					
②作品に関する意見交換やレポートを通し、「医学」について考え、自分の言葉で表現する。					
③文学を楽しむ視点としての「医学」について考察し、芸術と医学の関係について考える。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	09:10-10:40		木谷 真紀子	
2	10/12	09:10-10:40		木谷 真紀子	
3	10/19	09:10-10:40		木谷 真紀子	
4	10/26	09:10-10:40		木谷 真紀子	
5	11/2	09:10-10:40		木谷 真紀子	
6	11/9	09:10-10:40		木谷 真紀子	
7	11/16	09:10-10:40		木谷 真紀子	
8	11/23	09:10-10:40		木谷 真紀子	
9	11/30	09:10-10:40		木谷 真紀子	
10	12/7	09:10-10:40		木谷 真紀子	
11	12/14	09:10-10:40		木谷 真紀子	
12	12/21	09:10-10:40		木谷 真紀子	
13	1/18	09:10-10:40		木谷 真紀子	
14	1/25	09:10-10:40		木谷 真紀子	
15	2/1	09:10-10:40		木谷 真紀子	
授業方法					
講義形式で行うが、ディスカッションや発表などを取り入れる。毎授業リアクションペーパーを提出する。					
授業内容					
1)ガイダンス。講義で扱う作品の紹介など					
2)三島由紀夫について①					
3)三島由紀夫について②					
4)三島由紀夫「葵上」①作品空間としての「病院」					

5)『源氏物語』『葵上』 6)謡曲「葵上」 7)三島由紀夫「葵上」②作品空間としての「病院」 8)三島由紀夫「葵上」③作品を解釈する視点 9)三島由紀夫『音楽』①作品を生んだ「時間」 10)三島由紀夫『音楽』②作品を生んだ「空間」 11)三島由紀夫『音楽』③三島由紀夫と発表媒体 12)三島由紀夫『音楽』④登場人物解析 13)三島由紀夫『音楽』⑤「音楽」を聞くということ 14)三島由紀夫とアダプテーション 15)総括
成績評価の方法 評価：レポート 50% ・ その他(毎授業でのリアクションペーパー 15%、提出物 30%、講義内の発表など 5%) 合計 50% 再評価：有(再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 作品を必ず読破したうえで授業に臨むこと。授業中に課した課題については、必ず翌週に提出するもと
教科書 三島由紀夫『近代能楽集』(新潮文庫)、 三島由紀夫『音楽』(新潮文庫)
参考書 授業中に指示
履修上の注意事項 授業内で扱う作品は、社会状況などにより変更する可能性がある。出欠は毎回取るが、出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。遅刻を三回で一回の欠席とする。出欠管理システムより、教員自身が取ること出欠を優先させる。

時間割番号	000018				
科目名	文学B I		科目ID	LA-111900-Z	
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間： 金曜 1 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：					
1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。					
1-6)優れた芸術作品に触れて完成を高める					
1-7)人間の心への理解を高める					
3-4)自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける					
授業の目的、概要等					
本年 2020 年は三島由紀夫の没後 50 年にあたる。本講義では三島由紀夫の海外の紀行文と海外が描かれた作品から、その「世界」との関わりを分析をする。このグローバル社会の中で、世界とどう向き合いどう捉えるかを森鷗外や夏目漱石から三島由紀夫を通して考察し、今後を考える契機とする。					
授業の到達目標					
①「海外」と「文学」がどのように関わってきたかを理解する。					
②「世界」とどう関わるかを考え、意見を交換する。					
③世界と今の「日本」について、自らの言葉で表現できるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/8	09:10-10:40		木谷 真紀子	
2	5/15	09:10-10:40		木谷 真紀子	
3	5/22	09:10-10:40		木谷 真紀子	
4	5/29	09:10-10:40		木谷 真紀子	
5	6/5	09:10-10:40		木谷 真紀子	
6	6/12	09:10-10:40		木谷 真紀子	
7	6/19	09:10-10:40		木谷 真紀子	
8	6/26	09:10-10:40		木谷 真紀子	
9	7/3	09:10-10:40		木谷 真紀子	
10	7/10	09:10-10:40		木谷 真紀子	
11	7/17	09:10-10:40		木谷 真紀子	
12	7/24	09:10-10:40		木谷 真紀子	
13	7/31	09:10-10:40		木谷 真紀子	
14	9/4	09:10-10:40		木谷 真紀子	
15	9/11	09:10-10:40		木谷 真紀子	
授業方法					
講義形式で行うが、ディスカッションや発表などを取り入れる。毎授業リアクションペーパーを提出する。					
授業内容					
1)ガイダンス					
2)三島由紀夫について①					
3)三島由紀夫について②					
4)海外で学んだ「医学者」森鷗外①					

5)海外で学んだ「文学者」森鷗外② 6)海外で学んだ「文学者」夏目漱石 7)大正、昭和初期の文学者とヨーロッパ 8)大正、昭和初期の文学者とアジア 9)三島由紀夫『アポロの杯』 10)「グランド・ツアーとしての世界旅行 11)三島の見た「日本」 12)三島由紀夫の世界戦略 13)三島由紀夫と「ヨーロッパ」 14)三島由紀夫と「アジア」 15)総括 3)小説としての山崎豊子『白い巨塔』① 4)小説としての『白い巨塔』② 5)山崎豊子の作品 6)ドラマ化された『白い巨塔』 7)再生され続ける『白い巨塔』 8)松本清張の描いた「医療」① 9)松本清張の描いた「医療」② 10)遠藤周作『海と毒薬』① 11)遠藤周作『海と毒薬』② 12)遠藤周作『悲しみの歌』① 13)遠藤周作『悲しみの歌』② 14)テレビドラマになる「医療」と、映画となる「医療」 15)総括
成績評価の方法 評価：レポート 50% ・ その他(毎授業でのリアクションペーパー 15%、提出物 30%、講義内の発表など 5%) 合計 50% 再評価： 有(再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 作品を必ず読破したうえで授業に臨むこと。授業中に課した課題については、必ず翌週に提出するものと
教科書 『三島由紀夫紀行文集』(岩波文庫)、他は授業内で指示 三島由紀夫『音楽』
参考書 授業中に指示
履修上の注意事項 授業内で扱う作品は、社会状況などにより変更する可能性がある。 出欠は毎回取るが、出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。遅刻を三回で一回の欠席とする。出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

時間割番号	000019				
科目名	文学BⅡ			科目ID	LA-112000-Z
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間： 金曜 1 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：					
1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。					
1-6)優れた芸術作品に触れて完成を高める					
1-7)人間の心への理解を高める					
3-5)自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける					
授業の目的、概要等					
現在、医療ドラマと呼ばれる作品が多く放映されているが、その代表作と言えば山崎豊子『白い巨塔』であろう。本講義では同作を筆頭に「病院」が舞台となり医療従事者が描かれた文学と、そのアダプテーションの作品を扱う。作品を通して、「医学」というものの受容者の〈認識〉、〈期待〉と〈願望〉から、社会における医学について考える。					
授業の到達目標					
①文学作品を生み出した社会状況を理解し、時代や社会と「医学」との関係について考える。					
②作品に関する意見交換やレポートを通し、「医学」について考え、自分の言葉で表現する。					
③「医学」を描いた芸術作品の社会における役割を考える。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/9	09:10-10:40		木谷 真紀子	
2	10/16	09:10-10:40		木谷 真紀子	
3	10/23	09:10-10:40		木谷 真紀子	
4	10/30	09:10-10:40		木谷 真紀子	
5	11/6	09:10-10:40		木谷 真紀子	
6	11/13	09:10-10:40		木谷 真紀子	
7	11/20	09:10-10:40		木谷 真紀子	
8	11/27	09:10-10:40		木谷 真紀子	
9	12/4	09:10-10:40		木谷 真紀子	
10	12/11	09:10-10:40		木谷 真紀子	
11	12/18	09:10-10:40		木谷 真紀子	
12	1/8	09:10-10:40		木谷 真紀子	
13	1/15	09:10-10:40		木谷 真紀子	
14	1/22	09:10-10:40		木谷 真紀子	
15	1/29	09:10-10:40		木谷 真紀子	
授業方法					
講義形式で行うが、ディスカッションや発表などを取り入れる。毎授業リアクションペーパーを提出する。					
授業内容					
1)ガイダンス					
2)山崎豊子『白い巨塔』①、作品の時間					
3)「医療」ドラマについて、受講者からのプレゼンテーション					
4)山崎豊子『白い巨塔』②、作品の登場人物1					
5)山崎豊子『白い巨塔』②、作品の登場人物2					

6)山崎豊子『白い巨塔』③、作品のドラマ1 7)山崎豊子『白い巨塔』③、作品のドラマ2 8)山崎豊子『白い巨塔』④、作品の「救い」1 9)山崎豊子『白い巨塔』④、作品の「救い」2 10)ドラマの中の「病院」1 11)ドラマの中の「病院」2 12)ドラマや映画の「医師」1 13)ドラマや映画の「医師」2 14)テレビドラマになる「医療」と、映画となる「医療」 15)総括
成績評価の方法 評価：レポート 50% ・ その他(毎授業でのリアクションペーパー 15%、提出物 30%、講義内の発表など 5%) 合計 50% 再評価： 有(再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 作品を必ず読破したうえで授業に臨むこと。授業中に課した課題については、必ず翌週に提出すること。また受講者の薦める医療ドラマについてのプレゼンテーションや、学習内容に基づいたディスカッションも行う。積極的に参加すること。
教科書 山崎豊子『白い巨塔』(一)(二)(三)(四)(新潮文庫)
参考書 授業中に指示
履修上の注意事項 授業内で扱う作品は、社会状況などにより変更する可能性がある。 出欠は毎回取るが、出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。遅刻を三回で一回の欠席とする。出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

時間割番号	000020				
科目名	法学Ⅰ			科目ID	LA-112100-L
担当教員	飛田 綾子[TOBITA AYAKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜 2 限					
対象学科: 医学部医学科・医学部保健衛生学科検査技術学専攻・歯学部歯学科・歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。					
1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。					
1-9)市民としての倫理観を養う。					
授業の目的、概要等					
社会に生きる限り、人は法と無関係ではられません。法によって自分の自由が制限されたり、反対に自由が守られたりと様々です。法的な争い事は裁判所で法を適用して結論が出されますが、時に理不尽に思われるような結論もあります。例えば自分のプライバシーを暴くような報道であっても、それを報じる雑誌の差し止めはなかなか認められません。また、一票の較差の問題でも「法の下での平等に反している」と結論が下されながらも、実際に選挙がやり直されたことは未だありません。確かにこうした事例は、自分には縁遠く思えるかもしれませんが、憲法はあらゆる自由や権利が法的問題となる時に、元締めのような役割を担っています。よって憲法は自分と無関係だとは言えません。この授業では「法とは何か」という話から始め、日本国憲法の保障する人権の具体的内容や海外との相違点などトピックを、具体例を挙げながら説明します。「法学Ⅰ」のみの受講も歓迎しますが、できれば後期に開講される「法学Ⅱ」(国会等の統治機構や平和主義についての講義)も併せて履修すると理解が深まると思います。					
授業の到達目標					
①日本国憲法の基本原則を理解し、人権に関する基本知識を身に着ける。					
②比較法的視点を織り込みながら、望ましい人権保障のあり方を考察し、自分の考えを説明できるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/8	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
2	5/15	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
3	5/22	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
4	5/29	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
5	6/5	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
6	6/12	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
7	6/19	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
8	6/26	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
9	7/3	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
10	7/10	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	

11	7/17	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子
12	7/24	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子
13	7/31	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子
14	9/4	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子
15	9/11	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子
授業方法 教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。授業内容の確認や、授業で得た知識を基に日々伝えられるニュースへの応用を 考えてもらうアクティブラーニング方式を適宜取り入れます。				
授業内容 第1回 ガイダンス 授業の目的・進め方 参考文献等の紹介 第2回 法とは何か／法と道徳の違い／権利と義務／人身の自由(適正手続の内容など) 第3回 国務請求権(刑事補償請求権、請願権) 第4回 国務請求権(国家賠償請求権)／参政権①(選挙権の原則) 第5回 参政権②(一票の較差)／経済的自由権①(職業選択の自由) 第6回 経済的自由②(財産権の保障)／社会権①(生存権) 第7回 社会権②(教育を受ける権利、労働権) 第8回 思想・良心の自由(日の丸・君が代強制問題など)／信教の自由①(学校教育と信教の自由) 第9回 信教の自由②(靖国神社公式参拝問題など)／表現の自由①(原則) 第10回 表現の自由②(報道の自由、名誉毀損・性表現の規制の是非など)／学問の自由(科学技術の発展と生命倫理の関係) 第11回 集会・結社の自由／包括的権利(プライバシーの権利、自己決定権など) 第12回 法の下での平等(再婚禁止期間・夫婦別姓問題など) 第13回 基本的人権のまとめ①(外国人の人権など) 第14回 基本的人権のまとめ②(公共の福祉の解釈の変遷、私人間効力など) 第15回 まとめ(個人の尊重とは何か)と理解度の確認				
成績評価の方法 評価：試験 0 % ・ レポート 60% ・ その他(知識確認小テスト、小レポート) 40 % 再評価：有(再評価方法 レポート) ・ 無 日本国憲法の保障する人権に関する知識の確実な習得と、人権保障の意義や憲法の大 原則を考察し、文章で伝えることを重視する。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認してください。特に復習に重点をおくこと。一票の較差から、TV 番組の演出への批 判など、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけて下 さい。				
教科書 特に指定しません。				
参考書 安念潤司・小山剛・青井美帆・矢野常寿・山本龍彦『憲法を学ぶための基礎知識 論点 日本国憲法(第2版)』東京法令出版、2014年。棟居 快行・松井茂記・赤坂正浩・笹田栄司・常本照樹・市川正人編『基本的人権の事件簿(第5版)』有斐閣、2015年。芦部信喜(高橋和之補訂) 『憲法(第7版)』岩波書店、2019年。渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法1人権(第6版)』有斐閣、2016年。野中俊彦・江橋崇編著(渋谷秀樹補訂)『憲 法判例集(第11版)』有斐閣、2016年。				
履修上の注意事項				

履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。 ②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。
(小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。) ③原則として出席回
数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。 ④授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。

備考

キーワード: 立憲主義、民主主義、基本的人権、個人の尊重

時間割番号	000026				
科目名	法学Ⅰ（憲法）			科目ID	LA-112200-L
担当教員	飛田 綾子[TOBITA AYAKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間： 水曜 3 限					
対象学科： 医学部保健衛生学科看護学専攻・歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：					
1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。					
1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。					
1-9)市民としての倫理観を養う。					
授業の目的、概要等					
日本の防衛政策や芸能人のスキャンダルまで、ネット、テレビや新聞には、日々様々なニュースがあふれています。こうしたニュースは、自分には縁遠いものに見えるかもしれませんが、防衛政策は日常生活の基盤となるものです。また「芸能情報など下らない、法律で規制すべき」と考える人は多いでしょうが、情報規制の是非は個々人に無関係とは言えず、憲法とは大いに関係のある問題です。よって憲法を学ぶことは、自分自身のためになるのです。こうした問題の一方で近年は特に、日本国憲法の改正の必要性が叫ばれています。憲法改正の問題を考えるには憲法の基本知識や議論の積み重ねを理解する必要があります。この授業では、生存権の保障や外国人の人権、地方自治などのテーマを、著名な裁判例を多く取り上げながら日本国憲法の全体像を示していきます。適宜、各国憲法や日本の戦後史についても言及したいと思います。					
授業の到達目標					
①日本国憲法の保障する人権の内容や、国会、内閣、裁判所の統治機構についての基本知識を身につける。					
②表現の自由の規制の是非、成年後見人制度の問題点、立法・行政・司法の権力分立の課題、日本の平和主義のあり方などのテーマを、憲法の基礎知識を踏まえて考察し、説明できるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/13	13:10-14:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
2	5/20	13:10-14:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
3	5/27	13:10-14:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
4	6/3	13:10-14:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
5	6/10	13:10-14:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
6	6/17	13:10-14:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
7	6/24	13:10-14:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
8	7/1	13:10-14:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
9	7/8	13:10-14:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
10	7/15	13:10-14:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
11	7/22	13:10-14:40		飛田 綾子,	

				木谷 真紀子
12	7/29	13:10-14:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子
13	9/2	13:10-14:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子
14	9/9	13:10-14:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子
15	9/16	13:10-14:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子
授業方法 教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。授業内容の確認や、授業で得た知識を基に日々伝えられるニュースへの応用を考えてもらうアクティブラーニング方式を適宜取り入れます。				
授業内容 第 1 回 ガイダンス 授業の目的、進め方、参考文献の紹介／憲法の存在意義／人身の自由(適正手続について)／国務請求権①(刑事補償請求権など) 第 2 回 国務請求権②(国家賠償請求権)／参政権(選挙の原則、一票の較差) 第 3 回 経済的自由(職業選択の自由、財産権) 第 4 回 社会権(生存権・教育を受ける権利、労働基本権／成年後見人制度について) 第 5 回 思想・良心の自由(日の丸・君が代の強制問題など)／信教の自由①(学校教育と信教の自由、靖国神社公式参拝問題について) 第 6 回 表現の自由(原則報道の自由、名誉毀損的表現への規制の是非など) 第 7 回 学問の自由(科学技術と生命倫理の関係など)／包括的権利(プライバシーの権利、自己決定権など) 第 8 回 法の下での平等(夫婦別姓・再婚禁止期間の判例など) 第 9 回 基本的人権のまとめ(外国人の人権、憲法の適用範囲の問題など) 第 10 回 日本憲法史／天皇制 第 11 回 平和主義(憲法 9 条の解釈・平和安全法制の概要など) 第 12 回 統治機構 権力分立／国会(衆参両院の役割分担など) 第 13 回 内閣(内閣総理大臣の権限強化の是非など) 第 14 回 裁判所(裁判員制度・司法の独立など)／違憲審査制度 第 15 回 地方自治(道州制の是非など)／財政(公金支出の禁止など)				
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 60% ・ その他(知識確認小テスト、小レポート)40% 再評価: 有(再評価方法 レポート) ・ 無 日本国憲法全般の基礎知識の習得と、憲法の存在意義や原則を考察し、文章で伝えることを重視する。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認してください。特に復習に重点をおくこと。ヘイトスピーチ規制から、国際貢献のありかたなど、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけて下さい。				
教科書 特に指定しません。				
参考書 初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門(第 5 版)』有斐閣、2017 年。安念潤司・小山剛・青井美帆・矢野常寿・山本龍彦『憲法を学ぶための基礎知識 論点 日本国憲法(第 2 版)』東京法令出版、2014 年。芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第 7 版)』岩波書店、2019 年。野中俊彦・江橋崇編著(渋谷秀樹補訂)『憲法判例集(第 11 版)』有斐閣、2016 年。				
履修上の注意事項 履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。(小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。)③原則として出席回数				

が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。④授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。

備考

キーワード: 立憲主義、民主主義、基本的人権、政治制度

時間割番号	000021				
科目名	法学Ⅱ			科目ID	LA-112300-L
担当教員	飛田 綾子[TOBITA AYAKO]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間： 金曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：					
1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。					
1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。					
1-9)市民としての倫理観を養う。					
授業の目的、概要等					
現在、日本の安全保障体制のあり方や裁判員制度の下での判決が高等裁判所で変更されることの是非など、憲法に関する様々なニュースが日々伝えられています。そして、現憲法の改正の必要性が盛んに叫ばれています。こうしたニュースを深く理解し、改正の必要性を冷静に考察するためには、憲法に関する基礎知識が必要です。この授業では、国会、内閣、裁判所の持つ権限やお互いのチェック機能、平和主義に関する解釈や著名な裁判、地方自治において住民が持つ権利などを説明します。現実の政治との接点を持ちながら適宜、他国との比較も行いたいと思います。「法学Ⅱ」のみの履修も歓迎しますが、前期の「法学Ⅰ」(人権についての講義)と併せて履修するとより理解が深まると思います。					
授業の到達目標					
①日本国憲法の、国会や内閣など統治機構分野に関する基本的知識を、他国との比較法的視点を持ちながら身につける。					
②憲法改正や平和主義などの論点について、憲法学の基本的知識を踏まえた上で自らの考えを持ち、説明できるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/9	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
2	10/16	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
3	10/23	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
4	10/30	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
5	11/6	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
6	11/13	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
7	11/20	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
8	11/27	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
9	12/4	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
10	12/11	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
11	12/18	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
12	1/8	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	

13	1/15	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
14	1/22	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
15	1/29	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子	
授業方法 教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。授業内容の確認や、授業で得た知識を基に日々伝えられるニュースへの応用を 考えてもらうアクティブラーニング方式を適宜取り入れます。					
授業内容 第1回 ガイダンス 授業の目的・概要／参考文献の紹介 第2回 立憲主義とは何か／憲法とは何か(憲法の種類・区別の仕方等) 第3回 国会①(国民の代表の意味、国会の地位など) 第4回 国会②(国会・議院の権限) 第5回 内閣(議院内閣制、内閣の組織と能) 第6回 裁判所(司法権の範囲と限界、裁判所の権限、司法権の独立など) 第7回 権力分立(各国との相違) 第8回 日本憲法史(ドイツ、イタリアとの比較) 第9回 天皇制(天皇は君主か元首か、天皇制の果たす役割) 第10回 平和主義①(自衛隊の合憲性、著名な裁判、日本の国防についての基本的考えなど) 第11回 平和主義②(平和安全法制の概要、各国との比較など) 第12回 地方自治(道州制の可否など) 第13回 財政(政教分離との関連など) 第14回 違憲審査制度(米独仏との比較)／憲法の保障・憲法改正 第15回 全体のまとめ・理解度の確認					
成績評価の方法 評価：試験 0%・レポート 60%・その他(知識確認小テスト、小レポート) 40% 再評価：有(再評価方法 レポート)・無 日本国憲法が国会や内閣、裁判所といった統治機構に与えている権限や平和主義に関 する判例などの基本知識の習得を重視する。また、そうした基本知識を踏まえた上で、望ましい制度の在り方を考察し、文章で伝えられる ことを重視する。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認してください。特に復習に重点をおくこと。また、日頃から様々なニュースに関心を 払うようにしてください。日本だけでなく海外の政治・社会状況を知り、日本との相違点や共通点を考え、憲法や法律全般との関係を考え る癖を身につけてください。					
教科書 特に指定しません。					
参考書 初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門(第4版補訂版)』有斐閣、2014年。渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法2 統治 (第6版)』有斐閣、2016年。笹田栄司・原田一明・山崎友也・遠藤美奈『トピックからはじめる統治制度』有斐閣、2015年。安念潤司・小山剛・ 青井未帆・山本龍彦編『憲法を学ぶための基礎知識 論点 日本国憲法(第2版)』東京法令出版、2014年。芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法 (第7版)』岩波書店、2019年。					
履修上の注意事項 履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。 (小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。)③原則として出席回数 が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。④授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。					
備考 キーワード: 立憲主義、平和主義、民主主義、政治制度、憲法改正					

時間割番号	000022				
科目名	政治学 I			科目 ID	LA-112400-Z
担当教員	面 一也[OMOTE KAZUYA]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜 2 限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)、3-5)					
授業の目的、概要等					
本授業では、政治学の基本的概念と政治制度に関して学習しながら、今日の政治の理論と現実を全般的に概観する。政治は生きものなので、現在進行形のアクチュアルな事例も、可能なかぎり積極的に取り扱う。授業全体を通じて、現在の政治が直面している課題と、望ましい未来の政治のあり方について、批判的に考察を進めたい。					
授業の到達目標					
1 政治学の基本概念と政治制度に関する基本的知識を習得する。 2 現代の政治理論を通じて現実政治の問題を把握する。 3 現在の政治と未来の政治に関する批判的考察力を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/11	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
2	5/18	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
3	5/25	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
4	6/1	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
5	6/8	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
6	6/15	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
7	6/22	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
8	6/29	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
9	7/6	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
10	7/13	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
11	7/20	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
12	7/27	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
13	8/31	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	

14	9/7	10:50-12:20		面 一也 木 谷 真紀子	
15	9/14	10:50-12:20		面 一也 木 谷 真紀子	
授業方法 講義形式					
授業内容 第1回 インTRODakション: 講義の概要について 第2回 政治学の対象としての政治: 政治学の対象・概念・分析方法について 第3回 政治的思考法: 政治的リアリズムの特徴について 第4回 権力: 権力に関するさまざまな見方について 第5回 権力と統治: ミシェル・フーコーの政治論について 第6回 国家: 近代国家から現代国家への変容について 第7回 近代立憲主義: 国家の権力を縛る意味について 第8回 政治体制: 民主主義体制と非民主主義体制について 第9回 選挙: 政治的リーダーの選出とさまざまな選挙制度について 第10回 議会: 立法過程について 第11回 官僚機構と中央政府: 政策実施のプロセスについて 第12回 裁判所: 司法と政治の関係について 第13回 政治と経済: 両者の相互作用について 第14回 総括: 授業内容を振り返り、到達点と今後の課題を確認 第15回 期末筆記試験の予定					
成績評価の方法 評価 : 試験 80% ・ レポート % ・ その他(リアクション・ペーパー) 20% 再評価: 有(レポート)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 復習に多くの時間を割くことを推奨する。復習の際には、ノートや資料を見返しながら、授業の全体的な流れをまず把握して、総論から各論の確認へ向かうとよい。また、復習は次回授業の重要な土台になるため、予習の意味も兼ねて、次回授業までに復習を済ませると理想的である。					
教科書 特定の教科書を使用しない。代わりに、参考書に関連する配布資料を適宜用いる。					
参考書 苅部直、宇野重規、中本義彦編著『政治学をつかむ』(有斐閣、2011 年)。 川出良枝、谷口将紀編著『政治学』(東京大学出版会、2012 年)。 砂原庸介、稗田健志、多湖淳編著『政治学の第一歩』(有斐閣、2015 年)。					
履修上の注意事項 教員自身が取る出欠を優先させる。					

時間割番号	000023				
科目名	政治学Ⅱ			科目ID	LA-112500-Z
担当教員	面 一也[OMOTE KAZUYA]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜 2 限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)、3-5)					
授業の目的、概要等 本授業では、政治学の概念を用いて日本の政治に関する基本知識を習得しながら、今日の日本の政治的諸課題を全般的に考察する。政治は生きものなので、現在進行形のアクチュアルな事例も、可能なかぎり積極的に取り扱う。授業全体を通じて、現在の政治が直面している課題と、望ましい未来の政治のあり方について、批判的に考察を進めたい。					
授業の到達目標 1 政治学の概念を用いて日本の政治に関する基本知識を習得する。 2 今日の日本の政治的諸課題を把握する。 3 現在の政治と未来の政治に関する批判的考察力を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
2	10/12	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
3	10/19	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
4	10/26	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
5	11/2	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
6	11/9	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
7	11/16	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
8	11/23	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
9	11/30	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
10	12/7	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
11	12/14	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
12	12/21	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子	
13	1/18	10:50-12:20		面 一也, 木	

				谷 真紀子	
14	1/25	10:50-12:20		面 一也 木 谷 真紀子	
15	2/1	10:50-12:20		面 一也 木 谷 真紀子	
授業方法 講義形式					
授業内容 第1回 イン트로ダクション:講義の概要について 第2回 敗戦と占領:敗戦による体制移行論について 第3回 戦後憲法の制定:ドイツ・イタリアと比較した憲法制定の政治について 第4回 冷戦:国際的環境としての冷戦の特徴について 第5回 安保闘争:街頭の政治の意義について 第6回 自民党政治:日本における「生産性の政治」と「抑制による政治」について 第7回 アジアの冷戦と沖縄:沖縄を巡る政治について 第8回 多党化:高度成長による社会の変化と多党化について 第9回 新冷戦と日米同盟:「安保」から「日米同盟」への移行について 第10回 冷戦の終結:冷戦終結後の国際政治の世界について 第11回 政治改革と新自由主義:政治改革と新自由主義による脱民主化について 第12回 福祉政治:社会保障を巡る政治について 第13回 東アジアの国際政治と国内政治:国際環境の変化・領土問題と国内政治の相互作用について					
成績評価の方法 評価 : 試験 80% ・ レポート % ・ その他(リアクション・ペーパー) 20% 再評価: 有(レポート)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 復習に多くの時間を割くことを推奨する。復習の際には、ノートや資料を見返しながら、授業の全体的な流れをまず把握して、総論から各論の確認へ向かうとよい。また、復習は次回授業の重要な土台になるため、予習の意味も兼ねて、次回授業までに復習を済ませると理想的である。					
教科書 特定の教科書を使用しない。代わりに、参考書に関連する配布資料を適宜用いる。					
参考書 苅部直、宇野重規、中本義彦編著『政治学をつかむ』(有斐閣、2011 年)。 川出良枝、谷口将紀編著『政治学』(東京大学出版会、2012 年)。 砂原庸介、稗田健志、多湖淳編著『政治学の第一歩』(有斐閣、2015 年)。					
履修上の注意事項 教員自身が取る出欠を優先させる。					

時間割番号	000024				
科目名	経済学 I			科目 ID	LA-112600-Z
担当教員	田原 慎二[TAHARA Shinji]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)					
授業の目的、概要等					
経済は一見すると私たちの生活に直接関係していないように思えるが、賃金、失業、物価などの様々な側面で実は深い関わりを持っている。 私たちが社会生活を行ううえで、経済との関わりは避けられない。					
経済活動によって生じる失業、不景気、貧困などの問題を解消するため、学問としての経済学は発展してきた。					
この授業では、経済学の基礎として、経済における様々な要素について基本的な知識を学習する。					
授業の到達目標					
世の中で実際に起こっている経済現象について、経済学の考え方をを用いて理解できるようになることを目標とする。具体的には、新聞・雑誌などの経済ニュースや日本経済新聞の内容を理解できるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/11	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
2	5/18	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
3	5/25	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
4	6/1	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
5	6/8	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
6	6/15	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
7	6/22	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
8	6/29	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
9	7/6	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
10	7/13	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
11	7/20	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
12	7/27	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
13	8/31	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
14	9/7	10:50-12:20		田原 慎二	

				木谷 真紀子	
15	9/14	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
授業方法 基本的には講義形式で行うが、練習問題を解くことやアクションペーパーの記入などによってその都度理解度を把握しながら進める。					
授業内容 第1回 国内総生産(GDP)と三面等価 第2回 国民経済計算の基礎 第3回 家計のはたらきと消費・貯蓄 第4回 企業のはたらきと投資 第5回 政府のはたらきと政府消費 第6回 輸出・輸入と為替レート 第7回 金融市場のはたらき 第8回 貨幣の役割 第9回 物価とインフレーション・デフレーション 第10回 労働市場と失業 第11回 景気循環 第12回 経済成長 第13回 経済政策(金融政策、財政政策) 第14回 財政と社会保障 第15回 授業のまとめ					
成績評価の方法 評価：試験 100% ・ レポート % ・ その他() % 再評価：無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 予習は特に必要ないが、授業で配布した資料や参考書を確認して復習を行い、その都度理解を深めること。					
教科書 特に指定しないが、参考書に依拠して授業を行う。					
参考書 N. グレゴリー・マンキュー(2017)『マンキューマクロ経済学Ⅰ 入門編(第4版)』東洋経済新報社 N. グレゴリー・マンキュー(2018)『マンキューマクロ経済学Ⅱ 応用編(第4版)』東洋経済新報社 福田慎一・照山博司(2016)『マクロ経済学・入門(第5版)』有斐閣アルマ 吉川洋(2009)『マクロ経済学(第三版)』岩波書店					
備考 経済学 マクロ経済学 GDP 失業 物価 景気 経済政策					

時間割番号	000025				
科目名	経済学Ⅱ		科目ID	LA-112700-Z	
担当教員	田原 慎二[TAHARA Shinji]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)					
授業の目的、概要等 本講義では、経済学の基礎的な科目であるミクロ経済学とマクロ経済学について学ぶ。 ミクロ経済学は、経済における最小の単位(ミクロ)の主体である家計や企業がどのように行動し、その結果として市場における取引量や価格がどのように決定されるかについて分析する学問である。 一方、マクロ経済学は、1920 年代末の世界大恐慌をきっかけとして生まれたもので、経済全体を分析対象として失業や不景気などの問題の解決や、長期的な経済成長がどのようにすれば実現するか分析する。 本講義ではこれらのミクロ経済学、マクロ経済学の基本について学ぶ。					
授業の到達目標 経済学の基本的な考え方、概念、モデルについて理解し、これに基づいて現実の経済を解釈できるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
2	10/12	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
3	10/19	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
4	10/26	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
5	11/2	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
6	11/9	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
7	11/16	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
8	11/23	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
9	11/30	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
10	12/7	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
11	12/14	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
12	12/21	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
13	1/18	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子	
14	1/25	10:50-12:20		田原 慎二	

				木谷 真紀子
15	2/1	10:50-12:20		田原 慎二 木谷 真紀子
授業方法 基本的には講義形式で行うが、練習問題を解くことやリアクションペーパーの記入などによってその都度理解度を把握しながら進める。				
授業内容 第1回 インTRODクシヨ、経済学の基礎:比較優位、トレードオフ 第2回 ミクロ経済学の基礎:需要曲線と供給曲線、市場の均衡 第3回 ミクロ経済学の基礎:消費者余剰、生産者余剰 第4回 ミクロ経済学の基礎:外部性と政府の役割 第5回 ミクロ経済学の基礎:生産の費用と利潤最大化行動 第6回 ミクロ経済学の基礎:独占市場、寡占市場 第7回 ミクロ経済学の基礎:ゲーム理論 第8回 マクロ経済学の基礎:国内総生産と国民経済計算 第9回 マクロ経済学の基礎:財・サービス市場、貨幣市場、労働市場 第10回 マクロ経済学の基礎:国民所得の決定(45度線分析) 第11回 マクロ経済学の基礎:IS-LM モデル① 第12回 マクロ経済学の基礎:IS-LM モデル② 第13回 マクロ経済学の基礎:マンデルフレミングモデル 第14回 マクロ経済学の基礎:経済成長論 第15回 現代経済学のトピック:因果関係の推定など				
成績評価の方法 評価 : 試験 100% ・ レポート % ・ その他() % 再評価: 無				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 予習は特に必要ないが、授業で配布した資料や参考書を確認して復習を行い、その都度理解を深めること。				
教科書 特に指定しないが、参考書に依拠して授業を行う。				
参考書 N. グレゴリー・マンキュー(2017)『マンキューマクロ経済学Ⅰ 入門編(第4版)』東洋経済新報社 N. グレゴリー・マンキュー(2018)『マンキューマクロ経済学Ⅱ 応用編(第4版)』東洋経済新報社 N. グレゴリー・マンキュー(2019)『マンキュー経済学Ⅰ ミクロ編(第4版)』東洋経済新報社 福田慎一・照山博司(2016)『マクロ経済学・入門(第5版)』有斐閣アルマ 吉川洋(2009)『マクロ経済学(第三版)』岩波書店				
備考 経済学 マクロ経済学 ミクロ経済学				

時間割番号	000027				
科目名	社会学A I			科目ID	LA-112800-Z
担当教員	大倉 韻[OOKURA Hibiki]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜 1 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る					
4-4) 情報についての基本技能を身につける					
授業の目的、概要等					
アンケートやインタビューによってさまざまな人の考えやわたしたち自身をとりまく環境について客観的なデータを得ることのできる社会調査(世論調査や意識調査など)は、急速に変化し続ける現代社会を理解するためにきわめて重要な存在である。またインターネットやスマートフォンの普及により、個人でも容易にそうした調査を企画・設計・実施できる環境が整いつつある。実際にインターネットでアンケートを受けたことのある人や、そうした調査データを使ったニュース記事を目にしたことのある人も多いだろう。					
しかしそうした調査の中には、データの集め方・分析方法・結果の読み取り方などが適切でないせいで誤った結論を出してしまっているものも少なくない。中には自らの主張に沿った分析結果を求めるあまり、意図的に誤ったデータ収集・データ分析をおこなう事例さえ散見される。そうした間違った分析に惑わされず、また自分自身が間違った調査をしてしまわないためには、社会調査に対する正しい知識を身につける必要がある。					
この授業では、社会調査に関する基本的な事柄を学習する。具体的には社会調査の歴史と意義、各種調査方法とそのメリット・デメリット、調査の企画・設計・仮説構築、調査倫理、実査、データの分析、などを取り扱う。また質の高い社会調査を詳細に検討することで、そうした調査がどのように設計・実施・分析されているのかを理解する。					
そうした学習を通じて、必要に応じて適切な社会調査を行えるようになるための基礎知識を習得するのみならず、誤った統計を見抜き、正しい情報を読み解く能力、すなわちリサーチ・リテラシーをも習得することが本授業の目的である。					
授業の到達目標					
○社会調査の基本的な知識を習得し、既存の調査を正しく読み解けるようになること。					
○社会調査をおこなうために必要な、問題設定・調査設計・実施・分析・記述などの基本的な考え方を習得すること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/11	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
2	5/18	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
3	5/25	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
4	6/1	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
5	6/8	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
6	6/15	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
7	6/22	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
8	6/29	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
9	7/6	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	

10	7/13	09:10-10:40		大倉 韻 木 谷 真紀子
11	7/20	09:10-10:40		大倉 韻 木 谷 真紀子
12	7/27	09:10-10:40		大倉 韻 木 谷 真紀子
13	8/31	09:10-10:40		大倉 韻 木 谷 真紀子
14	9/7	09:10-10:40		大倉 韻 木 谷 真紀子
15	9/14	09:10-10:40		大倉 韻 木 谷 真紀子
授業方法 第1回～第11回の授業は講義形式でおこなう。資料は毎回配布する。第12回～第15回の授業では社会調査を用いた文献を講読し、ディベートをおこなうセミナー形式をとる。リアクションペーパーの内容について次回授業時に言及することがある。				
授業内容 第1回:ガイダンス 第2回:社会調査とは何か／社会調査の用途と歴史 第3回:調査内容の決定(調査テーマと調査事項の設定／調査票の作成) 第4回:調査対象の決定(標本調査の方法／サンプリング分布と統計的推測) 第5回:調査の実施と処理(実査と調査員／調査票の点検とデータ作成) 第6回:結果の集計と分析(基本統計量)／インタビュー調査の方法 第7回:結果の集計と分析(因果分析)／調査報告をまとめる 第8回:様々な社会調査／SPSSの基本操作／統計分析の基礎 第9回:クロス集計と独立性の検定／平均値の差の検定と分散分析 第10回:単回帰分析／相関と偏相関 第11回:重回帰分析とダミー変数／パス解析 第12回:文献講読1 第13回:文献講読2 第14回:文献講読3 第15回:文献講読4				
成績評価の方法 講義形式だが、受講者の積極的な授業参加を高く評価する。そのため、成績評価は次のようにおこなう。 評価:レポート 40%、授業への参加度 60%(リアクションペーパー、文献講読への参加など) 再評価:有(レポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 講義については予習は特に必要ありませんが、復習をしっかりとこない疑問点があれば次回授業時に質問してください。また日常生活で目にする統計データが信用できるものかどうか注意深く観察し、リサーチ・リテラシーを養うことをおすすめします。 文献講読については予習として事前に文献を読み込み、疑問点や議論したい点を考えておいてください。				
教科書 なし(授業中に資料を配布する)				
参考書 原純輔・浅川達人『社会調査』放送大学教育振興会、2005年。 村瀬洋一・高田洋・廣瀬毅士『SPSSによる多変量解析』オーム社、2007年。				

それ以外にも授業内で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。

時間割番号	000029				
科目名	社会学AⅡ			科目ID	LA-112900-Z
担当教員	大倉 韻[OOKURA Hibiki]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜 1 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する					
2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る					
授業の目的、概要等					
現代社会は急速に変化を続けており、数多くの新しい社会現象(ハロウィンコスプレ、YouTuber/VTuber、動画共有サービス、位置情報ゲームなど)と、数多くの社会問題(格差の拡大、やりがい搾取、ヘイトスピーチを含む人種差別・性差別など)を生み出し続けているが、そうした社会現象／社会問題を理解するうえで社会学は多くの手がかりを与えてくれる。社会学の知識はわれわれの生活を劇的に改善したり労働の現場で直接役立つことは少ないが、われわれが社会や人を理解する助けとなり生きづらさの解消に役立つだろう。					
しかし社会は常に変化し続けるため、また社会を研究しようとする我々も社会の中に含まれているため、さらにまた社会のどの部分にどのように注目するかによって分析のしかたが様々に異なるため、社会学の研究方法は極めて多岐にわたっている。したがってこの授業では上記の社会現象に直接取り組むのではなく(折に触れて言及するが)、まず社会学の基礎的な知識を身につけることを目指す。					
具体的な授業内容としては、社会学の成り立ちを踏まえた上で代表的な社会理論を紹介する。またそれら社会理論を現代社会に当てはめて考えることで、われわれがふだん「当たり前」と考えているさまざまな社会秩序が成立している背景を明らかにする。加えて入門的な文献を講読することで、社会学の幅広い領域の一端に触れてもらい、「社会的なものの考え方」を養うことを目標とする。					
授業の到達目標					
○社会学の基本的な知識を習得し、社会的なものの見方を身につけること。					
○社会的なものの見方にもとづいて現代社会を読み解く能力を身につけること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
2	10/12	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
3	10/19	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
4	10/26	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
5	11/2	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
6	11/9	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
7	11/16	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
8	11/23	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
9	11/30	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子	
10	12/7	09:10-10:40		大倉 韻 木	

				谷 真紀子
11	12/14	09:10-10:40		大倉 韻 木 谷 真紀子
12	12/21	09:10-10:40		大倉 韻 木 谷 真紀子
13	1/18	09:10-10:40		大倉 韻 木 谷 真紀子
14	1/25	09:10-10:40		大倉 韻 木 谷 真紀子
15	2/1	09:10-10:40		大倉 韻 木 谷 真紀子

授業方法

第 1 回～第 11 回の授業は講義形式でおこなう。資料は毎回配布する。第 12 回～第 15 回の授業では社会理論を用いた文献を講読し、ディベートをおこなうセミナー形式をとる。リアクションペーパーの内容について次回授業時に言及することがある。

授業内容

第 1 回:ガイダンス
第 2 回:社会学史概括
第 3 回:自殺とアノミー／社会システムの機能分化
第 4 回:複雑性の縮減／合理的選択
第 5 回:物象化と疎外
第 6 回:宗教と社会／イデオロギーと相関主義
第 7 回:コミュニケーション的行為／権力と主体①
第 8 回:権力と主体②／相互作用と社会
第 9 回:規範の内面化／現象学
第 10 回:シンボリック相互行為論／意味学派の可能性①
第 11 回:意味学派の可能性②／ハビトゥスと文化資本
第 12 回:文献講読 1
第 13 回:文献講読 2
第 14 回:文献講読 3
第 15 回:文献講読 4

成績評価の方法

講義形式だが、受講者の積極的な授業参加を高く評価する。そのため、成績評価は次のようにおこなう。
評価:レポート 40%、授業への参加度 60%(リアクションペーパー、文献講読への参加など)
再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義については予習は特に必要ありませんが、復習をしっかりとこない疑問点があれば次回授業時に質問してください。また自分の周囲のさまざまな現象について、授業で学んだ分析視角を当てはめて解釈する練習をすることをおすすめします。
文献講読については予習として事前に文献を読み込み、疑問点や議論したい点を考えておいてください。

教科書

なし(授業中に資料を配布する)

参考書

那須壽編『クロニクル社会学』有斐閣、1997 年。
それ以外にも授業内で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。

時間割番号	000030				
科目名	社会思想史 I			科目 ID	LA-113000-Z
担当教員	上田 悠久[UEDA Haruhisa]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜 1限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)、1-3)、1-5)、1-9)					
授業の目的、概要等					
人々はどうすれば共に生きることができるのか。西洋の哲学者や思想家は古代以来、「社会」に生きる人間のあり方について論じてきた。こうした探究は、現代に生きる我々が「社会」との関わり方を考えるヒントを与えている。本講義では「社会」に関する古代から初期近代までの西洋の代表的な思想を学ぶことで、学生一人ひとりが「社会」との関わりについて自覚的に、かつ自分の力で考える力を養うことを目指す。					
授業の到達目標					
・古代から初期近代までの社会思想史の全体像を把握すること。					
・社会について問題意識をもち、自らの力で批判的に考察する力を獲得すること。					
・講義の内容を手がかりに、自分の力で文献を読み、自分の言葉で論じることができるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/8	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
2	5/15	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
3	5/22	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
4	5/29	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
5	6/5	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
6	6/12	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
7	6/19	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
8	6/26	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
9	7/3	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
10	7/10	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
11	7/17	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
12	7/24	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
13	7/31	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
14	9/4	09:10-10:40		上田 悠久	

				木谷 真紀子
15	9/11	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子
授業方法 講義形式で行う。ただし資料やリアクション・ペーパーを活用し、随時アクティブ・ラーニングを取り入れる。				
授業内容 1. イントロダクション 2. 古代ギリシアの社会とデモクラシー 3. プラトンの正義論と政治論 4. アリストテレスの倫理学 5. アリストテレスの政治学 6. 古代ギリシアにおける政治と哲学 7. 古代ローマ共和制の思想 8. 中世の社会における政治と宗教 9. マキアヴェッリの統治論 10. 主権概念と国家概念の形成 11. ルネッサンスの人文主義と宗教改革 12. ホッブズの科学的政治学 13. ホッブズの政治社会論 14. ホッブズにおける政治と宗教 15. まとめ：古代の社会と近代の社会				
成績評価の方法 評価：試験またはレポート 70% ・ その他(リアクションペーパー・授業への貢献) 30% 再評価：有(レポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料を配ることがあるので、その際は講義までに読んでおくこと。講義後は、講義中にとったノートや配布資料を見返すだけでなく、講義で紹介したテキストや参考文献を自分自身で読み、理解を深めてほしい。				
教科書 特定のテキストは用いない。随時資料を配布する。				
参考書 坂本達哉『社会思想の歴史——マキアヴェリからロールズまで』名古屋大学出版会、2014 年。 川出良枝・山岡龍一『西洋政治思想史——視座と論点』岩波書店、2012 年。 宇野重規『西洋政治思想史』有斐閣、2013 年。 その他の文献については講義の中で紹介する。				
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用する。レポート提出や期末考査・再試験等の受験には、原則として3分の2以上の出席が必要である。また毎回リアクション・ペーパーを書いてもらう。				

時間割番号	000031				
科目名	社会思想史Ⅱ			科目ID	LA-113100-Z
担当教員	上田 悠久[UEDA Haruhisa]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜 1限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)、1-3)、1-5)、1-9)					
授業の目的、概要等					
人間が欲望に従い自己利益を追求する性質を持つのであれば、果たして人間は「社会」を営むことができるのだろうか。それともそうした人間観こそ見直されるべきなのか。古代以来の社会思想の探究は、近代社会の発展とともに重要度を増していった。本講義では近代以降の西洋の社会思想史を「市民社会」をキーワードに概観し、近代「社会」の中に生きる我々が、「社会」との関わりについて自覚的に、かつ自分の力で考える力を養うことを目指す。					
授業の到達目標					
・近代以降の社会思想史の全体像を把握すること。					
・社会について問題意識をもち、自らの力で批判的に考察する力を獲得すること。					
・講義の内容を手がかりに、自分の力で文献を読み、自分の言葉で論じることができるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/9	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
2	10/16	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
3	10/23	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
4	10/30	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
5	11/6	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
6	11/13	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
7	11/20	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
8	11/27	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
9	12/4	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
10	12/11	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
11	12/18	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
12	1/8	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
13	1/15	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
14	1/22	09:10-10:40		上田 悠久	

				木谷 真紀子	
15	1/29	09:10-10:40		上田 悠久 木谷 真紀子	
授業方法 講義形式で行う。ただし資料やリアクション・ペーパーを活用し、随時アクティブ・ラーニングを取り入れる。					
授業内容 1. イントロダクション 2. 市民社会論の系譜 3. ロックの市民社会論 4. ロックにおける自由と寛容 5. 18世紀啓蒙思想と文明社会論 6. スコットランド啓蒙の文明社会論 7. ルソーの文明社会批判 8. ルソーの市民社会論 9. スミスの文明社会論 10. 社会思想史における女性 11. J. S. ミルの市民社会論 12. 功利主義の思想史 13. ウェーバーと近代社会 14. 20世紀の市民社会論とロールズの正義論 15. まとめ:21世紀の市民社会					
成績評価の方法 評価：試験またはレポート 70% ・ その他(リアクションペーパー・授業への貢献) 30% 再評価：有(レポート)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料を配ることがあるので、その際は講義までに読んでおくこと。講義後は、講義中にとったノートや配布資料を見返すだけでなく、講義で紹介したテキストや参考文献を自分自身で読み、理解を深めてほしい。					
教科書 特定のテキストは用いない。随時資料を配布する。					
参考書 坂本達哉『社会思想の歴史——マキアヴェリからロールズまで』名古屋大学出版会、2014 年。 川出良枝・山岡龍一『西洋政治思想史——視座と論点』岩波書店、2012 年。 宇野重規『西洋政治思想史』有斐閣、2013 年。 この他の文献については講義の中で紹介する。					
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用する。レポート提出や期末考査・再試験等の受験には、原則として3分の2以上の出席が必要である。また毎回リアクション・ペーパーを書いてもらう。					

時間割番号	000032				
科目名	文化人類学 I			科目 ID	LA-113200-Z
担当教員	三谷 純子[MITANI JUNKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜 2限 募集人数: 25人以下					
授業の目的、概要等					
未来を担う子どもの主体性や尊厳を尊重し、彼らの参加を含む子どもの権利の促進を図りながら持続可能な開発を目指す基盤となる 子どもの権利条約や制度を先ず知ります。主に生きる権利に関し、具体的な例を通じて、文化を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対に正しい即座の解決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とします。					
授業の到達目標					
目標1. 子どもの権利条約の概要、子ども支援に関する国際社会の枠組み、MDG(ミレニアム開発目標)・SDG(持続可能な開発目標)と子どもの権利の関係について説明できる。					
目標2. 世界の子どもの権利の現状と解決への取り組みについて具体例をあげて説明できる。					
目標3. 文化と開発の複雑な関係について具体例をあげて説明できる。					
目標4. 自分の意見を明確に主張し、他人の意見をよく聞いて、議論した結果をわかりやすく発表できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/11	10:50-12:20		三谷 純子	
2	5/18	10:50-12:20		三谷 純子	
3	5/25	10:50-12:20		三谷 純子	
4	6/1	10:50-12:20		三谷 純子	
5	6/8	10:50-12:20		三谷 純子	
6	6/15	10:50-12:20		三谷 純子	
7	6/22	10:50-12:20		三谷 純子	
8	6/29	10:50-12:20		三谷 純子	
9	7/6	10:50-12:20		三谷 純子	
10	7/13	10:50-12:20		三谷 純子	
11	7/20	10:50-12:20		三谷 純子	
12	7/27	10:50-12:20		三谷 純子	
13	8/31	10:50-12:20		三谷 純子	
14	9/7	10:50-12:20		三谷 純子	
15	9/14	10:50-12:20		三谷 純子	
授業方法					
講義、ビデオ視聴、資料解説、授業中のグループワークによる発表、ニュース・モニタリングと発表					
授業内容					
1. イントロダクション・授業の概要説明・子どもの概念					
2. ユニセフの概要と主要なパートナー・メディアの倫理規定					
3. 子どもの権利条約と3つの選択議定書					
4. MDG・SDG と公平性					
5. 子ども権利の主要な指標からみた子どもの現状					
6. 学齢前の発達					

7. 予防接種と社会動員 8&9. 水と衛生 & ジェンダー 10. エボラ対策 11. HIV/AIDS 12. FGM（女性器切除） 13. 児童労働 14. 企業を含む市民社会の参加 15. まとめ
成績評価の方法 評価：試験 50 % ・ レポート % ・ 授業中の議論への参加・発表、質問、ニュースモニタリングと発表 50 % 再評価：有（再評価方法） ・ 無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 授業中のグループワークのために資料や短いビデオを見てくることを課す場合があります。週に一つ子どもに関するニュースを見つけ、授業に関連させて考えてください。
教科書 授業中に、主にユニセフや国連、世界銀行等の最新の英文資料を教員が日本語でまとめたパワポのプリントや資料を配布するので A4 フォルダーを用意してください。英語のグラフを使うことがあります。日本語翻訳を無料でダウンロードできる場合は適宜お知らせします。
参考書 www.unicef.or.jp/library で『ユニセフ世界子ども白書』日本語版過去10年分と先進国の子どもに関する日本語報告のダウンロード可。報告書や最新データは www.unicef.org や www.childinfo.org/mics.html や、WHO、CDC、WB、Save the Children 等のHPで。UNICEFの概説は、Richard Jolly UNICEF: Global Governance that works. Routledge 2014 がわかりやすいです。
履修上の注意事項 出欠は、授業の最後に提出するフィードバックシートの提出の有無を優先させます。グループワークの支障になるので遅刻しないように注意してください。医学や看護の専門領域ではなく、政策決定に関するアドボカシー、行動を変えるための広報、社会動員、メディアや各種団体との協働、資金調達、企業の社会的責任等について取り上げます。
備考 キーワード: 子どもの権利、文化

時間割番号	000035				
科目名	文化人類学Ⅱ			科目ID	LA-113300-Z
担当教員	三谷 純子[MITANI JUNKO]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜2限 募集人数: 25人以下					
授業の目的、概要等					
戦争や紛争、不安定な治安、深刻な差別や迫害、極度の貧困、国家間の法律の違い等は、子どもの守られる権利や育つ権利に大きく影響します。日本も国際社会で一層の役割を果たすことが期待されています。またグローバル化に伴い、日本で暮らす外国にルーツを持つ子どもも増えており、将来、皆さんの医療関係の仕事や地域社会の生活でも、相互理解を深めることが重要になると考えられます。この授業では、半分为子どもである難民や、移民、無国籍・無戸籍の子どもを含む人々を取り上げ、文化や経済、治安を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対に正しい即座の解決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とします。					
授業の到達目標					
目標1. 子どもの保護の中でも難民・移民・無国籍に関する現状及び関係する国際法や国際社会の対応の枠組み、課題について説明できる。					
目標2. 上記の問題に関し、日本と関わりがあることを理解し、日本の取り組みや課題について説明できる。					
目標3. 自分の意見を明確に主張し、他人の意見をよく聞いて、議論した結果をわかりやすく発表できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子	
2	10/12	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子	
3	10/19	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子	
4	10/26	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子	
5	11/2	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子	
6	11/9	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子	
7	11/16	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子	
8	11/23	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子	
9	11/30	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子	
10	12/7	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子	
11	12/14	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子	
12	12/21	10:50-12:20		三谷 純子,	

				木谷 真紀子	
13	1/18	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子	
14	1/25	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子	
15	2/1	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子	
授業方法 講義、ビデオ視聴、資料解説、授業中のグループワークによる発表、メディアモニタリングと発表					
授業内容 1. イントロダクション(シラバスの説明・質疑応答) 2. 各自の名の由来・日本と世界の名を巡る多様な文化 3. 世界の出生登録の現状と国際社会の取り組み 4. 日本の無戸籍 5. 無国籍に関する国際条約と国際社会の取り組み 6. 国籍を希求する人々と無国籍のままを望む人々 6. 難民の地位に関する条約と定義、難民概念の拡大、 8. 3つの恒久的解決と難民に関するグローバルコンパクト 9. 日本の難民認定制度の現状と課題 11. Migrants の定義と移民の概念、統計 12. 移民理論と移住労働者の権利 13. 日本の外国人労働者とこども 14. 当事者の視点 15. まとめ					
成績評価の方法 評価：試験 50 % ・ レポート % ・ 授業中の議論への参加・発表、質問、ニュースモニタリングと発表 50 % 再評価：有(再評価方法) ・ 無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 授業中のグループワークのために資料や短いビデオを見てくることを課す場合があります。週に一つ子どもに関するニュースを見つけ、授業に関連させて考えてください。					
教科書 授業中に、主に UNHCR IOM や国連等の最新の英文資料を教員が日本語でまとめたパワポのプリントや資料を配布するので A4フォルダーを用意してください。英語のグラフを使うことがあります。日本語翻訳を無料でダウンロードできる場合は適宜お知					
参考書 難民レジームの歴史は、UNHCR『世界難民白書2000 人道行動の50年史』日本語版、時事通信社、2001 年。人の移動の概説は、S. カースルズ他『国際移民の時代』第4版、名古屋大学出版会、2011 年。2016 滝澤三郎他編著「難民を知るための基礎知識」明石書店 2017 遠藤正敬「戸籍と無戸籍」人文書院 2017 他に UNICEF, UNOCHA, UNHCR, UN, IOM, ILO,世界銀行等 のHP。世界の無国籍は www.institutesi.org 、日本の難民や無国籍は www.refugee.or.jp や www.stateless-network.com 等。読みやすい本は授業中に紹介します。					
履修上の注意事項 出欠は、授業の最後に提出するフィードバックシートの提出の有無を優先させます。グループワークの支障になるので遅刻しないように					

注意してください。前期より講義の割合が高くなります。2回目の授業の前に、自分の名前の由来をご家族に聞いておいてください。

備考

キーワード: 無国籍、難民、移民

時間割番号	000845				
科目名	Japanese Culture and Society I			科目ID	LA-113600-Z
担当教員	今村 圭介[IMAMURA KEISUKE]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
主な講義場所 3番教室					
授業の目的、概要等 文化、社会という概念は、個人の経験に基づく相対的なものであり、様々な視点や比較を通すことで、明確になってくるものです。「文化」「社会」という言葉でさえ、明治初期に“culture”, “society”から翻訳されて日本語に入った借用語です。 本授業では、外国人から見た日本文化・社会の様々な側面をドキュメンタリー映画、ブログ、雑誌記事、本など様々な媒体から学び、ディスカッションをしていきます。 この授業は、基本的に英語で行いますが、補助的に日本語も使います。 また、基本的には入学時の TOEFL のスコアが 530 以下の学生を対象に行います。530 以上の学生は後期に英語のみで行う Japanese culture and society II を受講してください。TOEFL スコア 530 以上でも英語に自信がなく、本授業を受けたい学生は初回授業の時に相談してください。					
授業の到達目標 1.日本文化社会に対する新しい視点を獲得する。 2.日本文化社会の諸側面に関して英語で意見を述べることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/11	10:50-12:20		今村 圭介	
2	5/18	10:50-12:20		今村 圭介	
3	5/25	10:50-12:20		今村 圭介	
4	6/1	10:50-12:20		今村 圭介	
5	6/8	10:50-12:20		今村 圭介	
6	6/15	10:50-12:20		今村 圭介	
7	6/22	10:50-12:20		今村 圭介	
8	6/29	10:50-12:20		今村 圭介	
9	7/6	10:50-12:20		今村 圭介	
10	7/13	10:50-12:20		今村 圭介	
11	7/20	10:50-12:20		今村 圭介	
12	7/27	10:50-12:20		今村 圭介	
13	8/31	10:50-12:20		今村 圭介	
14	9/7	10:50-12:20		今村 圭介	
15	9/14	10:50-12:20		今村 圭介	
授業方法 Lecture Reading Discussion Presentation					
授業内容 1. Introduction/Orientation 2. Enhancing cultural awareness 3. Japan from views of foreigners 4. Japan from views of foreigners 2 5. Guest speaker					

6. Cultural differences and culture shock 7. Implicit / Explicit communication 8. Collectivism and Individualism 9. Decision making in Japan 10. Leadership, hierarchy and power 11. Gender roles and equality 12. Guest speaker 13. Relationships in Japan 14. Oral presentations 15. Summary/ Reflection
成績評価の方法 授業参加度 40 % 課題 30 % プレゼンテーション 30%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and active participation are both essential for this course.
試験の受験資格 原則3分の2以上出席
参考書 Exploring Culture／Gert Jan Hofstede, Paul B. Pedersen, Geert Hofstede: Intercultural Press, Inc., 2002 The Japanese mind : understanding contemporary Japanese culture／Roger J. Daivis／,Osamu Ikeno／,, 2002 : 英治出版
他科目との関連 Japanese culture and Society I と Japanese culture and society II の重複受講は認められません。
履修上の注意事項 本授業は基本的には入学時の TOEFL のスコアが 530 以下の学生を対象に行います。530 以上の学生は後期に英語のみで行う Japanese culture and society II を受講してください。
連絡先(メールアドレス) Imamura.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000857				
科目名	グローバル教養科目・Linguistics			科目ID	LA-113801-Z
担当教員	今村 圭介[IMAMURA KEISUKE]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
主な講義場所					
3 番教室					
授業の目的、概要等					
This course will explore the relation between language and society. Since language is used as a means of communication within a society, it carries social functions and is used to convey social meanings. In this course, we will learn sociolinguistic theories and discuss topics using examples from various languages, particularly the ones we know, English and Japanese. We will discuss questions such as: Why do men and women speak differently? What influences us to speak differently in everyday life? How do people use different languages in a multilingual community?					
授業の到達目標					
Course objectives:					
1. To understand the interplay of language and society.					
2. To acquire analytical perspective on everyday language.					
3. To deepen our understanding of different languages and cultures.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/11	09:10-10:40		今村 圭介	
2	5/18	09:10-10:40		今村 圭介	
3	5/25	09:10-10:40		今村 圭介	
4	6/1	09:10-10:40		今村 圭介	
5	6/8	09:10-10:40		今村 圭介	
6	6/15	09:10-10:40		今村 圭介	
7	6/22	09:10-10:40		今村 圭介	
8	6/29	09:10-10:40		今村 圭介	
9	7/6	09:10-10:40		今村 圭介	
10	7/13	09:10-10:40		今村 圭介	
11	7/20	09:10-10:40		今村 圭介	
12	7/27	09:10-10:40		今村 圭介	
13	8/31	09:10-10:40		今村 圭介	
14	9/7	09:10-10:40		今村 圭介	
15	9/14	09:10-10:40		今村 圭介	
授業方法					
Lectures					
Readings					
Discussion					
授業内容					
1. Introduction					
2. Language variation within community					
3. Language variation within community					
4. Language variation within community					
5. Linguistic variety and multilingual nation					
6. Linguistic variety and multilingual nation					

7. Linguistic variety and multilingual nation 8. Regional and social dialects 9. Regional and social dialects 10. Guest speaker 11. Ethnicity and social network 12. Ethnicity and social network 13. Language maintenance and shift 14. Language maintenance and shift 15. Final Exam
成績評価の方法 Participation: 40% Final Exam: 30% Final Essay: 30%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and active participation are both essential for this course.
試験の受験資格 原則3分の2以上出席
参考書 Holmes, J. & Wilson, N (2017) An Introduction to Sociolinguistics (Learning about Language) 5th edition, Routledge
履修上の注意事項 This course is targeted for students who are taking the upper level English class, and not recommended for students whose TOEFL score is under 530. Lectures are given in English and students are encouraged to discuss in English. If you are not confident in listening/speaking in English but willing to enroll in this course, please consult the lecturer in the first class.
連絡先(メールアドレス) Imamura.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000919				
科目名	グローバル教養科目・Men and Women in the Modern World			科目ID	LA-113802-Z
担当教員					
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業	科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-2; 1-4; 1-5; 3-1; 3-2; 3-3; 3-4; 3-5; 3-6				
授業の目的、概要等					
What does it mean to be a man or women in the world today? Is gender universal? How is it related to biology? What is the difference between masculinity and femininity? This course will explore the answers to these questions by comparing definitions and experiences of gender around the world. Students will then analyze their own ideas and perceptions of gender in contemporary Japan.					
授業の到達目標					
At the end of the course, students will be able to:					
1. Think critically about concepts of gender and gender roles in contemporary society and self-reflect on current assumptions					
2. Understand and discuss basic social science approaches to gender such as social norms and socialization and apply these critical thinking concepts to new topics independently					
3. Improve oral and written communication in English through in class discussions and other assignments					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/11	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
2	5/18	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
3	5/25	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
4	6/1	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
5	6/8	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
6	6/15	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
7	6/22	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
8	6/29	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
9	7/6	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	

10	7/13	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN
11	7/20	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN
12	7/27	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN
13	8/31	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN
14	9/7	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN
15	9/14	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN

授業方法

Discussion

Reading comprehension, summaries and research

Presentations

Other in class activities

授業内容

SCHEDULE (Subject to change)

Week 1: Introduction to course

SOCIAL NORMS AND GENDER ROLES

Week 2: Gender rules and your behavior

Week 3: The “social construction” of gender (sex vs. gender)

Week 4: Masculinity in Japan: The Salaryman

Week 5: Femininity in Japan: The Housewife

SOCIALIZATION AND SANCTIONS

Week 6: Growing up male in the US

Week 7: Sanctioning in the work place

Week 8: Language socialization in Japan

INEQUALITY AND STRATIFICATION

Week 9: Hunter gatherer gender equality

Week 10: Modern structural gender inequality Week 11: Gender discrimination (impacts men and women) RESISTANCE AND CHANGE Week 12: Homosexuality, transgender and 3rd genders Week 13: Resisting social norms Week 14: Gyaru Week 15: Final group presentations
成績評価の方法 Attendance and in class participation: 30% Homework: 30% Final presentation: 20% Critical analysis paper: 20%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 If students fail to turn in homework assignments on time, they will be accepted for half-credit only when submitted in person at the beginning of the following week's session. HOMEWORK WILL NOT BE ACCEPTED BY EMAIL. Homework assignments more than one week late, or not turned in as hardcopy, will not be accepted and will receive a zero.
試験の受験資格 There is no official final examination for this course. Attendance to two-thirds of the course is required to receive credit.
教科書 Assigned readings will be given in class or distributed via email.
履修上の注意事項 Attendance and participation with in class discussions is essential. If students are absent, they will receive a zero for that session's participation and attendance score.

時間割番号	000877				
科目名	グローバル教養科目・Japanese linguistics			科目ID	LA-113805-Z
担当教員	今村 圭介[IMAMURA KEISUKE]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
主な講義場所 3番教室					
授業の目的、概要等 Just like any other language, the Japanese language has its own unique characteristics. However, as native speakers there is a tendency not to notice the uniqueness. When posed with questions from Japanese learners, it is often challenging to explain certain concepts and rules. Analyzing the Japanese from a linguistic perspective gives native speakers a deeper understanding. This course aims to provide students with an objective perspective and knowledge of the Japanese language. A typical class includes introduction questions/discussion and lectures on the target topic. The class will be held in English and students will be encouraged to discuss in English. Therefore students are expected to have adequate competence in English.					
授業の到達目標 Course objectives are: 1. To deepen understanding of the Japanese language with comparison to other languages. 2. To gain linguistic understanding of the Japanese language. 3. To develop analytical skill of all languages.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	09:10-10:40		今村 圭介, 木谷 真紀子	
2	10/12	09:10-10:40		今村 圭介, 木谷 真紀子	
3	10/19	09:10-10:40		今村 圭介, 木谷 真紀子	
4	10/26	09:10-10:40		今村 圭介, 木谷 真紀子	
5	11/2	09:10-10:40		今村 圭介, 木谷 真紀子	
6	11/9	09:10-10:40		今村 圭介, 木谷 真紀子	
7	11/16	09:10-10:40		今村 圭介, 木谷 真紀子	
8	11/23	09:10-10:40		今村 圭介, 木谷 真紀子	
9	11/30	09:10-10:40		今村 圭介, 木谷 真紀子	
10	12/7	09:10-10:40		今村 圭介, 木谷 真紀子	
11	12/14	09:10-10:40		今村 圭介, 木谷 真紀子	
12	12/21	09:10-10:40		今村 圭介, 木谷 真紀子	
13	1/18	09:10-10:40		今村 圭介,	

				木谷 真紀子	
14	1/25	09:10-10:40		今村 圭介, 木谷 真紀子	
15	2/1	09:10-10:40		今村 圭介, 木谷 真紀子	
授業方法					
Lecture					
Discussion					
Reading					
授業内容					
1. Orientation/ Introduction					
2. Japanese and world languages					
3. Japanese sounds					
4. Accent/Intonation					
5. Writing system					
6. Lexicon (vocabulary)					
7. Grammar 1					
8. Grammar 2					
9. Honorifics					
10. Discussion					
11. Dialects					
12. Language change					
13. Second language acquisition					
14. Review					
15. Final exam					
成績評価の方法					
Participation 40%					
Final Exam 30%					
Final Essay 30%					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
Attendance and active participation are both essential for this course.					
試験の受験資格					
原則3分の2以上出席					
参考書					
Japanese : a linguistic introduction／Yoko Hasegawa, : Cambridge University Press, 2015					
履修上の注意事項					
This course is targeted for students who are taking the upper level English class, and not recommended for students whose TOEFL score is under 530. Lectures are given in English and students are encouraged to discuss in English. If you are not confident in listening/speaking in English but willing to enroll in this course, please consult the lecturer in the first class.					
連絡先(メールアドレス)					
今村 圭介Imamura.Jas@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
今村 圭介:毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00					

時間割番号	000947				
科目名	グローバル教養科目・An Introduction to Moral Philosophy			科目ID	LA-113809-Z
担当教員	高江 可奈子[TAKAE Kanako]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜 1 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-5, 1-9, 3-1					
授業の目的、概要等					
In this course we will be reading “An Introduction to Moral Philosophy” by Jonathan Wolff. Through reading the book, students will be introduced to philosophical/ethical arguments and will learn how to engage in philosophy. The course has three aims: 1) to understand philosophical/ethical issues relating on various topics 2) to acquire 'active-reading' skills in philosophical readings, and 3) to engage in discussions in English.					
授業の到達目標					
Through this course, students will be able to					
1) understand the characteristics of philosophical arguments and how they are conveyed in writing.					
2) acquire active-reading skills in english.					
3) express their ideas/thoughts and participate in discussions in english.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/8	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
2	5/15	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
3	5/22	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
4	5/29	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
5	6/5	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
6	6/12	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
7	6/19	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
8	6/26	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
9	7/3	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
10	7/10	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
11	7/17	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
12	7/24	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
13	7/31	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	

14	9/4	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
15	9/11	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
授業方法 The class consists of a brief lecture on an assigned reading material and classroom discussion. The basics of academic writing will be directed in class.					
授業内容 1. Moral Philosophy and Moral Reasoning 2. Cultural Relativism 3. Skepticism and Subjectivism 4. Free Will and Moral Responsibility 5. Religion and Natural Law 6. Egoism 7. The Social Contract 8. Utilitarianism: Bentham and Mill 9. Challenges for Utilitarianism 10. Deontology: Kant 11. Challenges for Kantian Ethics 12. Virtue Ethics: Aristotle 13. Challenges for Virtue Ethics 14. The Ethics of Gender and Race 15. Developing a Moral Outlook					
成績評価の方法 Class attendance and participation in discussion 50% ・ Essay 50%					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 ・Students are expected to make active engagement in classroom discussions. ・Students are expected to read an assigned material in advance of class.					
教科書 “An Introduction to Moral Philosophy” by Jonathan Wolff					
履修上の注意事項 ・This course is delivered in English. ・Submission of an ‘in-class’ question sheet counts as attendance in this course (instead of the University’s Attendance Management System). ・Students are marked absent from class if they are more than 20 minutes late.					
備考 discussion, philosophy, ethics, 哲学、ディスカッション、アクティブ・ラーニング					

時間割番号	000948				
科目名	グローバル教養科目・Introduction to Political Economy			科目ID	LA-113810-Z
担当教員	原田 健二郎[HARADA Kennjiro]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 金曜 1 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1ー2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

3ー1)国際的に活躍するための語学力を養う

3ー5)国際情勢を理解する

授業の目的、概要等					
This course is intended as an introductory reading seminar in politics and economics.					
Through reading an English/Japanese textbook for beginners in political economy, students will learn basic concepts, ideas and arguments of global politics and economy. The readings will deal with topics such as war and peace, world poverty, nationalism, the environment, public health and social justice.					
Students are also encouraged to develop their discussion and presentation skills in English.					
At the end of the course, students will submit a short essay based on what they have learned through this course.					

授業の到達目標					
Students completing this course will be able to:					
1) Gain basic knowledge of politics and the economy in the globalized world					
2) Think critically about current world affairs					
3) Improve their communication skills in English					

授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/8	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
2	5/15	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
3	5/22	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
4	5/29	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
5	6/5	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
6	6/12	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
7	6/19	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
8	6/26	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
9	7/3	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
10	7/10	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
11	7/17	09:10-10:40		原田 健二郎	

				木谷 真紀子
12	7/24	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子
13	7/31	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子
14	9/4	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子
15	9/11	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子
授業方法 This course is basically a 'reading seminar', but combines seminars with lectures. Each session usually starts with a short introductory lecture by the instructor and is followed by discussions on the text among all participants.				
授業内容 *The course plan below is based on the 'Contents' of the textbook, and is subject to change. 1. Introduction 2. War and Peace (I) 3. War and Peace (II) 4. Rich and Poor (I) 5. Rich and Poor (II) 6. Globalization and Nationalism (I) 7. Globalization and Nationalism (II) 8. Globalization and the Economy (I) 9. Globalization and the Economy (II) 10. Development and the Environment (I) 11. Development and the Environment (II) 12. Technology and Science (I) 13. Technology and Science (II) 14. Society and Justice (I) 15. Society and Justice (II)				
成績評価の方法 評価：試験 0 %・レポート 40 %・その他(授業参加、プレゼンテーション)60 % 再評価：有(再評価方法:追加レポート) *As this course is delivered in a seminar format, your active participation in discussion is essential.				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 Students are required to come to class having read the assigned text and prepared to discuss.				
教科書 飯野公一, ティモシー・スール, 若田部昌澄『英語で政治経済学(ポリティカル・エコノミー)しませんか』有斐閣, 2014 年.				
履修上の注意事項 This course will be conducted in English. To receive credit, students must attend two-thirds of all classes and submit a short essay at the end of the semester.				

時間割番号	000949				
科目名	グローバル教養科目・Better Never to Have Been			科目ID	LA-113811-Z
担当教員	高江 可奈子[TAKAE Kanako]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜 1 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-5, 1-9, 3-1					
授業の目的、概要等					
In this course, we will be reading “Better Never to Have Been: The Harm of Coming Into Existence” by David Benatar. Through reading the book, students will be introduced to philosophical arguments and will be learning how to engage in philosophy. The course has three aims: 1) to understand Benatar’s argument on antinatalism 2) to acquire ‘active-reading’ skills in philosophical readings, and 3) to engage in discussions in English.					
授業の到達目標					
Through this course, students will be able to					
1) understand the characteristics of philosophical arguments and how they are conveyed in writing.					
2) acquire active-reading skills in english.					
3) express their ideas/thoughts and participate in discussions in english.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/9	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
2	10/16	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
3	10/23	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
4	10/30	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
5	11/6	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
6	11/13	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
7	11/20	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
8	11/27	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
9	12/4	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
10	12/11	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
11	12/18	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
12	1/8	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
13	1/15	09:10-10:40		高江 可奈子,	

				木谷 真紀子	
14	1/22	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
15	1/29	09:10-10:40		高江 可奈子, 木谷 真紀子	
授業方法 The class consists of a brief lecture on an assigned reading material and classroom discussion. The basics of academic writing will be directed in class.					
授業内容 1. Introduction 2&3. Why Coming into Existence is Always a Harm 4&5. How Bad is Coming into Existence? 6&7&8 Having Children: The Anti-Natal View 8. Abortion: The 'Pro-Death' View 9&10 Population and Extinction 11. Conclusion 12&13&14&15 Academic Writing					
成績評価の方法 Class attendance and participation in discussion 50% ・ Essay 50%					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 ・Students are expected to make active engagement in classroom discussions. ・Students are expected to read an assigned material in advance of class.					
教科書 “Better Never to Have Been: The Harm of Coming into Existence” by David Benatar					
履修上の注意事項 ・This course is delivered in English. ・Submission of an ‘in-class’ question sheet counts as attendance in this course (instead of the University’s Attendance Management System). ・Students are marked absent from class if they are more than 20 minutes late.					
備考 discussion, philosophy, ethics, 哲学、ディスカッション、アクティブ・ラーニング					

時間割番号	000902				
科目名	グローバル教養科目・Understanding Globalization			科目ID	LA-113804-Z
担当教員	原田 健二郎[HARADA Kenjiro]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜 1 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
1ー2)社会制度や仕組みについての基本を理解する					
3ー1)国際的に活躍するための語学力を養う					
3ー5)国際情勢を理解する					
授業の目的、概要等					
This course explores one of the most defining features of the contemporary world, which is 'globalization'. Globalization has brought us a growing sense of interdependence and interconnectedness, and created both opportunities and challenges around the world.					
Through reading a very introductory textbook on globalization, students will learn various aspects of globalization from historical, economic, political, cultural and ecological perspectives.					
At the end of the course, students will submit a short essay based on what they have learned through this course.					
授業の到達目標					
Students completing this course will be able to:					
1) Gain wider understanding of globalization and world affairs in general					
2) Express their own opinions on the place of Japan in the globalizing world					
3) Improve their communication skills in English					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/9	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
2	10/16	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
3	10/23	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
4	10/30	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
5	11/6	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
6	11/13	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
7	11/20	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
8	11/27	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
9	12/4	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
10	12/11	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	
11	12/18	09:10-10:40		原田 健二郎 木谷 真紀子	

12	1/8	09:10-10:40		原田 健二朗 木谷 真紀子
13	1/15	09:10-10:40		原田 健二朗 木谷 真紀子
14	1/22	09:10-10:40		原田 健二朗 木谷 真紀子
15	1/29	09:10-10:40		原田 健二朗 木谷 真紀子
授業方法 This course is basically a 'reading seminar', but combines seminars with lectures. Each session usually starts with a short introductory lecture by the instructor and is followed by discussions on the text among all participants.				
授業内容 *The course plan below is based on the 'Contents' of the textbook, and is subject to change. 1. Introduction 2. Globalization: A Contested Concept (I) 3. Globalization: A Contested Concept (II) 4. Globalization in History (I) 5. Globalization in History (II) 6. The Economic Dimension of Globalization (I) 7. The Economic Dimension of Globalization (II) 8. The Political Dimension of Globalization (I) 9. The Political Dimension of Globalization (II) 10. The Cultural Dimension of Globalization 11. The Ecological Dimension of Globalization 12. Ideologies of Globalization (I) 13. Ideologies of Globalization (II) 14. The Future of Globalization 15. Concluding Session				
成績評価の方法 評価 : 試験 0 %・レポート 40 %・その他(授業参加、プレゼンテーション) 60 % 再評価: 有(再評価方法: 追加レポート) *As this course is delivered in a seminar format, your active participation in discussion is essential.				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 Students are required to come to class having read the assigned text and prepared to discuss.				
教科書 Manfred B. Steger, Globalization: A Very Short Introduction, 4th Edition (Oxford University Press, 2017).				
履修上の注意事項 This course will be conducted in English. To receive credit, students must attend two-thirds of all classes and submit a short essay at the end of the semester.				

時間割番号	000968				
科目名	グローバル教養科目・Science as Culture: Between the US and Japan			科目ID	LA-113812-Z
担当教員	CARLSON REBECCA LYNN[CARLSON REBECCA LYNN]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業	科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-2; 1-4; 1-5; 3-1; 3-2; 3-3; 3-4; 3-5; 3-6				
授業の目的、概要等					
Scientific research and discovery is a key component of all modern societies. The knowledge it generates is central to advancements in technology, industry and medicine. It informs local and global policy decisions on topics ranging from environmental change, population control, food and water security, and healthcare such as infectious disease pandemics like the recent COVID-19 outbreak.					
Despite the perception of science as a neutral, universal endeavour, it is profoundly shaped by history and culture. This course will consider the social construction of scientific practice in the US and Japan with consideration of the impact of politics and power on the cross-cultural production of science and bio-scientific knowledge.					
授業の到達目標					
At the end of the course, students will be able to:					
1. Think critically about science as a cultural practice and consider cross-cultural differences in the US and Japan					
2. Apply sociological concepts of analysis learned in the course to new topics independently					
3. Improve oral and written communication in English and refine presentation skills					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
2	10/12	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
3	10/19	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
4	10/26	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
5	11/2	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
6	11/9	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
7	11/16	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
8	11/23	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN	
9	11/30	10:50-12:20		CARLSON	

				REBECCA LYNN
10	12/7	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN
11	12/14	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN
12	12/21	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN
13	1/18	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN
14	1/25	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN
15	2/1	10:50-12:20		CARLSON REBECCA LYNN

授業方法

Discussion

Reading comprehension, summaries and research

Presentations

Other in class activities

授業内容

Schedule (subject to change)

Week 1: Introduction to course

Week 2: Science as culture

Week 3: The origins of science and the scientific method

Week 4: "Freedom in science" and the myth of the male pioneer

Week 5: Japanese science in history

Week 6: Networks, hierarchies and promotions

Week 7: The transnational practice of science

Week 8: The Human Genome Project

Week 9: The construction of race and population genetics

Week 10: From the bench to the clinic, images and interpretations

Week 11: Images, data representations and interpretations

Week 12: Science and government policy making Week 13: Science, identity and the cyborg Week 14: Sci-fi and the science of tomorrow Week 15: Review
成績評価の方法 Attendance: 20% Vocabulary Quizzes, Student Reviews and other assignments: 20% Critical Essay: 30% Final Poster Presentation: 30%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 If students fail to turn in homework assignments on time, they will be accepted for half-credit only when submitted in person at the beginning of the following week's session. HOMEWORK WILL NOT BE ACCEPTED BY EMAIL. Homework assignments more than one week late, or not turned in as hardcopy, will not be accepted and will receive a zero.
試験の受験資格 There is no official final examination for this course. Attendance to two-thirds of the course is required to receive credit.
教科書 Assigned readings will be given in class or distributed via email.
履修上の注意事項 Attendance and participation with in class discussions is essential. Students must read all the assigned articles before class and come prepared to vocally participate. If students are absent, they will receive a zero for that session's participation and attendance score.
連絡先(メールアドレス) CARLSON REBECCA LYNN:carlson.isc@tmd.ac.jp
オフィスアワー CARLSON REBECCA LYNN:By appointment

時間割番号	000944				
科目名	人文社会科学特論(多文化多民族共生論)			科目ID	LA-113901-Z
担当教員	濱本 真実[HAMAMOTO Mami]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 月曜 2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1ー3)人間の歴史的営みを理解する

1ー4)異なる空間の文化を理解する

3ー4) 外国文化を理解する

授業の目的、概要等
イスラームと聞くと、多くの人は中東を思い浮かべるだろうが、中央ユーラシアやロシアにも多くのイスラーム教徒(ムスリム)が居住している。
ロシアは現在では多宗教国家を標榜しているが、20 世紀初頭まで、ながらくキリスト教の正教(東方正教)を国教としてきた国であり、ロシア帝国下のイスラーム教徒は、キリスト教徒を君主とする国で自らのイスラームの信仰を護っていたのだった。
本講義では、かつてロシア帝国に含まれた中央ユーラシア諸地域とロシアのイスラーム教徒に焦点を当てながら、両地域の相互関係や、日本ではなじみの薄いキリスト教の正教とイスラームという二つの宗教について学ぶ。そして、イスラーム教徒とキリスト教徒の共生という問題を考える。

授業の到達目標
1. 中央ユーラシアの文化と歴史、さらに、中央ユーラシアとロシアの深く長い関係について理解を深める。
2. キリスト教の正教(東方正教)とイスラームという2つの宗教について理解を深める。
3. イスラーム教徒とキリスト教徒の共生の歴史を、ロシア(ロシア帝国、ソ連、現在のロシア連邦)を例に理解する。

授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	10:50-12:20		濱本 真実 木谷 真紀子
2	5/18	10:50-12:20		濱本 真実 木谷 真紀子
3	5/25	10:50-12:20		濱本 真実 木谷 真紀子
4	6/1	10:50-12:20		濱本 真実 木谷 真紀子
5	6/8	10:50-12:20		濱本 真実 木谷 真紀子
6	6/15	10:50-12:20		濱本 真実 木谷 真紀子
7	6/22	10:50-12:20		濱本 真実 木谷 真紀子
8	6/29	10:50-12:20		濱本 真実 木谷 真紀子
9	7/6	10:50-12:20		濱本 真実 木谷 真紀子
10	7/13	10:50-12:20		濱本 真実 木谷 真紀子
11	7/20	10:50-12:20		濱本 真実 木谷 真紀子

12	7/27	10:50-12:20		濱本 真実 木谷 真紀子	
13	8/31	10:50-12:20		濱本 真実 木谷 真紀子	
14	9/7	10:50-12:20		濱本 真実 木谷 真紀子	
15	9/14	10:50-12:20		濱本 真実 木谷 真紀子	
授業方法 講義					
授業内容 1. ガイダンス 2. イスラームとは？ 3. イスラーム圏の拡大 4. 中央ユーラシアのイスラーム化とテュルク化 5. キリスト教の正教(東方正教)とは？ 6. ロシアのキリスト教化 7. ロシア帝国の中央ユーラシア征服(1) 8. ロシア帝国の中央ユーラシア征服(2) 9. ロシア帝国支配下の中央ユーラシア 10. ロシア革命とイスラーム 11. ソビエト政権下のイスラーム教徒 12. 現代の中央ユーラシア(1) 13. 現代の中央ユーラシア(2) 14. 現代ロシアにおけるイスラーム教徒とキリスト教徒の共生 15. まとめ					
成績評価の方法 評価：試験 または レポート ・ 出欠、コメントシートの回答などの平常点) 20 % 再評価：有(試験もしくはレポート)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 イスラーム史とロシア史の知識が乏しい受講者は、それぞれの概説書を読んで予習しておくことが望ましい。 授業の理解が難しい場合は、授業中に配布するプリントに挙げられる参考文献を利用しての復習が必要になる。					
教科書 特になし。毎回プリントを配布する。					
参考書 毎回の授業で、授業内容に関する参考書を指示する。					
他科目との関連 原則必要なし					
履修上の注意事項 原則的に3分の2以上の出席を試験の受験資格とする。					
備考 キーワード: イスラーム、キリスト教、正教、東方正教、ロシア、ソ連、中央アジア、中央ユーラシア					

時間割番号	000945				
科目名	人文社会科学特論(高齢者福祉論)			科目ID	LA-113902-Z
担当教員	BAO MIN[BAO Min]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜 2 限 対象学科: 全学科 募集人数: 30人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)					
授業の目的、概要等					
少子高齢社会の到来により、「高齢化」は今日の社会生活にとって不可避な課題となっている。「高齢化」への取り組みは、現在、そして今後も社会のあり方を左右する重要な社会的・国家的な課題となっている。少子高齢社会は、高齢者のみならず、すべての世代に関係するテーマである。本講義では、すべての世代が支え合う社会づくりを目指す視点から、若い世代が取り組むべき課題と対応について検討することを目的としている。					
授業の到達目標					
日本における少子高齢化の状況を学び、また、高齢者の実像を知るとともに高齢者福祉の制度・政策の意義と課題を理解することができるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	10:50-12:20		BAO MIN	
2	10/12	10:50-12:20		BAO MIN	
3	10/19	10:50-12:20		BAO MIN	
4	10/26	10:50-12:20		BAO MIN	
5	11/2	10:50-12:20		BAO MIN	
6	11/9	10:50-12:20		BAO MIN	
7	11/16	10:50-12:20		BAO MIN	
8	11/23	10:50-12:20		BAO MIN	
9	11/30	10:50-12:20		BAO MIN	
10	12/7	10:50-12:20		BAO MIN	
11	12/14	10:50-12:20		BAO MIN	
12	12/21	10:50-12:20		BAO MIN	
13	1/18	10:50-12:20		BAO MIN	
14	1/25	10:50-12:20		BAO MIN	
15	2/1	10:50-12:20		BAO MIN	
授業方法					
講義					
授業内容					
第 1 回 高齢者理解の視点①					
高齢者の社会的理解					
高齢者の身体的理解					
第 2 回 高齢者理解の視点②					
高齢者の精神的理解					
高齢者の総合的理解					
第 3 回 少子高齢社会と高齢者①					
少子高齢社会と社会問題					
第 4 回 少子高齢社会と高齢者②					
高齢者を取り巻く諸問題					

第5回 高齢者保健福祉の発展と法体系 高齢者保健福祉制度の発展 高齢者保健福祉の法体系 第6回 高齢者支援の関係法規① 老人福祉法 第7回 高齢者支援の関係法規② 高齢者の医療の確保に関する法律 第8回 高齢者支援の関係法規③ 高齢者虐待防止法、その他の関係法規(バリアフリー新法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、権利擁護と成年後見制度、社会参加と生涯学習) 第9回 介護保険法の概要① 介護保険法制度の全体像、介護保険制度の目的、保険財政 第10回 介護保険法の概要② 保険者と被保険者要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付、介護報酬、地域支援事業 第11回 介護保険法の概要③ 介護保険事業計画、苦情処理、審査請求 介護保険の最近の動向 第12回 介護保険のサービス体系① 介護保険サービスにおける専門職の役割と実際 居宅サービス 第13回 介護保険のサービス体系② 施設サービス 第14回 介護保険のサービス体系③ 地域密着型サービス、介護予防サービス 第15回 まとめ 近未来の高齢者福祉課題
成績評価の方法 試験 100% ・ レポート % ・ その他() % 再評価: 有(再評価方法) ・ 無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全額共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習は特に必要ありませんが、復習をしっかりと行ってください。その際、授業中配布した資料と教科書の内容を確認し理解を深めてください。
試験の受験資格 原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。
教科書 新・社会福祉士養成講座『高齢者に対する支援と介護保険制度(第6版)』／社会福祉士養成講座編集委員会 編集:中央法規出版, 2019
参考書 障害や病気などと向き合い、全ての人が活躍できる社会に／厚生労働省編 厚生労働省,: 日経印刷 福祉小六法2020／社会福祉法人大阪ボランティア協会 編集 社会福祉法人大阪ボランティア協会,: 中央法規出版, 2019-12-11 開講後に随時提示する。
履修上の注意事項 出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。

時間割番号	000946				
科目名	人文社会科学特論(科学と社会)			科目ID	LA-113903-Z
担当教員	水島 希[MIZUSHIMA Nozomi]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する					
1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る					
1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる					
授業の目的、概要等					
医療技術を含む科学技術が人々の生活にどのような形で影響を与えているか、あるいは逆に、科学技術がどのように社会から影響を受け形成されているかを学び、これからの科学技術ガバナンスに求められる要件を考察します。主に生命科学や生殖医療を取り上げます(人工妊娠中絶、新型出生前診断(NIPT)、ゲノム編集、DIY バイオ、バイオ3Dプリンターなど)。					
授業の到達目標					
科学技術と社会との相互作用のさまざまな在り方を理解し、科学技術を多面的に見ることができるようになること。また、生命倫理、RRI (Responsible Research and Innovation, 責任ある研究・イノベーション)、科学技術への市民参加(Public Participation in Science & Technology)など、科学技術をめぐる社会的課題に取り組むための鍵となる概念を知り、その理解を深めること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	10:50-12:20		水島 希, 木谷 真紀子	
2	10/12	10:50-12:20		水島 希, 木谷 真紀子	
3	10/19	10:50-12:20		水島 希, 木谷 真紀子	
4	10/26	10:50-12:20		水島 希, 木谷 真紀子	
5	11/2	10:50-12:20		水島 希, 木谷 真紀子	
6	11/9	10:50-12:20		水島 希, 木谷 真紀子	
7	11/16	10:50-12:20		水島 希, 木谷 真紀子	
8	11/23	10:50-12:20		水島 希, 木谷 真紀子	
9	11/30	10:50-12:20		水島 希, 木谷 真紀子	
10	12/7	10:50-12:20		水島 希, 木谷 真紀子	
11	12/14	10:50-12:20		水島 希, 木谷 真紀子	
12	12/21	10:50-12:20		水島 希, 木谷 真紀子	

13	1/18	10:50-12:20		水島 希, 木谷 真紀子	
14	1/25	10:50-12:20		水島 希, 木谷 真紀子	
15	2/1	10:50-12:20		水島 希, 木谷 真紀子	
授業方法 講義と演習の混合形式です。講義パートではレジュメ等を配布し、適宜、映像を使います。 演習パートでは、グループワークをベースに、ショートスピーチ、チームディベートなど、受講人数に応じたスタイルをとります。また、講義内容に関わる社会的課題をグループで調べ、発表する機会を設けます。					
授業内容 ①イントロダクション、②身のまわりの科学技術を考える(グループワーク)、③④人工妊娠中絶、⑤生命倫理(の歴史)、⑥⑦生殖医療技術、⑧⑨新しい科学技術、⑩～⑫科学技術への市民参加、⑬⑭演習、⑮プレゼンテーション					
成績評価の方法 評価：試験　　％・レポート50％・その他(平常授業課題、授業への貢献度)50％ 再評価：有(レポート)　・無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 グループワークのための情報収集など、授業中に指示を行う。					
教科書 特になし					
参考書 開講後に随時指示する					
履修上の注意事項 毎回授業終了時にリアクションペーパーを書いてもらい、成績評価の「平常授業課題」に含めます。					
備考 キーワード: 科学技術社会論、科学への市民参加、生命倫理、ジェンダーと科学					

時間割番号	000044				
科目名	物理学入門			科目ID	LA-114100-Z
担当教員	池田 暁彦[IKEDA Akihiko]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
対象学科: 医学科・歯学科・検査技術学専攻 受講資格: 入試で化学・生物を選択した人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表4-1)					
授業の目的、概要等					
物理学は自然科学の中でもっとも基礎的な学問のひとつです。物理学の基礎知識および物理学的なものの見方は、高度なテクノロジーを基づく理工系や医療分野には必須の概念です。本講義は、入試で物理を選択しなかった人(高校で物理を選択しなかった人や物理は履修したが理解が不十分な人)向けに物理学入門講義を行います。					
授業の到達目標					
1. 位置、速度、加速度の概念を理解する 2. 物体が受ける力を見つけ、運動方程式を立式できるようになる 3. 仕事、力学的エネルギー、運動量の概念を理解する 4. 電気と磁気の基本を理解する 5. 波動の基礎概念を理解する					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-3	5/26	09:10-14:40		池田 暁彦 檜枝 光憲	
4-6	6/2	09:10-14:40		池田 暁彦 檜枝 光憲	
7-9	6/9	09:10-14:40		池田 暁彦 檜枝 光憲	
10-11	6/16	09:10-12:20		池田 暁彦 檜枝 光憲	
12	6/23	09:10-10:40		池田 暁彦 檜枝 光憲	
授業方法					
講義と演習					
授業内容					
第1回-3回 力と運動 第4回-6回 等速円運動、単振動、仕事とエネルギー 第7回-9回 電気と磁気 第10-11回 波動 第12回 試験					
成績評価の方法					
授業の到達目標の達成度を主にテスト形式で評価する。 評価 : 試験 60%、その他 : 小テスト 40% 再評価: 有					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					

毎週実施する小テストに備えて授業の予習と復習を十分に行うこと。
教科書 これだけはおさえたい物理／金原粲 編著, 曾江久美, 筑紫格, 馬場茂, 藤井恵子 著: 実教出版, 2009
参考書 もういちど読む数研の高校物理／数研出版編集部 編: 数研出版, 2012 もういちど読む数研の高校物理／数研出版編集部 編: 数研出版, 2012

時間割番号	000041				
科目名	生物学入門			科目ID	LA-113900-L
担当教員	時本 楠緒子, 塚田 岳大[TOKIMOTO Naoko, TSUKADA Takehiro]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
火曜日 1～3 時限(4/21・4/28・5/12)、1～2 時限(5/19)、1 時限(6/2) 対象学科: 医学科・歯学科・検査技術学専攻 受講資格: 入学試験で生物学を選択しなかった者 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4-1					
授業の目的、概要等					
・この授業では、入学試験で生物学を選択しなかった学生を対象とする。 ・生物の形および機能の単位である「細胞」に関する基本的な知識を習得することと、代謝と遺伝の基本的な仕組みを理解し、説明できることを目的とする。					
授業の到達目標					
1. 細胞の基本構造と細胞内小器官の機能を説明することができる。 2. 生物を構成する物質の種類と機能を説明することができる。 3. 代謝と遺伝の仕組みを説明することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-3	5/26	09:10-14:40		時本 楠緒子, 塚田 岳大 伊藤 正則	
4-6	6/2	09:10-14:40		時本 楠緒子, 塚田 岳大 伊藤 正則	
7-9	6/9	09:10-14:40		時本 楠緒子, 塚田 岳大 伊藤 正則	
10-11	6/16	09:10-12:20		時本 楠緒子, 塚田 岳大 伊藤 正則	
12	6/23	09:10-10:40		時本 楠緒子, 塚田 岳大 伊藤 正則	
授業方法					
・講義形式 ・アクティブラーニングを取り入れる。具体的には、毎週の講義の最後に翌週の講義で取り扱う項目を示すので、その内容について各自で自己学習を行うこと。翌週の最初にその内容についての小テストを行う。リアクションペーパーに疑問点を書かせる。これらをその後の講義で詳しく解説する。					
授業内容					
第 1 回 個体の階層構造、基本的な組織、細胞膜 第 2 回 核と細胞内小器官 第 3 回 細胞骨格、細胞接着 第 4 回 生体の構成元素、タンパク質 第 5 回 核酸、糖質、脂質 第 6 回 酵素反応					

第 7 回 筋収縮 第 8 回 糖質の代謝 第 9 回 脂質の代謝、タンパク質の代謝 第 10 回 染色体、メンデルの法則 第 11 回 細胞周期、体細胞分裂 第 12 回 DNA の複製、細胞の死
成績評価の方法 知識の習得を主な目的とするため、以下の方法で評価する。 評価：試験 85% ・ レポート 0% ・ その他(小テスト) 15% 再評価：有(再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習等についての具体的な指示 アクティブラーニング:有 ・毎週の講義の最後に翌週の講義で取り扱う項目を示すので、その内容について各自で自己学習を行うこと。 ・翌週の最初にその内容について的小テストを行い、その後の講義で詳しく解説する。
教科書 第 3 版 はじめの一步の生化学・分子生物学／前野正夫・磯川桂太郎:羊土社, 2016 ヒューマンバイオロジー／Sylvia S. Mader:医学書院, 2005
参考書 「Essential 細胞生物学 第 3 版」 Bruce Alberts 他 著 中村桂子 他 訳 南江堂 2012
履修上の注意事項 期末試験の受験資格は「東京医科歯科大学試験規則」による。

時間割番号	000043				
科目名	化学入門			科目ID	LA-114000-Z
担当教員	奈良 雅之, 勝又 敏行[NARA MASAYUKI, KATSUMATA TOSHIYUKI]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
・曜日・時間: 火曜日 1～4 限(前期分割 A) ・対象学科: 医学科・歯学科・保健衛生学科検査技術学専攻 ・受験資格: 入学試験で化学を選択しなかった者 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表4-1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる					
授業の目的、概要等					
入試で化学を選択しなかったものに対し、高校卒業レベルの化学の知識を身につけるために開講する。高校レベルの化学を理解していないと、学部レベルはもちろん、大学教養レベルの化学(一般化学、化学実験など)すらついていけなくなるであろう。この授業では物理化学の基礎の他に、無機化学、有機化学の基礎も扱う。					
授業の到達目標					
高校卒業レベルの化学の知識を身につけ、大学での講義に対応できるようになることを目標とする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/26	09:10-10:40		勝又 敏行	
2	5/26	10:50-12:20		勝又 敏行	
3	5/26	13:10-14:40		勝又 敏行	
4	5/26	14:50-16:20		奈良 雅之	
5	6/2	09:10-10:40		勝又 敏行	
6	6/2	10:50-12:20		勝又 敏行	
7	6/2	13:10-14:40		勝又 敏行	
8	6/2	14:50-16:20		勝又 敏行	
9	6/9	09:10-10:40		勝又 敏行	
10	6/9	10:50-12:20		勝又 敏行	
11	6/9	13:10-14:40		勝又 敏行	
12	6/9	14:50-16:20		勝又 敏行	
授業方法					
講義を基本とするが、適宜演習問題を解くことによりアクティブラーニングを取り入れる					
授業内容					
1. 物質の構造 物質の構成要素: 元素・単体・化合物、原子と分子 化学結合、化学量論: 原子量・分子量・式量、化学反応式					
2. 物質の状態 物質の状態変化と粒子の運動: 物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、 気体: 気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、 溶液: 溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド					
3. 物質の変化 化学反応と熱: 熱化学方程式・結合エネルギー、 酸と塩基の反応: 水素イオン濃度と pH・中和反応と中和滴定、 酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡					
4. 単体と無機化合物 周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素					
5. 有機化合物 有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物					
6. 高分子化合物 高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物					
成績評価の方法					
評価: 試験 100%・レポート 0%					

再評価:有(再評価方法:再試験) 化学の基礎を理解することが重要なので、試験のみによる評価を行う。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 テキストを事前に読んで、解り難かったところを把握しておいてください。
試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
教科書 系統看護学講座／奈良 雅之, :医学書院, 2018
参考書 化学／岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著, :医歯薬出版, 2005 化学入門／下井守, 村田滋 著, :東京化学同人, 2013 化学入門／大野公一 [ほか]著, :共立出版, 1997 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著, 一國雅巳 訳, :オーム社, 1995 大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著, 大野, 公一, 1945-, 村田, 滋, 1956-, 錦織, 紳一, 1953-, :共立出版, 2005
他科目との関連 一般化学を理解するためのバックグラウンドとなる。
連絡先(メールアドレス) 勝又 敏行 katsumata.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之 nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000269			
科目名	数学 I M	科目 ID	LA-114201-Z	
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
対象学科: 医学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 4-2)				
授業の目的、概要等 諸科学の数学的方法の基礎であり、数理・データサイエンスの数学的基盤でもある線形代数と微分積分の概要を学ぶ。線形代数では行列と連立一次方程式、行列の固有値の基礎と計算法を通して、線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分では、高校で学んだ1変数関数の微積分を基に、多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して、極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。				
授業の到達目標 1. 集合と写像、ベクトル空間と線形写像について説明できる 2. 基本的な線形演算・行列計算ができる 3. 行列の固有値・固有ベクトルについて説明できる 4. 多変数の極値問題について説明できる 5. 基本的な重積分の計算ができる				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	13:10-14:40		中口 悦史
2	5/18	13:10-14:40		中口 悦史
3	5/25	13:10-14:40		中口 悦史
4	6/1	13:10-14:40		中口 悦史
5	6/8	13:10-14:40		中口 悦史
6	6/15	13:10-14:40		中口 悦史
7	6/22	13:10-14:40		中口 悦史
8	6/29	13:10-14:40		中口 悦史
9	7/6	13:10-14:40		中口 悦史
10	7/13	13:10-14:40		中口 悦史
11	7/20	13:10-14:40		中口 悦史
12	7/27	13:10-14:40		中口 悦史
13	8/31	13:10-14:40		中口 悦史
14	9/7	13:10-14:40		中口 悦史
15	9/14	13:10-14:40		中口 悦史
授業方法 主に板書による講義によって進め、毎回授業の最後に5分間演習を行う。				
授業内容 第1章 数の体系とベクトル空間(数の演算と順序性、数列と級数、実数の完備性、ユークリッド空間、集合と写像) 第2章 線形構造と行列表現(線形写像と行列表現、行列の演算、行列の階数と行基本変形、連立一次方程式の解構造、行列の固有値と固有空間、行列の対角化と特異値分解) 第3章 非線形構造(実関数と曲線、多変数関数と曲面、多変数の極値問題、重積分)				
成績評価の方法 評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業内演習) 20% 再評価: 有(筆記試験) 試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、問題の理				

解度や定理・公式の運用の適切さ、論証や計算の精確さを総合的に評価するために、期末に筆記試験によって行う。 「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回の演習課題も復習することが望ましい。 必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回の演習提出。
教科書 数学入門Ⅱ ～偏微分・重積分・線形代数～(大学生のための基礎シリーズ6)／上村豊, 坪井堅二 著:東京化学同人, 2004
参考書 データサイエンスのための数学／椎名洋, 椎名, 洋(1961-)、姫野, 哲人、保科, 架風、清水, 昌平、講談社サイエンティフィク、:講談社, 2019-08 数学入門／上村豊, 坪井堅二 著、上村, 豊, 1953-、坪井, 堅二, 1954-、:東京化学同人, 2002 教養の線形代数／村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著:培風館, 2008 微分積分学／難波誠著、難波, 誠:裳華房, 1996
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、各回の演習提出による確認を併用する。
連絡先(メールアドレス) nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期:月・水 12:00～13:00, 後期:水・木 12:30～13:30, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可(要問合せ)

時間割番号	000270			
科目名	数学 I D	科目 ID	LA-114202-Z	
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
対象学科: 歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 4-2)				
授業の目的、概要等 諸科学の数学的方法の基礎であり、数理・データサイエンスの数学的基盤でもある線形代数と微分積分の概要を学ぶ。線形代数では行列と連立一次方程式、行列の固有値の基礎と計算法を通して、線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分では、高校で学んだ1変数関数の微積分を基に、多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して、極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。				
授業の到達目標 1. 集合と写像、ベクトル空間と線形写像について説明できる 2. 基本的な線形演算・行列計算ができる 3. 行列の固有値・固有ベクトルについて説明できる 4. 多変数の極値問題について説明できる 5. 基本的な重積分の計算ができる				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	09:10-10:40		中口 悦史
2	5/20	09:10-10:40		中口 悦史
3	5/27	09:10-10:40		中口 悦史
4	6/3	09:10-10:40		中口 悦史
5	6/10	09:10-10:40		中口 悦史
6	6/17	09:10-10:40		中口 悦史
7	6/24	09:10-10:40		中口 悦史
8	7/1	09:10-10:40		中口 悦史
9	7/8	09:10-10:40		中口 悦史
10	7/15	09:10-10:40		中口 悦史
11	7/22	09:10-10:40		中口 悦史
12	7/29	09:10-10:40		中口 悦史
13	9/2	09:10-10:40		中口 悦史
14	9/9	09:10-10:40		中口 悦史
15	9/16	09:10-10:40		中口 悦史
授業方法 主に板書による講義によって進め、毎回授業の最後に5分間演習を行う。				
授業内容 第1章 数の体系とベクトル空間(数の演算と順序性、数列と級数、実数の完備性、ユークリッド空間、集合と写像) 第2章 線形構造と行列表現(線形写像と行列表現、行列の演算、行列の階数と行基本変形、連立一次方程式の解構造、行列の固有値と固有空間、行列の対角化と特異値分解) 第3章 非線形構造(実関数と曲線、多変数関数と曲面、多変数の極値問題、重積分)				
成績評価の方法 評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業内演習) 20% 再評価: 有(筆記試験) 試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、問題の理				

解度や定理・公式の運用の適切さ、論証や計算の精確さを総合的に評価するために、期末に筆記試験によって行う。 「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習等についての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回の演習課題も復習することが望ましい。 必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回の演習提出。
教科書 数学入門Ⅱ ～偏微分・重積分・線形代数～(大学生のための基礎シリーズ6)／上村豊, 坪井堅二 著:東京化学同人, 2004
参考書 データサイエンスのための数学／椎名洋, 椎名, 洋(1961-), 姫野, 哲人, 保科, 架風, 清水, 昌平, 講談社サイエンティフィク,: 講談社, 2019-08 数学入門／上村豊, 坪井堅二 著, 上村, 豊, 1953-, 坪井, 堅二, 1954-,: 東京化学同人, 2002 教養の線形代数／村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著:培風館, 2008 微分積分学／難波誠著, 難波, 誠:裳華房, 1996
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、各回の演習提出による確認を併用する。
連絡先(メールアドレス) nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期:月・水 12:00～13:00, 後期:水・木 12:30～13:30, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可(要問合せ)

時間割番号	000271			
科目名	数学ⅠⅡ	科目ID	LA-114203-Z	
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
対象学科:保健衛生学科検査技術学専攻 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1), 4-2)				
授業の目的、概要等 諸科学の数学的方法の基礎であり、数理・データサイエンスの数学的基盤でもある線形代数と微分積分の概要を学ぶ。線形代数では行列と連立一次方程式、行列の固有値の基礎と計算法を通して、線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分では、高校で学んだ1変数関数の微積分を基に、多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して、極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。				
授業の到達目標 1. 集合と写像、ベクトル空間と線形写像について説明できる 2. 基本的な線形演算・行列計算ができる 3. 行列の固有値・固有ベクトルについて説明できる 4. 多変数の極値問題について説明できる 5. 基本的な重積分の計算ができる				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	14:50-16:20		中口 悦史
2	5/18	14:50-16:20		中口 悦史
3	5/25	14:50-16:20		中口 悦史
4	6/1	14:50-16:20		中口 悦史
5	6/8	14:50-16:20		中口 悦史
6	6/15	14:50-16:20		中口 悦史
7	6/22	14:50-16:20		中口 悦史
8	6/29	14:50-16:20		中口 悦史
9	7/6	14:50-16:20		中口 悦史
10	7/13	14:50-16:20		中口 悦史
11	7/20	14:50-16:20		中口 悦史
12	7/27	14:50-16:20		中口 悦史
13	8/31	14:50-16:20		中口 悦史
14	9/7	14:50-16:20		中口 悦史
15	9/14	14:50-16:20		中口 悦史
授業方法 主に板書による講義によって進め、毎回授業の最後に5分間演習を行う。				
授業内容 第1章 数の体系とベクトル空間(数の演算と順序性、数列と級数、実数の完備性、ユークリッド空間、集合と写像) 第2章 線形構造と行列表現(線形写像と行列表現、行列の演算、行列の階数と行基本変形、連立一次方程式の解構造、行列の固有値と固有空間、行列の対角化と特異値分解) 第3章 非線形構造(実関数と曲線、多変数関数と曲面、多変数の極値問題、重積分)				
成績評価の方法 評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業内演習) 20% 再評価: 有(筆記試験) 試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、問題の理				

解度や定理・公式の運用の適切さ、論証や計算の精確さを総合的に評価するために、期末に筆記試験によって行う。 「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習等についての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回の演習課題も復習することが望ましい。 必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回の演習提出。
教科書 数学入門Ⅱ ～偏微分・重積分・線形代数～(大学生のための基礎シリーズ6)／上村豊, 坪井堅二 著:東京化学同人, 2004
参考書 データサイエンスのための数学／椎名洋, 椎名, 洋(1961-)、姫野, 哲人, 保科, 架風, 清水, 昌平, 講談社サイエンティフィク,: 講談社, 2019-08 数学入門／上村豊, 坪井堅二 著, 上村, 豊, 1953-, 坪井, 堅二, 1954-,: 東京化学同人, 2002 教養の線形代数／村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著: 培風館, 2008 微分積分学／難波誠著, 難波, 誠: 裳華房, 1996
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、各回の演習提出による確認を併用する。
連絡先(メールアドレス) nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期: 月・水 12:00～13:00, 後期: 水・木 12:30～13:30, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可(要問合せ)

時間割番号	000257			
科目名	物理学 I M	科目 ID	LA-114301-Z	
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:水曜4限 対象学科:医学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2-1)、別表4-2)				
授業の目的、概要等 力学は電磁気学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。物体の落下運動など目で見える力学現象は皆さんの身の回りで起こることであり馴染みがあるでしょう。すでに高校物理でも力学を学び、様々な物体の運動(投げたボールの軌跡、人工衛星の軌道、バネの振動など)の未来の状況(たとえば位置と速度)がわかってしまうことに感動した諸君も多いかもしれません。本講義では微積分を使って大学レベルに発展させ、様々な物体の運動の解析に応用できるようにしていきます。				
授業の到達目標 物体の運動が微分方程式で書けることを理解する。 様々な保存則が導出できることを理解する。 ニュートンの運動方程式(微分方程式)と様々な保存則を使い、いろいろな力学系の運動を解析できるようになる。 剛体の力学の基礎を理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	14:50-16:20		檜枝 光憲
2	5/20	14:50-16:20		檜枝 光憲
3	5/27	14:50-16:20		檜枝 光憲
4	6/3	14:50-16:20		檜枝 光憲
5	6/10	14:50-16:20		檜枝 光憲
6	6/17	14:50-16:20		檜枝 光憲
7	6/24	14:50-16:20		檜枝 光憲
8	7/1	14:50-16:20		檜枝 光憲
9	7/8	14:50-16:20		檜枝 光憲
10	7/15	14:50-16:20		檜枝 光憲
11	7/22	14:50-16:20		檜枝 光憲
12	7/29	14:50-16:20		檜枝 光憲
13	9/2	14:50-16:20		檜枝 光憲
14	9/9	14:50-16:20		檜枝 光憲
15	9/16	14:50-16:20		檜枝 光憲
授業方法 講義と演習				
授業内容 1 物理のための数学基礎 2 力と運動 1:運動と微積分 3 力と運動 2:運動方程式 4 力と運動 3: エネルギー保存則、束縛運動 5 単振動と指数関数による解法、減衰振動 6 強制振動 7 非慣性系と座標変換 8 仕事と線積分、保存力 9 中間テスト				

10 惑星の運動、角運動量保存 11 剛体の力学 1 12 剛体の力学 2 13 剛体の力学 3 14 期末テスト 15 まとめ
成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に中間・期末テストおよび授業内演習の提出状況により評価する。 評価：試験 80% その他 20%(演習の提出状況等) 再評価：有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 授業後にきちんと復習すること。
教科書 力学／川村清 著:裳華房, 1998
参考書 基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著.:培風館, 2016
連絡先(メールアドレス) hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000258			
科目名	物理学ⅠD・T	科目ID	LA-114302-Z	
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2-1) 別表4-2)				
主な講義場所 7番教室(予定)				
授業の目的、概要等 ボールの運動から太陽のまわりを回る惑星の運動にいたるまで、我々の身の回りで見られる殆どの運動は、17世紀にニュートンによりまとめられた「ニュートン力学」によって定量的に説明できます。ニュートン力学によれば、運動方程式や万有引力の法則などの数個の基本法則に基づいて、あらゆる物理現象を統一的かつ定量的に説明することができます。また、基本法則を発展させることによって、エネルギー保存のような新しい概念を導出することができます。力学を学ぶことによって、物体の運動の基本法則を知ると同時に、基本法則に基づいて物理現象を理解しようとする考え方や、基本法則をどのように具体的事象に適用してゆくかを学びます。具体的には、(ⅰ)物体の運動が微分方程式という言葉で表現されること、(ⅱ)基本方程式から様々な保存則が導かれること、(ⅲ)それらを適用して実際の物体の運動を予言すること、を学びます。 物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。				
授業の到達目標 ニュートン力学の提供する世界観を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には、 - 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されることを理解する。 - 基本方程式から様々な保存則を導出する。 - 運動方程式や保存則を適用して実際の物体の運動を予言できるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	14:50-16:20		越野 和樹
2	5/20	14:50-16:20		越野 和樹
3	5/27	14:50-16:20		越野 和樹
4	6/3	14:50-16:20		越野 和樹
5	6/10	14:50-16:20		越野 和樹
6	6/17	14:50-16:20		越野 和樹
7	6/24	14:50-16:20		越野 和樹
8	7/1	14:50-16:20		越野 和樹
9	7/8	14:50-16:20		越野 和樹
10	7/15	14:50-16:20		越野 和樹
11	7/22	14:50-16:20		越野 和樹
12	7/29	14:50-16:20		越野 和樹
13	9/2	14:50-16:20		越野 和樹
14	9/9	14:50-16:20		越野 和樹
15	9/16	14:50-16:20		越野 和樹
授業方法				

講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による
授業内容 運動と力／さまざまな力／エネルギー保存則・運動量保存則／さまざまな運動
成績評価の方法 評価: 期末考査および授業への参加度 再評価: 上記評価が6割未満の者に対して再試験を行う 授業内容の理解度を測るために期末考査や演習を行い、その成績および授業への参加度で評価を行う。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする。
試験の受験資格 初回の講義において説明する
教科書 基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著, 培風館, 2016
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる。
連絡先(メールアドレス) ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000288			
科目名	数学Ⅱ (Q)	科目ID	LA-114401-Z	
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
対象学科: 医学科、歯学科				
募集人数: 40 人程度				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1)、4-2)				
授業の目的、概要等				
常微分方程式の基礎について学習し、その応用として様々な生命現象を数理モデル化し解析する手法を学ぶ。プログラム言語 python を使って数値計算法の実習も行う。				
授業の到達目標				
常微分方程式の解析手法を学び、これを用いて様々な生命現象を数理モデル化して解析する手法を理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	14:50-16:20		中林 潤
2	10/14	14:50-16:20		中林 潤
3	10/21	14:50-16:20		中林 潤
4	10/28	14:50-16:20		中林 潤
5	11/4	14:50-16:20		中林 潤
6	11/11	14:50-16:20		中林 潤
7	11/18	14:50-16:20		中林 潤
8	11/25	14:50-16:20		中林 潤
9	12/2	14:50-16:20		中林 潤
10	12/9	14:50-16:20		中林 潤
11	12/16	14:50-16:20		中林 潤
12	1/6	14:50-16:20		中林 潤
13	1/13	14:50-16:20		中林 潤
14	1/20	14:50-16:20		中林 潤
15	1/27	14:50-16:20		中林 潤
授業方法				
講義と演習によって進める。				
授業内容				
以下の内容について解説と演習を行う。				
微分方程式の基本概念				
・一階の常微分方程式				
・線形常微分方程式				
・連立微分方程式				
・微分方程式の安定性				
・微分方程式のべき級数解				
・微分方程式の数値計算法				
・python を使った数値計算法演習				
・微分方程式を使った生命現象の数理モデル化				
・数理モデルの解析				

成績評価の方法	
評価：	筆記試験 50% ・ レポート 50% ・ その他() 0%
再評価:	有○(再評価方法) レポート提出
成績評価の基準	
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による	
準備学習等についての具体的な指示	
事前の予備知識は特に必要ありません。各講義の復習をしっかりと行ってください。特に演習は自分の計算環境で行うことが望ましいです。	
参考書	
理工系の基礎数学3 常微分方程式 稲見武夫著 岩波書店 1998 年	
技術者のための高等数学1 常微分方程式 E.クライツィグ著 培風館 1987 年	
工系数学口座9 常微分方程式の解法 三井斌友・小藤俊幸著 共立出版株式会社 2000 年	
やさしい微分方程式 梅沢敏夫・富樫栄著 培風館 1986 年	
履修上の注意事項	
欠席は評価上マイナスになります	
備考	
キーワード: 常微分方程式	
数理モデル	
数値計算	
連絡先(メールアドレス)	
nakab.las@tmd.ac.jp	
オフィスアワー	
月曜～金曜	
A.M.10:00 - P.M. 05:00	
国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9	

時間割番号	000289			
科目名	数学Ⅱ (β)	科目ID	LA-114402-Z	
担当教員	徳永 伸一[TOKUNAGA SHINICHI]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 水曜4限 対象学科・専攻: 医学科、歯学科				
授業の目的、概要等				
グラフ理論を中心とする離散数学を学習します。				
「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」と呼びます。離散数学で扱う最も基本的かつ重要な構造の1つが「グラフ」(中学・高校で習う「関数のグラフ」とは異なる概念)であり、これを研究対象とする分野が「グラフ理論」です。たとえば「すべての地図は4色で色分けできる」という有名な「4色定理」は、グラフ理論の言葉を用いれば「すべての平面的グラフは 4-彩色可能」と表現することができます。4色定理の証明は長大ですが、その基本的なアイディアや興味深い一般化は、複雑な数式等を用いずに、誰でも理解することができます。				
グラフはまた、データ構造・ネットワーク構造や分子構造等を数学的に抽象化したものと見なすこともできますので、近年大きく発展し、様々な分野で応用されています。しかし本科目では必ずしも「応用」は重視せず、4色定理を始めとする、グラフ理論およびその周辺の興味深いトピックをいくつか取り上げて学習し、それらを通じて、数式を伴わない数学的論理を、正確に理解し考察する能力を身に付けることを大きな目的とします。				
さらに、直観的に理解可能な未解決問題が多数知られていることも、この分野の大きな魅力です。そういった「正解が用意されていない問題」に対して主体的にアプローチすることで、受講者の皆さんのリサーチ・マインドが育まれることを期待しています。				
数学好きな人はもちろん、「これまで学校で習ってきた数学はあまり好きではない・得意ではない」という人にこそ、お勧めしたい科目です。				
授業の到達目標				
4色定理やグラフ理論のいくつかの基本的な定理について、その背景や証明のアイディアを理解し、関連する問題、一般化された問題、未解決問題について考察する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	14:50-16:20		徳永 伸一
2	10/14	14:50-16:20		徳永 伸一
3	10/21	14:50-16:20		徳永 伸一
4	10/28	14:50-16:20		徳永 伸一
5	11/4	14:50-16:20		徳永 伸一
6	11/11	14:50-16:20		徳永 伸一
7	11/18	14:50-16:20		徳永 伸一
8	11/25	14:50-16:20		徳永 伸一
9	12/2	14:50-16:20		徳永 伸一
10	12/9	14:50-16:20		徳永 伸一
11	12/16	14:50-16:20		徳永 伸一
12	1/6	14:50-16:20		徳永 伸一
13	1/13	14:50-16:20		徳永 伸一
14	1/20	14:50-16:20		徳永 伸一
15	1/27	14:50-16:20		徳永 伸一
授業方法				

講義と演習による。
授業内容 以下のトピック(予定)について順次解説し、関連する問題による演習を行います。 ・グラフの基礎概念 ・一筆描き問題、ハミルトン問題 ・ドミノ敷き詰め問題、結婚定理 ・グラフのラベル付け問題 ・美術館問題 ・4色定理とその一般化、周辺の問題
成績評価の方法 授業への参加姿勢、演習・レポート・ノート提出によって総合的に評価します。 また履修者が一定数を越えた場合、全員または評価が一定基準に達していない学生を対象に、試験を行う可能性があります。
準備学習等についての具体的な指示 事前の予備知識等は必要ありませんが、授業は段階的に進めていきますので、各回の復習をしっかりと行ってください。
参考書 グラフ理論(増補改訂版)／恵羅博, 土屋守正 著, 産業図書, 2010 グラフ理論／Rディーステル 著根上生也, 太田克弘 訳:シュプリンガー・フェアラーク東京, 2000 幾何学的グラフ理論／前原潤, 根上生也 著, 朝倉書店, 1992 離散構造／根上生也 著, 共立出版, 1993
他科目との関連 前期の「R・離散構造」と関連する問題を一部扱う予定です。
履修上の注意事項 授業時間内に行う演習を重視しているため、欠席は評価上の大きなマイナスになります。
連絡先(メールアドレス) tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期: 水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 後期: 金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) ＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。 上記以外の時間帯でも、事前にEメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000290			
科目名	数学Ⅱ（Ⅱ）	科目ID	LA-114403-Z	
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
対象学科: 医学科・歯学科				
募集人数: 40名程度				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 4-2)				
授業の目的、概要等				
前期「数学Ⅰ」からの発展の1分野として、応用数学の重要な分野のひとつであり、数理・データサイエンスとも関連の深い、数理最適化を取り上げる。数理最適化は最適化問題、すなわち与えられた条件の下で最適な解を探索する問題を、数学的に定式化する方法、それによって定式化された問題、その問題を数学的に解く方法を扱う分野である。物理学のエネルギー最小化問題も最適化問題といえるが、工学、経済学・経営学、医学など幅広い分野で数理最適化は活躍している。				
授業の到達目標				
1. 代表的な数理最適化について説明できる。				
2. 現実的な問題を数理最適化問題に定式化できる。				
3. 簡単な線形計画問題やネットワーク計画問題を解くことができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	14:50-16:20		中口 悦史
2	10/14	14:50-16:20		中口 悦史
3	10/21	14:50-16:20		中口 悦史
4	10/28	14:50-16:20		中口 悦史
5	11/4	14:50-16:20		中口 悦史
6	11/11	14:50-16:20		中口 悦史
7	11/18	14:50-16:20		中口 悦史
8	11/25	14:50-16:20		中口 悦史
9	12/2	14:50-16:20		中口 悦史
10	12/9	14:50-16:20		中口 悦史
11	12/16	14:50-16:20		中口 悦史
12	1/6	14:50-16:20		中口 悦史
13	1/13	14:50-16:20		中口 悦史
14	1/20	14:50-16:20		中口 悦史
15	1/27	14:50-16:20		中口 悦史
授業方法				
主に板書による講義によって進め、毎回授業の最後に5分間演習を行う。				
授業内容				
第 1 章 数理最適化の概要(最適化問題の種類、連続最適化と離散最適化、大域的最適解と局所的最適解、厳密解法・近似解法・発見的解法、計算量と NP 困難問題)				
第 2 章 線形計画問題(例、標準形とスラック変数、双対性、シンプレックス法、内点法、凸二次計画問題と最小二乗法)				
第 3 章 ネットワーク計画問題(グラフとネットワーク、最短路問題、最大流問題、最小費用流問題)				
第 4 章 組合せ計画・整数計画問題(0-1 計画問題(ナップサック問題)、巡回セールスマン問題、分枝限定法、欲張り法)				
第 5 章 非線形計画・凸計画問題(制約なし非線形計画問題、制約付き非線形計画問題、凸計画問題)				
成績評価の方法				
評価 : 試験 50% ・ レポート 0% ・ その他(授業内演習) 50%				

再評価: 有(筆記試験) 試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ、論証や計算の精確さを総合的に評価するために、期末に筆記試験によって行う。期末試験に代えて発表(板書)形式の総合演習を行うことがある。 「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 これまでに学習した数学の内容をよく復習しておくこと。毎回の演習課題も復習することが望ましい。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回の演習提出。
教科書 数理計画入門／福島雅夫著、福島 雅夫:朝倉書店, 2011
参考書 最適化手法入門／寒野善博著、寒野 善博、駒木 文保:講談社, 2019-08 Python による数理最適化入門／並木誠 著、久保幹雄 監修、並木 誠、久保 幹雄, 1963-,: 朝倉書店, 2018 入門オペレーションズ・リサーチ／松井泰子, 根本俊男, 宇野毅明著、松井 泰子、根本 俊男、宇野 毅明,: 東海大学出版会, 2008 オペレーションズ・リサーチ／森雅夫, 松井知己著、森 雅夫、松井 知己,: 朝倉書店, 2004
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、各回のリアクションペーパー(演習)提出による確認を併用する。
連絡先(メールアドレス) nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期: 月・水 12:00～13:00, 後期: 水・木 12:30～13:30, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可(要問合せ)

時間割番号	000260			
科目名	物理学Ⅱ M	科目ID	LA-114501-Z	
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:水曜4限 対象学科:医学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2-1)、別表4-2)				
授業の目的、概要等				
電磁気学は力学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。リニアモーターカーやハイブリッド車用モーターなどほとんどの電気・電子技術が電磁気学と関係しています。また、医療技術や人体においても電流、磁気、電磁波など電磁気学は重要な要素であると言って良いでしょう。しかしながら、電磁気学は力学と比較すると難しいという印象があるようです。その理由は、私たちは物体を動かしたり力をかけたりなど日常的に力学現象を経験しているのに対して、電磁気学については日常の中で経験している実感が皆無であるためと思われます(例えば電場や磁場というのは電荷や電流によって空間に生じる変化であり目に見えない)。本講義では電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を丁寧に説明し、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出していきます。さらに電磁波の波動方程式を導き、音波と波動性という共通概念で書かれることを学んでいきます。				
授業の到達目標				
電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を学び、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出できるようになる。また学んだ知識を応用し、いろいろな電磁気学現象を解析できるようになる。 さらに電磁波と音波が同じ波動性という共通の概念で書かれることを学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	14:50-16:20		檜枝 光憲
2	10/14	14:50-16:20		檜枝 光憲
3	10/21	14:50-16:20		檜枝 光憲
4	10/28	14:50-16:20		檜枝 光憲
5	11/4	14:50-16:20		檜枝 光憲
6	11/11	14:50-16:20		檜枝 光憲
7	11/18	14:50-16:20		檜枝 光憲
8	11/25	14:50-16:20		檜枝 光憲
9	12/2	14:50-16:20		檜枝 光憲
10	12/9	14:50-16:20		檜枝 光憲
11	12/16	14:50-16:20		檜枝 光憲
12	1/6	14:50-16:20		檜枝 光憲
13	1/13	14:50-16:20		檜枝 光憲
14	1/20	14:50-16:20		檜枝 光憲
15	1/27	14:50-16:20		檜枝 光憲
授業方法				
講義と演習				
授業内容				
1. イントロダクション : ベクトル解析 発散と回転				
2. 静電場1 : 積分形のガウスの法則				
3. 静電場2 : 微分形のガウスの法則				
4. 静電場3 : 静電ポテンシャル(電位)				
5. 電気双極子				
6. コンデンサーと静電場エネルギー				
7. 静磁場1 : 磁場に関するガウスの法則				

8. 中間テスト 9. 静磁場 2 : アンペールの法則、ビオ・サバールの法則 10. 時間的に変動する電場と磁場 11. 電磁波の波動方程式 12. 物質中の波動 : 音波の波動方程式 13. 物質中の波動 2 : 音波の反射・透過 14. 期末テスト 15. まとめ
成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に中間・期末テストおよび授業内演習の提出状況により評価する。 評価 : 試験 80% その他 20%(演習の提出状況等) 再評価: 有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 授業後はきちんと復習すること。
参考書 電磁気学の考え方／砂川 重信／著.:岩波書店, 1993 物理学／小出昭一郎 著.:裳華房, 1997 振動と波／長岡洋介 著.:裳華房, 1992
連絡先(メールアドレス) hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000261			
科目名	物理学ⅡD・T	科目ID	LA-114502-Z	
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2-1) 別表4-2)				
授業の目的、概要等				
電界の基本概念、時間的に変化しない(定常的な)電荷分布とそれが作る電界との定量的な関係、自由電荷を有する導体がある電界および導体を組み合わせたコンデンサー、電荷分布によるエネルギー、についての基本を学ぶ。さらに、磁束密度の基本概念、電流に作用する力と磁束密度との定量的な関係、定常的な電流分布とそれが作る磁束密度との定量的な関係、についての基本を学ぶ。 物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。				
授業の到達目標				
マックスウェル方程式(積分形)による電磁気学の体系を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には、「単純な電荷分布がある電界」「電位と電界との関係」「コンデンサー」「磁束密度が電流に及ぼす力」「電流分布がある磁束密度」といった項目について、基本的な考え方を理解し、これらに関する応用問題を解決できるようになること。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	14:50-16:20		越野 和樹
2	10/14	14:50-16:20		越野 和樹
3	10/21	14:50-16:20		越野 和樹
4	10/28	14:50-16:20		越野 和樹
5	11/4	14:50-16:20		越野 和樹
6	11/11	14:50-16:20		越野 和樹
7	11/18	14:50-16:20		越野 和樹
8	11/25	14:50-16:20		越野 和樹
9	12/2	14:50-16:20		越野 和樹
10	12/9	14:50-16:20		越野 和樹
11	12/16	14:50-16:20		越野 和樹
12	1/6	14:50-16:20		越野 和樹
13	1/13	14:50-16:20		越野 和樹
14	1/20	14:50-16:20		越野 和樹
15	1/27	14:50-16:20		越野 和樹
授業方法				
講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による				
授業内容				
静電気／コンデンサー／電流／磁界と電磁誘導／交流と電磁波				
成績評価の方法				
評価: 期末考査および授業への参加度 再評価: 期末考査が6割未満の者に対して再試験を行う 授業内容の理解度を測るために期末考査や演習を行い、その成績および授業への参加度で評価を行う。				

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示
講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする。
試験の受験資格
初回の講義において説明する
参考書
グラフィック講義電磁気学の基礎／和田純夫 著, :サイエンス社, 2011
履修上の注意事項
出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる。
連絡先(メールアドレス)
ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000047			
科目名	統計学(α)	科目ID	LA-114601-Z	
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科(クラス分けは別途指示する)				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 2-3), 4-4)				
授業の目的、概要等				
科学の言語とも言われる統計学の基礎と、その理解に必要な確率論の初歩を学び、統計学に対する理解を深める。高校で学んだ確率・統計から発展して、統計的検定法までを学ぶ。				
授業の到達目標				
基本的な確率計算と、平均および比率の推定と検定を行なうことができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/8	09:10-10:40		中口 悦史
2	10/15	09:10-10:40		中口 悦史
3	10/22	09:10-10:40		中口 悦史
4	10/29	09:10-10:40		中口 悦史
5	11/5	09:10-10:40		中口 悦史
6	11/12	09:10-10:40		中口 悦史
7	11/19	09:10-10:40		中口 悦史
8	11/26	09:10-10:40		中口 悦史
9	12/3	09:10-10:40		中口 悦史
10	12/10	09:10-10:40		中口 悦史
11	12/17	09:10-10:40		中口 悦史
12	1/7	09:10-10:40		中口 悦史
13	1/14	09:10-10:40		中口 悦史
14	1/21	09:10-10:40		中口 悦史
15	1/28	09:10-10:40		中口 悦史
授業方法				
主に板書による講義によって進め、毎回授業の最後に5分間演習を行う。				
授業内容				
第1章 確率と確率分布(確率の定義・用語・公理, 条件付き確率とベイズの定理, 確率変数と確率分布, 代表的な確率分布, 正規分布について, 中心極限定理)				
第2章 母集団と標本データ(全数調査と標本調査, データの尺度と数量化, 図表化と数値要約, 相関と因果・交絡)				
第3章 統計的推定(母数と推定量, 点推定, 区間推定)				
第4章 統計的仮説検定(仮説検定の考え方, 2値データの検定, 非順序カテゴリーデータの検定, パラメトリック検定, その他の検定・統計手法)				
成績評価の方法				
評価 : 試験 75% ・ レポート 0% ・ その他(授業内演習) 25%				
再評価: 有(筆記試験)				
試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、授業の理解度や定理・公式等の運用の適切さ, 論証の精確さ等を総合的に評価するために、筆記試験によって行う。				
「試験の受験資格」を満たし、かつ、試験を受験したもののみを、評価の対象とする。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				

準備学習等についての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回の演習も復習することが望ましい。 必要に応じて下記参考書等により各自演習すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回の演習提出。
教科書 数学/統計学／宇田川誠一、井川俊彦、谷口哲也 著、宇田川、誠一、1960-、井川、俊彦、1948-、谷口、哲也、幾何学、：医歯薬出版、2019
参考書 統計学入門／東京大学教養学部統計学教室 編、東京大学、：東京大学出版会、1991 確率と統計の基礎・基本／馬場裕 著、馬場、裕、1953-、：牧野書店、2002 入門統計学：検定から多変量解析・実験計画法まで／栗原伸一 著、栗原、伸一、1966-、：オーム社、2011 統計学演習／村上正康、安田正實共著、村上、正康、安田、正實、：培風館、1989 人文・社会科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編、東京大学教養学部統計学教室、：東京大学出版会、1994 自然科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編、東京大学教養学部統計学教室、：東京大学出版会、1992 データサイエンスの基礎／濱田悦生著、濱田、悦生、狩野、裕(1958-)、講談社サイエンティフィク、：講談社、2019-08 統計モデルと推測 = Statistical Model and Inference／松井秀俊、小泉和之 著、竹村彰通 編、松井、秀俊、小泉、和之、竹村、彰通、1952-、：講談社、2019 その他、医療統計・保健統計関係の参考書： ・市原清志『バイオサイエンスの統計学』 南江堂、1990年、ISBN 9784524220366 ・奥田千恵子『親切的医療統計学』 金芳堂、2019年、ISBN 9784765317740 ・縣俊彦『やさしい保健統計学』 南江堂、2013年、ISBN: 9784524268214 ・遠藤和男『保健統計学テキスト：医療技術・健康科学・看護系のための』 考古堂書店、2010年、ISBN: 9784874997468 ・古川俊之 監修、丹後俊郎 著『医学への統計学』 朝倉書店、2013年、ISBN 9784254128321
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、各回の演習提出による確認を併用する。
連絡先(メールアドレス) nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期：月・水 12:00～13:00、後期：水・木 12:30～13:30、いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可（要問合せ）

時間割番号	000048			
科目名	統計学(β)	科目ID	LA-114602-Z	
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科(クラス分けは別途指示する)				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 2-3), 4-4)				
授業の目的、概要等				
科学の言語とも言われる統計学の基礎と、その理解に必要な確率論の初歩を学び、統計学に対する理解を深める。高校で学んだ確率・統計から発展して、統計的検定法までを学ぶ。				
授業の到達目標				
基本的な確率計算と、平均および比率の推定と検定を行なうことができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/8	10:50-12:20		中口 悦史
2	10/15	10:50-12:20		中口 悦史
3	10/22	10:50-12:20		中口 悦史
4	10/29	10:50-12:20		中口 悦史
5	11/5	10:50-12:20		中口 悦史
6	11/12	10:50-12:20		中口 悦史
7	11/19	10:50-12:20		中口 悦史
8	11/26	10:50-12:20		中口 悦史
9	12/3	10:50-12:20		中口 悦史
10	12/10	10:50-12:20		中口 悦史
11	12/17	10:50-12:20		中口 悦史
12	1/7	10:50-12:20		中口 悦史
13	1/14	10:50-12:20		中口 悦史
14	1/21	10:50-12:20		中口 悦史
15	1/28	10:50-12:20		中口 悦史
授業方法				
主に板書による講義によって進め、毎回授業の最後に5分間演習を行う。				
授業内容				
第1章 確率と確率分布(確率の定義・用語・公理, 条件付き確率とベイズの定理, 確率変数と確率分布, 代表的な確率分布, 正規分布について, 中心極限定理)				
第2章 母集団と標本データ(全数調査と標本調査, データの尺度と数量化, 図表化と数値要約, 相関と因果・交絡)				
第3章 統計的推定(母数と推定量, 点推定, 区間推定)				
第4章 統計的仮説検定(仮説検定の考え方, 2値データの検定, 非順序カテゴリーデータの検定, パラメトリック検定, その他の検定・統計手法)				
成績評価の方法				
評価 : 試験 75% ・ レポート 0% ・ その他(授業内演習) 25%				
再評価: 有(筆記試験)				
試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、授業の理解度や定理・公式等の運用の適切さ, 論証の精確さ等を総合的に評価するために、筆記試験によって行う。				
「試験の受験資格」を満たし、かつ、試験を受験したもののみを、評価の対象とする。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				

準備学習等についての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回の演習も復習することが望ましい。 必要に応じて下記参考書等により各自演習すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回の演習提出。
教科書 数学/統計学／宇田川誠一、井川俊彦、谷口哲也 著、宇田川、誠一、1960-、井川、俊彦、1948-、谷口、哲也、幾何学、：医歯薬出版、2019
参考書 統計学入門／東京大学教養学部統計学教室 編、東京大学、：東京大学出版会、1991 確率と統計の基礎・基本／馬場裕 著、馬場、裕、1953-、：牧野書店、2002 入門統計学：検定から多変量解析・実験計画法まで／栗原伸一 著、栗原、伸一、1966-、：オーム社、2011 統計学演習／村上正康、安田正實共著、村上、正康、安田、正實、：培風館、1989 人文・社会科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編、東京大学教養学部統計学教室、：東京大学出版会、1994 自然科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編、東京大学教養学部統計学教室、：東京大学出版会、1992 データサイエンスの基礎／濱田悦生著、濱田、悦生、狩野、裕(1958-)、講談社サイエンティフィク、：講談社、2019-08 統計モデルと推測 = Statistical Model and Inference／松井秀俊、小泉和之 著、竹村彰通 編、松井、秀俊、小泉、和之、竹村、彰通、1952-、：講談社、2019 その他、医療統計・保健統計関係の参考書： ・市原清志『バイオサイエンスの統計学』 南江堂、1990 年、ISBN 9784524220366 ・奥田千恵子『親切的医療統計学』 金芳堂、2019 年、ISBN 9784765317740 ・縣俊彦『やさしい保健統計学』 南江堂、2013 年、ISBN: 9784524268214 ・遠藤和男『保健統計学テキスト：医療技術・健康科学・看護系のための』 考古堂書店、2010 年、ISBN: 9784874997468 ・古川俊之 監修、丹後俊郎 著『医学への統計学』 朝倉書店、2013 年、ISBN 9784254128321
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、各回の演習提出による確認を併用する。
連絡先(メールアドレス) nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期：月・水 12:00～13:00、後期：水・木 12:30～13:30、いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可（要問合せ）

時間割番号	000056		
科目名	化学(一般化学)M	科目ID	LA-114701-Z
担当教員	奈良 雅之, 渡邊 総一郎[NARA MASAYUKI, WATANABE SOICHIRO]		
開講時期	2020 年度通年	対象年次	1
実務経験のある教員による授業			
・曜日・時間:水曜1限			
・対象学科:医学科			
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):			
別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る			
別表 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける			

授業の目的、概要等
分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。医学の分野においても病 気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。医学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎 をしっかりと身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、医学の先端的な研究からも取り残されてしまうことにな るでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学&有機化学)」を学習します。

授業の到達目標
授業で扱った範囲に関連した「最新臨床検査学講座 化学」「化学熱力学」「ハート 基礎有機化学」等の各章を理解し、かつその演習問題 に取り組むことができる。

授業計画																																																																	
<table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>5/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之 渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>2</td><td>5/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之 渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>3</td><td>5/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之 渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>4</td><td>6/3</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之 渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>5</td><td>6/10</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之 渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>6</td><td>6/17</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之 渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>7</td><td>6/24</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之 渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>8</td><td>7/1</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之 渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>9</td><td>7/8</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之 渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>10</td><td>7/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之 渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>11</td><td>7/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之 渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>12</td><td>7/29</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之 渡邊 総一郎</td></tr></table>	回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/13	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎	2	5/20	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎	3	5/27	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎	4	6/3	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎	5	6/10	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎	6	6/17	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎	7	6/24	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎	8	7/1	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎	9	7/8	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎	10	7/15	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎	11	7/22	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎	12	7/29	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																													
1	5/13	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎																																																													
2	5/20	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎																																																													
3	5/27	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎																																																													
4	6/3	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎																																																													
5	6/10	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎																																																													
6	6/17	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎																																																													
7	6/24	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎																																																													
8	7/1	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎																																																													
9	7/8	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎																																																													
10	7/15	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎																																																													
11	7/22	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎																																																													
12	7/29	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎																																																													

13	9/2	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎
14	9/9	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎
15	9/16	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎
16	10/7	09:10-10:40		渡邊 総一郎 渡邊 総一郎
17	10/14	09:10-10:40		渡邊 総一郎 渡邊 総一郎
18	10/21	09:10-10:40		渡邊 総一郎 渡邊 総一郎
19	10/28	09:10-10:40		渡邊 総一郎 渡邊 総一郎
20	11/4	09:10-10:40		渡邊 総一郎 渡邊 総一郎
21	11/11	09:10-10:40		渡邊 総一郎 渡邊 総一郎
22	11/18	09:10-10:40		渡邊 総一郎 渡邊 総一郎
23	11/25	09:10-10:40		渡邊 総一郎 渡邊 総一郎
24	12/2	09:10-10:40		渡邊 総一郎 渡邊 総一郎
25	12/9	09:10-10:40		渡邊 総一郎 渡邊 総一郎
26	12/16	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎
27	1/6	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎
28	1/13	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎
29	1/20	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎
30	1/27	09:10-10:40		奈良 雅之 渡邊 総一郎
授業方法 講義形式で授業を行うが、適宜、演習を解いたり、解答を説明させたりして、アクティブラーニングを取り入れて行う。				
授業内容 前期では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げます。続いてマクロのものの見方を学習するために「化学熱力学(熱力学の原理と応用)」を取り上げます。後期は初めの2回は化学実験に必要な誤差計算を取り上げます。次に、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。 考查、学力認定試験終了後は、補強コース・アドバンスコースに分かれて講義を行います。				
前期 第1回 ガイダンス 学力認定試験体験版 第2回 単位SIと非 SI 第3回 酸塩基平衡の取扱い方(1) 第4回 酸塩基平衡の取扱い方(2) 第5回 酸塩基平衡の取扱い方(3) 第6回 酸塩基平衡の取扱い方(4) 第7回 熱力学の原理(1) 第8回 熱力学の原理(2)				

第9回 熱力学の原理(3) 第10回 熱力学の原理(4) 第11回 熱力学の原理(5) 第12回 熱力学の原理(6) 第13回 熱力学の原理(7) 第14回 熱力学の平衡論への応用(1) 第15回 熱力学の平衡論への応用(2)	
後期 第1回 化学実験学(誤差の取り扱い方) 第2回 化学実験学(誤差の取り扱い方) 第3回 アルカンとシクロアルカン 第4回 アルケンとアルキン 第5回 芳香族化合物 第6回 立体異性 第7回 有機ハロゲン化合物 第8回 アルコール、フェノール、チオール 第9回 エーテルとエポキシド 第10回 アルデヒドとケトン 第11回 有機化学の筆記試験(考査) 第12回 学力認定試験 第13回 補強コース/アドバンスコース(1) 第14回 補強コース/アドバンスコース(2) 第15回 補強コース/アドバンスコース(3)	
成績評価の方法 評価:試験 100% ・レポート 0% その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。) 試験は、前期の考査50%、後期の考査30%、学力認定試験20%の総合評価で行う。 再評価:有(補強コースを受講した後、全範囲をまとめて再試験を行う。) 化学を理解しているかどうかを評価の対象とするので、主に試験で評価する。	
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による	
準備学習等についての具体的な指示 予習:指定された教科書、配布資料等で該当する箇所を目を通しておく。 復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。	
試験の受験資格 考査:前期の考査は3分の2以上出席 後期の考査は3分の2以上出席	
教科書 最新臨床検査学講座 化学/奈良雅之:医歯薬出版, 2020 ハート基礎有機化学(三訂版)/H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳:培風館, 2002 化学熱力学/原田 義也:裳華房, 2012	
参考書 一般化学/Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳,Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一國 雅巳, 1930-,オーム社, 1995 系統看護学講座 化学/奈良 雅之:医学書院, 2018 ボルハルト・ショア現代有機化学(第6版)[上]/K. P. C. Vollhardt [著],N. E. Schore [著],古賀憲司 監訳野依良治 監訳村橋俊一 監訳大鷹幸一郎 訳小田嶋和徳 訳小松満男 訳戸部義人 訳:化学同人, 2011 ボルハルト・ショア現代有機化学(第6版)[下]/K. P. C. Vollhardt [著],N. E. Schore [著],古賀憲司 監訳野依良治 監訳村橋俊一 監訳大鷹幸一郎 訳小田嶋和徳 訳小松満男 訳戸部義人 訳:化学同人, 2011 ウォーレン有機化学<上>/Clayden [ほか著]野依良治 [ほか]監訳石橋正己 [ほか]訳:東京化学同人, 2003 参考材料:HGS 分子模型	
他科目との関連 化学実験学では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。	
履修上の注意事項 前期、後期いずれも出席3分の2以上を満たさないと、考査の受験資格がなくなります。 前期と後期の考査のうちいずれかを受験放棄し	

た場合は、履修放棄したものとみなして、成績は×になります。
備考 キーワード: 化学実験学、化学熱力学、有機化学 第1回～第5回は検査技術学専攻との合同授業になります。
連絡先(メールアドレス) 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000057			
科目名	化学(一般化学)D	科目ID	LA-114702-Z	
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO]			
開講時期	2020 年度通年	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 2-1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る 別表 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
主な講義場所 7 番教室				
授業の目的、概要等 分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。歯学の分野においても病 気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。歯学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎 をしっかりと身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、歯学の先端的な研究からも取り残されてしまうことにな るでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学&有機化学)」を学習します。				
授業の到達目標 授業で扱った範囲に関連した「最新臨床検査学講座 化学」「化学熱力学」「ハート基礎有機化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に 取り組むことができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子
2	5/18	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子
3	5/25	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子
4	6/1	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子
5	6/8	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子
6	6/15	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子
7	6/22	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子
8	6/29	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子
9	7/6	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子
10	7/13	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子
11	7/20	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子
12	8/31	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子
13	9/7	13:10-14:40		奈良 雅之

				澤野 頼子
14	9/14	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子
15	10/5	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子
16	10/12	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子
17	10/19	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子
18	10/26	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子
19	11/2	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子
20	11/9	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子
21	11/16	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子
22	11/23	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子
23	11/30	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子
24	12/7	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子
25	12/14	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子
26	12/21	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子
27	1/18	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子
28	1/25	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子
29	2/1	13:10-14:40		澤野 頼子, 澤野 頼子

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、アクティブラーニング(課題演習や答案の発表など)を取り入れて行う。

授業内容

前期では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げます。続いて、マクロのものの見方を学習するために「化学熱力学(熱力学の原理と応用)」を取り上げます。後期は初めの2回は化学実験に必要な誤差計算を取り上げます。次に、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。考查、学力認定試験終了後は、補強コース・アドバンスコースに分かれて講義を行います。

成績評価の方法

評価:試験 100% ・レポート 0%

その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。)

試験は、前期の考查、後期の考查、学力認定試験の総合評価で行う。

再評価:有(補強コースを受講した後、全範囲をまとめて再試験を行う。)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:指定された教科書、配布資料(WebClass に掲載)等で該当する箇所に目を通しておく。

復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。
試験の受験資格 考査:前期の考査は3分の2以上出席 後期の考査は3分の2以上出席
教科書 最新臨床検査学講座 化学／奈良雅之:医歯薬出版, 2020 化学熱力学／原田義也著,原田, 義也,:裳華房, 2012 ハート基礎有機化学／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳Hart, Harold, 1922-,Hart, David J,Craigne, Leslie E,秋葉 欣哉, 1936-,奥 彬, 1938-,:培風館, 2002
参考書 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一國 雅巳, 1930-,:オーム社, 1995 マクマリー有機化学(上)／JOHN McMURRY／著,伊東椒／訳者代表,児玉三明／訳者代表,McMurry, John,伊東 椒,児玉:東京化学同人, 2017 マクマリー有機化学(中)／JOHN McMURRY／著,伊東椒／訳者代表,児玉三明／訳者代表,McMurry, John,伊東 椒,児玉:東京化学同人, 2017 ベーシック有機化学／山口良平, 山本行男, 田村類 共著,山口, 良平, 1947-,山本, 行男, 1949-,田村, 類, 1953-,:化学同人, 2010 基礎有機化学／大瀧幸一郎 著,大瀧, 幸一郎, 1947-,:東京化学同人, 2010 系統看護学講座 化学／奈良 雅之:医学書院, 2018 化学熱力学／原田義也 著,原田, 義也, 1934-,:裳華房, 2002
他科目との関連 前期第1回～第6回では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。後期第1、2回は「化学実験」における測定値の誤差について取り扱います。
履修上の注意事項 前期、後期いずれも出席3分の2以上を満たさないと、考査の受験資格がなくなります。前期と後期の考査のうちいずれかを受験放棄した場合は、履修放棄したものとみなして、成績は×になります。
備考 キーワード:分析化学、化学実験学、化学熱力学、有機化学
連絡先(メールアドレス) 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000058			
科目名	化学(一般化学)Ⅰ	科目ID	LA-114703-Z	
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 森井 尚之[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO, WATANABE SOICHIRO, MORII Hisayuki]			
開講時期	2020 年度通年	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:前期 水曜日1時限、後期 月曜日4時限 ・対象学科:保健衛生学科検査技術学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
主な講義場所				
前期:1 番教室、6 番教室				
後期:7 番教室				
授業の目的、概要等				
分子生物学、生物化学の発展により、生命現象が化学的な考え方、方法で理解されるようになってきました。医療系の分野も分子レベルで捉えることにより、その知識が膨大になりつつあります。医療系の道を選んだ皆さんは、化学の基礎をしっかりと身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりでなく、医療系の先端的な研究から取り残されてしまうことになるでしょう。特に、検査技術学専攻の皆さんは、全学生の中で最も化学の専門技術と関わるはずで、本科目では大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(有機化学&物理化学)」を学習します。				
授業の到達目標				
授業で扱った範囲に関連した「最新臨床検査学講座 化学」、「ハート基礎有機化学」、等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	09:10-10:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
2	5/20	09:10-10:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
3	5/27	09:10-10:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
4	6/3	09:10-10:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
5	6/10	09:10-10:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
6	6/17	09:10-10:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
7	6/24	09:10-10:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 渡邊 総一郎

8	7/1	09:10-10:40		奈良 雅之 澤野 頼子 渡邊 総一郎
9	7/8	09:10-10:40		奈良 雅之 澤野 頼子 渡邊 総一郎
10	7/15	09:10-10:40		奈良 雅之 澤野 頼子 渡邊 総一郎
11	7/22	09:10-10:40		奈良 雅之 澤野 頼子 渡邊 総一郎
12	7/29	09:10-10:40		奈良 雅之 澤野 頼子 渡邊 総一郎
13	9/2	09:10-10:40		奈良 雅之 澤野 頼子 渡邊 総一郎
14	9/9	09:10-10:40		奈良 雅之 澤野 頼子 渡邊 総一郎
15	9/16	09:10-10:40		奈良 雅之 澤野 頼子 渡邊 総一郎
16	10/5	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子 渡邊 総一郎 森井 尚之
17	10/12	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子 渡邊 総一郎 森井 尚之
18	10/19	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子 渡邊 総一郎 森井 尚之
19	10/26	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子 渡邊 総一郎 森井 尚之
20	11/2	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子 渡邊 総一郎 森井 尚之
21	11/9	14:50-16:20		森井 尚之 澤野 頼子 渡邊 総一郎 森井 尚之
22	11/16	14:50-16:20		森井 尚之

				澤野 頼子, 渡邊 総一郎 森井 尚之	
23	11/23	14:50-16:20		森井 尚之 澤野 頼子, 渡邊 総一郎 森井 尚之	
24	11/30	14:50-16:20		森井 尚之 澤野 頼子, 渡邊 総一郎 森井 尚之	
25	12/7	14:50-16:20		森井 尚之 澤野 頼子, 渡邊 総一郎 森井 尚之	
26	12/14	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 渡邊 総一郎 森井 尚之	
27	12/21	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 渡邊 総一郎 森井 尚之	
28	1/18	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 渡邊 総一郎 森井 尚之	
29	1/25	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 渡邊 総一郎 森井 尚之	
30	2/1	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 渡邊 総一郎 森井 尚之	
授業方法					
講義形式で授業を行うが、適宜、アクティブラーニング(課題演習や答案の発表など)を取り入れて行う。					
授業内容					
前期の 15 回は、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために必要な基礎物理化学、有機化学を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。後期の 15 回は、生化学や生理学の基礎となる化学熱力学、生体高分子論、反応速度論の分野を取り上げます。					
成績評価の方法					
評価 : 試験(期末考査) 100% ・ レポート 0% ・ その他(出席状況・授業時の小テストなどを成績に考慮することがある)					
再評価: 有(再評価方法 前期と後期の内容を合わせた学年末再試験)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
予習: 指定された教科書や配付資料(WebClass に掲載)で該当する箇所に目を通しておく。					

復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。
試験の受験資格 期末考査・再試験の受験資格:3分の2以上出席
教科書 最新臨床検査学講座 化学／奈良雅之:医歯薬出版, 2020 ハート基礎有機化学(三訂版)／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳:培風館, 2002
参考書 マクマリー一般化学(上)／JOHN McMURRY, ROBERT C.FAY 著,荻野博, 山本学, 大野公一 訳:東京化学同人, 2010 ボルハルト・ショアー現代有機化学(第6版)[上]／K. P. C. Vollhardt／[著],Vollhardt:化学同人, 2011 ボルハルト・ショアー現代有機化学(第6版)[下]／K. P. C. Vollhardt／[著],Vollhardt:化学同人, 2011 ウォーレン有機化学(上)／Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳,石橋正己 [ほか]訳,Clayden, Jonathan,野依, 良治, 1938-,石橋, 正己, 1957-,:東京化学同人, 2003 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳,Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一國, 雅巳, 1930-,:オーム社, 1995 系統看護学講座 化学／奈良, 雅之.:医学書院, 2018
他科目との関連 前期に「科学基礎実験 T:化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。
履修上の注意事項 前期、後期で、それぞれ出席3分の2以上を満たさないと、期末考査の受験資格がなくなります。 前期の定期試験(考査)と後期の定期試験(考査)の両方を受験していることが、 再試験(再評価)を受ける資格になります。
備考 第1回～第5回は医学科との合同授業になります。
連絡先(メールアドレス) 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000835			
科目名	化学基礎(Ⅱ)	科目ID	LA-114801-Z	
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:火曜 2 時限(但し、5/12 は 1・2 時限に行い、6/23 は 1 時限のみ行う。)				
・対象学科:保健衛生学科看護学専攻				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る				
別表4-1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる				
別表4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
授業の目的、概要等				
看護学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学の基礎知識や考え方を講義することを基本とする。				
授業の到達目標				
授業で扱った内容および演習問題を理解し、将来、看護学の専門の基礎となる化学を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/12	08:50-10:20		澤野 頼子
2	5/12	10:30-12:00		澤野 頼子
3	5/26	10:30-12:00		澤野 頼子
4	6/2	10:30-12:00		澤野 頼子
5	6/9	10:30-12:00		澤野 頼子
6	6/16	10:50-12:20		澤野 頼子
7	6/23	09:10-10:40		澤野 頼子
8	6/30	10:50-12:20		澤野 頼子
9	7/7	10:50-12:20		澤野 頼子
10	7/14	10:50-12:20		澤野 頼子
11	7/21	10:50-12:20		澤野 頼子
12	7/28	10:50-12:20		澤野 頼子
13	9/1	10:50-12:20		澤野 頼子
14	9/8	10:50-12:20		澤野 頼子
15	9/15	10:50-12:20		澤野 頼子
授業方法				
講義形式で授業を行うが、適宜、アクティブラーニング(演習など)を取り入れて行う。				
授業内容				
1. 生命・医療・生活と化学の関わり				
2. 物質の構成:物質の種類と性質、原子の構造、周期表				
3. 物質と化学結合				
4. 物質量と濃度、化学反応式				
5. 酸と塩基、pH、中和反応				
6. 酸化と還元				
7. 有機化合物				
成績評価の方法				
評価 : 試験 85% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加度・授業時の小テストなど) 15%				
再評価: 有(再評価方法 再試験)				
授業内容の理解度を測るために試験や演習を行い、その成績および授業への参加度で評価を行う。				

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習:講義資料(事前に WebClass に掲載)、参考書等で該当する箇所に目を通しておく。 復習:講義の内容および演習問題・小テストを復習する。 その他、教員からの指示を参考に学習する。
試験の受験資格 試験・再試験の受験資格:3分の2以上出席
参考書 高校化学再入門:大学の化学でつまづいた人へ/小玉信武 著:化学同人, 2005 化学の基礎:元素記号からおさらいする化学の基本/中川徹夫 著:化学同人, 2010 系統看護学講座 化学(第7版)/奈良雅之 著:医学書院, 2018 高校の「化学基礎」および「化学」の教科書
連絡先(メールアドレス) 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000836			
科目名	化学基礎(β)	科目ID	LA-114802-Z	
担当教員	奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一[NARA MASAYUKI, KATSUMATA TOSHIYUKI, MIYAZONO KENICHI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:火曜2限 (初回のみ 1・2限)				
・対象学科:口腔保健学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る				
4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
主な講義場所				
第1週(4/17)～第4週(5/8):湯島キャンパス OH 第3講義室				
第6週(5/22)以降:国府台キャンパス				
授業の目的、概要等				
高校で化学基礎を履修したことを前提にして、看護学や口腔保健学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学的な基礎知識や考え方を習得する。				
授業の到達目標				
教科書、参考資料に出ている例題、演習問題を理解できる。				
生体で起こっている事象をどのようにして化学的に捉えるかを理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/12	08:50-10:20		宮園 健一
2	5/12	10:30-12:00		宮園 健一
3	5/26	10:30-12:00		宮園 健一
4	6/2	10:30-12:00		宮園 健一
5	6/9	10:30-12:00		宮園 健一
6	6/16	10:50-12:20		勝又 敏行
7	6/23	09:10-10:40		勝又 敏行
8	6/30	10:50-12:20		勝又 敏行
9	7/7	10:50-12:20		勝又 敏行
10	7/14	10:50-12:20		勝又 敏行
11	7/21	10:50-12:20		奈良 雅之
12	7/28	10:50-12:20		奈良 雅之
13	9/1	10:50-12:20		勝又 敏行
14	9/8	10:50-12:20		奈良 雅之
15	9/15	10:50-12:20		奈良 雅之
授業方法				
授業は講義形式を基本とするが、随時演習問題を通してアクティブラーニングを併用する。				
授業内容				
1. 序論 単位について				
2. 物質の構造 物質の構成要素:元素・単体・化合物、原子と分子				
化学結合、化学量論:原子量・分子量・式量、化学反応式				
3. 物質の状態 物質の状態変化と粒子の運動:物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、				
気体:気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、				
溶液:溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド				

4. 有機化合物 有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物 5. 高分子化合物 高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物 6. 物質の変化 化学反応と熱・熱化学方程式・結合エネルギー、 酸と塩基の反応：水素イオン濃度とpH・中和反応と中和滴定、 酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡 7. 単体と無機化合物 周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素
成績評価の方法 評価：定期試験 100%・レポート 0% その他（授業中の出席カードの回答状況などを考慮する） 再評価：有（再評価の方法 再試験） 化学の基礎が理解できているか否かが評価の鍵ですから、試験を重視します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習：指定された教科書で該当する箇所に通しておく。 復習：講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。
試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席
教科書 系統看護学講座 化学／奈良 雅之：医学書院，2018
参考書 大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一，村田滋，錦織紳一 著，大野，公一，1945-，村田，滋，1956-，錦織，紳一，1953-，：共立出版，2005 化学／岡崎三代，奈良雅之，永井裕，中澤泰男 著，岡崎，三代，1944-，奈良，雅之，永井，裕，1928-，：医歯薬出版，2005
連絡先（メールアドレス） 奈良 雅之 nara.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行 katsumata.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之：毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00，毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 勝又 敏行：毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000264			
科目名	生物学(細胞・遺伝子)M	科目ID	LA-114901-Z	
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANOR]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 火曜日 1・2 限 ・対象学科・専攻: 医学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。				
主な講義場所				
教育棟(ヒポクラテスホール)1 階、1 番教室				
授業の目的、概要等				
細胞の構造、遺伝、代謝に関する基本的知識を理解し、専門教育を学ぶうえでの基盤をつくることと、能動的に学習するようになることを目標とする。				
授業の到達目標				
1)細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。				
2)遺伝、遺伝子および遺伝の法則とは何か、説明することができる。				
3)遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。				
4)基本的な遺伝子操作技術を説明することができる。				
5)代謝とは何か、説明することができる。				
6)生物の進化に関する仮説とその根拠を説明することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	6/30	09:10-12:20		伊藤 正則
3-4	7/3	13:10-16:20		伊藤 正則
5-6	7/10	13:10-16:20		伊藤 正則
7-8	7/17	13:10-16:20		伊藤 正則
9-10	7/24	13:10-16:20		伊藤 正則
11-12	7/28	09:10-12:20		伊藤 正則
13	9/4	13:10-14:40		服部 淳彦
授業方法				
基本的には講義形式で行う。アクティブラーニングとして、予めプリント(大部分は英語で書かれたもの)を配布するので、予習を行うことと、講義内容に関する質問をリアクションペーパーに書く。次週の授業でこの質問に答える。復習では知識が体系的になるようにノートを整理させる。また、課題を出す。その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。				
授業内容				
生命の構造・機能上の単位である細胞について概説した後、遺伝と代謝の基本的知識について説明する。また、生物の進化に関する仮説とその根拠を説明する。				
成績評価の方法				
試験 100%				
再評価: 有(再試験での成績は 60 点を上限とする)				
前期の授業内容に関する試験、後期の授業内容に関する試験および学力認定試験の全てを受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。				
上記の 3 種の試験の成績を総合的に評価して、1 月に補強コースとアドバンスコースにクラスを分けて授業を行う。補強コースを受講した学生は、前期と後期を範囲とする再試験を受けなければならない。アドバンスコースを受講した学生は、指定された課題のレポートを提				

出する。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。
準備学習等についての具体的な指示 アクティブラーニングとして、予めプリント(大部分は英語で書かれたもの)を配布するので、予習を行うこと。講義内容に関する質問があれば、リアクションペーパーに書くこと。次週の授業でこの質問に答える。復習では知識が体系的になるようにノートを整理すること。
試験の受験資格 2/3 以上、出席すること。
教科書 はじめの一步のイラスト生化学・分子生物学：生物学を学んでいない人でもわかる目で見える教科書／前野正夫, 磯川桂太郎 著, 羊土社, 2008 ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著, 坂井建雄, 岡田隆夫 監訳, 坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳, 医学書院, 2005 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter, with problems by John Wilson, Tim Hunt, : Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015 Human biology 13th ed／Sylvia S. Mader, Michael Windelspecht ; with contributions by David Cox : McGraw-Hill, 2014 診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学／渡邊淳: 羊土社, 2017 よくわかるゲノム医学：ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部成介, 水島-菅野純子 著, 菅野純夫 監修, 服部, 成介, 1952-, 水島-菅野, 純子, 菅野, 純夫, 1952-, : 羊土社, 2016
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先(メールアドレス) itohmtlas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000266																																					
科目名	生物学(細胞・遺伝子)DT	科目ID	LA-114903-Z																																			
担当教員	服部 淳彦[HATSUTORI ATSUSHIKO]																																					
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1																																			
実務経験のある教員による授業																																						
・曜日・時間: 火曜日1・2限 ・対象学科・専攻: 歯学科・検査学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。 4ー2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。																																						
授業の目的、概要等 生物学(細胞・遺伝子)では、「生命のしくみ」に重点を置き、ますます情報量が増え難解になってきた分子生物学や分子遺伝学の基礎をわかりやすく解説するとともに、生命現象やそのしくみの不思議さ・面白さ、さらにはその展開としての医療面への応用やヒトの進化についても触れていく。 時間の制約もありこの科目では、生命の基本単位である「DNAと遺伝子」、「細胞の構造と機能」に関しては、すでに生物学入門等で学習したものとして講義を進める。																																						
授業の到達目標 分子生物学や分子遺伝学の基礎を理解し、「生命のしくみ」の基本について説明できる。																																						
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1-2</td><td>6/30</td><td>09:10-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>3-4</td><td>7/7</td><td>09:10-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>5-6</td><td>7/14</td><td>09:10-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>7-8</td><td>7/21</td><td>09:10-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>9-10</td><td>7/28</td><td>09:10-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>11-12</td><td>9/1</td><td>09:10-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1-2	6/30	09:10-12:20		服部 淳彦	3-4	7/7	09:10-12:20		服部 淳彦	5-6	7/14	09:10-12:20		服部 淳彦	7-8	7/21	09:10-12:20		服部 淳彦	9-10	7/28	09:10-12:20		服部 淳彦	11-12	9/1	09:10-12:20		服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																		
1-2	6/30	09:10-12:20		服部 淳彦																																		
3-4	7/7	09:10-12:20		服部 淳彦																																		
5-6	7/14	09:10-12:20		服部 淳彦																																		
7-8	7/21	09:10-12:20		服部 淳彦																																		
9-10	7/28	09:10-12:20		服部 淳彦																																		
11-12	9/1	09:10-12:20		服部 淳彦																																		
授業方法 講義と一部グループワークによる。																																						
授業内容 生命を支配する遺伝子 1. 分子遺伝学とは 2. 生物の世界:ゲノム, 遺伝子, DNA 3. 真核生物の遺伝子の構造 4. 遺伝子の発現と制御 5. 染色体と細胞周期 6. 細胞分裂 - 体細胞分裂・減数分裂 7. 遺伝性疾患と遺伝様式Ⅰ 8. 遺伝性疾患と遺伝様式Ⅱ 9. 遺伝子診断とDNA型鑑定 10. 遺伝子治療の現状と問題点 生物の多様性と分子進化 11. 生物の多様性と進化 12. 分子進化と分子系統樹 13. 中立説と自然淘汰説																																						

14. 遺伝子の進化と種の分化 15. ヒトの起源と未来
成績評価の方法 評価: 生命現象について総合的に理解するための基礎学力をつけるために 試験 90%・レポート 0% その他 10% (授業内のグループワークでの貢献度や質問への回答状況等) 再評価: 有 (再試験の成績は60点を上限とする) 生物学 (通年) の成績は、前期試験、後期試験と学力認定試験の成績を総合的に評価してつける。また、その評価を元に1月には補強コースとアドバンスコースに分けて授業を行う。前期試験と後期試験および学力認定試験をすべて受けないと再試験を受けることができない (履修放棄とみなす)。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習等についての具体的な指示 日々、教科書をもとに予習をし、また、板書を基本に自ら学習したノートをもとに復習をすること。
教科書 はじめの一步の生化学・分子生物学 (第3版) / 前野正夫, 磯川桂太郎: 羊土社, 2016 ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版 / SS Mader: 医学書院, 2011 授業の内容に合わせて、適宜プリントも配布する。
参考書 Essential 細胞生物学 / Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著, 中村桂子, 松原謙一 監訳: 南江堂, 2011
連絡先 (メールアドレス) ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週 水曜: 12:30~14:00 金曜: 10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室 (A2)

時間割番号	000265			
科目名	生物学(構造・機能)M	科目ID	LA-114902-Z	
担当教員	服部 淳彦[HATSUTORI ATSUSHIKO]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 月曜日3限 ・対象学科・専攻: 医学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。 4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。				
授業の目的、概要等				
1年の前期の講義では、生命の基本単位である細胞やその情報源である遺伝子やDNAに関して学習した。後期は、個々の細胞が集まって構築されている個体が、どのようにして全体として調和のとれた活動ができるのかを学習する。そこでこの科目は、特に「生体の構造と機能」を『調節機構』を切り口にして、鳥瞰図的に捕らえた講義を行う。また、それぞれの項目に関しては、系統発生的・進化学的な視点からも解説する。				
授業の到達目標				
生体の各組織や器官について、その構造と機能の概要を理解し、それらを全体として制御しているシステム系について説明できる。また、ヒトを進化学的な側面から捉えられる視点を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/11	13:10-16:20		服部 淳彦
3	10/5	13:10-14:40		服部 淳彦
4	10/12	13:10-14:40		服部 淳彦
5	10/19	13:10-14:40		服部 淳彦
6	10/26	13:10-14:40		服部 淳彦
7	11/2	13:10-14:40		服部 淳彦
8	11/9	13:10-14:40		服部 淳彦
9	11/16	13:10-14:40		服部 淳彦
10	11/23	13:10-14:40		服部 淳彦
11	11/30	13:10-14:40		服部 淳彦
12	12/7	13:10-14:40		服部 淳彦
13	12/14	13:10-14:40		服部 淳彦
14	12/21	13:10-14:40		服部 淳彦
15	1/18	13:10-14:40		服部 淳彦
16	1/25	13:10-14:40		服部 淳彦
17	2/1	13:10-14:40		服部 淳彦
授業方法				
講義と一部グループワークによる。				
授業内容				
1. 細胞から個体へ				
2. 生体における情報伝達系				
3. 成長				
4. 骨と軟骨				
5. ホメオスタシス				
6. カルシウムの調節				
7. 排泄と泌尿器系				

8. 血圧と循環器系 9. 栄養と消化器系 10. 血糖値の調節 11. 刺激と感覚・神経系 12. 炎症とアレルギー 13. 免疫系 14. 子孫の維持と生殖系 15. 加齢と加齢性障害
成績評価の方法 評価: 生命現象について総合的に理解するための基礎学力をつけるために 試験 90%・レポート 0% その他 10% (授業内でのグループワークへの貢献度や質問への回答状況等) 再評価: 有 (再試験の成績は60点を上限とする) 生物学 (通年) の成績は、前期試験、後期試験と学力認定試験の成績を総合的に評価してつける。また、その評価を元に1月には補強コースとアドバンスコースに分けて授業を行う。前期試験と後期試験および学力認定試験をすべて受けないと再試験を受けることができない (履修放棄とみなす)。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習等についての具体的な指示 日々、教科書をもとに予習をし、また、板書を基本に自ら学習したノートをもとに復習をすること。
教科書 ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版 / S. S. Mader: 医学書院, 2011 授業の内容に合わせて、適宜プリントを配布する。
参考書 からだの構造と機能 / A. Schaffler, S. Schmidt: 西村書店
連絡先(メールアドレス) ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週 水曜: 12:30~14:00 金曜: 10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000267			
科目名	生物学(構造・機能)DT	科目ID	LA-114904-Z	
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANOR]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜日 1 限 ・対象学科・専攻:歯学科・検査学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。				
主な講義場所 教育棟(ヒポクラテスホール)3 階、7 番教室				
授業の目的、概要等 生体の構造を個体から分子レベルで理解する。特に、生体の構造と関連させて機能を理解する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割を考える。専門科目を学ぶうえでの基盤をつくることと、能動的に学習を行うようになる。				
授業の到達目標 1)生体の基本構造を説明することができる。 2)生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。 3)生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割について考え、その考えを論理的に説明することができる				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/8	09:10-12:20		伊藤 正則
3	9/15	10:50-12:20		伊藤 正則
4	10/7	09:10-10:40		伊藤 正則
5	10/14	09:10-10:40		伊藤 正則
6	10/21	09:10-10:40		伊藤 正則
7	10/28	09:10-10:40		伊藤 正則
8	11/4	09:10-10:40		伊藤 正則
9	11/11	09:10-10:40		伊藤 正則
10	11/18	09:10-10:40		伊藤 正則
11	11/25	09:10-10:40		伊藤 正則
12	12/2	09:10-10:40		伊藤 正則
13	12/9	09:10-10:40		伊藤 正則
14	12/16	09:10-10:40		伊藤 正則
15	1/6	09:10-10:40		伊藤 正則
16	1/13	09:10-10:40		伊藤 正則
17	1/20	09:10-10:40		伊藤 正則
18	1/27	09:10-10:40		伊藤 正則
授業方法 基本的には講義形式で行う。アクティブラーニングとして、毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。また、課題を出す。その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。				
授業内容 代表的な生命現象に関与する器官、その器官の組織構造と具体的な機能を説明する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割を考える。				

成績評価の方法 評価:試験 100% 再評価:有(再評価の成績は 60 点を上限とする) 前期と後期の本試験または追試験と学力認定試験の全ての試験を受けないと、再試験を受けることはできない(履修放棄とみなす)。前期と後期の本試験(または追試験)と学力認定試験の成績から補強コースとアドバンスコースに分ける。補強コースを受講する学生は再試験を受ける。アドバンスコースを受講する学生は指定された課題のレポートを提出する。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。
準備学習等についての具体的な指示 アクティブラーニングとして予めプリントを配布するので、予習を行うこと。講義内容に関する質問があれば、リアクションペーパーに書くこと。次週の授業で質問に答える。知識が体系的になるようにノートを整理する等の復習を行うこと。
試験の受験資格 2/3 以上出席すること。
教科書 ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著、坂井建雄、岡田隆夫 監訳、坂井建雄、橋本尚詞、小林靖、渡邊卓、貞森直樹、岡田隆夫、中谷敬 訳：医学書院、2005 はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学：生物学を学んでいない人でもわかる目で見える教科書／前野正夫、磯川桂太郎 著：羊土社、2008 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 Essential 細胞生物学／Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著、中村桂子、松原謙一 監訳：南江堂、2011 Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter, with problems by John Wilson, Tim Hunt.: Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015 Human biology 13th ed／Sylvia S.: McGraw-Hill, 2014 診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学／渡邊淳：羊土社、2017 よくわかるゲノム医学：ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部成介、水島-菅野純子 著、菅野純夫 監修、服部 成介、1952-、水島-菅野 純子、菅野 純夫、1952-.: 羊土社、2016
連絡先(メールアドレス) itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000843				
科目名	細胞生物学基礎		科目ID	LA-115000-Z	
担当教員	松本 幸久[MATSUMOTO YUKIHISA]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
・曜日・時間:月曜4限 ・対象専攻:看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4－1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる。					
主な講義場所 ヒポクラテスホール1階1番教室					
授業の目的、概要等 生物は細胞から成り、細胞の機能によって生命現象が発現される。この授業では、細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明できることを理解する。					
授業の到達目標 1)細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。 2)遺伝および遺伝子とは何か、説明することができる。 3)遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。 4)代謝とは何か、説明することができる。 5)酸素呼吸の意義とその反応過程を説明することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/7	13:10-14:40		松本 幸久	
2	5/14	13:10-14:40		松本 幸久	
3	5/21	13:10-14:40		松本 幸久	
4	5/28	13:10-14:40		松本 幸久	
5	6/4	13:10-14:40		松本 幸久	
6	6/11	13:10-14:40		松本 幸久	
7	6/18	13:10-14:40		松本 幸久	
8	6/23	10:50-12:20		松本 幸久	
9	6/25	13:10-14:40		松本 幸久	
10	7/2	13:10-14:40		松本 幸久	
11	7/9	13:10-14:40		松本 幸久	
12	7/16	13:10-14:40		松本 幸久	
13	7/23	13:10-14:40		松本 幸久	
14	7/30	13:10-14:40		松本 幸久	
15	9/3	13:10-14:40		松本 幸久	
16	9/10	13:10-14:40		松本 幸久	
授業方法 授業は主に講義形式で行う。毎回の授業で、復習クイズ(前回の授業内容から出題する基本問題)、予習クイズ(次回の授業内容から出題する基本問題)、ふりかえり発展問題(これまでの複数の授業の内容を関連づけさせた応用問題で、予め課題を出しておき、自分で答えを準備させ授業内で答えさせる)などの小テストを行う。また、疑問点抽出能力の向上のため、毎回の授業でリアクションペーパーに疑問点を書かせ提出させる。					
授業内容 細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明する。					

成績評価の方法 評価: 本講義は確実な知識を習得することが主な目的なので、期末考査90%、授業内の小テスト10%で成績を評価する。 再評価: 有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習等についての具体的な指示 復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。
試験の受験資格 授業の3分の2以上出席すること。
教科書 医療・看護系のための生物学 = Biology for Paramedical and Nursing Courses／田村隆明 著、裳華房、2016 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫: 羊土社、2008 ヒューマンバイオロジー 人体と生命／SS Mader: 医学書院、2005 やさしい基礎生物学／南雲 保: 羊土社、2011 大学で学ぶ身近な生物学／吉村成弘 著、吉村、成弘: 羊土社、2015
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。
連絡先(メールアドレス) yukihi.sas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000064				
科目名	人体の生物学基礎			科目ID	LA-115100-Z
担当教員	松本 幸久[MATSUMOTO YUKIHISA]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象専攻: 看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。					
主な講義場所 ヒポクラテスホール1階1番教室					
授業の目的、概要等 多数の細胞が集まって構築されている個体が、どのようにして全体として調和のとれた活動ができるかという点について学習する。					
授業の到達目標 1) 生体の基本構造を説明することができる。 2) 生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	14:50-16:20		松本 幸久	
2	10/12	14:50-16:20		松本 幸久	
3	10/19	14:50-16:20		松本 幸久	
4	10/26	14:50-16:20		松本 幸久	
5	11/2	14:50-16:20		松本 幸久	
6	11/9	14:50-16:20		松本 幸久	
7	11/16	14:50-16:20		松本 幸久	
8	11/23	14:50-16:20		松本 幸久	
9	11/30	14:50-16:20		松本 幸久	
10	12/7	14:50-16:20		松本 幸久	
11	12/14	14:50-16:20		松本 幸久	
12	12/21	14:50-16:20		松本 幸久	
13	1/18	14:50-16:20		松本 幸久	
14	1/25	14:50-16:20		松本 幸久	
15	2/1	14:50-16:20		松本 幸久	
授業方法 授業は主に講義形式で行う。毎回の授業で、復習クイズ(前回の授業内容から出題する基本問題)、予習クイズ(次回の授業内容から出題する基本問題)、ふりかえり発展問題(これまでの複数の授業の内容を関連づけさせた応用問題で、予め課題を出しておき、自分で答えを準備させ授業内で答えさせる)などの小テストを行う。また、疑問点抽出能力の向上のため、毎回の授業でリアクションペーパーに疑問点を書かせ提出させる。					
授業内容 生体の各組織・器官の構造と機能の概要を説明し、代表的な生命現象とその制御メカニズムを系統進化学的な観点を加えて説明する。					
成績評価の方法 評価: 本講義は確実な知識を習得することが主な目的なので、期末考査90%、授業内の小テスト10%で成績を評価する。 再評価: 有					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習等についての具体的な指示					

復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。
試験の受験資格 授業の3分の2以上出席すること。
教科書 医療・看護系のための生物学 = Biology,for Paramedical and Nursing Courses／田村隆明 著,：裳華房, 2016 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫:羊土社, 2008 ヒューマンバイオロジー 人体と生命／SS Mader:医学書院, 2005 大学で学ぶ身近な生物学／吉村成弘 著,吉村, 成弘.:羊土社, 2015
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。
連絡先(メールアドレス) yukihisa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000065				
科目名	英語		科目ID	LA-115200-Z	
担当教員	畔柳 和代, 猪熊 恵子, PATRICK FOSS, JEANETTE DENNISSON, MIYA MARUTSUKA, CORLISS JONATHAN, LITTEN CHRISTOPHER T, Reed Jesse Ryan, 野口 大斗[KUROYANAGI KAZUYO, INOKUMA KEIKO, PATRICK FOSS, JEANETTE DENNISSON, Miya Marutsuka, Corliss Jonathan, LITTEN Christopher T, REED Jesse Ryan, NOGUCHI Hiroto]				
開講時期	2020 年度通年	対象年次	1	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
準備学習等についての具体的な指示					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先(メールアドレス)					
畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp					
PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp					
猪熊 恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp					
JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室					
PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10					
毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10					
管理研究棟 3階 フォス研究室					
猪熊 恵子:水曜日 12時30分～13時					
木曜日 12時30分～13時20分					
管理研究棟 3階 猪熊研究室					
JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 - 13:00 PM 管理研究棟3階					

時間割番号	000066																																															
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z																																													
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]																																															
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1																																													
実務経験のある教員による授業																																																
・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>5/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>2</td><td>5/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>3</td><td>5/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>4</td><td>6/3</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>5</td><td>6/10</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>6</td><td>6/17</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>7</td><td>6/24</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>8</td><td>7/1</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/13	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	2	5/20	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	3	5/27	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	4	6/3	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	5	6/10	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	6	6/17	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	7	6/24	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	8	7/1	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	5/13	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												
2	5/20	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												
3	5/27	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												
4	6/3	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												
5	6/10	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												
6	6/17	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												
7	6/24	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												
8	7/1	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												

				N	
9	7/8	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
10	7/15	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
11	7/22	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
12	7/29	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
13	9/2	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
14	9/9	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
15	9/16	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Weeks 12-15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: Participation: 30% assignments: 40% discussion tests: 30%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
参考書					
Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					

備考

PC、タブレットなどが必要です。

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.

What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。

連絡先(メールアドレス)

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000067																																										
科目名	英語 a	科目 ID	LA-115201-Z																																								
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]																																										
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1																																								
実務経験のある教員による授業																																											
・曜日・時間:水曜2限 ・対象:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																											
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																											
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																											
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>5/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reed Jesse Ryan, 畔柳和代</td></tr><tr><td>2</td><td>5/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reed Jesse Ryan, 畔柳和代</td></tr><tr><td>3</td><td>5/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reed Jesse Ryan, 畔柳和代</td></tr><tr><td>4</td><td>6/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reed Jesse Ryan, 畔柳和代</td></tr><tr><td>5</td><td>6/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reed Jesse Ryan, 畔柳和代</td></tr><tr><td>6</td><td>6/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reed Jesse Ryan, 畔柳和代</td></tr><tr><td>7</td><td>6/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reed Jesse Ryan, 畔柳</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/13	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代	2	5/20	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代	3	5/27	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代	4	6/3	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代	5	6/10	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代	6	6/17	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代	7	6/24	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	5/13	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代																																							
2	5/20	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代																																							
3	5/27	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代																																							
4	6/3	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代																																							
5	6/10	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代																																							
6	6/17	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代																																							
7	6/24	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳																																							

				和代
8	7/1	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳 和代
9	7/8	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳 和代
10	7/15	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳 和代
11	7/22	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳 和代
12	7/29	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳 和代
13	9/2	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳 和代
14	9/9	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳 和代
15	9/16	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳 和代
授業方法 Skills Instruction and Practice				
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法 評価: participation 40% presentation 10% quizzes 15% homework 10% final discussion test 25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 a,b,c,d の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
履修上の注意事項				

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000068			
科目名	英語 a	科目 ID	LA-115201-Z	
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.				
The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.				
To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
2	5/20	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
3	5/27	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
4	6/3	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
5	6/10	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
6	6/17	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
7	6/24	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
8	7/1	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代

				柳 和代
9	7/8	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
10	7/15	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
11	7/22	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
12	7/29	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
13	9/2	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
14	9/9	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
15	9/16	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment				
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%				
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)				
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格				
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
履修上の注意事項				
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。				
参照ホームページ				
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.				

時間割番号	000069			
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z	
担当教員	CORLISS JONATHAN[Corliss Jonathan]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
2	5/20	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
3	5/27	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
4	6/3	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
5	6/10	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
6	6/17	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
7	6/24	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
8	7/1	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN,

				畔柳 和代
9	7/8	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
10	7/15	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
11	7/22	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
12	7/29	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
13	9/2	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
14	9/9	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
15	9/16	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
授業方法 Skills Instruction and Practice				
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法 評価: Participation: 50% assignments and quizzes: 25% final discussion test: 25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。				
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.				

時間割番号	000070			
科目名	英語 a	科目 ID	LA-115201-Z	
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜 2 限 ・対象学科:口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON
2	5/20	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON
3	5/27	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON
4	6/3	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON
5	6/10	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON
6	6/17	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON
7	6/24	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON
8	7/1	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON

				N
9	7/8	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
10	7/15	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
11	7/22	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
12	7/29	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
13	9/2	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
14	9/9	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
15	9/16	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
授業方法 Skills Instruction and Practice				
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment Weeks 12-15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法 評価: Participation: 30% assignments: 40% discussion tests: 30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
参考書 Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.				
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。				

備考

PC、タブレットなどが必要です。

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.

What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。

連絡先(メールアドレス)

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000071																																															
科目名	英語 a	科目 ID	LA-115201-Z																																													
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]																																															
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1																																													
実務経験のある教員による授業																																																
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>5/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>2</td><td>5/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>3</td><td>5/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>4</td><td>6/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>5</td><td>6/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>6</td><td>6/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>7</td><td>6/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>8</td><td>7/1</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/13	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	2	5/20	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	3	5/27	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	4	6/3	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	5	6/10	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	6	6/17	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	7	6/24	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	8	7/1	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	5/13	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
2	5/20	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
3	5/27	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
4	6/3	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
5	6/10	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
6	6/17	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
7	6/24	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
8	7/1	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												

				柳 和代
9	7/8	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
10	7/15	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
11	7/22	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
12	7/29	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
13	9/2	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
14	9/9	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
15	9/16	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000072			
科目名	英語 a	科目 ID	LA-115201-Z	
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/7	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
2	5/14	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
3	5/21	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
4	5/28	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
5	6/4	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
6	6/11	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
7	6/18	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
8	6/25	09:10-10:40		MIYA MAR

				UTSUKA, 畔柳 和代
9	7/2	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔柳 和代
10	7/9	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔柳 和代
11	7/16	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔柳 和代
12	7/23	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔柳 和代
13	7/30	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔柳 和代
14	9/3	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔柳 和代
15	9/10	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔柳 和代
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment				
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%				
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)				
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格				
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 a,b,c,d の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
履修上の注意事項				
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。				
参照ホームページ				

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000073			
科目名	英語 a	科目 ID	LA-115201-Z	
担当教員	野口 大斗[NOGUCHI Hiroto]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 検査技術学・口腔保健工学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/7	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
2	5/14	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
3	5/21	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
4	5/28	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
5	6/4	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
6	6/11	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
7	6/18	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
8	6/25	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
9	7/2	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
10	7/9	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
11	7/16	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
12	7/23	10:50-12:20		野口 大斗,

				畔柳 和代	
13	7/30	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代	
14	9/3	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代	
15	9/10	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代	
16	9/17	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: participation: 50%, discussion test: 25%. quizzes/assignments: 25%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					

時間割番号	000074			
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z	
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/7	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON
2	5/14	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON
3	5/21	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON
4	5/28	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON
5	6/4	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON
6	6/11	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON
7	6/18	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON
8	6/25	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON

				N	
9	7/2	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
10	7/9	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
11	7/16	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
12	7/23	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
13	7/30	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
14	9/3	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
15	9/10	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
16	9/17	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Weeks 12-15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: Participation: 30% assignments: 40% discussion tests: 30%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 a,b,c,d の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
教科書					

Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
備考 PC、タブレットなどが必要です。 You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.
参照ホームページ 「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。 Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.
連絡先(メールアドレス) JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000075			
科目名	英語 a	科目 ID	LA-115201-Z	
担当教員	LITTEN CHRISTOPHER T[LITTEN Christopher T]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.				
The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.				
To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/7	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
2	5/14	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
3	5/21	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
4	5/28	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
5	6/4	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代

6	6/11	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
7	6/18	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
8	6/25	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
9	7/2	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
10	7/9	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
11	7/16	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
12	7/23	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
13	7/30	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
14	9/3	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
15	9/10	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment				
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				

評価: Participation 40% mini-discussion quizzes 20% class discussion presentation 10% homework 5% final discussion test 25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000077																																															
科目名	英語 a	科目 ID	LA-115201-Z																																													
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]																																															
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1																																													
実務経験のある教員による授業																																																
・曜日・時間: 木曜 2 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>5/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>2</td><td>5/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>3</td><td>5/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>4</td><td>5/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>5</td><td>6/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>6</td><td>6/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>7</td><td>6/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>8</td><td>6/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/7	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	2	5/14	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	3	5/21	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	4	5/28	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	5	6/4	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	6	6/11	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	7	6/18	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	8	6/25	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	5/7	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																												
2	5/14	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																												
3	5/21	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																												
4	5/28	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																												
5	6/4	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																												
6	6/11	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																												
7	6/18	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																												
8	6/25	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																												

				N
9	7/2	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
10	7/9	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
11	7/16	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
12	7/23	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
13	7/30	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
14	9/3	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
15	9/10	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
授業方法 Skills Instruction and Practice				
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment Weeks 12-15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法 評価: Participation: 30% assignments: 40% discussion tests: 30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
教科書 Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.				
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。				

備考 PC、タブレットなどが必要です。 You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.
参照ホームページ 「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。 Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.
連絡先(メールアドレス) dennisson.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000078																																															
科目名	英語 a	科目 ID	LA-115201-Z																																													
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]																																															
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1																																													
実務経験のある教員による授業																																																
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 検査技術学・口腔保健工学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>5/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>2</td><td>5/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>3</td><td>5/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>4</td><td>5/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>5</td><td>6/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>6</td><td>6/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>7</td><td>6/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>8</td><td>6/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/7	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	2	5/14	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	3	5/21	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	4	5/28	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	5	6/4	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	6	6/11	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	7	6/18	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	8	6/25	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	5/7	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
2	5/14	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
3	5/21	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
4	5/28	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
5	6/4	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
6	6/11	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
7	6/18	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
8	6/25	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												

				柳 和代
9	6/26	16:30-18:00		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
10	7/2	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
11	7/9	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
12	7/16	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
13	7/23	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
14	7/30	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
15	9/3	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
16	9/10	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment				
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%				
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)				
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格				
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				

履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000080			
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z	
担当教員	CORLISS JONATHAN[Corliss Jonathan]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
2	5/20	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
3	5/27	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
4	6/3	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
5	6/10	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
6	6/17	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
7	6/24	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
8	7/1	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN,

				畔柳 和代
9	7/8	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
10	7/15	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
11	7/22	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
12	7/29	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
13	9/2	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
14	9/9	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
15	9/16	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment				
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: Participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25%				
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)				
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格				
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
履修上の注意事項				
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。				
参照ホームページ				
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.				

時間割番号	000076																																					
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																			
担当教員	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T[PATRICK FOSS, LITTEN Christopher T]																																					
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1																																			
実務経験のある教員による授業																																						
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)																																						
授業の目的、概要等 Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages. The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.																																						
授業の到達目標 To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.																																						
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>5/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T</td></tr><tr><td>2</td><td>5/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T</td></tr><tr><td>3</td><td>5/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T</td></tr><tr><td>4</td><td>5/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T</td></tr><tr><td>5</td><td>6/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T</td></tr><tr><td>6</td><td>6/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK F</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/7	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T	2	5/14	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T	3	5/21	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T	4	5/28	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T	5	6/4	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T	6	6/11	10:50-12:20		PATRICK F
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																		
1	5/7	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T																																		
2	5/14	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T																																		
3	5/21	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T																																		
4	5/28	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T																																		
5	6/4	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T																																		
6	6/11	10:50-12:20		PATRICK F																																		

				OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
7	6/18	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
8	6/25	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
9	7/2	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
10	7/9	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
11	7/16	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
12	7/23	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
13	7/30	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
14	9/3	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
15	9/10	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment				
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%				

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000079			
科目名	英語 b	科目ID	LA-115202-Z	
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜2限 ・対象:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)				
授業の目的、概要等				
Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.				
The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.				
授業の到達目標				
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.				
To improve the ability to read different types of written works effectively.				
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	10:50-12:20		PATRICK F OSS
2	5/20	10:50-12:20		PATRICK F OSS
3	5/27	10:50-12:20		PATRICK F OSS
4	6/3	10:50-12:20		PATRICK F OSS
5	6/10	10:50-12:20		PATRICK F OSS
6	6/17	10:50-12:20		PATRICK F OSS
7	6/24	10:50-12:20		PATRICK F OSS
8	7/1	10:50-12:20		PATRICK F OSS
9	7/8	10:50-12:20		PATRICK F OSS
10	7/15	10:50-12:20		PATRICK F OSS
11	7/22	10:50-12:20		PATRICK F

				OSS	
12	7/29	10:50-12:20		PATRICK F OSS	
13	9/2	10:50-12:20		PATRICK F OSS	
14	9/9	10:50-12:20		PATRICK F OSS	
15	9/16	10:50-12:20		PATRICK F OSS	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先(メールアドレス)					
foss.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10					
毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10					
管理研究棟 3階 フォス研究室					

時間割番号	000081																																																																																		
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																																																
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]																																																																																		
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																			
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																			
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>5/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>2</td><td>5/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>3</td><td>5/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>4</td><td>6/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>5</td><td>6/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>6</td><td>6/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>7</td><td>6/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>8</td><td>7/1</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>9</td><td>7/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>10</td><td>7/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>11</td><td>7/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>12</td><td>7/29</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>13</td><td>9/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>14</td><td>9/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>15</td><td>9/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/13	10:50-12:20		猪熊 恵子	2	5/20	10:50-12:20		猪熊 恵子	3	5/27	10:50-12:20		猪熊 恵子	4	6/3	10:50-12:20		猪熊 恵子	5	6/10	10:50-12:20		猪熊 恵子	6	6/17	10:50-12:20		猪熊 恵子	7	6/24	10:50-12:20		猪熊 恵子	8	7/1	10:50-12:20		猪熊 恵子	9	7/8	10:50-12:20		猪熊 恵子	10	7/15	10:50-12:20		猪熊 恵子	11	7/22	10:50-12:20		猪熊 恵子	12	7/29	10:50-12:20		猪熊 恵子	13	9/2	10:50-12:20		猪熊 恵子	14	9/9	10:50-12:20		猪熊 恵子	15	9/16	10:50-12:20		猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	5/13	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
2	5/20	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
3	5/27	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
4	6/3	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
5	6/10	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
6	6/17	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
7	6/24	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
8	7/1	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
9	7/8	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
10	7/15	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
11	7/22	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
12	7/29	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
13	9/2	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
14	9/9	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
15	9/16	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																			

成績評価の方法 評価: class participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先(メールアドレス) inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000082			
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z	
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・限: 水曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標				
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	10:50-12:20		畔柳 和代
2	5/20	10:50-12:20		畔柳 和代
3	5/27	10:50-12:20		畔柳 和代
4	6/3	10:50-12:20		畔柳 和代
5	6/10	10:50-12:20		畔柳 和代
6	6/17	10:50-12:20		畔柳 和代
7	6/24	10:50-12:20		畔柳 和代
8	7/1	10:50-12:20		畔柳 和代
9	7/8	10:50-12:20		畔柳 和代
10	7/15	10:50-12:20		畔柳 和代
11	7/22	10:50-12:20		畔柳 和代
12	7/29	10:50-12:20		畔柳 和代
13	9/2	10:50-12:20		畔柳 和代
14	9/9	10:50-12:20		畔柳 和代
15	9/16	10:50-12:20		畔柳 和代
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				

成績評価の方法 評価: class participation:25%, quizzes + in-class writing:40%, assignments:35% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先(メールアドレス) kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000083																																																																																		
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																																																
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]																																																																																		
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
・曜日・限: 水曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																			
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>5/13</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>2</td><td>5/20</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>3</td><td>5/27</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>4</td><td>6/3</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>5</td><td>6/10</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>6</td><td>6/17</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>7</td><td>6/24</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>8</td><td>7/1</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>9</td><td>7/8</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>10</td><td>7/15</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>11</td><td>7/22</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>12</td><td>7/29</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>13</td><td>9/2</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>14</td><td>9/9</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>15</td><td>9/16</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/13	13:10-14:40		畔柳 和代	2	5/20	13:10-14:40		畔柳 和代	3	5/27	13:10-14:40		畔柳 和代	4	6/3	13:10-14:40		畔柳 和代	5	6/10	13:10-14:40		畔柳 和代	6	6/17	13:10-14:40		畔柳 和代	7	6/24	13:10-14:40		畔柳 和代	8	7/1	13:10-14:40		畔柳 和代	9	7/8	13:10-14:40		畔柳 和代	10	7/15	13:10-14:40		畔柳 和代	11	7/22	13:10-14:40		畔柳 和代	12	7/29	13:10-14:40		畔柳 和代	13	9/2	13:10-14:40		畔柳 和代	14	9/9	13:10-14:40		畔柳 和代	15	9/16	13:10-14:40		畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	5/13	13:10-14:40		畔柳 和代																																																																															
2	5/20	13:10-14:40		畔柳 和代																																																																															
3	5/27	13:10-14:40		畔柳 和代																																																																															
4	6/3	13:10-14:40		畔柳 和代																																																																															
5	6/10	13:10-14:40		畔柳 和代																																																																															
6	6/17	13:10-14:40		畔柳 和代																																																																															
7	6/24	13:10-14:40		畔柳 和代																																																																															
8	7/1	13:10-14:40		畔柳 和代																																																																															
9	7/8	13:10-14:40		畔柳 和代																																																																															
10	7/15	13:10-14:40		畔柳 和代																																																																															
11	7/22	13:10-14:40		畔柳 和代																																																																															
12	7/29	13:10-14:40		畔柳 和代																																																																															
13	9/2	13:10-14:40		畔柳 和代																																																																															
14	9/9	13:10-14:40		畔柳 和代																																																																															
15	9/16	13:10-14:40		畔柳 和代																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																			

成績評価の方法 評価: class participation:25%, quizzes + in-class writing:40%, assignments:35% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先(メールアドレス) kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000084																																																																																		
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																																																
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]																																																																																		
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																			
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																			
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>5/13</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>2</td><td>5/20</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>3</td><td>5/27</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>4</td><td>6/3</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>5</td><td>6/10</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>6</td><td>6/17</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>7</td><td>6/24</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>8</td><td>7/1</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>9</td><td>7/8</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>10</td><td>7/15</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>11</td><td>7/22</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>12</td><td>7/29</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>13</td><td>9/2</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>14</td><td>9/9</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>15</td><td>9/16</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/13	13:10-14:40		猪熊 恵子	2	5/20	13:10-14:40		猪熊 恵子	3	5/27	13:10-14:40		猪熊 恵子	4	6/3	13:10-14:40		猪熊 恵子	5	6/10	13:10-14:40		猪熊 恵子	6	6/17	13:10-14:40		猪熊 恵子	7	6/24	13:10-14:40		猪熊 恵子	8	7/1	13:10-14:40		猪熊 恵子	9	7/8	13:10-14:40		猪熊 恵子	10	7/15	13:10-14:40		猪熊 恵子	11	7/22	13:10-14:40		猪熊 恵子	12	7/29	13:10-14:40		猪熊 恵子	13	9/2	13:10-14:40		猪熊 恵子	14	9/9	13:10-14:40		猪熊 恵子	15	9/16	13:10-14:40		猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	5/13	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
2	5/20	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
3	5/27	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
4	6/3	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
5	6/10	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
6	6/17	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
7	6/24	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
8	7/1	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
9	7/8	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
10	7/15	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
11	7/22	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
12	7/29	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
13	9/2	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
14	9/9	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
15	9/16	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																			

成績評価の方法 評価: class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先(メールアドレス) inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000085			
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z	
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.				
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標				
To improve the ability to read different types of written works effectively.				
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.				
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.				
To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/7	09:10-10:40		猪熊 恵子
2	5/14	09:10-10:40		猪熊 恵子
3	5/21	09:10-10:40		猪熊 恵子
4	5/28	09:10-10:40		猪熊 恵子
5	6/4	09:10-10:40		猪熊 恵子
6	6/11	09:10-10:40		猪熊 恵子
7	6/18	09:10-10:40		猪熊 恵子
8	6/25	09:10-10:40		猪熊 恵子
9	7/2	09:10-10:40		猪熊 恵子
10	7/9	09:10-10:40		猪熊 恵子
11	7/16	09:10-10:40		猪熊 恵子
12	7/23	09:10-10:40		猪熊 恵子
13	7/30	09:10-10:40		猪熊 恵子
14	9/3	09:10-10:40		猪熊 恵子
15	9/10	09:10-10:40		猪熊 恵子
16	9/17	09:10-10:40		猪熊 恵子
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment				

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価: class participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先(メールアドレス) inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000086			
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z	
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・限: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.				
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標				
To improve the ability to read different types of written works effectively.				
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.				
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.				
To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/7	09:10-10:40		畔柳 和代
2	5/14	09:10-10:40		畔柳 和代
3	5/21	09:10-10:40		畔柳 和代
4	5/28	09:10-10:40		畔柳 和代
5	6/4	09:10-10:40		畔柳 和代
6	6/11	09:10-10:40		畔柳 和代
7	6/18	09:10-10:40		畔柳 和代
8	6/25	09:10-10:40		畔柳 和代
9	7/2	09:10-10:40		畔柳 和代
10	7/9	09:10-10:40		畔柳 和代
11	7/16	09:10-10:40		畔柳 和代
12	7/23	09:10-10:40		畔柳 和代
13	7/30	09:10-10:40		畔柳 和代
14	9/3	09:10-10:40		畔柳 和代
15	9/10	09:10-10:40		畔柳 和代
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment				
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				

成績評価の方法 評価: class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:35% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先(メールアドレス) kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000087																																																																																							
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																																																					
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]																																																																																							
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1																																																																																					
実務経験のある教員による授業																																																																																								
・曜日・限: 木曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)																																																																																								
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																								
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																								
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>5/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>2</td><td>5/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>3</td><td>5/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>4</td><td>5/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>5</td><td>6/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>6</td><td>6/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>7</td><td>6/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>8</td><td>6/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>9</td><td>7/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>10</td><td>7/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>11</td><td>7/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>12</td><td>7/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>13</td><td>7/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>14</td><td>9/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>15</td><td>9/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>16</td><td>9/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/7	10:50-12:20		畔柳 和代	2	5/14	10:50-12:20		畔柳 和代	3	5/21	10:50-12:20		畔柳 和代	4	5/28	10:50-12:20		畔柳 和代	5	6/4	10:50-12:20		畔柳 和代	6	6/11	10:50-12:20		畔柳 和代	7	6/18	10:50-12:20		畔柳 和代	8	6/25	10:50-12:20		畔柳 和代	9	7/2	10:50-12:20		畔柳 和代	10	7/9	10:50-12:20		畔柳 和代	11	7/16	10:50-12:20		畔柳 和代	12	7/23	10:50-12:20		畔柳 和代	13	7/30	10:50-12:20		畔柳 和代	14	9/3	10:50-12:20		畔柳 和代	15	9/10	10:50-12:20		畔柳 和代	16	9/17	10:50-12:20		畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																				
1	5/7	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
2	5/14	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
3	5/21	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
4	5/28	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
5	6/4	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
6	6/11	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
7	6/18	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
8	6/25	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
9	7/2	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
10	7/9	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
11	7/16	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
12	7/23	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
13	7/30	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
14	9/3	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
15	9/10	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
16	9/17	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																				
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																								
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment																																																																																								

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価: class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:35% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先(メールアドレス) kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000088																																																																																		
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																																																
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]																																																																																		
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																			
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																			
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>5/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>2</td><td>5/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>3</td><td>5/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>4</td><td>5/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>5</td><td>6/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>6</td><td>6/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>7</td><td>6/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>8</td><td>6/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>9</td><td>7/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>10</td><td>7/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>11</td><td>7/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>12</td><td>7/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>13</td><td>7/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>14</td><td>9/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>15</td><td>9/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/7	10:50-12:20		猪熊 恵子	2	5/14	10:50-12:20		猪熊 恵子	3	5/21	10:50-12:20		猪熊 恵子	4	5/28	10:50-12:20		猪熊 恵子	5	6/4	10:50-12:20		猪熊 恵子	6	6/11	10:50-12:20		猪熊 恵子	7	6/18	10:50-12:20		猪熊 恵子	8	6/25	10:50-12:20		猪熊 恵子	9	7/2	10:50-12:20		猪熊 恵子	10	7/9	10:50-12:20		猪熊 恵子	11	7/16	10:50-12:20		猪熊 恵子	12	7/23	10:50-12:20		猪熊 恵子	13	7/30	10:50-12:20		猪熊 恵子	14	9/3	10:50-12:20		猪熊 恵子	15	9/10	10:50-12:20		猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	5/7	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
2	5/14	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
3	5/21	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
4	5/28	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
5	6/4	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
6	6/11	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
7	6/18	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
8	6/25	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
9	7/2	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
10	7/9	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
11	7/16	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
12	7/23	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
13	7/30	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
14	9/3	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
15	9/10	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																			

成績評価の方法 評価: class participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先(メールアドレス) inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000089			
科目名	英語 b	科目ID	LA-115202-Z	
担当教員	野口 大斗[NOGUCHI Hiroto]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.				
The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標				
To improve the ability to read different types of written works effectively.				
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.				
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/7	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
2	5/14	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
3	5/21	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
4	5/28	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
5	6/4	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
6	6/11	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
7	6/18	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
8	6/25	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
9	7/2	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
10	7/9	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代

11	7/16	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
12	7/23	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
13	7/30	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
14	9/3	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
15	9/10	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
16	9/17	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation:30% quizzes and in-class writing assignments:40% end-of-term writing essay:30%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000114																																																														
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																												
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]																																																														
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1																																																												
実務経験のある教員による授業																																																															
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																															
授業の目的、概要等 Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages. The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.																																																															
授業の到達目標 To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.																																																															
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>5/7</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>2</td><td>5/14</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>3</td><td>5/21</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>4</td><td>5/28</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>5</td><td>6/4</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>6</td><td>6/11</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>7</td><td>6/18</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>8</td><td>6/25</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>9</td><td>7/2</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>10</td><td>7/9</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>11</td><td>7/16</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/7	09:10-10:40		PATRICK F OSS	2	5/14	09:10-10:40		PATRICK F OSS	3	5/21	09:10-10:40		PATRICK F OSS	4	5/28	09:10-10:40		PATRICK F OSS	5	6/4	09:10-10:40		PATRICK F OSS	6	6/11	09:10-10:40		PATRICK F OSS	7	6/18	09:10-10:40		PATRICK F OSS	8	6/25	09:10-10:40		PATRICK F OSS	9	7/2	09:10-10:40		PATRICK F OSS	10	7/9	09:10-10:40		PATRICK F OSS	11	7/16	09:10-10:40		PATRICK F
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																											
1	5/7	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																																											
2	5/14	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																																											
3	5/21	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																																											
4	5/28	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																																											
5	6/4	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																																											
6	6/11	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																																											
7	6/18	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																																											
8	6/25	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																																											
9	7/2	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																																											
10	7/9	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																																											
11	7/16	09:10-10:40		PATRICK F																																																											

				OSS	
12	7/23	09:10-10:40		PATRICK F OSS	
13	7/30	09:10-10:40		PATRICK F OSS	
14	9/3	09:10-10:40		PATRICK F OSS	
15	9/10	09:10-10:40		PATRICK F OSS	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先(メールアドレス)					
foss.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10					
毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10					
管理研究棟 3階 フォス研究室					

時間割番号	000115			
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z	
担当教員	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan[PATRICK FOSS, REED Jesse Ryan]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜1限 ・対象:口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)				
授業の目的、概要等				
Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.				
The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.				
授業の到達目標				
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.				
To improve the ability to read different types of written works effectively.				
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan
2	5/20	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan
3	5/27	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan
4	6/3	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan
5	6/10	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan
6	6/17	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan
7	6/24	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan

8	7/1	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan
9	7/8	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan
10	7/15	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan
11	7/22	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan
12	7/29	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan
13	9/2	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan
14	9/9	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan
15	9/16	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先(メールアドレス)

PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000090																																															
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																													
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]																																															
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1																																													
実務経験のある教員による授業																																																
・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:口腔保健衛生学・看護学医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/7</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>2</td><td>10/14</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>3</td><td>10/21</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>4</td><td>10/28</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>5</td><td>11/4</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>6</td><td>11/11</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>7</td><td>11/18</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>8</td><td>11/25</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	2	10/14	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	3	10/21	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	4	10/28	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	5	11/4	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	6	11/11	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	7	11/18	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	8	11/25	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	10/7	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												
2	10/14	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												
3	10/21	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												
4	10/28	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												
5	11/4	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												
6	11/11	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												
7	11/18	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												
8	11/25	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																												

				N	
9	12/2	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
10	12/9	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
11	12/16	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
12	1/6	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
13	1/13	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
14	1/20	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
15	1/27	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation Weeks 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment Weeks 12-14: Review and/or Final Assessment Week 15: Oral Test Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: 30% assignments: 40% discussion tests: 30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 a,b,c,d の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
備考					

PC、タブレットなどが必要です。

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.

What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。

連絡先(メールアドレス)

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000091			
科目名	英語 c	科目 ID	LA-115203-Z	
担当教員	LITTEN CHRISTOPHER T[LITTEN Christopher T]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.				
The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.				
To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/8	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
2	10/15	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
3	10/22	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
4	10/29	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
5	11/5	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代

6	11/12	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
7	11/19	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
8	11/26	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
9	12/3	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
10	12/10	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
11	12/17	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
12	1/7	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
13	1/14	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
14	1/21	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
15	1/28	09:10-10:40		LITTEN CH RISTOPHE R T, 畔柳 和代
授業方法 Skills Instruction and Practice				
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				

評価: Participation - 25% In class activities - 25% Presentation activities - 25% Final presentation - 25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000092			
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z	
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
2	10/14	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
3	10/21	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
4	10/28	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
5	11/4	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
6	11/11	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
7	11/18	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
8	11/25	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代

				柳 和代
9	12/2	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
10	12/9	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
11	12/16	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
12	1/6	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
13	1/13	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
14	1/20	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
15	1/27	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000093			
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z	
担当教員	CORLISS JONATHAN[Corliss Jonathan]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
2	10/14	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
3	10/21	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
4	10/28	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
5	11/4	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
6	11/11	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
7	11/18	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
8	11/25	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN,

				畔柳 和代
9	12/2	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
10	12/9	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
11	12/16	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
12	1/6	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
13	1/13	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
14	1/20	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
15	1/27	09:10-10:40		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
授業方法 Skills Instruction and Practice				
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法 評価: Homework & Assignments 25% Participation and Attendance 25% Midterm Discussion Test 20% Final Discussion Test 30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。				
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.				

時間割番号	000094			
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z	
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
2	10/14	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
3	10/21	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
4	10/28	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
5	11/4	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
6	11/11	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
7	11/18	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
8	11/25	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代

				柳 和代
9	12/2	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
10	12/9	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
11	12/16	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
12	1/6	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
13	1/13	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
14	1/20	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
15	1/27	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000095			
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z	
担当教員	CORLISS JONATHAN[Corliss Jonathan]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.				
The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.				
To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
2	10/14	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
3	10/21	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
4	10/28	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
5	11/4	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
6	11/11	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
7	11/18	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
8	11/25	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN,

				畔柳 和代
9	12/2	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
10	12/9	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
11	12/16	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
12	1/6	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
13	1/13	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
14	1/20	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
15	1/27	10:50-12:20		CORLISS J ONATHAN, 畔柳 和代
授業方法 Skills Instruction and Practice				
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法 評価: participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。				
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.				

時間割番号	000096																																															
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																													
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]																																															
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1																																													
実務経験のある教員による授業																																																
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>10/8</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>2</td><td>10/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>3</td><td>10/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>4</td><td>10/29</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>5</td><td>11/5</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>6</td><td>11/12</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>7</td><td>11/19</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>8</td><td>11/26</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/8	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	2	10/15	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	3	10/22	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	4	10/29	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	5	11/5	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	6	11/12	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	7	11/19	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	8	11/26	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	10/8	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
2	10/15	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
3	10/22	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
4	10/29	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
5	11/5	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
6	11/12	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
7	11/19	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
8	11/26	09:10-10:40		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												

				柳 和代
9	12/3	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
10	12/10	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
11	12/17	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
12	1/7	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
13	1/14	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
14	1/21	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
15	1/28	09:10-10:40		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment				
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%				
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)				
・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格				
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
履修上の注意事項				
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。				
参照ホームページ				
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.				

時間割番号	000097			
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z	
担当教員	野口 大斗[NOGUCHI Hiroto]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 検査技術学・口腔保健工学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/8	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
2	10/15	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
3	10/22	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
4	10/29	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
5	11/5	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
6	11/12	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
7	11/19	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
8	11/26	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
9	12/3	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
10	12/10	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
11	12/17	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
12	1/7	10:50-12:20		野口 大斗,

				畔柳 和代
13	1/14	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
14	1/21	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代
15	1/28	10:50-12:20		野口 大斗, 畔柳 和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:Participation : 50% Discussion test : 35% in-class assignments : 15%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000105																																										
科目名	英語 c	科目 ID	LA-115203-Z																																								
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]																																										
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1																																								
実務経験のある教員による授業																																											
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																											
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																											
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English. To share opinions based on secondary and primary literature evidence																																											
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>2</td><td>10/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>3</td><td>10/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>4</td><td>10/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>5</td><td>11/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>6</td><td>11/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>7</td><td>11/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	2	10/14	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	3	10/21	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	4	10/28	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	5	11/4	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	6	11/11	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	7	11/18	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	10/7	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																							
2	10/14	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																							
3	10/21	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																							
4	10/28	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																							
5	11/4	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																							
6	11/11	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																							
7	11/18	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																							

8	11/25	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
9	12/2	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
10	12/9	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
11	12/16	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
12	1/6	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
13	1/13	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
14	1/20	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
15	1/27	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
授業方法 Skills Instruction and Practice				
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment Weeks 12-14: Review and/or Final Assessment Week 15: Oral Test Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法 評価: Participation: 30% assignments: 40% discussion tests: 30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 a,b,c,d の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
教科書				

Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
備考 PC、タブレットなどが必要です。 You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.
参照ホームページ Googleドライブを使用する。「Google アカウント」が必要です。 Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.
連絡先(メールアドレス) dennisson.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000099																																										
科目名	英語 c	科目 ID	LA-115203-Z																																								
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]																																										
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1																																								
実務経験のある教員による授業																																											
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																											
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																											
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English. To share opinions based on secondary and primary literature evidence																																											
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/8</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>2</td><td>10/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>3</td><td>10/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>4</td><td>10/29</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>5</td><td>11/5</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>6</td><td>11/12</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>7</td><td>11/19</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/8	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	2	10/15	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	3	10/22	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	4	10/29	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	5	11/5	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	6	11/12	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	7	11/19	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	10/8	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																							
2	10/15	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																							
3	10/22	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																							
4	10/29	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																							
5	11/5	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																							
6	11/12	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																							
7	11/19	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																							

8	11/26	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N
9	12/3	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N
10	12/10	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N
11	12/17	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N
12	1/7	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N
13	1/14	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N
14	1/21	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N
15	1/28	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N
授業方法 Skills Instruction and Practice				
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment Weeks 12-14: Review and/or Final Assessment Week 15: Oral Test Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法 評価: Participation: 30% assignments: 40% discussion tests: 30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
教科書				

Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
備考 PC、タブレットなどが必要です。 You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.
参照ホームページ 「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。 Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.
連絡先(メールアドレス) dennisson.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000100																																															
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																													
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]																																															
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1																																													
実務経験のある教員による授業																																																
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 検査技術学・口腔保健工学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>10/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>2</td><td>10/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>3</td><td>10/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>4</td><td>10/29</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>5</td><td>11/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>6</td><td>11/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>7</td><td>11/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr><tr><td>8</td><td>11/26</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/8	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	2	10/15	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	3	10/22	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	4	10/29	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	5	11/5	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	6	11/12	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	7	11/19	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代	8	11/26	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	10/8	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
2	10/15	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
3	10/22	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
4	10/29	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
5	11/5	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
6	11/12	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
7	11/19	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												
8	11/26	10:50-12:20		MIYA MARUTSUKA, 畔柳 和代																																												

				柳 和代
9	12/3	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
10	12/10	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
11	12/17	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
12	1/7	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
13	1/14	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
14	1/21	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代
15	1/28	10:50-12:20		MIYA MAR UTSUKA, 畔 柳 和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation: 30%, Quizzes: 25%, Group Assignments: 20%, Final Discussion Test: 25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000101																																										
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																								
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]																																										
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1																																								
実務経験のある教員による授業																																											
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																											
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																											
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English. To share opinions based on secondary and primary literature evidence																																											
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>2</td><td>10/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>3</td><td>10/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>4</td><td>10/29</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>5</td><td>11/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>6</td><td>11/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>7</td><td>11/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/8	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	2	10/15	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	3	10/22	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	4	10/29	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	5	11/5	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	6	11/12	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	7	11/19	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	10/8	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																							
2	10/15	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																							
3	10/22	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																							
4	10/29	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																							
5	11/5	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																							
6	11/12	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																							
7	11/19	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																							

8	11/26	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
9	12/3	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
10	12/10	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
11	12/17	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
12	1/7	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
13	1/14	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
14	1/21	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
15	1/28	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSO N
授業方法 Skills Instruction and Practice				
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment Weeks 12-14: Review and/or Final Assessment Week 15: Oral Test Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法 評価: Participation: 30% assignments and quizzes: 25% discussion tests: 50% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
教科書				

Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
備考 PC、タブレットなどが必要です。 You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.
参照ホームページ 「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。 Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.
連絡先(メールアドレス) dennisson.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000116			
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z	
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.				
The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.				
授業の到達目標				
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.				
To improve the ability to speak in front of others using English.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代
2	10/14	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代
3	10/21	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代
4	10/28	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代
5	11/4	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代
6	11/11	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代
7	11/18	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代
8	11/25	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳和代

				和代
9	12/2	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳 和代
10	12/9	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳 和代
11	12/16	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳 和代
12	1/6	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳 和代
13	1/13	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳 和代
14	1/20	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳 和代
15	1/27	10:50-12:20		Reed Jesse Ryan, 畔柳 和代
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment				
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: participation 40% presentations 25% quizzes 10% final discussion test 25%				
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)				
・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格				
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
履修上の注意事項				
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。				
参照ホームページ				
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.				

時間割番号	000098			
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z	
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities.				
The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.				
授業の到達目標				
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.				
To develop the ability to present the results of research-based writing.				
To improve the ability to read different types of written works effectively.				
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/8	09:10-10:40		PATRICK F OSS
2	10/15	09:10-10:40		PATRICK F OSS
3	10/22	09:10-10:40		PATRICK F OSS
4	10/29	09:10-10:40		PATRICK F OSS
5	11/5	09:10-10:40		PATRICK F OSS
6	11/12	09:10-10:40		PATRICK F OSS
7	11/19	09:10-10:40		PATRICK F OSS
8	11/26	09:10-10:40		PATRICK F OSS
9	12/3	09:10-10:40		PATRICK F OSS
10	12/10	09:10-10:40		PATRICK F OSS

11	12/17	09:10-10:40		PATRICK F OSS
12	1/7	09:10-10:40		PATRICK F OSS
13	1/14	09:10-10:40		PATRICK F OSS
14	1/21	09:10-10:40		PATRICK F OSS
15	1/28	09:10-10:40		PATRICK F OSS
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment				
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: participation 20% presentation assignments 20% written assignments 60%				
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)				
・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格				
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
履修上の注意事項				
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。				
参照ホームページ				
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.				
連絡先(メールアドレス)				
foss.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10				
毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10				
管理研究棟 3階 フォス研究室				

時間割番号	000102																																
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																														
担当教員	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T[PATRICK FOSS, LITTEN Christopher T]																																
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1																														
実務経験のある教員による授業																																	
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)																																	
授業の目的、概要等 Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities. The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.																																	
授業の到達目標 To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing. To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.																																	
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T</td></tr><tr><td>2</td><td>10/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T</td></tr><tr><td>3</td><td>10/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T</td></tr><tr><td>4</td><td>10/29</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T</td></tr><tr><td>5</td><td>11/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/8	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T	2	10/15	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T	3	10/22	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T	4	10/29	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T	5	11/5	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
回	日付	時刻	講義室	担当教員																													
1	10/8	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T																													
2	10/15	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T																													
3	10/22	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T																													
4	10/29	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T																													
5	11/5	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T																													

6	11/12	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
7	11/19	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
8	11/26	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
9	12/3	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
10	12/10	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
11	12/17	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
12	1/7	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
13	1/14	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
14	1/21	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
15	1/28	10:50-12:20		PATRICK F OSS, LITTE N CHRIST OPHER T
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment				
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				

評価: participation 20% presentation assignments 20% written assignments 60% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先(メールアドレス) PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10 毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10 管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000103																																																									
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																																							
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]																																																									
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1																																																							
実務経験のある教員による授業																																																										
・曜日・時間:水曜2限 ・対象:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)																																																										
授業の目的、概要等 Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities. The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.																																																										
授業の到達目標 To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing. To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.																																																										
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>2</td><td>10/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>3</td><td>10/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>4</td><td>10/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>5</td><td>11/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>6</td><td>11/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>7</td><td>11/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>8</td><td>11/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>9</td><td>12/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>10</td><td>12/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	10:50-12:20		PATRICK FOSS	2	10/14	10:50-12:20		PATRICK FOSS	3	10/21	10:50-12:20		PATRICK FOSS	4	10/28	10:50-12:20		PATRICK FOSS	5	11/4	10:50-12:20		PATRICK FOSS	6	11/11	10:50-12:20		PATRICK FOSS	7	11/18	10:50-12:20		PATRICK FOSS	8	11/25	10:50-12:20		PATRICK FOSS	9	12/2	10:50-12:20		PATRICK FOSS	10	12/9	10:50-12:20		PATRICK FOSS
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																						
1	10/7	10:50-12:20		PATRICK FOSS																																																						
2	10/14	10:50-12:20		PATRICK FOSS																																																						
3	10/21	10:50-12:20		PATRICK FOSS																																																						
4	10/28	10:50-12:20		PATRICK FOSS																																																						
5	11/4	10:50-12:20		PATRICK FOSS																																																						
6	11/11	10:50-12:20		PATRICK FOSS																																																						
7	11/18	10:50-12:20		PATRICK FOSS																																																						
8	11/25	10:50-12:20		PATRICK FOSS																																																						
9	12/2	10:50-12:20		PATRICK FOSS																																																						
10	12/9	10:50-12:20		PATRICK FOSS																																																						

11	12/16	10:50-12:20		PATRICK F OSS
12	1/6	10:50-12:20		PATRICK F OSS
13	1/13	10:50-12:20		PATRICK F OSS
14	1/20	10:50-12:20		PATRICK F OSS
15	1/27	10:50-12:20		PATRICK F OSS
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment				
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.				
成績評価の方法				
評価: participation 20% presentation assignments 20% written assignments 60%				
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)				
・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格				
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。				
履修上の注意事項				
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。				
参照ホームページ				
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.				
連絡先(メールアドレス)				
foss.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10				
毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10				
管理研究棟 3階 フォス研究室				

時間割番号	000104			
科目名	英語 d	科目 ID	LA-115204-Z	
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・限: 水曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.				
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標				
To improve the ability to read different types of written works effectively.				
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.				
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.				
To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	10:50-12:20		畔柳 和代
2	10/14	10:50-12:20		畔柳 和代
3	10/21	10:50-12:20		畔柳 和代
4	10/28	10:50-12:20		畔柳 和代
5	11/4	10:50-12:20		畔柳 和代
6	11/11	10:50-12:20		畔柳 和代
7	11/18	10:50-12:20		畔柳 和代
8	11/25	10:50-12:20		畔柳 和代
9	12/2	10:50-12:20		畔柳 和代
10	12/9	10:50-12:20		畔柳 和代
11	12/16	10:50-12:20		畔柳 和代
12	1/6	10:50-12:20		畔柳 和代
13	1/13	10:50-12:20		畔柳 和代
14	1/20	10:50-12:20		畔柳 和代
15	1/27	10:50-12:20		畔柳 和代
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment				

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価: class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments: 35% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先(メールアドレス) kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000106																																																																																		
科目名	英語 d	科目 ID	LA-115204-Z																																																																																
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]																																																																																		
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																			
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																			
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>10/7</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>2</td><td>10/14</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>3</td><td>10/21</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>4</td><td>10/28</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>5</td><td>11/4</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>6</td><td>11/11</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>7</td><td>11/18</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>8</td><td>11/25</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>9</td><td>12/2</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>10</td><td>12/9</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>11</td><td>12/16</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>12</td><td>1/6</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>13</td><td>1/13</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>14</td><td>1/20</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>15</td><td>1/27</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	13:10-14:40		猪熊 恵子	2	10/14	13:10-14:40		猪熊 恵子	3	10/21	13:10-14:40		猪熊 恵子	4	10/28	13:10-14:40		猪熊 恵子	5	11/4	13:10-14:40		猪熊 恵子	6	11/11	13:10-14:40		猪熊 恵子	7	11/18	13:10-14:40		猪熊 恵子	8	11/25	13:10-14:40		猪熊 恵子	9	12/2	13:10-14:40		猪熊 恵子	10	12/9	13:10-14:40		猪熊 恵子	11	12/16	13:10-14:40		猪熊 恵子	12	1/6	13:10-14:40		猪熊 恵子	13	1/13	13:10-14:40		猪熊 恵子	14	1/20	13:10-14:40		猪熊 恵子	15	1/27	13:10-14:40		猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/7	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
2	10/14	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
3	10/21	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
4	10/28	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
5	11/4	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
6	11/11	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
7	11/18	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
8	11/25	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
9	12/2	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
10	12/9	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
11	12/16	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
12	1/6	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
13	1/13	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
14	1/20	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
15	1/27	13:10-14:40		猪熊 恵子																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																			

成績評価の方法 評価: class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先(メールアドレス) inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000107																																																																																		
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																																																																
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]																																																																																		
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																			
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>2</td><td>10/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>3</td><td>10/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>4</td><td>10/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>5</td><td>11/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>6</td><td>11/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>7</td><td>11/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>8</td><td>11/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>9</td><td>12/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>10</td><td>12/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>11</td><td>12/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>12</td><td>1/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>13</td><td>1/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>14</td><td>1/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>15</td><td>1/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	10:50-12:20		猪熊 恵子	2	10/14	10:50-12:20		猪熊 恵子	3	10/21	10:50-12:20		猪熊 恵子	4	10/28	10:50-12:20		猪熊 恵子	5	11/4	10:50-12:20		猪熊 恵子	6	11/11	10:50-12:20		猪熊 恵子	7	11/18	10:50-12:20		猪熊 恵子	8	11/25	10:50-12:20		猪熊 恵子	9	12/2	10:50-12:20		猪熊 恵子	10	12/9	10:50-12:20		猪熊 恵子	11	12/16	10:50-12:20		猪熊 恵子	12	1/6	10:50-12:20		猪熊 恵子	13	1/13	10:50-12:20		猪熊 恵子	14	1/20	10:50-12:20		猪熊 恵子	15	1/27	10:50-12:20		猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/7	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
2	10/14	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
3	10/21	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
4	10/28	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
5	11/4	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
6	11/11	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
7	11/18	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
8	11/25	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
9	12/2	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
10	12/9	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
11	12/16	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
12	1/6	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
13	1/13	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
14	1/20	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
15	1/27	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																			

成績評価の方法 評価: class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先(メールアドレス) inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000108			
科目名	英語 d	科目 ID	LA-115204-Z	
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・限:水曜3限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標				
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	13:10-14:40		畔柳 和代
2	10/14	13:10-14:40		畔柳 和代
3	10/21	13:10-14:40		畔柳 和代
4	10/28	13:10-14:40		畔柳 和代
5	11/4	13:10-14:40		畔柳 和代
6	11/11	13:10-14:40		畔柳 和代
7	11/18	13:10-14:40		畔柳 和代
8	11/25	13:10-14:40		畔柳 和代
9	12/2	13:10-14:40		畔柳 和代
10	12/9	13:10-14:40		畔柳 和代
11	12/16	13:10-14:40		畔柳 和代
12	1/6	13:10-14:40		畔柳 和代
13	1/13	13:10-14:40		畔柳 和代
14	1/20	13:10-14:40		畔柳 和代
15	1/27	13:10-14:40		畔柳 和代
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment				

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価: class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:35% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先(メールアドレス) kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000109																																																																																		
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																																																																
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]																																																																																		
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																			
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/8</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>2</td><td>10/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>3</td><td>10/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>4</td><td>10/29</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>5</td><td>11/5</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>6</td><td>11/12</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>7</td><td>11/19</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>8</td><td>11/26</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>9</td><td>12/3</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>10</td><td>12/10</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>11</td><td>12/17</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>12</td><td>1/7</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>13</td><td>1/14</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>14</td><td>1/21</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>15</td><td>1/28</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/8	09:10-10:40		猪熊 恵子	2	10/15	09:10-10:40		猪熊 恵子	3	10/22	09:10-10:40		猪熊 恵子	4	10/29	09:10-10:40		猪熊 恵子	5	11/5	09:10-10:40		猪熊 恵子	6	11/12	09:10-10:40		猪熊 恵子	7	11/19	09:10-10:40		猪熊 恵子	8	11/26	09:10-10:40		猪熊 恵子	9	12/3	09:10-10:40		猪熊 恵子	10	12/10	09:10-10:40		猪熊 恵子	11	12/17	09:10-10:40		猪熊 恵子	12	1/7	09:10-10:40		猪熊 恵子	13	1/14	09:10-10:40		猪熊 恵子	14	1/21	09:10-10:40		猪熊 恵子	15	1/28	09:10-10:40		猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/8	09:10-10:40		猪熊 恵子																																																																															
2	10/15	09:10-10:40		猪熊 恵子																																																																															
3	10/22	09:10-10:40		猪熊 恵子																																																																															
4	10/29	09:10-10:40		猪熊 恵子																																																																															
5	11/5	09:10-10:40		猪熊 恵子																																																																															
6	11/12	09:10-10:40		猪熊 恵子																																																																															
7	11/19	09:10-10:40		猪熊 恵子																																																																															
8	11/26	09:10-10:40		猪熊 恵子																																																																															
9	12/3	09:10-10:40		猪熊 恵子																																																																															
10	12/10	09:10-10:40		猪熊 恵子																																																																															
11	12/17	09:10-10:40		猪熊 恵子																																																																															
12	1/7	09:10-10:40		猪熊 恵子																																																																															
13	1/14	09:10-10:40		猪熊 恵子																																																																															
14	1/21	09:10-10:40		猪熊 恵子																																																																															
15	1/28	09:10-10:40		猪熊 恵子																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																			

成績評価の方法 評価: class participation:30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先(メールアドレス) inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000110			
科目名	英語 d	科目 ID	LA-115204-Z	
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・限: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標				
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/8	09:10-10:40		畔柳 和代
2	10/15	09:10-10:40		畔柳 和代
3	10/22	09:10-10:40		畔柳 和代
4	10/29	09:10-10:40		畔柳 和代
5	11/5	09:10-10:40		畔柳 和代
6	11/12	09:10-10:40		畔柳 和代
7	11/19	09:10-10:40		畔柳 和代
8	11/26	09:10-10:40		畔柳 和代
9	12/3	09:10-10:40		畔柳 和代
10	12/10	09:10-10:40		畔柳 和代
11	12/17	09:10-10:40		畔柳 和代
12	1/7	09:10-10:40		畔柳 和代
13	1/14	09:10-10:40		畔柳 和代
14	1/21	09:10-10:40		畔柳 和代
15	1/28	09:10-10:40		畔柳 和代
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment				

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価: class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:35% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 英語」は a,b,c,d の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先(メールアドレス) kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000111			
科目名	英語 d	科目 ID	LA-115204-Z	
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・限: 木曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.				
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標				
To improve the ability to read different types of written works effectively.				
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.				
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.				
To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/8	10:50-12:20		畔柳 和代
2	10/15	10:50-12:20		畔柳 和代
3	10/22	10:50-12:20		畔柳 和代
4	10/29	10:50-12:20		畔柳 和代
5	11/5	10:50-12:20		畔柳 和代
6	11/12	10:50-12:20		畔柳 和代
7	11/19	10:50-12:20		畔柳 和代
8	11/26	10:50-12:20		畔柳 和代
9	12/3	10:50-12:20		畔柳 和代
10	12/10	10:50-12:20		畔柳 和代
11	12/17	10:50-12:20		畔柳 和代
12	1/7	10:50-12:20		畔柳 和代
13	1/14	10:50-12:20		畔柳 和代
14	1/21	10:50-12:20		畔柳 和代
15	1/28	10:50-12:20		畔柳 和代
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
Week 1: Orientation				
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment				
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment				

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価: class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:35% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先(メールアドレス) kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000112																																																																																		
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																																																																
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]																																																																																		
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																			
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>2</td><td>10/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>3</td><td>10/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>4</td><td>10/29</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>5</td><td>11/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>6</td><td>11/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>7</td><td>11/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>8</td><td>11/26</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>9</td><td>12/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>10</td><td>12/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>11</td><td>12/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>12</td><td>1/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>13</td><td>1/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>14</td><td>1/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>15</td><td>1/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>猪熊 恵子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/8	10:50-12:20		猪熊 恵子	2	10/15	10:50-12:20		猪熊 恵子	3	10/22	10:50-12:20		猪熊 恵子	4	10/29	10:50-12:20		猪熊 恵子	5	11/5	10:50-12:20		猪熊 恵子	6	11/12	10:50-12:20		猪熊 恵子	7	11/19	10:50-12:20		猪熊 恵子	8	11/26	10:50-12:20		猪熊 恵子	9	12/3	10:50-12:20		猪熊 恵子	10	12/10	10:50-12:20		猪熊 恵子	11	12/17	10:50-12:20		猪熊 恵子	12	1/7	10:50-12:20		猪熊 恵子	13	1/14	10:50-12:20		猪熊 恵子	14	1/21	10:50-12:20		猪熊 恵子	15	1/28	10:50-12:20		猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/8	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
2	10/15	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
3	10/22	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
4	10/29	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
5	11/5	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
6	11/12	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
7	11/19	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
8	11/26	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
9	12/3	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
10	12/10	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
11	12/17	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
12	1/7	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
13	1/14	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
14	1/21	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
15	1/28	10:50-12:20		猪熊 恵子																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																			

成績評価の方法 評価: class participation:30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先(メールアドレス) inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000113			
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z	
担当教員	野口 大斗[NOGUCHI Hiroto]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)				
授業の目的、概要等				
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.				
The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.				
授業の到達目標				
To improve the ability to read different types of written works effectively.				
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.				
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/8	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
2	10/15	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
3	10/22	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
4	10/29	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
5	11/5	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
6	11/12	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
7	11/19	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
8	11/26	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
9	12/3	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
10	12/10	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代

11	12/17	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
12	1/7	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
13	1/14	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
14	1/21	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代
15	1/28	09:10-10:40		野口 大斗, 畔柳 和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:Participation : 30% in-class writing exam and assignments :40% End-of-term essay:30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000117																																										
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																								
担当教員	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan[PATRICK FOSS, REED Jesse Ryan]																																										
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1																																								
実務経験のある教員による授業																																											
・曜日・時間:水曜1限 ・対象:口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)																																											
授業の目的、概要等 Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities. The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.																																											
授業の到達目標 To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing. To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.																																											
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/7</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan</td></tr><tr><td>2</td><td>10/14</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan</td></tr><tr><td>3</td><td>10/21</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan</td></tr><tr><td>4</td><td>10/28</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan</td></tr><tr><td>5</td><td>11/4</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan</td></tr><tr><td>6</td><td>11/11</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan</td></tr><tr><td>7</td><td>11/18</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS, Reed</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan	2	10/14	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan	3	10/21	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan	4	10/28	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan	5	11/4	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan	6	11/11	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan	7	11/18	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	10/7	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan																																							
2	10/14	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan																																							
3	10/21	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan																																							
4	10/28	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan																																							
5	11/4	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan																																							
6	11/11	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan																																							
7	11/18	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed																																							

				Jesse Ryan	
8	11/25	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan	
9	12/2	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan	
10	12/9	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan	
11	12/16	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan	
12	1/6	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan	
13	1/13	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan	
14	1/20	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan	
15	1/27	09:10-10:40		PATRICK F OSS, Reed Jesse Ryan	
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: participation 20% presentation assignments 20% written assignments 60%					
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先(メールアドレス) PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10 毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10 管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000158			
科目名	日本語 a	科目 ID	LA-115301-Z	
担当教員	今村 圭介[IMAMURA KEISUKE]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
主な講義場所 12 番教室				
授業の目的、概要等 日本語で書かれた様々なジャンル・スタイルの本を読み議論することで、日本の文化・社会について理解を深めるとともに、読解力の向上を目指す。 また、口頭及び小論文演習を通じて論理的な表現力の獲得を目指す。				
授業の到達目標 東京医科歯科大学での 4/6 年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	14:50-16:20		今村 圭介
2	5/18	14:50-16:20		今村 圭介
3	5/25	14:50-16:20		今村 圭介
4	6/1	14:50-16:20		今村 圭介
5	6/8	14:50-16:20		今村 圭介
6	6/15	14:50-16:20		今村 圭介
7	6/22	14:50-16:20		今村 圭介
8	6/29	14:50-16:20		今村 圭介
9	7/6	14:50-16:20		今村 圭介
10	7/13	14:50-16:20		今村 圭介
11	7/20	14:50-16:20		今村 圭介
12	7/27	14:50-16:20		今村 圭介
13	8/31	14:50-16:20		今村 圭介
14	9/7	14:50-16:20		今村 圭介
15	9/14	14:50-16:20		今村 圭介
授業方法 講義、読解、ディスカッション、発表				
授業内容 初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。				
成績評価の方法 授業参加度 40% 課題 60%				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示 宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は必ず再提出をする。				
試験の受験資格 期末試験を実施しない。				
他科目との関連 日本語は a/b/c/d/ の総合点で 4 単位まとめて評価する。				
連絡先(メールアドレス) Imamura.las@tmd.ac.jp				

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000159			
科目名	日本語 b	科目 ID	LA-115302-Z	
担当教員	今村 圭介[IMAMURA KEISUKE]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
主な講義場所				
12 番教室				
授業の目的、概要等				
現代日本社会や文化に関するビデオを見ながら、ディスカッションを行うことで、日本・自国を中心に文化・社会について理解を深めるとともに、聴解力の向上を目指す。				
また、小論文演習およびプレゼンテーションを通じて論理的な表現力の獲得を目指す。				
授業の到達目標				
東京医科歯科大における 4/6 年間の勉学に必要な聴解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	13:10-14:40		今村 圭介
2	5/20	13:10-14:40		今村 圭介
3	5/27	13:10-14:40		今村 圭介
4	6/3	13:10-14:40		今村 圭介
5	6/10	13:10-14:40		今村 圭介
6	6/17	13:10-14:40		今村 圭介
7	6/24	13:10-14:40		今村 圭介
8	7/1	13:10-14:40		今村 圭介
9	7/8	13:10-14:40		今村 圭介
10	7/15	13:10-14:40		今村 圭介
11	7/22	13:10-14:40		今村 圭介
12	7/29	13:10-14:40		今村 圭介
13	9/2	13:10-14:40		今村 圭介
14	9/9	13:10-14:40		今村 圭介
15	9/16	13:10-14:40		今村 圭介
授業方法				
ビデオ(聴解)、ディスカッション、発表				
授業内容				
初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。				
成績評価の方法				
授業参加度 40% 課題 60%				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は必ず再提出をする。				
試験の受験資格				
期末試験を実施しない。				
他科目との関連				
日本語は a/b/c/d/ の総合点で 4 単位まとめて評価する。				
連絡先(メールアドレス)				
Imamura.las@tmd.ac.jp				

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000160		
科目名	日本語 c	科目 ID	LA-115303-Z
担当教員	甲賀 真広[KOUGA Masahiro]		
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1
実務経験のある教員による授業			
主な講義場所 12 番教室			
授業の目的、概要等 日本語で書かれた様々なジャンル・スタイルの本を読み議論することで、日本の文化・社会について理解を深めるとともに、読解力の向上を目指す。 また、口頭及び小論文演習を通じて論理的な表現力の獲得を目指す。			
授業の到達目標 東京医科歯科大学における 4/6 年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。			
授業計画			
回	日付	時刻	講義室
1	10/5	14:50-16:20	
2	10/12	14:50-16:20	
3	10/19	14:50-16:20	
4	10/26	14:50-16:20	
5	11/2	14:50-16:20	
6	11/9	14:50-16:20	
7	11/16	14:50-16:20	
8	11/23	14:50-16:20	
9	11/30	14:50-16:20	
10	12/7	14:50-16:20	
11	12/14	14:50-16:20	
12	12/21	14:50-16:20	
13	1/18	14:50-16:20	
14	1/25	14:50-16:20	
15	2/1	14:50-16:20	
授業方法 講義、読解、ディスカッション、発表			
授業内容 初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。			
成績評価の方法 授業参加度 40% 課題 60%			
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。			
準備学習等についての具体的な指示 宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は必ず再提出をする。			
試験の受験資格 期末試験を実施しない。			
他科目との関連 日本語は a/b/c/d/ の総合点で 4 単位まとめて評価する。			

時間割番号	000161		
科目名	日本語 d	科目ID	LA-115304-Z
担当教員	甲賀 真広[KOUGA Masahiro]		
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1
実務経験のある教員による授業			
主な講義場所 12 番教室			
授業の目的、概要等 現代社会や文化に関するビデオを見ながら、ディスカッションを行うことで、日本・自国を中心に文化・社会について理解を深めるとともに、聴解力の向上を目指す。 また、小論文演習およびプレゼンテーションを通じて論理的な表現力の獲得を目指す。			
授業の到達目標 東京医科歯科大学における 4/6 年間の勉学に必要な聴解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。			
授業計画			
回	日付	時刻	講義室
1	10/7	13:10-14:40	
2	10/14	13:10-14:40	
3	10/21	13:10-14:40	
4	10/28	13:10-14:40	
5	11/4	13:10-14:40	
6	11/11	13:10-14:40	
7	11/18	13:10-14:40	
8	11/25	13:10-14:40	
9	12/2	13:10-14:40	
10	12/9	13:10-14:40	
11	12/16	13:10-14:40	
12	1/6	13:10-14:40	
13	1/13	13:10-14:40	
14	1/20	13:10-14:40	
15	1/27	13:10-14:40	
授業方法 ビデオ(聴解)、ディスカッション、発表			
授業内容 初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。			
成績評価の方法 授業参加度 40% 課題 60%			
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による			
準備学習等についての具体的な指示 宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は必ず再提出をする。			
試験の受験資格 期末試験を実施しない。			
他科目との関連 日本語は a/b/c/d/ の総合点で 4 単位まとめて評価する。			

時間割番号	000163			
科目名	ドイツ語 a	科目ID	LA-115401-Z	
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 a は、発音から始まり、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則変化動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
2	5/18	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
3	5/25	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
4	6/1	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
5	6/8	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
6	6/15	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
7	6/22	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
8	6/29	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
9	7/6	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
10	7/13	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
11	7/20	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
12	7/27	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
13	8/31	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
14	9/7	13:10-14:40		SCHINZINGER

				ER EMI	
15	9/14	13:10-14:40		SCHINZINGER ER EMI	
授業方法 講義と演習による					
授業内容 前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。					
成績評価の方法 評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席					
教科書 プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝 著,:白水社, 2019 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。					
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [[ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。					
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c,d は、文法の総合演習、ドイツ語 b,d は、会話、聞き取り、読解の総合演習、それぞれクラスが指定されます。					
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。					
連絡先(メールアドレス) schinzinger.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室					

時間割番号	000167			
科目名	ドイツ語 a	科目 ID	LA-115401-Z	
担当教員	立川 睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 月曜3限				
・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。				
2)ドイツ語 a は、発音から始まり、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則変化動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
2	5/18	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
3	5/25	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
4	6/1	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
5	6/8	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
6	6/15	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
7	6/22	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
8	6/29	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
9	7/6	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI

10	7/13	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
11	7/20	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
12	7/27	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
13	8/31	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
14	9/7	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
15	9/14	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
授業方法 講義と演習による				
授業内容 前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。				
成績評価の方法 評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。				
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席				
教科書 プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝 著,:白水社, 2019 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。				
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [[ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 彌彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編.Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。				

辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000168			
科目名	ドイツ語 a	科目 ID	LA-115401-Z	
担当教員	立川 睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 月曜4限				
・対象学科: 医学科・歯学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。				
2)ドイツ語 a は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則変化動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
2	5/18	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
3	5/25	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
4	6/1	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
5	6/8	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
6	6/15	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
7	6/22	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
8	6/29	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
9	7/6	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI

10	7/13	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
11	7/20	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
12	7/27	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
13	8/31	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
14	9/7	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
15	9/14	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
授業方法 講義と演習による				
授業内容 前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。				
成績評価の方法 評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅ですべて予習・復習してください。				
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席				
教科書 プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝 著.: 白水社, 2019 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。				
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [[ほか] 責任編集執筆: 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典.: 同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013.: 三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任: 在間, 進.: 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。				

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、文法の総合演習、ドイツ語 b,d は、会話、聞き取り、読解の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000172			
科目名	ドイツ語 a	科目 ID	LA-115401-Z	
担当教員	立川 睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 水曜3限				
・対象学科: 医学科・歯学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。				
2)ドイツ語 a は、発音から始まり、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則変化動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
2	5/20	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
3	5/27	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
4	6/3	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
5	6/10	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
6	6/17	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
7	6/24	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
8	7/1	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI

9	7/8	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
10	7/15	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
11	7/22	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
12	7/29	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
13	9/2	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
14	9/9	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
15	9/16	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
授業方法 講義と演習による				
授業内容 前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。				
成績評価の方法 評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。				
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席				
教科書 プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝 著.; 白水社, 2019 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。				
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [[ほか] 責任編集執筆: 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 彌彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典.; 同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013.; 三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任: 在間, 進.; 三修社, 2010				

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語はa,b,c,dの総合点で4単位まとめて評価します。 ドイツ語a,cは、文法の総合演習、 ドイツ語b,dは、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則3分の2以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000174			
科目名	ドイツ語 a	科目 ID	LA-115401-Z	
担当教員	渡部 聡子[WATANABE Satoko]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 月曜4限				
・対象学科: 医学科・歯学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。				
2)ドイツ語 a は、発音から始まり、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則変化動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
2	5/18	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
3	5/25	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
4	6/1	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
5	6/8	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
6	6/15	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
7	6/22	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
8	6/29	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
9	7/6	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI

10	7/13	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGER EMI
11	7/20	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGER EMI
12	7/27	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGER EMI
13	8/31	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGER EMI
14	9/7	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGER EMI
15	9/14	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGER EMI
授業方法 講義と演習による				
授業内容 前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。				
成績評価の方法 評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。				
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席				
教科書 プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝 著,:白水社, 2019 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。				
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [[ほか] 責任編集執筆:根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編.Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任:在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。				

辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000164			
科目名	ドイツ語 b	科目 ID	LA-115402-Z	
担当教員	茅野 大樹[CHINO Hiroki]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3ー4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 b,d は、ドイツ語 a,cと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 b は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
2	5/20	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
3	5/27	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
4	6/3	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
5	6/10	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
6	6/17	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
7	6/24	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
8	7/1	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI

9	7/8	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGE R EMI
10	7/15	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGE R EMI
11	7/22	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGE R EMI
12	7/29	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGE R EMI
13	9/2	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGE R EMI
14	9/9	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGE R EMI
15	9/16	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGE R EMI
授業方法 講義と演習による				
授業内容 前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。				
成績評価の方法 評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。				
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席				
教科書 Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde / Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa, 伊藤 直子, 柴田 クリスタ, 末松 淑美, 山川 和彦, 郁文堂, 2012 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 これらは授業中に配られますので注意してください。				
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 根本道也 [ほか] 責任編集執筆 根本 道也, 恒吉 良隆, 吉中 幸平, 成田 克史, 福元 圭太, 重竹 芳江, 有村 隆広, 新保 弼彬, 本田 義昭, 鈴木 敦典, 同学社, 2010				

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, : 三修社, 2008

アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任, 在間, 進: 三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,l は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,l は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000165			
科目名	ドイツ語 b	科目 ID	LA-115402-Z	
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 b,d は、ドイツ語 a,cと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 b は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
2	5/18	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
3	5/25	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
4	6/1	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
5	6/8	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
6	6/15	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
7	6/22	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
8	6/29	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
9	7/6	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
10	7/13	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
11	7/20	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
12	7/27	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
13	8/31	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI

14	9/7	14:50-16:20		SCHINZING ER EMI	
15	9/14	14:50-16:20		SCHINZING ER EMI	
授業方法 講義と演習による					
授業内容 前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。					
成績評価の方法 評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。 再評価: 有（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席					
教科書 Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde／Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa,伊藤 直子,柴田, クリスタ, 末松, 淑美,山川, 和彦,: 郁文堂, 2012 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 これらは授業中に配られますので注意してください。					
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzing, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合は、 それに入った独和辞典を使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。					
他科目との関連 ドイツ語はa,b,c,dの総合点で4単位まとめて評価します。 ドイツ語a,c,dは、文法の総合演習、 ドイツ語b,dは、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。					
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則3分の2以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。					

連絡先(メールアドレス)

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000166			
科目名	ドイツ語 b	科目 ID	LA-115402-Z	
担当教員	茅野 大樹[CHINO Hiroki]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 b,d は、ドイツ語 a,cと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 b は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGE R EMI
2	5/20	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGE R EMI
3	5/27	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGE R EMI
4	6/3	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGE R EMI
5	6/10	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGE R EMI
6	6/17	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGE R EMI
7	6/24	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGE R EMI
8	7/1	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGE R EMI
9	7/8	13:10-14:40		茅野 大樹 S

				CHINZINGER EMI	
10	7/15	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
11	7/22	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
12	7/29	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
13	9/2	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
14	9/9	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
15	9/16	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
授業方法					
講義と演習による					
授業内容					
前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。					
独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。					
成績評価の方法					
評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。					
再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。					
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。					
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格					
期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席					
教科書					
Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde / Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa, 伊藤 直子, 柴田 クリスタ, 末松 淑美, 山川 和彦, 郁文堂, 2012					
教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。					
これらは授業中に配られますので注意してください。					
参考書					
アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 根本道也 [[ほか] 責任編集執筆: 根本 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典, 同学社, 2010					
新現代独和辞典 / ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzing, Robert, 1898-1988, 山本 明, 1928-, 南原 実, 1930-2013, 三修社, 2008					
アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 在間進編集責任, 在間 進, 三修社, 2010					

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合は、

それに入った独和辞典を使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語はa,b,c,dの総合点で4単位まとめて評価します。 ドイツ語a,cは、文法の総合演習、 ドイツ語b,dは、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則3分の2以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000169			
科目名	ドイツ語 b	科目 ID	LA-115402-Z	
担当教員	立川 睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 b,d は、ドイツ語 a,cと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 b は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
2	5/20	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
3	5/27	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
4	6/3	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
5	6/10	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
6	6/17	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
7	6/24	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
8	7/1	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
9	7/8	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER

				R EMI
10	7/15	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
11	7/22	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
12	7/29	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
13	9/2	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
14	9/9	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
15	9/16	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
授業方法 講義と演習による				
授業内容 前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。				
成績評価の方法 評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。				
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席				
教科書 Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde／Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa,伊藤 直子,柴田, クリスタ, 末松, 淑美,山川, 和彦,:郁文堂, 2012 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 これらは授業中に配られますので注意してください。				
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzing, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008				

アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です
他科目との関連 ドイツ語はa,b,c,dの総合点で4単位まとめて評価します。 ドイツ語a,cは、文法の総合演習、 ドイツ語b,dは、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則3分の2以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000170			
科目名	ドイツ語 b	科目 ID	LA-115402-Z	
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜2限				
・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3-4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 b,d は、ドイツ語 a,cと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。				
2)ドイツ語 b は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
2	5/20	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
3	5/27	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
4	6/3	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
5	6/10	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
6	6/17	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
7	6/24	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
8	7/1	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
9	7/8	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
10	7/15	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
11	7/22	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
12	7/29	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
13	9/2	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
14	9/9	10:50-12:20		SCHINZINGER

				ER EMI	
15	9/16	10:50-12:20		SCHINZINGER ER EMI	
授業方法					
講義と演習による					
授業内容					
前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。					
独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。					
成績評価の方法					
評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。					
再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。					
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。					
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格					
期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席					
教科書					
Gute Reise!: neu mit erweiterter Landeskunde / Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa, 伊藤 直子, 柴田, クリスタ, 末松, 淑美, 山川, 和彦, 郁文堂, 2012					
教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。					
これらは授業中に配られますので注意してください。					
参考書					
アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 根本道也 [ほか] 責任編集執筆, 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典, 同学社, 2010					
新現代独和辞典 / ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, 三修社, 2008					
アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 在間進編集責任, 在間, 進, 三修社, 2010					
代表的な独和辞典を挙げておきます。					
辞書については文法の授業で説明しますが、					
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、					
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。					
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。					
他科目との関連					
ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、文法の総合演習、ドイツ語 b,d は、会話、聞き取り、読解の総合演習、それぞれクラスが指定されます。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。					
連絡先(メールアドレス)					
schinzinger.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室					

時間割番号	000173			
科目名	ドイツ語 b	科目 ID	LA-115402-Z	
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 b,d は、ドイツ語 a,cと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 b は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
2	5/20	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
3	5/27	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
4	6/3	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
5	6/10	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
6	6/17	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
7	6/24	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
8	7/1	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
9	7/8	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
10	7/15	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
11	7/22	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
12	7/29	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
13	9/2	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
14	9/9	13:10-14:40		SCHINZINGER

				ER EMI	
15	9/16	13:10-14:40		SCHINZING ER EMI	
授業方法					
講義と演習による					
授業内容					
前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。					
独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。					
成績評価の方法					
評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。					
再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。					
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。					
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格					
期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席					
教科書					
Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde / Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa, 伊藤 直子, 柴田, クリスタ, 末松, 淑美, 山川, 和彦, : 郁文堂, 2012					
教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。					
これらは授業中に配られますので注意してください。					
参考書					
アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 根本道也 [[ほか] 責任編集執筆: 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典, : 同学社, 2010					
新現代独和辞典 / ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, : 三修社, 2008					
アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 在間進編集責任, 在間, 進, : 三修社, 2010					
代表的な独和辞典を挙げておきます。					
辞書については文法の授業で説明しますが、					
電子辞書を持っている場合は、					
それに入った独和辞典を使うことも可能ですが、					
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。					
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。					
他科目との関連					
ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c,d は、文法の総合演習、ドイツ語 b,d は、会話、聞き取り、読解の総合演習、それぞれクラスが指定されます。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。					
連絡先(メールアドレス)					
schinzinger.las@tmd.ac.jp					

オフィスアワー

毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000176			
科目名	ドイツ語 c	科目ID	LA-115403-Z	
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger EMI]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。				
2)ドイツ語 c は、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/5	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
2	10/12	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
3	10/19	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
4	10/26	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
5	11/2	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
6	11/9	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
7	11/16	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
8	11/23	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
9	11/30	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
10	12/7	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
11	12/14	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
12	12/21	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
13	1/18	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI

14	1/25	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI	
15	2/1	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI	
授業方法 講義と演習による					
授業内容 後期には教科書第8課から第14課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。					
成績評価の方法 評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席					
教科書 プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝 著.; 白水社, 2019 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。					
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [[ほか] 責任編集執筆:根本, 道也;恒吉, 良隆;吉中, 幸平;成田, 克史;福元, 圭太;重竹, 芳江;有村, 隆広;新保, 彌彬;本田, 義昭;鈴木, 敦典.; 同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編;Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013.; 三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任;在間, 進.; 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。					
他科目との関連 ドイツ語はa,b,c,dの総合点で4単位まとめて評価します。ドイツ語a,cは、文法の総合演習、ドイツ語b,dは、会話、聞き取り、読解の総合演習、それぞれクラスが指定されます。					
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則3分の2以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。					
連絡先(メールアドレス) schinzinger.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟3階研究室					

時間割番号	000180			
科目名	ドイツ語 c	科目 ID	LA-115403-Z	
担当教員	立川 睦美[TACHI KAWA MUTSUMI]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 月曜3限				
・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。				
2)ドイツ語 c は、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/5	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
2	10/12	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
3	10/19	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
4	10/26	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
5	11/2	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
6	11/9	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
7	11/16	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
8	11/23	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
9	11/30	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER

				R EMI	
10	12/7	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI	
11	12/14	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI	
12	12/21	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI	
13	1/18	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI	
14	1/25	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI	
15	2/1	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI	
授業方法					
講義と演習による					
授業内容					
後期には教科書第 8 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。					
成績評価の方法					
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格					
期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席					
教科書					
プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝 著,:白水社, 2019 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。					
参考書					
アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、					

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語はa,b,c,dの総合点で4単位まとめて評価します。ドイツ語a,cは、文法の総合演習、ドイツ語b,dは、会話、聞き取り、読解の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則3分の2以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000181			
科目名	ドイツ語 c	科目 ID	LA-115403-Z	
担当教員	立川 睦美[TACHI KAWA MUTSUMI]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 月曜4限				
・対象学科: 医学科・歯学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。				
2)ドイツ語 c は、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/5	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
2	10/12	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
3	10/19	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
4	10/26	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
5	11/2	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
6	11/9	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
7	11/16	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
8	11/23	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
9	11/30	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGER

				R EMI
10	12/7	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
11	12/14	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
12	12/21	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
13	1/18	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
14	1/25	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
15	2/1	14:50-16:20		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
授業方法 講義と演習による				
授業内容 後期には教科書第 8 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。				
成績評価の方法 評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。				
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席				
教科書 プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝 著,:白水社, 2019 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。				
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。				

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で4単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則3分の2以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000185			
科目名	ドイツ語 c	科目 ID	LA-115403-Z	
担当教員	渡部 聡子[WATANABE Satoko]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 月曜4限				
・対象学科: 医学科・歯学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。				
2)ドイツ語 c は、分離動詞・非分離動詞、語法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/5	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
2	10/12	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
3	10/19	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
4	10/26	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
5	11/2	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
6	11/9	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
7	11/16	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
8	11/23	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI
9	11/30	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGE R EMI

10	12/7	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGER EMI
11	12/14	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGER EMI
12	12/21	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGER EMI
13	1/18	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGER EMI
14	1/25	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGER EMI
15	2/1	14:50-16:20		渡部 聡子, S CHINZINGER EMI
授業方法 講義と演習による				
授業内容 後期には教科書第8課から第14課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。				
成績評価の方法 評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。				
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席				
教科書 プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝 著.: 白水社, 2019 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。				
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [[ほか] 責任編集執筆: 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典.: 同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013.: 三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任: 在間, 進.: 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。				

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、文法の総合演習、ドイツ語 b,d は、会話、聞き取り、読解の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000186			
科目名	ドイツ語 c	科目ID	LA-115403-Z	
担当教員	立川 睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜3限				
・対象学科:医学科・歯学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要です、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。				
2)ドイツ語 c は、分離動詞・非分離動詞、語法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
2	10/14	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
3	10/21	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
4	10/28	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
5	11/4	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
6	11/11	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
7	11/18	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
8	11/25	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI
9	12/2	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGE R EMI

10	12/9	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER R EMI
11	12/16	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER R EMI
12	1/6	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER R EMI
13	1/13	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER R EMI
14	1/20	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER R EMI
15	1/27	13:10-14:40		立川 睦美 S CHINZINGER R EMI
授業方法 講義と演習による				
授業内容 後期には教科書第8課から第14課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。				
成績評価の方法 評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。				
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席				
教科書 プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝 著.; 白水社, 2019 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。				
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [[ほか] 責任編集執筆, 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典.; 同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013.; 三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任, 在間, 進.; 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、				

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語はa,b,c,dの総合点で4単位まとめて評価します。ドイツ語a,cは、文法の総合演習、ドイツ語b,dは、会話、聞き取り、読解の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則3分の2以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000175			
科目名	ドイツ語 d	科目ID	LA-115404-Z	
担当教員	茅野 大樹[CHINO Hiroki]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜2限				
・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期d、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツと周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 b,d は、ドイツ語 a,cと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。				
2)ドイツ語 d は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、未来のこと、過去のこと説明ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
2	10/14	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
3	10/21	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
4	10/28	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
5	11/4	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
6	11/11	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
7	11/18	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
8	11/25	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
9	12/2	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
10	12/9	10:50-12:20		茅野 大樹 S

				CHINZINGER EMI	
11	12/16	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
12	1/6	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
13	1/13	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
14	1/20	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
15	1/27	10:50-12:20		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
授業方法 講義と演習による					
授業内容 後期には教科書の第6課から第8課までと、プリントなどを使い、ドイツと周りの国々について学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 日常的な場面設定で会話の反復練習もします。					
成績評価の方法 評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席					
教科書 Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde / Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa, 伊藤 直子, 柴田 クリスタ, 末松 淑美, 山川 和彦, : 郁文堂, 2012 教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。					
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 根本道也 [ほか] 責任編集執筆 根本 道也, 恒吉 良隆, 吉中 幸平, 成田 克史, 福元 圭太, 重竹 芳江, 有村 隆広, 新保 弼彬, 本田 義昭, 鈴木 敦典, : 同学社, 2010 新現代独和辞典 / ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzing, Robert, 1898-1988, 山本 明, 1928-, 南原 実, 1930-2013, : 三修社, 2008					

アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語はa,b,c,dの総合点で4単位まとめて評価します。 ドイツ語a,cは、文法の総合演習、 ドイツ語b,dは、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則3分の2以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000177			
科目名	ドイツ語 d	科目ID	LA-115404-Z	
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger EMI]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 月曜4限				
・対象学科: 医学科・歯学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期d、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツと周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 b,d は、ドイツ語 a,cと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。				
2)ドイツ語 d は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/5	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
2	10/12	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
3	10/19	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
4	10/26	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
5	11/2	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
6	11/9	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
7	11/16	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
8	11/23	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
9	11/30	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
10	12/7	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
11	12/14	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
12	12/21	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
13	1/18	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI
14	1/25	14:50-16:20		SCHINZINGER EMI

15	2/1	14:50-16:20	SCHINZINGER EMI	
授業方法 講義と演習による				
授業内容 後期には教科書の第6課から第8課までと、プリントなどを使い、ドイツと周りの国々について学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。日常的な場面設定で会話の反復練習もします。				
成績評価の方法 評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。				
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席				
教科書 Gute Reise!: neu mit erweiterter Landeskunde / Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa, 伊藤 直子, 柴田, クリスタ, 末松, 淑美, 山川, 和彦, 郁文堂, 2012 教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。				
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 根本道也 [[ほか] 責任編集執筆 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典, 同学社, 2010 新現代独和辞典 / ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, 三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 在間進編集責任, 在間, 進, 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。				
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c,d は、文法の総合演習、ドイツ語 b,d は、会話、聞き取り、読解の総合演習、それぞれクラスが指定されます。				
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。				
連絡先(メールアドレス) schinzinger.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室				

時間割番号	000178			
科目名	ドイツ語 d	科目ID	LA-115404-Z	
担当教員	茅野 大樹[CHINO Hiroki]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜3限				
・対象学科:医学科・歯学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期d、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツと周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 b,d は、ドイツ語 a,cと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。				
2)ドイツ語 d は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
2	10/14	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
3	10/21	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
4	10/28	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
5	11/4	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
6	11/11	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
7	11/18	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
8	11/25	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
9	12/2	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI
10	12/9	13:10-14:40		茅野 大樹 S

				CHINZINGER EMI	
11	12/16	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
12	1/6	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
13	1/13	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
14	1/20	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
15	1/27	13:10-14:40		茅野 大樹 S CHINZINGER EMI	
授業方法 講義と演習による					
授業内容 後期には教科書の第6課から第8課までと、プリントなどを使い、ドイツと周りの国々について学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 日常的な場面設定で会話の反復練習もします。					
成績評価の方法 評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席					
教科書 Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde / Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa, 伊藤 直子, 柴田 クリスタ, 末松 淑美, 山川 和彦, 郁文堂, 2012 教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。					
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 根本道也 [ほか] 責任編集執筆 根本 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典, 同学社, 2010 新現代独和辞典 / ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編 Schinzing, Robert, 1898-1988, 山本 明, 1928-, 南原 実, 1930-2013, 三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 在間進編集責任, 在間 進, 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。					

辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的行うこと。

時間割番号	000179			
科目名	ドイツ語 d	科目ID	LA-115404-Z	
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger EMI]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期d、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツと周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 b,d は、ドイツ語 a,cと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 d は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
2	10/14	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
3	10/21	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
4	10/28	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
5	11/4	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
6	11/11	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
7	11/18	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
8	11/25	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
9	12/2	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
10	12/9	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
11	12/16	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
12	1/6	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
13	1/13	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI
14	1/20	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI

15	1/27	10:50-12:20	SCHINZINGER EMI	
授業方法 講義と演習による				
授業内容 後期には教科書の第6課から第8課までと、プリントなどを使い、ドイツと周りの国々について学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 日常的な場面設定で会話の反復練習もします。				
成績評価の方法 評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。				
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席				
教科書 Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde / Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa, 伊藤 直子, 柴田, クリスタ, 末松, 淑美, 山川, 和彦, : 郁文堂, 2012 教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。				
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 根本道也 [ほか] 責任編集執筆 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典, : 同学社, 2010 新現代独和辞典 / ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, : 三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 在間進編集責任, 在間, 進, : 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。				
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,d は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。				
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。				
連絡先(メールアドレス) schinzinger.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室				

時間割番号	000182			
科目名	ドイツ語 d	科目ID	LA-115404-Z	
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger EMI]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期d、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツと周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 b,d は、ドイツ語 a,cと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 d は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
2	10/14	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
3	10/21	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
4	10/28	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
5	11/4	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
6	11/11	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
7	11/18	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
8	11/25	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
9	12/2	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
10	12/9	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
11	12/16	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
12	1/6	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
13	1/13	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI
14	1/20	13:10-14:40		SCHINZINGER EMI

15	1/27	13:10-14:40	SCHINZINGER EMI	
授業方法 講義と演習による				
授業内容 後期には教科書の第6課から第8課までと、プリントなどを使い、ドイツと周りの国々について学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 日常的な場面設定で会話の反復練習もします。				
成績評価の方法 評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。				
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席				
教科書 Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde / Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa, 伊藤 直子, 柴田 クリスタ, 末松 淑美, 山川 和彦, 郁文堂, 2012 教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。				
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 根本道也 [ほか] 責任編集執筆 根本 道也, 恒吉 良隆, 吉中 幸平, 成田 克史, 福元 圭太, 重竹 芳江, 有村 隆広, 新保 弼彬, 本田 義昭, 鈴木 敦典, 同学社, 2010 新現代独和辞典 / ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本 明, 1928-, 南原 実, 1930-2013, 三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 在間進編集責任, 在間 進, 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。				
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c,d は、文法の総合演習、ドイツ語 b,d は、会話、聞き取り、読解の総合演習、それぞれクラスが指定されます。				
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。				
連絡先(メールアドレス) schinzinger.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室				

時間割番号	000183			
科目名	ドイツ語 d	科目ID	LA-115404-Z	
担当教員	立川 睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜2限				
・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3－4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期d、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツと周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。				
授業の到達目標				
1)ドイツ語 b,d は、ドイツ語 a,cと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。				
2)ドイツ語 d は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
2	10/14	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
3	10/21	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
4	10/28	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
5	11/4	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
6	11/11	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
7	11/18	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
8	11/25	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
9	12/2	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI
10	12/9	10:50-12:20		立川 睦美 S

				CHINZINGER EMI	
11	12/16	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI	
12	1/6	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI	
13	1/13	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI	
14	1/20	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI	
15	1/27	10:50-12:20		立川 睦美 S CHINZINGER EMI	
授業方法 講義と演習による					
授業内容 後期には教科書の第6課から第8課までと、プリントなどを使い、ドイツと周りの国々についても学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 日常的な場面設定で会話の反復練習もします。					
成績評価の方法 評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。					
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席					
教科書 Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde / Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa, 伊藤 直子, 柴田, クリスタ, 末松, 淑美, 山川, 和彦, : 郁文堂, 2012 教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。					
参考書 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 根本道也 [ほか] 責任編集執筆, 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典, : 同学社, 2010 新現代独和辞典 / ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzing, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, : 三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 在間進編集責任, 在間, 進, : 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、					

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、文法の総合演習、ドイツ語 b,d は、会話、聞き取り、読解の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000201																																																																																		
科目名	フランス語 a	科目ID	LA-115501-Z																																																																																
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]																																																																																		
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する																																																																																			
授業の目的、概要等 フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週2回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる「地域文化演習」の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみるのが大切です。																																																																																			
授業の到達目標 1)基本単語の意味と綴りを身につける。 2)フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>5/11</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>2</td><td>5/18</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>3</td><td>5/25</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>4</td><td>6/1</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>5</td><td>6/8</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>6</td><td>6/15</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>7</td><td>6/22</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>8</td><td>6/29</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>9</td><td>7/6</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>10</td><td>7/13</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>11</td><td>7/20</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>12</td><td>7/27</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>13</td><td>8/31</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>14</td><td>9/7</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>15</td><td>9/14</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/11	13:10-14:40		中島 ひかる	2	5/18	13:10-14:40		中島 ひかる	3	5/25	13:10-14:40		中島 ひかる	4	6/1	13:10-14:40		中島 ひかる	5	6/8	13:10-14:40		中島 ひかる	6	6/15	13:10-14:40		中島 ひかる	7	6/22	13:10-14:40		中島 ひかる	8	6/29	13:10-14:40		中島 ひかる	9	7/6	13:10-14:40		中島 ひかる	10	7/13	13:10-14:40		中島 ひかる	11	7/20	13:10-14:40		中島 ひかる	12	7/27	13:10-14:40		中島 ひかる	13	8/31	13:10-14:40		中島 ひかる	14	9/7	13:10-14:40		中島 ひかる	15	9/14	13:10-14:40		中島 ひかる
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	5/11	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
2	5/18	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
3	5/25	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
4	6/1	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
5	6/8	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
6	6/15	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
7	6/22	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
8	6/29	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
9	7/6	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
10	7/13	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
11	7/20	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
12	7/27	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
13	8/31	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
14	9/7	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
15	9/14	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
授業方法 講義と演習による																																																																																			
授業内容 前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。 原則的に一つの項目に対して、月・水の2回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。 第1回:発音、アルファベ																																																																																			

第2回:主語人称代名詞、第1群規則動詞、否定文1 第3回:名詞の性・数、提示表現、冠詞 第4回:否定文2、疑問文 第5回:第2群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞 第6回:être・avoir、形容詞 第7回:前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過去 第8回:復習 第9回:比較級・最上級 第10回:複合過去 第11回:受動態、命令法、非人称構文 第12回:疑問形容詞、疑問副詞 第13回:疑問代名詞 第14回:目的語人称代名詞 第15回:前期のまとめ
成績評価の方法 評価:試験(中間試験・期末試験)100%・レポート0% 再評価:有(再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) ●文法知識の定着度を見るために、フランス語 a・b・c・d に関しては、主に筆記試験によって評価します。 ●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた評価を行い、これを全体の50%とし、後期の c25%、d 各25%と総合して成績を評価します。総合評価に際しては、授業中の解答状況等で10%程度まで成績をプラス評価することがあります。また、平均で60点に達していてもcが55点未満の場合は不合格とする場合があります。 ●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の可否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例:再考査に置き換えると65で合格だが、本試験の点数で計算して55の時は、最終評価は60)。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせたの出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の3分の2以上出席
教科書 Bon, allons-y !／朝倉三枝他:朝日出版社
参考書 ディコ仏和辞典／白水社:白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典:旺文社 ロワイヤル仏和辞典:旺文社

代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語は a・b・c・d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
備考
連絡先(メールアドレス) nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000202			
科目名	フランス語 a	科目ID	LA-115501-Z	
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等 フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週2回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる「地域文化演習」の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみるのが大切です。				
授業の到達目標 1)基本単語の意味と綴りを身につける。 2)フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	14:50-16:20		中島 ひかる
2	5/18	14:50-16:20		中島 ひかる
3	5/25	14:50-16:20		中島 ひかる
4	6/1	14:50-16:20		中島 ひかる
5	6/8	14:50-16:20		中島 ひかる
6	6/15	14:50-16:20		中島 ひかる
7	6/22	14:50-16:20		中島 ひかる
8	6/29	14:50-16:20		中島 ひかる
9	7/6	14:50-16:20		中島 ひかる
10	7/13	14:50-16:20		中島 ひかる
11	7/20	14:50-16:20		中島 ひかる
12	7/27	14:50-16:20		中島 ひかる
13	8/31	14:50-16:20		中島 ひかる
14	9/7	14:50-16:20		中島 ひかる
15	9/14	14:50-16:20		中島 ひかる
授業方法 講義と演習による				
授業内容 前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。 原則的に一つの項目に対して、月・水の2回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。 第1回:発音、アルファベ				

第2回:主語人称代名詞、第1群規則動詞、否定文1 第3回:名詞の性・数、提示表現、冠詞 第4回:否定文2、疑問文 第5回:第2群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞 第6回:être・avoir、形容詞 第7回:前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過去 第8回:復習 第9回:比較級・最上級 第10回:複合過去 第11回:受動態、命令法、非人称構文 第12回:疑問形容詞、疑問副詞 第13回:疑問代名詞 第14回:目的語人称代名詞 第15回:前期のまとめ
成績評価の方法 評価:試験(中間試験・期末試験)100%・レポート0 %・ 再評価:有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) ●文法知識の定着度を見るために、フランス語 a・b・c・dに関しては、主に筆記試験によって評価します。 ●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた評価を行い、これを全体の50%とし、後期の c25%、d 各 25%と総合して成績を評価します。総合評価に際しては、授業中の解答状況等で 10%程度まで成績をプラス評価することがあります。また、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とする場合があります。 ●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の可否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例:再考査に置き換えると65で合格だが、本試験の点数で計算して55の時は、最終評価は60)。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせたの出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
教科書 Bon, Allons-y / 朝倉三枝他:朝日出版社
参考書 ディコ仏和辞典 /白水社:白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語は a・b・c・d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
備考
連絡先(メールアドレス) nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000203																																																																																		
科目名	フランス語 b	科目 ID	LA-115502-Z																																																																																
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]																																																																																		
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
・曜日・時間:水曜 2 限 ・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する																																																																																			
授業の目的、概要等 フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる「地域文化演習」の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみるのが大切です。																																																																																			
授業の到達目標 1)基本単語の意味と綴りを身につける。 2)フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>5/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>2</td><td>5/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>3</td><td>5/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>4</td><td>6/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>5</td><td>6/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>6</td><td>6/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>7</td><td>6/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>8</td><td>7/1</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>9</td><td>7/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>10</td><td>7/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>11</td><td>7/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>12</td><td>7/29</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>13</td><td>9/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>14</td><td>9/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>15</td><td>9/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/13	10:50-12:20		中島 ひかる	2	5/20	10:50-12:20		中島 ひかる	3	5/27	10:50-12:20		中島 ひかる	4	6/3	10:50-12:20		中島 ひかる	5	6/10	10:50-12:20		中島 ひかる	6	6/17	10:50-12:20		中島 ひかる	7	6/24	10:50-12:20		中島 ひかる	8	7/1	10:50-12:20		中島 ひかる	9	7/8	10:50-12:20		中島 ひかる	10	7/15	10:50-12:20		中島 ひかる	11	7/22	10:50-12:20		中島 ひかる	12	7/29	10:50-12:20		中島 ひかる	13	9/2	10:50-12:20		中島 ひかる	14	9/9	10:50-12:20		中島 ひかる	15	9/16	10:50-12:20		中島 ひかる
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	5/13	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
2	5/20	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
3	5/27	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
4	6/3	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
5	6/10	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
6	6/17	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
7	6/24	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
8	7/1	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
9	7/8	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
10	7/15	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
11	7/22	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
12	7/29	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
13	9/2	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
14	9/9	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
15	9/16	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
授業方法 講義と演習による																																																																																			
授業内容 前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。 原則的に一つの項目に対して、月・水の 2 回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。 第 1 回:発音、アルファベ																																																																																			

第2回:主語人称代名詞、第1群規則動詞、否定文1
 第3回:名詞の性・数、提示表現、冠詞
 第4回:否定文2、疑問文
 第5回:第2群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞
 第6回:être・avoir、形容詞
 第7回:前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過去
 第8回:比較級・最上級
 第9回:複合過去
 第10回:受動態、命令法、非人称構文
 第11回:疑問形容詞、疑問副詞
 第12回:疑問代名詞
 第13回:目的語人称代名詞
 第14回:前期のまとめ
 第15回:前期のまとめ

成績評価の方法

評価:試験(中間試験・期末試験)100%・レポート0 %・

再評価:有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験)

- 文法知識の定着度を見るために、フランス語 a・b・cに関しては、主に筆記試験によって評価します。
- 上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた評価を行い、これを全体の50%とし、後期の c25%、d 各 25%と総合して成績を評価します。総合評価に際しては、授業中の解答状況等で 10%程度まで成績をプラス評価することがあります。また、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とする場合があります。
- 「フランス語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の可否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例:再考査に置き換えると65で合格だが、本試験の点数で計算して55の時は、最終評価は60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
 - ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
 - ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
 - ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
 - ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。
受験資格は定期試験を受験していること。
 - ・後期 d については再考査は行わない。
 - ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

教科書

Bon, allons-y !／朝倉三枝他:朝日出版社

参考書

ディコ仏和辞典 /白水社:白水社
 プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
 代表的な仏和辞書を挙げておきます。

辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語は a・b・c・d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語 d は作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
備考
連絡先(メールアドレス) nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000205			
科目名	フランス語 b	科目 ID	LA-115502-Z	
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等 フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週2回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる「地域文化演習」の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみるのが大切です。				
授業の到達目標 1)基本単語の意味と綴りを身につける。 2)フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	13:10-14:40		中島 ひかる
2	5/20	13:10-14:40		中島 ひかる
3	5/27	13:10-14:40		中島 ひかる
4	6/3	13:10-14:40		中島 ひかる
5	6/10	13:10-14:40		中島 ひかる
6	6/17	13:10-14:40		中島 ひかる
7	6/24	13:10-14:40		中島 ひかる
8	7/1	13:10-14:40		中島 ひかる
9	7/8	13:10-14:40		中島 ひかる
10	7/15	13:10-14:40		中島 ひかる
11	7/22	13:10-14:40		中島 ひかる
12	7/29	13:10-14:40		中島 ひかる
13	9/2	13:10-14:40		中島 ひかる
14	9/9	13:10-14:40		中島 ひかる
15	9/16	13:10-14:40		中島 ひかる
授業方法 講義と演習による				
授業内容 前期a・bでは、発音と綴り字の関係を説明した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。 原則的に一つの項目に対して、月・水の2回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。 第1回: 発音、アルファベ				

第2回:主語人称代名詞、第1群規則動詞、否定文1 第3回:名詞の性・数、提示表現、冠詞 第4回:否定文2、疑問文 第5回:第2群規則動詞、数詞、指示形容詞、所有形容詞 第6回:être・avoir、形容詞 第7回:前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過去 第8回:比較級・最上級 第9回:複合過去 第10回:受動態、命令法、非人称構文 第11回:疑問形容詞、疑問副詞 第12回:疑問代名詞 第13回:目的語人称代名詞 第14回:前期のまとめ 第15回:前期のまとめ
成績評価の方法 評価:試験(中間試験・期末試験)100%・レポート0 %・ 再評価:有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) ●文法知識の定着度を見るために、フランス語 a・b・cに関しては、主に筆記試験によって評価します。 ●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた評価を行い、これを全体の50%とし、後期の c25%, d 各25%と総合して成績を評価します。ただし、平均で60点に達していてもcが55点未満の場合は不合格とする場合があります。 ●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の可否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例:再考査に置き換えると65で合格だが、本試験の点数で計算して55の時は、最終評価は60)。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
教科書 Bon, allons-y !／朝倉三枝他:朝日出版社
参考書 ディコ仏和辞典 /白水社:白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。

辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語は a・b・c・d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語 d は作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
備考
連絡先(メールアドレス) nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000210			
科目名	フランス語 c	科目 ID	LA-115503-Z	
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 月曜 3 限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる「地域文化演習」の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみる大切です。 後期のcではフランス語の様々な時制や法、関係代名詞、中性代名詞の学習が中心になります。				
授業の到達目標				
1)基本単語の意味と綴りを身につける。 2)フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/5	13:10-14:40		中島 ひかる
2	10/12	13:10-14:40		中島 ひかる
3	10/19	13:10-14:40		中島 ひかる
4	10/26	13:10-14:40		中島 ひかる
5	11/2	13:10-14:40		中島 ひかる
6	11/9	13:10-14:40		中島 ひかる
7	11/16	13:10-14:40		中島 ひかる
8	11/23	13:10-14:40		中島 ひかる
9	11/30	13:10-14:40		中島 ひかる
10	12/7	13:10-14:40		中島 ひかる
11	12/14	13:10-14:40		中島 ひかる
12	12/21	13:10-14:40		中島 ひかる
13	1/18	13:10-14:40		中島 ひかる
14	1/25	13:10-14:40		中島 ひかる
15	2/1	13:10-14:40		中島 ひかる
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
後期cでは、前期a・bの内容を引き継ぎ、中性代名詞、関係代名詞を学習するほか、様々な時制や法を学んでいきます。以下の予定はクラスの理解度によって変更する可能性があります。 第1 回: 代名動詞 第2 回: 代名動詞 第3 回: 半過去・大過去				

第4回:半過去・大過去 第5回:関係代名詞 第6回:関係代名詞 第7回:中性代名詞 第8回:中性代名詞 第9回:現在分詞・ジェロンディフ 第10回:単純未来、前未来条件法 第11回:条件法 第12回:条件法 第13回:話法 第14回:接続法・単純過去 第15回:フランス語cまとめ
成績評価の方法 評価:試験(中間試験・期末試験)100%・レポート0 %・ 再評価:有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) ●文法知識の定着度を見るために、フランス語 a・b・cに関しては、主に筆記試験によって評価します。 ●上記のパーセンテージは「フランス語c」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた評価を行い、これを全体の50%とし、後期の c25%、d 各 25%と総合して成績を評価します。総合評価に際しては、授業中の解答状況等で 10%程度まで成績をプラス評価することがあります。また、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とする場合があります。 ●「フランス語c」のみが基準点に満たなかった場合、この範囲に限定して再考査を行うことがあります。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考查毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
教科書 Bon , allons-y／朝倉三枝他:朝日出版社
参考書 ディコ仏和辞典 /白水社:白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの買ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連 フランス語は a・b・c・d の総合点で 4 単位まとめて評価します。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
備考
連絡先(メールアドレス) nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000212			
科目名	フランス語 c	科目 ID	LA-115503-Z	
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 月曜 4 限				
・対象学科: 医学科・歯学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3-4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる「地域文化演習」の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみる大切です。				
後期のcではフランス語の様々な時制や法、関係代名詞、中性代名詞の学習が中心になります。				
授業の到達目標				
1)基本単語の意味と綴りを身につける。				
2)フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/5	14:50-16:20		中島 ひかる
2	10/12	14:50-16:20		中島 ひかる
3	10/19	14:50-16:20		中島 ひかる
4	10/26	14:50-16:20		中島 ひかる
5	11/2	14:50-16:20		中島 ひかる
6	11/9	14:50-16:20		中島 ひかる
7	11/16	14:50-16:20		中島 ひかる
8	11/23	14:50-16:20		中島 ひかる
9	11/30	14:50-16:20		中島 ひかる
10	12/7	14:50-16:20		中島 ひかる
11	12/14	14:50-16:20		中島 ひかる
12	12/21	14:50-16:20		中島 ひかる
13	1/18	14:50-16:20		中島 ひかる
14	1/25	14:50-16:20		中島 ひかる
15	2/1	14:50-16:20		中島 ひかる
授業方法				
講義と演習による				
授業内容				
後期cでは、前期a・bの内容を引き継ぎ、中性代名詞、関係代名詞を学習するほか、様々な時制や法を学んでいきます。以下の予定はクラスの理解度によって変更する可能性があります。				
第1 回: 代名動詞				
第2 回: 代名動詞				
第3 回: 半過去・大過去				

第4回:半過去・大過去 第5回:関係代名詞 第6回:関係代名詞 第7回:中性代名詞 第8回:中性代名詞 第9回:現在分詞・ジェロンディフ 第10回:単純未来、前未来条件法 第11回:条件法 第12回:条件法 第13回:話法 第14回:接続法・単純過去 第15回:フランス語cまとめ
成績評価の方法 評価:試験(中間試験・期末試験)100%・レポート0 %・ 再評価:有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) ●文法知識の定着度を見るために、フランス語 a・b・cに関しては、主に筆記試験によって評価します。 ●上記のパーセンテージは「フランス語c」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた評価を行い、これを全体の50%とし、後期の c25%、d 各 25%と総合して成績を評価します。総合評価に際しては、授業中の解答状況等で 10%程度まで成績をプラス評価することがあります。また、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とする場合があります。 ●「フランス語c」のみが基準点に満たなかった場合、この範囲に限定して再考査を行うことがあります。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考查毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
教科書 Bon , allons-y／朝倉三枝他:朝日出版社
参考書 ディコ仏和辞典 /白水社:白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連 フランス語は a・b・c・d の総合点で 4 単位まとめて評価します。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
備考
連絡先(メールアドレス) nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000207																																																																																		
科目名	フランス語 d	科目 ID	LA-115504-Z																																																																																
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]																																																																																		
開講時期	2020 年度後期	対象年次																																																																																	
実務経験のある教員による授業																																																																																			
・曜日・時間:水曜 2 限 ・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する																																																																																			
授業の目的、概要等 目的:フランス語dは「地域文化演習」として、フランス語 a、b、c、で学んだ基本的な文法知識の上に立って、現代フランス社会や文化に関わるトピックスを演習形式で学び、その中で、フランス語の語彙や基本構文を総合的に復習し、読解力を養います。 概要:フランスの社会や文化を扱った簡単なフランス語のテキストをもとに、背景も含めて内容を理解した上で、現代フランスを理解するために必要な重要フランス語の単語を理解し、基本的な構文を復習します。テキストの文章を逐語訳せずに、重要な単語を拾いながら、背景も含めて必要な情報を理解することは、フランス語をフランス語のまま捉えて読む練習にもなります。																																																																																			
授業の到達目標 1)フランスの文化や社会について理解を深める。 2)やや複雑なフランス語の文章構造に慣れ、読解力を養成する。 3)基本的単語や現代フランスを理解するための時事用語に慣れる。																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>2</td><td>10/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>3</td><td>10/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>4</td><td>10/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>5</td><td>11/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>6</td><td>11/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>7</td><td>11/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>8</td><td>11/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>9</td><td>12/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>10</td><td>12/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>11</td><td>12/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>12</td><td>1/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>13</td><td>1/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>14</td><td>1/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>15</td><td>1/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	10:50-12:20		中島 ひかる	2	10/14	10:50-12:20		中島 ひかる	3	10/21	10:50-12:20		中島 ひかる	4	10/28	10:50-12:20		中島 ひかる	5	11/4	10:50-12:20		中島 ひかる	6	11/11	10:50-12:20		中島 ひかる	7	11/18	10:50-12:20		中島 ひかる	8	11/25	10:50-12:20		中島 ひかる	9	12/2	10:50-12:20		中島 ひかる	10	12/9	10:50-12:20		中島 ひかる	11	12/16	10:50-12:20		中島 ひかる	12	1/6	10:50-12:20		中島 ひかる	13	1/13	10:50-12:20		中島 ひかる	14	1/20	10:50-12:20		中島 ひかる	15	1/27	10:50-12:20		中島 ひかる
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/7	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
2	10/14	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
3	10/21	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
4	10/28	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
5	11/4	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
6	11/11	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
7	11/18	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
8	11/25	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
9	12/2	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
10	12/9	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
11	12/16	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
12	1/6	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
13	1/13	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
14	1/20	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
15	1/27	10:50-12:20		中島 ひかる																																																																															
授業方法 演習による。 フランスの文化や社会についての時事問題を扱った簡単なテキストをもとに、以下のような演習を行います。 1:文章の背景・キーワードを理解する。 2:キーセンテンスを把握する。 3:1, 2をもとにテキスト内容を把握する。																																																																																			

授業内容 テキストで取り上げられている内容は以下のようになります。この中から、受講者の興味や後期の時点での政治・社会情勢にあわせて、幾つか選択します。また、テキスト以外の新聞・雑誌記事等からの資料も適宜配付します。 1. 制服への回帰 2. バカロレア改革と大学入試改革 3. 2024 年パリオリンピック 4. スタートアップ 5. 移民とフランスの文化 6. パリの緑化 7. オペラ座バレエ団 8. ファッションとメセナ 9. フランス語圏 10. 人工知能 11. 文学大国フランス 12. 2017 年大統領選
成績評価の方法 評価: 期末試験または期末レポート 40% その他 60% (授業ごとの課題提出) 再評価: 有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) 授業中に課題を提出してもらいますのでその提出状況、及び授業で身につけた力を見るための期末試験を合わせて評価します。 ●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」は a・b 合わせて 50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。総合評価に際しては、授業中の解答状況等で 10%程度まで成績をプラス評価することがあります。また、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とする場合があります。 ●「フランス語d」についてのみの再考査は実施しません。全体でが不合格となった場合は、「フランス語」として総合的な再試験を実施します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 授業で扱うテキストについては、あらかじめ、背景説明を読んだ上で、キーワードや主要なセンテンスをとらえ、概略を理解するよう努めて下さい。
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上の出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上の出席。
教科書 12 テーマでわかるフランス事情／岡見さえ, ミカエル・デブレ 著.: 白水社, 2019 : 朝日出版社
参考書 ディコ仏和辞典 / 白水社: 白水社

プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。和仏辞典は必ずしも必要ありません。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語dはフランス語 a、b、cで学んだ基礎知識の上に立って、地域文化を学びながらフランス語力を定着させる総合演習です。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠を優先します。
連絡先(メールアドレス) nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000209																																																																																		
科目名	フランス語 d	科目 ID	LA-115504-Z																																																																																
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]																																																																																		
開講時期	2020 年度後期	対象年次																																																																																	
実務経験のある教員による授業																																																																																			
・曜日・時間:水曜 3 限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する																																																																																			
授業の目的、概要等 目的:フランス語dは「地域文化演習」として、フランス語 a、b、c、で学んだ基本的な文法知識の上に立って、現代フランス社会や文化に関わるトピックスを演習形式で学び、その中で、フランス語の語彙や基本構文を総合的に復習し、読解力を養います。 概要:フランスの社会や文化を扱った簡単なフランス語のテキストをもとに、背景も含めて内容を理解した上で、現代フランスを理解するために必要な重要フランス語の単語を理解し、基本的な構文を復習します。テキストの文章を逐語訳せずに、重要な単語を拾いながら、背景も含めて必要な情報を理解することは、フランス語をフランス語のまま捉えて読む練習にもなります。																																																																																			
授業の到達目標 1)フランスの文化や社会について理解を深める。 2)やや複雑なフランス語の文章構造に慣れ、読解力を養成する。 3)基本的単語や現代フランスを理解するための時事用語に慣れる。																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/7</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>2</td><td>10/14</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>3</td><td>10/21</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>4</td><td>10/28</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>5</td><td>11/4</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>6</td><td>11/11</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>7</td><td>11/18</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>8</td><td>11/25</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>9</td><td>12/2</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>10</td><td>12/9</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>11</td><td>12/16</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>12</td><td>1/6</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>13</td><td>1/13</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>14</td><td>1/20</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr><tr><td>15</td><td>1/27</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>中島 ひかる</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	13:10-14:40		中島 ひかる	2	10/14	13:10-14:40		中島 ひかる	3	10/21	13:10-14:40		中島 ひかる	4	10/28	13:10-14:40		中島 ひかる	5	11/4	13:10-14:40		中島 ひかる	6	11/11	13:10-14:40		中島 ひかる	7	11/18	13:10-14:40		中島 ひかる	8	11/25	13:10-14:40		中島 ひかる	9	12/2	13:10-14:40		中島 ひかる	10	12/9	13:10-14:40		中島 ひかる	11	12/16	13:10-14:40		中島 ひかる	12	1/6	13:10-14:40		中島 ひかる	13	1/13	13:10-14:40		中島 ひかる	14	1/20	13:10-14:40		中島 ひかる	15	1/27	13:10-14:40		中島 ひかる
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/7	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
2	10/14	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
3	10/21	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
4	10/28	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
5	11/4	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
6	11/11	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
7	11/18	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
8	11/25	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
9	12/2	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
10	12/9	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
11	12/16	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
12	1/6	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
13	1/13	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
14	1/20	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
15	1/27	13:10-14:40		中島 ひかる																																																																															
授業方法 演習による。 フランスの文化や社会についての時事問題を扱った簡単なテキストをもとに、以下のような演習を行います。 1:文章の背景・キーワードを理解する。 2:キーセンテンスを把握する。 3:1, 2をもとにテキスト内容を把握する。																																																																																			

授業内容 テキストで取り上げられている内容は以下のようになります。この中から、受講者の興味や後期の時点での政治・社会情勢にあわせて、幾つか選択します。また、テキスト以外の新聞・雑誌記事等からの資料も適宜配付します。 1. 制服への回帰 2. バカロレア改革と大学入試改革 3. 2024 年パリオリンピック 4. スタートアップ 5. 移民とフランスの文化 6. パリの緑化 7. オペラ座バレエ団 8. ファッションとメセナ 9. フランス語圏 10. 人工知能 11. 文学大国フランス 12. 2017 年大統領選
成績評価の方法 評価: 期末試験または期末レポート 40% その他 60% (授業ごとの課題提出) 再評価: 有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験) 授業中に課題を提出してもらいますのでその提出状況、及び授業で身につけた力を見るための期末試験を合わせて評価します。 ●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」は a・b 合わせて 50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。総合評価に際しては、授業中の解答状況等で 10%程度まで成績をプラス評価することがあります。また、平均で 60 点に達していても c が 55 点未満の場合は不合格とする場合があります。 ●「フランス語d」についてのみの再考査は実施しません。全体でが不合格となった場合は、「フランス語」として総合的な再試験を実施します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 授業で扱うテキストについては、あらかじめ、背景説明を読んだ上で、キーワードや主要なセンテンスをとらえ、概略を理解するよう努めて下さい。
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上の出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上の出席。
教科書 12 テーマでわかるフランス事情／岡見さえ, ミカエル・デブレ 著,: 白水社, 2019 : 朝日出版社
参考書 ディコ仏和辞典 / 白水社: 白水社

プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。和仏辞典は必ずしも必要ありません。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語dはフランス語 a、b、cで学んだ基礎知識の上に立って、地域文化を学びながらフランス語力を定着させる総合演習です。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠を優先します。
連絡先(メールアドレス) nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000227			
科目名	中国語 a	科目ID	LA-115601-Z	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 月曜 3 限				
対象学科: 保健衛生学科(看護・検査)・口腔保健学科(口腔衛生・口腔工学)				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する				
別表 1-4)異なる空間の文化を理解する				
別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表 3-4)外国文化を理解する				
主な講義場所				
別表の通り				
授業の目的、概要等				
中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。				
授業の到達目標				
1)中国語の発音をマスターする。				
2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
2	5/18	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
3	5/25	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
4	6/1	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
5	6/8	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
6	6/15	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
7	6/22	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
8	6/29	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
9	7/6	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
10	7/13	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
11	7/20	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
12	7/27	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる

13	8/31	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる	
14	9/7	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる	
15	9/14	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる	
授業方法					
講義と演習による					
授業内容					
第1回 中国語ガイダンス					
第2回 声調・轻声・単母音					
第3回 複母音					
第4回 子音①、子音②					
第5回 鼻母音					
第6回 単語を増やそう					
第7回 自己紹介①					
第8回 自己紹介②					
第9回 自己紹介③					
第10回 お誘い					
第11回 レストラン					
第12回 買い物					
第13回 道案内					
第14回 趣味に関する雑談					
第15回 まとめ、復習					
成績評価の方法					
評価： 期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%					
再評価:有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)					
※通年4単位の中国語の成績(100点満点)は、前期「中国語 a」(25点)、「中国語 b」(25点)後期「中国語 c」(25点)、「中国語 d」(25点)の合計得点とする。					
※「中国語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。					
授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。					
習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。					
中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。					
試験の受験資格					
1. 定期試験受験資格					
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。					
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。					
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)					
2. 再考査・再試験受験資格					
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。					
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。					
受験資格は定期試験を受験していること。					
・後期 d については再考査は行わない。					
・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席					

教科書 中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020
参考書 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015 中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016 ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊, 進, 三省堂,:三省堂, 2019 辞書について初回の授業中、紹介しますが、必ず購入してください。
履修上の注意事項 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

時間割番号	000228			
科目名	中国語 a	科目ID	LA-115601-Z	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 月曜 4 限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表 3-4)外国文化を理解する				
主な講義場所 別表の通り				
授業の目的、概要等 中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。 前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。				
授業の到達目標 1) 中国語の発音をマスターする。 2) 中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	14:50-16:20		BAO MIN, 中島 ひかる
2	5/18	14:50-16:20		BAO MIN, 中島 ひかる
3	5/25	14:50-16:20		BAO MIN, 中島 ひかる
4	6/1	14:50-16:20		BAO MIN, 中島 ひかる
5	6/8	14:50-16:20		BAO MIN, 中島 ひかる
6	6/15	14:50-16:20		BAO MIN, 中島 ひかる
7	6/22	14:50-16:20		BAO MIN, 中島 ひかる
8	6/29	14:50-16:20		BAO MIN, 中島 ひかる
9	7/6	14:50-16:20		BAO MIN, 中島 ひかる
10	7/13	14:50-16:20		BAO MIN, 中島 ひかる
11	7/20	14:50-16:20		BAO MIN, 中島 ひかる
12	7/27	14:50-16:20		BAO MIN, 中島 ひかる

13	8/31	14:50-16:20		BAO MIN, 中島 ひかる	
14	9/7	14:50-16:20		BAO MIN, 中島 ひかる	
15	9/14	14:50-16:20		BAO MIN, 中島 ひかる	
授業方法					
講義と演習による					
授業内容					
第1回 中国語ガイダンス					
第2回 声調・轻声・単母音					
第3回 複母音					
第4回 子音①、子音②					
第5回 鼻母音					
第6回 単語を増やそう					
第7回 自己紹介①					
第8回 自己紹介②					
第9回 自己紹介③					
第10回 お誘い					
第11回 レストラン					
第12回 買い物					
第13回 道案内					
第14回 趣味に関する雑談					
第15回 まとめ、復習					
成績評価の方法					
評価： 期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%					
再評価:有（再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する）					
※通年4単位の中国語の成績(100点満点)は、前期「中国語 a」(25点)、「中国語 b」(25点)後期「中国語 c」(25点)、「中国語 d」(25点)の合計得点とする。					
※「中国語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。					
授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。					
習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。					
中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。					
試験の受験資格					
1. 定期試験受験資格					
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。					
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。					
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)					
2. 再考査・再試験受験資格					
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。					
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。					
受験資格は定期試験を受験していること。					
・後期 d については再考査は行わない。					
・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席					

教科書 中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020
参考書 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015 中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016 ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊, 進, 三省堂,:三省堂, 2019 辞書について初回の授業中、紹介しますが、必ず購入してください。
履修上の注意事項 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

時間割番号	000226			
科目名	中国語 b	科目 ID	LA-115602-Z	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:水曜 3 限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表 3-4)外国文化を理解する				
主な講義場所 別表の通り				
授業の目的、概要等 中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。 前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。				
授業の到達目標 1)中国語の発音をマスターする。 2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
2	5/20	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
3	5/27	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
4	6/3	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
5	6/10	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
6	6/17	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
7	6/24	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
8	7/1	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
9	7/8	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
10	7/15	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
11	7/22	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる
12	7/29	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる

13	9/2	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる	
14	9/9	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる	
15	9/16	13:10-14:40		BAO MIN, 中島 ひかる	
授業方法					
講義と演習による					
授業内容					
第1回 中国語ガイダンス					
第2回 声調・轻声・単母音					
第3回 複母音					
第4回 子音①、子音②					
第5回 鼻母音					
第6回 単語を増やそう					
第7回 自己紹介①					
第8回 自己紹介②					
第9回 自己紹介③					
第10回 お誘い					
第11回 レストラン					
第12回 買い物					
第13回 道案内					
第14回 趣味に関する雑談					
第15回 まとめ、復習					
成績評価の方法					
評価： 期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%					
再評価:有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)					
※通年4単位の中国語の成績(100点満点)は、前期「中国語 a」(25点)、「中国語 b」(25点)後期「中国語 c」(25点)、「中国語 d」(25点)の合計得点とする。					
※「中国語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。					
授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。					
習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。					
中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。					
試験の受験資格					
1. 定期試験受験資格					
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。					
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。					
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)					
2. 再考査・再試験受験資格					
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。					
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。					
受験資格は定期試験を受験していること。					
・後期 d については再考査は行わない。					
・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席					

教科書 中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020
参考書 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015 中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016 ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊, 進, 三省堂,:三省堂, 2019 辞書について初回の授業中、紹介しますが、必ず購入してください。
履修上の注意事項 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

時間割番号	000225			
科目名	中国語 b	科目 ID	LA-115602-Z	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:水曜 2 限				
対象学科: 保健衛生学科(看護・検査)・口腔保健学科(口腔衛生・口腔工学)				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する				
別表 1-4)異なる空間の文化を理解する				
別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表 3-4)外国文化を理解する				
主な講義場所				
別表の通り				
授業の目的、概要等				
中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。				
授業の到達目標				
1)中国語の発音をマスターする。				
2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	10:50-12:20		BAO MIN, 中島 ひかる
2	5/20	10:50-12:20		BAO MIN, 中島 ひかる
3	5/27	10:50-12:20		BAO MIN, 中島 ひかる
4	6/3	10:50-12:20		BAO MIN, 中島 ひかる
5	6/10	10:50-12:20		BAO MIN, 中島 ひかる
6	6/17	10:50-12:20		BAO MIN, 中島 ひかる
7	6/24	10:50-12:20		BAO MIN, 中島 ひかる
8	7/1	10:50-12:20		BAO MIN, 中島 ひかる
9	7/8	10:50-12:20		BAO MIN, 中島 ひかる
10	7/15	10:50-12:20		BAO MIN, 中島 ひかる
11	7/22	10:50-12:20		BAO MIN, 中島 ひかる
12	7/29	10:50-12:20		BAO MIN, 中島 ひかる

13	9/2	10:50-12:20		BAO MIN, 中島 ひかる
14	9/9	10:50-12:20		BAO MIN, 中島 ひかる
15	9/16	10:50-12:20		BAO MIN, 中島 ひかる
授業方法 講義と演習による				
授業内容 第1回 中国語ガイダンス 第2回 声調・轻声・単母音 第3回 複母音 第4回 子音①、子音② 第5回 鼻母音 第6回 単語を増やそう 第7回 自己紹介① 第8回 自己紹介② 第9回 自己紹介③ 第10回 お誘い 第11回 レストラン 第12回 買い物 第13回 道案内 第14回 趣味に関する雑談 第15回 まとめ、復習				
成績評価の方法 評価：期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点) 10% 再評価：有（再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する） ※通年4単位の中国語の成績(100点満点)は、前期「中国語 a」(25点)、「中国語 b」(25点)後期「中国語 c」(25点)、「中国語 d」(25点)の合計得点とする。 ※「中国語 a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例：再考査に置き換えると65で合格だが、本試験の点数で計算して55の時は、最終評価は60)。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。 授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。 習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。 中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。				
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c については c のみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席				

教科書 中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020
参考書 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015 中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016 ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊, 進, 三省堂,:三省堂, 2019 辞書について初回の授業中、紹介しますが、必ず購入してください。
履修上の注意事項 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

時間割番号	000231			
科目名	中国語 c	科目 ID	LA-115603-Z	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 月曜 3 限				
対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する				
別表 1-4)異なる空間の文化を理解する				
別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表 3-4)外国文化を理解する				
主な講義場所				
別表の通り				
授業の目的、概要等				
中国語を半年勉強した学生に対して、発音基礎を固めながら、文法知識を増やしつつ、読解力を付けていくよう授業を進めます。単語、文型などを正確に理解する能力を養うことに主眼を置きます。				
前半は発音の復習を行いながら授業を予定しています。後半は前期に引き続き、新出単語、新しい文法の学習を中心に進めていきます。				
授業の到達目標				
1)中国語の発音をマスターする。				
2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/5	13:10-14:40		BAO MIN
2	10/12	13:10-14:40		BAO MIN
3	10/19	13:10-14:40		BAO MIN
4	10/26	13:10-14:40		BAO MIN
5	11/2	13:10-14:40		BAO MIN
6	11/9	13:10-14:40		BAO MIN
7	11/16	13:10-14:40		BAO MIN
8	11/23	13:10-14:40		BAO MIN
9	11/30	13:10-14:40		BAO MIN
10	12/7	13:10-14:40		BAO MIN
11	12/14	13:10-14:40		BAO MIN
12	12/21	13:10-14:40		BAO MIN
13	1/18	13:10-14:40		BAO MIN
14	1/25	13:10-14:40		BAO MIN
15	2/1	13:10-14:40		BAO MIN
授業方法				
受講生が教員について文法の練習や会話などを行い、学生同士で会話の練習も行う。				
授業内容				
会話文を教材にして、中国語の発音の基礎を学び、同時に基本的な文法事項も学習する。その後、口頭表現を中心に簡単な日常会話を練習する。読む、聞く、書く、話すなど総合的な中国語の力をつける訓練を行う。				
第1回:発音の復習				

第2回:旅行の計画① 第3回:旅行の計画② 第4回:病院① 第5回:病院② 第6回:トラブル① 第7回:トラブル② 第8回:ホテル① 第9回:ホテル② 第10回:約束する① 第11回:約束する② 第12回:掲示板を見る① 第13回:掲示板を見る② 第14回:復習 第15回:まとめ
成績評価の方法 評価:期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点) 10% 再評価:有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する) ※通年4単位の中国語の成績(100点満点)は、前期「中国語 a」(25点)、「中国語 b」(25点)後期「中国語 c」(25点)、「中国語 d」(25点)の合計得点とする。 ※「中国語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると65で合格だが、本試験の点数で計算して55の時は、最終評価は60)。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習等についての具体的な指示 復習、予習すること。教科書を読み直す、あらかじめ読んでおく、という日々の訓練が必要である。受講に際し、中国語の発音を練習するには、声を出すこと。積極的に授業に参加すること。新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
教科書 中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020
参考書 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子著,瀬戸口, 律子,:語研, 2015 中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016 ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊, 進, 三省堂,:三省堂, 2019 辞書について初回の授業中、紹介しますが、必ず購入してください。
他科目との関連

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

履修上の注意事項

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

時間割番号	000232			
科目名	中国語 c	科目 ID	LA-115603-Z	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 月曜 4 限				
対象学科: 医学科・歯学科				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する				
別表 1-4)異なる空間の文化を理解する				
別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表 3-4)外国文化を理解する				
主な講義場所				
別表の通り				
授業の目的、概要等				
中国語を半年勉強した学生に対して、発音基礎を固めながら、文法知識を増やしつつ、読解力を付けていくよう授業を進めます。単語、文型などを正確に理解する能力を養うことに主眼を置きます。				
前半は発音の復習を行いながら授業を予定しています。後半は前期に引き続き、新出単語、新しい文法の学習を中心に進めていきます。				
授業の到達目標				
1)中国語の発音をマスターする。				
2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/5	14:50-16:20		BAO MIN
2	10/12	14:50-16:20		BAO MIN
3	10/19	14:50-16:20		BAO MIN
4	10/26	14:50-16:20		BAO MIN
5	11/2	14:50-16:20		BAO MIN
6	11/9	14:50-16:20		BAO MIN
7	11/16	14:50-16:20		BAO MIN
8	11/23	14:50-16:20		BAO MIN
9	11/30	14:50-16:20		BAO MIN
10	12/7	14:50-16:20		BAO MIN
11	12/14	14:50-16:20		BAO MIN
12	12/21	14:50-16:20		BAO MIN
13	1/18	14:50-16:20		BAO MIN
14	1/25	14:50-16:20		BAO MIN
15	2/1	14:50-16:20		BAO MIN
授業方法				
受講生が教員について文法の練習や会話などを行い、学生同士で会話の練習も行う。				
授業内容				
会話文を教材にして、中国語の発音の基礎を学び、同時に基本的な文法事項も学習する。その後、口頭表現を中心に簡単な日常会話を練習する。読む、聞く、書く、話すなど総合的な中国語の力をつける訓練を行う。				
第1回:発音の復習				

第2回:旅行の計画① 第3回:旅行の計画② 第4回:病院① 第5回:病院② 第6回:トラブル① 第7回:トラブル② 第8回:ホテル① 第9回:ホテル② 第10回:約束する① 第11回:約束する② 第12回:掲示板を見る① 第13回:掲示板を見る② 第14回:復習 第15回:まとめ
成績評価の方法 評価:期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点) 10% 再評価:有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する) ※通年4単位の中国語の成績(100点満点)は、前期「中国語 a」(25点)、「中国語 b」(25点)後期「中国語 c」(25点)、「中国語 d」(25点)の合計得点とする。 ※「中国語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると65で合格だが、本試験の点数で計算して55の時は、最終評価は60)。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習等についての具体的な指示 復習、予習すること。教科書を読み直す、あらかじめ読んでおく、という日々の訓練が必要である。受講に際し、中国語の発音を練習するには、声を出すこと。積極的に授業に参加すること。新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の3分の2以上出席
教科書 中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020
参考書 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子著, 瀬戸口, 律子,:語研, 2015 中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集, 商務印書館, 小学館,:小学館, 2016 ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊, 進, 三省堂,:三省堂, 2019 辞書について初回の授業中、紹介しますが、必ず購入してください。
他科目との関連

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
履修上の注意事項 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

時間割番号	000229			
科目名	中国語 d	科目 ID	LA-115604-Z	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:水曜 2 限 対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表 3-4)外国文化を理解する				
主な講義場所 別表の通り				
授業の目的、概要等 過去 1 年間中国の様々な出来事をテーマごとに分けて紹介し、中国語の文章を読むことで、読解力の向上を目指すとともに、現代中国社会への理解を深め、中国を主とする地域文化演習をすることを目的とします。				
授業の到達目標 ①辞書を使い、短い中国語の文章が読めるようになること。 ②授業を通じて中国情報を収集するための基礎的な技術を獲得すること。 ③中国の文化や社会について理解を深める。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	10:50-12:20		BAO MIN
2	10/14	10:50-12:20		BAO MIN
3	10/21	10:50-12:20		BAO MIN
4	10/28	10:50-12:20		BAO MIN
5	11/4	10:50-12:20		BAO MIN
6	11/11	10:50-12:20		BAO MIN
7	11/18	10:50-12:20		BAO MIN
8	11/25	10:50-12:20		BAO MIN
9	12/2	10:50-12:20		BAO MIN
10	12/9	10:50-12:20		BAO MIN
11	12/16	10:50-12:20		BAO MIN
12	1/6	10:50-12:20		BAO MIN
13	1/13	10:50-12:20		BAO MIN
14	1/20	10:50-12:20		BAO MIN
15	1/27	10:50-12:20		BAO MIN
授業方法 中国語通年 4 単位の一部ですが、「中国語 c」とは別の教科書を使った授業になります。時事問題に関する文章を題材とする教科書を用い、地域文化演習、読解、新出文法事項の学習、内容に関する教員からの解説・学生との討論を行います。授業の一環として、レポート課題、グループ討論および個人発表があります。				
授業内容 過去 1 年間中国の様々な出来事をテーマごとに分けて紹介し、激動する中国の今を最新の内容と共に学びます。多様な中国語原文を、より多く読む訓練を実施します。発音練習をかねて本文を読みながら、現代中国社会に対する解説を行います。1〜2 回で教科書の一つの				

テーマを扱う予定ですが、順序やテーマ等は受講者の学力・興味によって変更する可能性があります。 1～2 回目:程永华 大使离任前的最后演讲(节选) 3～4 回目:两个“国菜”的今天 5～6 回目:“智能”进校园 7～8 回目:996 奋斗与生活真的只能二选一吗? 9～10 回目:改变中国人生活的快递 11～12 回目:电视剧《都挺好》为什么受欢迎 13～14 回目:茶马古道上的普洱思茅——从普洱茶到咖啡 15 回目:中国語 d まとめ
成績評価の方法 評価:期末試験 60%・その他(授業中の課題提出) 40% 再評価:有(再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する) ※上記は前期「中国語 d」の配点。 ※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a+b」(50 点)、後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の配点で評価する。 ※「中国語 d」についての再考査は実施しません。「中国語」としての総合的な再試験を実施します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習等についての具体的な指示 知らない単語の意味は事前に辞書で調べて来ること。授業にも辞書を持参することが望ましい。 教科書付属のドリルを各自活用すること。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上の出席 ※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。 ※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。前期「中国語 a+b」、後期「中国語 c」「中国語 d」いずれかの期末考査を受験しなかった者には、再試験の受験資格を与えない。
教科書 時事中国語の教科書 2020 年度版／三渚正道、陳祖蓓、古屋順子 著、: 朝日出版社, 2020
参考書 Why? にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか: 同学社, 1996 やさしくわかる中国語文法の基礎／守屋宏則: 東方書店, 1995 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著、: 語研, 2015 はじめて学ぶ中国語文法／永井鉄郎著、永井 鉄郎: 金星堂, 2014 次の2つ辞書のうちどちらかを用意することを勧めます。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
履修上の注意事項 出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。

時間割番号	000230			
科目名	中国語 d	科目 ID	LA-115604-Z	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:水曜 3 限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表 3-4)外国文化を理解する				
主な講義場所 別表の通り				
授業の目的、概要等 過去 1 年間中国の様々な出来事をテーマごとに分けて紹介し、中国語の文章を読むことで、読解力の向上を目指すとともに、現代中国社会への理解を深め、中国を主とする地域文化演習をすることを目的とします。				
授業の到達目標 ①辞書を使い、短い中国語の文章が読めるようになること。 ②授業を通じて中国情報を収集するための基礎的な技術を獲得すること。 ③中国の文化や社会について理解を深める。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	13:10-14:40		BAO MIN
2	10/14	13:10-14:40		BAO MIN
3	10/21	13:10-14:40		BAO MIN
4	10/28	13:10-14:40		BAO MIN
5	11/4	13:10-14:40		BAO MIN
6	11/11	13:10-14:40		BAO MIN
7	11/18	13:10-14:40		BAO MIN
8	11/25	13:10-14:40		BAO MIN
9	12/2	13:10-14:40		BAO MIN
10	12/9	13:10-14:40		BAO MIN
11	12/16	13:10-14:40		BAO MIN
12	1/6	13:10-14:40		BAO MIN
13	1/13	13:10-14:40		BAO MIN
14	1/20	13:10-14:40		BAO MIN
15	1/27	13:10-14:40		BAO MIN
授業方法 中国語通年 4 単位の一部ですが、「中国語 c」とは別の教科書を使った授業になります。時事問題に関する文章を題材とする教科書を用い、地域文化演習、読解、新出文法事項の学習、内容に関する教員からの解説・学生との討論を行います。授業の一環として、レポート課題、グループ討論および個人発表があります。				
授業内容 過去 1 年間中国の様々な出来事をテーマごとに分けて紹介し、激動する中国の今を最新の内容と共に学びます。多様な中国語原文を、より多く読む訓練を実施します。発音練習をかねて本文を読みながら、現代中国社会に対する解説を行います。1～2 回で教科書の一つの				

テーマを扱う予定ですが、順序やテーマ等は受講者の学力・興味によって変更する可能性があります。 1～2 回目:程永华 大使离任前的最后演讲(节选) 3～4 回目:两个“国菜”的今天 5～6 回目:“智能”进校园 7～8 回目:996 奋斗与生活真的只能二选一吗? 9～10 回目:改变中国人生活的快递 11～12 回目:电视剧《都挺好》为什么受欢迎 13～14 回目:茶马古道上的普洱思茅——从普洱茶到咖啡 15 回目:中国語 d まとめ
成績評価の方法 評価:期末試験 60%・その他(授業中の課題提出) 40% 再評価:有(再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する) ※上記は前期「中国語 d」の配点。 ※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a+b」(50 点)、後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の配点で評価する。 ※「中国語 d」についての再考査は実施しません。「中国語」としての総合的な再試験を実施します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習等についての具体的な指示 知らない単語の意味は事前に辞書で調べて来ること。授業にも辞書を持参することが望ましい。 教科書付属のドリルを各自活用すること。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上の出席 ※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。 ※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。前期「中国語 a+b」、後期「中国語 c」「中国語 d」いずれかの期末考査を受験しなかった者には、再試験の受験資格を与えない。
教科書 時事中国語の教科書 2020 年度版／三渚正道, 陳祖蓓, 古屋順子 著, 朝日出版社, 2020
参考書 Why? にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか: 同学社, 1996 やさしくわかる中国語文法の基礎／守屋宏則: 東方書店, 1995 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著, 語研, 2015 はじめて学ぶ中国語文法／永井鉄郎著, 永井, 鉄郎: 金星堂, 2014 次の2つ辞書のうちどちらかを用意することを勧めます。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』
他科目との関連 成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
履修上の注意事項 出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。

時間割番号	000234			
科目名	スペイン語 a	科目ID	LA-115701-Z	
担当教員	永田 夕紀子[NAGATA Yukiko]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 月曜4限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3-1、3-4				
授業の目的、概要等				
スペイン語を一から身につけていきます。スペイン語は日本語を母語とする者にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。				
授業の到達目標				
1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。 2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章の読み書きと会話ができるようになる。 3)スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
2	5/18	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
3	5/25	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
4	6/1	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
5	6/8	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
6	6/15	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
7	6/22	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
8	6/29	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
9	7/6	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
10	7/13	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
11	7/20	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
12	7/27	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
13	8/31	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
14	9/7	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
15	9/14	14:50-16:20		永田 夕紀子,

				中島 ひかる	
授業方法					
基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、作文や会話の演習やグループワークを行います(月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です)。加えて授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。					
授業内容					
第1回: アルファベット、発音					
第2回: 名詞の性と数、冠詞					
第3回: 形容詞(指示形容詞含む)					
第4回: 動詞の概観、ser					
第5回: estar					
第6回: 存在の hay					
第7回: ここまでのまとめ・中間試験					
第8回: 現在規則変化1					
第9回: 現在規則変化2					
第10回: 現在不規則変化1					
第11回: 現在不規則変化2					
第12回: 直接目的語、間接目的語					
第13回: gustar 型動詞					
第14回: 再帰動詞					
第15回: 前期のまとめ・期末試験					
成績評価の方法					
評価 : 試験 60% ・ レポート % ・ その他 40%(授業参加・課題提出)					
再評価: 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験)					
・スペイン語は abcd の総合点で 4 単位まとめて評価します。前期 a/b と後期 c は試験によって評価を行います。前期 a/b では中間、期末の 2 回ずつテストを実施する予定です。					
・文法については筆記試験、会話についてはスピーキング試験を実施する予定です。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。					
教科書					
『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年					
教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。					
参考書					
辞書や参考書については初回授業時に指示します。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。					

時間割番号	000940			
科目名	スペイン語 a	科目ID	LA-115701-Z	
担当教員	永田 夕紀子[NAGATA Yukiko]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 月曜3限 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3-1、3-4				
授業の目的、概要等				
スペイン語を一から身につけていきます。スペイン語は日本語を母語とする者にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。				
授業の到達目標				
1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。 2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章の読み書きと会話ができるようになる。 3)スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
2	5/18	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
3	5/25	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
4	6/1	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
5	6/8	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
6	6/15	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
7	6/22	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
8	6/29	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
9	7/6	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
10	7/13	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
11	7/20	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
12	7/27	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
13	8/31	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
14	9/7	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
15	9/14	13:10-14:40		永田 夕紀子,

				中島 ひかる	
授業方法					
基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、作文や会話の演習やグループワークを行います(月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です)。加えて授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。					
授業内容					
第1回: アルファベット、発音					
第2回: 名詞の性と数、冠詞					
第3回: 形容詞(指示形容詞含む)					
第4回: 動詞の概観、ser					
第5回: estar					
第6回: 存在の hay					
第7回: ここまでのまとめ・中間試験					
第8回: 現在規則変化1					
第9回: 現在規則変化2					
第10回: 現在不規則変化1					
第11回: 現在不規則変化2					
第12回: 直接目的語、間接目的語					
第13回: gustar 型動詞					
第14回: 再帰動詞					
第15回: 前期のまとめ・期末試験					
成績評価の方法					
評価 : 試験 60% ・ レポート % ・ その他 40%(授業参加・課題提出)					
再評価: 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験)					
・スペイン語は abcd の総合点で 4 単位まとめて評価します。前期 a/b と後期 c は試験によって評価を行います。前期 a/b では中間、期末の 2 回ずつテストを実施する予定です。					
・文法については筆記試験、会話についてはスピーキング試験を実施する予定です。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。					
教科書					
『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年					
教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。					
参考書					
辞書や参考書については初回授業時に指示します。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。					

時間割番号	000235			
科目名	スペイン語 b	科目 ID	LA-115702-Z	
担当教員	三浦 航太[MIURA Kouta]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:水曜3限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-1、3-4				
授業の目的、概要等				
スペイン語を一から身につけていきます。スペイン語は日本語を母語とする者にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。				
授業の到達目標				
1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。 2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章の読み書きと会話が出来るようになる。 3)スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
2	5/20	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
3	5/27	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
4	6/3	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
5	6/10	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
6	6/17	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
7	6/24	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
8	7/1	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
9	7/8	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
10	7/15	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
11	7/22	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
12	7/29	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
13	9/2	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
14	9/9	13:10-14:40		三浦 航太

				中島 ひかる	
15	9/16	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる	
授業方法 基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、作文や会話の演習やグループワークを行います（月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です）。加えて授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。					
授業内容 第1回: アルファベット、発音 第2回: 名詞の性と数、冠詞 第3回: 形容詞（指示形容詞含む） 第4回: 動詞の概観、ser 第5回: estar 第6回: 存在の hay 第7回: ここまでのまとめ・中間試験 第8回: 現在規則変化1 第9回: 現在規則変化2 第10回: 現在不規則変化1 第11回: 現在不規則変化2 第12回: 直接目的語、間接目的語 第13回: gustar 型動詞 第14回: 再帰動詞 第15回: 前期のまとめ・期末試験					
成績評価の方法 評価 : 試験 60% ・ レポート % ・ その他 40% (授業参加・課題提出) 再評価: 有 (再評価方法: 「スペイン語」としての学年末再試験) ・スペイン語は abcd の総合点で 4 単位まとめて評価します。前期 a/b と後期 c は試験によって評価を行います。前期 a/b では中間、期末の 2 回ずつテストを実施する予定です。 ・文法については筆記試験、会話についてはスピーキング試験を実施する予定です。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。					
教科書 『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年 教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。					
参考書 辞書や参考書については初回授業時に指示します。					
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。					

時間割番号	000941			
科目名	スペイン語 b	科目ID	LA-115702-Z	
担当教員	三浦 航太[MIURA Kouta]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:水曜2限				
対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-1、3-4				
授業の目的、概要等				
スペイン語を一から身につけていきます。スペイン語は日本語を母語とする者にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。				
授業の到達目標				
1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。				
2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章の読み書きと会話ができるようになる。				
3)スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/13	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
2	5/20	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
3	5/27	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
4	6/3	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
5	6/10	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
6	6/17	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
7	6/24	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
8	7/1	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
9	7/8	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
10	7/15	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
11	7/22	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
12	7/29	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
13	9/2	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
14	9/9	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
15	9/16	10:50-12:20		三浦 航太

				中島 ひかる	
授業方法					
基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、作文や会話の演習やグループワークを行います(月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です)。加えて授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。					
授業内容					
第1回: アルファベット、発音					
第2回: 名詞の性と数、冠詞					
第3回: 形容詞(指示形容詞含む)					
第4回: 動詞の概観、ser					
第5回: estar					
第6回: 存在の hay					
第7回: ここまでのまとめ・中間試験					
第8回: 現在規則変化1					
第9回: 現在規則変化2					
第10回: 現在不規則変化1					
第11回: 現在不規則変化2					
第12回: 直接目的語、間接目的語					
第13回: gustar 型動詞					
第14回: 再帰動詞					
第15回: 前期のまとめ・期末試験					
成績評価の方法					
評価 : 試験 60% ・ レポート % ・ その他 40%(授業参加・課題提出)					
再評価: 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験)					
・スペイン語は abcd の総合点で 4 単位まとめて評価します。前期 a/b と後期 c は試験によって評価を行います。前期 a/b では中間、期末の 2 回ずつテストを実施する予定です。					
・文法については筆記試験、会話についてはスピーキング試験を実施する予定です。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。					
教科書					
『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年					
教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。					
参考書					
辞書や参考書については初回授業時に指示します。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。					

時間割番号	000236			
科目名	スペイン語 c	科目ID	LA-115703-Z	
担当教員	永田 夕紀子[NAGATA Yukiko]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 月曜4限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3-1、3-4				
授業の目的、概要等				
スペイン語を一から身につけていきます。スペイン語は日本語を母語とする者にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。				
授業の到達目標				
1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。 2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章の読み書きと会話ができるようになる。 3)スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/5	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
2	10/12	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
3	10/19	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
4	10/26	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
5	11/2	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
6	11/9	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
7	11/16	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
8	11/23	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
9	11/30	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
10	12/7	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
11	12/14	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
12	12/21	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
13	1/18	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
14	1/25	14:50-16:20		永田 夕紀子, 中島 ひかる
15	2/1	14:50-16:20		永田 夕紀子,

				中島 ひかる	
授業方法					
基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、作文や会話の演習やグループワークを行います。加えて授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。					
授業内容					
第1回:前期の復習(ser, estar, hay)					
第2回:前期の復習(規則動詞、不規則動詞)					
第3回:線過去1					
第4回:線過去2					
第5回:点過去規則変化1					
第6回:点過去規則変化2					
第7回:ここまでのまとめ					
第8回:点過去不規則変化1					
第9回:点過去不規則変化2					
第10回:完了形					
第11回:推量形					
第12回:接続法					
第13回:命令形					
第14回:1年間のまとめ					
第15回:期末試験					
成績評価の方法					
評価 : 試験 60% ・ レポート % ・ その他 40%(授業参加・課題提出)					
再評価: 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験)					
・スペイン語はabcdの総合点で4単位まとめて評価します(上記のパーセンテージ)。前期a/bと後期cは試験によって評価を行います。					
後期cでは期末テストを実施する予定です。					
・最終的な総合成績が60点を下回る学生は不合格とし、年度末スペイン語として再試験を行います。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。					
教科書					
『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006年					
教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。					
参考書					
辞書や参考書については初回授業時に指示します。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。					

時間割番号	000942			
科目名	スペイン語 c	科目ID	LA-115703-Z	
担当教員	永田 夕紀子[NAGATA Yukiko]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 月曜3限 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3-1、3-4				
授業の目的、概要等				
スペイン語を一から身につけていきます。スペイン語は日本語を母語とする者にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。				
授業の到達目標				
1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。 2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章の読み書きと会話ができるようになる。 3)スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/5	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
2	10/12	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
3	10/19	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
4	10/26	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
5	11/2	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
6	11/9	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
7	11/16	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
8	11/23	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
9	11/30	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
10	12/7	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
11	12/14	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
12	12/21	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
13	1/18	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
14	1/25	13:10-14:40		永田 夕紀子, 中島 ひかる
15	2/1	13:10-14:40		永田 夕紀子,

				中島 ひかる	
授業方法					
基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、作文や会話の演習やグループワークを行います。加えて授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。					
授業内容					
第1回:前期の復習(ser, estar, hay)					
第2回:前期の復習(規則動詞、不規則動詞)					
第3回:線過去1					
第4回:線過去2					
第5回:点過去規則変化1					
第6回:点過去規則変化2					
第7回:ここまでのまとめ					
第8回:点過去不規則変化1					
第9回:点過去不規則変化2					
第10回:完了形					
第11回:推量形					
第12回:接続法					
第13回:命令形					
第14回:1年間のまとめ					
第15回:期末試験					
成績評価の方法					
評価 : 試験 60% ・ レポート % ・ その他 40%(授業参加・課題提出)					
再評価: 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験)					
・スペイン語はabcdの総合点で4単位まとめて評価します(上記のパーセンテージ)。前期a/bと後期cは試験によって評価を行います。					
後期cでは期末テストを実施する予定です。					
・最終的な総合成績が60点を下回る学生は不合格とし、年度末スペイン語として再試験を行います。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。					
教科書					
『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006年					
教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。					
参考書					
辞書や参考書については初回授業時に指示します。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。					

時間割番号	000237			
科目名	スペイン語 d	科目ID	LA-115704-Z	
担当教員	三浦 航太[MIURA Kouta]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:水曜3限				
対象学科:医学科・歯学科				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-1、3-4、3-5				
授業の目的、概要等				
「地域文化演習」として、スペインやラテンアメリカの文化、歴史、社会などについて理解を深めていきます。同時にスペイン語が実際の社会でどのように使われているのかを知り、スペイン語の能力の向上にも努めていきます。こういったところでスペイン語圏の社会と私たちが生きる社会が異なるのか、似ているのか、といった意識を持って学習していきましょう。				
授業の到達目標				
1)スペインやラテンアメリカの文化、歴史、社会について理解を深める。				
2)スペイン語圏の文化、歴史、社会に関する文章に触れ、スペイン語の読解力を養う。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
2	10/14	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
3	10/21	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
4	10/28	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
5	11/4	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
6	11/11	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
7	11/18	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
8	11/25	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
9	12/2	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
10	12/9	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
11	12/16	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
12	1/6	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
13	1/13	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる
14	1/20	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる

15	1/27	13:10-14:40		三浦 航太 中島 ひかる	
授業方法 スペイン語 d では、スペイン語圏の文化、歴史、社会などに関する各テーマについて、関連する映像に触れつつ、理解に努めていきます。また、テーマのさらなる理解やスペイン語の読解力の向上を促すような課題や演習に取り組みます。場合に応じてスペイン語の文法について適宜復習しながら授業を進めます。					
授業内容 第1回: イントロダクション「スペイン語圏の国々」 第2回: スペイン語圏の文化1「食事」 第3回: スペイン語圏の文化2「観光」 第4回: スペイン語圏の歴史1「独立と国民国家1」 第5回: スペイン語圏の歴史2「独立と国民国家2」 第6回: スペイン語圏の歴史3「冷戦とキューバ革命1」 第7回: スペイン語圏の歴史4「冷戦とキューバ革命2」 第8回: スペイン語圏の歴史5「冷戦とキューバ革命3」 第9回: スペイン語圏の歴史5「軍事政権1」 第10回: スペイン語圏の歴史6「軍事政権2」 第11回: スペイン語圏の歴史7「軍事政権3」 第12回: スペイン語圏の社会1「日系人1」 第13回: スペイン語圏の社会2「日系人2」 第14回: スペイン語圏の社会3「日系人3」 第15回: まとめ					
成績評価の方法 評価 : 試験 60% ・ レポート % ・ その他 40%(授業参加・課題提出) 再評価: 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験) ・スペイン語は abcd の総合点で 4 単位まとめて評価します。後期 d では課題提出によって評価を行います。最終的な総合成績が 60 点を下回る学生は不合格とし、年度末スペイン語として再試験を行います。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。					
教科書 『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年 教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。					
参考書 辞書や参考書については初回授業時に指示します。					
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。					

時間割番号	000943			
科目名	スペイン語 d	科目ID	LA-115704-Z	
担当教員	三浦 航太[MIURA Kouta]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 水曜2限				
対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3-1、3-4、3-5				
授業の目的、概要等				
「地域文化演習」として、スペインやラテンアメリカの文化、歴史、社会などについて理解を深めていきます。同時にスペイン語が実際の社会でどのように使われているのかを知り、スペイン語の能力の向上にも努めていきます。こういったところでスペイン語圏の社会と私たちが生きる社会が異なるのか、似ているのか、といった意識を持って学習していきましょう。				
授業の到達目標				
1) スペインやラテンアメリカの文化、歴史、社会について理解を深める。				
2) スペイン語圏の文化、歴史、社会に関する文章に触れ、スペイン語の読解力を養う。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/7	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
2	10/14	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
3	10/21	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
4	10/28	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
5	11/4	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
6	11/11	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
7	11/18	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
8	11/25	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
9	12/2	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
10	12/9	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
11	12/16	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
12	1/6	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
13	1/13	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
14	1/20	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる
15	1/27	10:50-12:20		三浦 航太 中島 ひかる

授業方法 スペイン語 d では、スペイン語圏の文化、歴史、社会などに関する各テーマについて、関連する映像に触れつつ、理解に努めていきます。また、テーマのさらなる理解やスペイン語の読解力の向上を促すような課題や演習に取り組みます。場合に応じてスペイン語の文法について適宜復習しながら授業を進めます。
授業内容 第1回: イントロダクション「スペイン語圏の国々」 第2回: スペイン語圏の文化1「食事」 第3回: スペイン語圏の文化2「観光」 第4回: スペイン語圏の歴史1「独立と国民国家1」 第5回: スペイン語圏の歴史2「独立と国民国家2」 第6回: スペイン語圏の歴史3「冷戦とキューバ革命1」 第7回: スペイン語圏の歴史4「冷戦とキューバ革命2」 第8回: スペイン語圏の歴史5「冷戦とキューバ革命3」 第9回: スペイン語圏の歴史6「軍事政権1」 第10回: スペイン語圏の歴史7「軍事政権2」 第11回: スペイン語圏の歴史8「軍事政権3」 第12回: スペイン語圏の社会1「日系人1」 第13回: スペイン語圏の社会2「日系人2」 第14回: スペイン語圏の社会3「日系人3」 第15回: まとめ
成績評価の方法 評価 : 試験 60% ・ レポート % ・ その他 40%(授業参加・課題提出) 再評価: 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験) ・スペイン語は abcd の総合点で 4 単位まとめて評価します。後期 d では課題提出によって評価を行います。最終的な総合成績が 60 点を下回る学生は不合格とし、年度末スペイン語として再試験を行います。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。
教科書 『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年 教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。
参考書 辞書や参考書については初回授業時に指示します。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000238				
科目名	物理学実験			科目ID	LA-115800-Z
担当教員	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章[HIEDA MITSUNORI, KOSHINO KAZUKI, UMEZAKI KEISHIYO]				
開講時期	2020 年度通年	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜日・3～4時限 対象学科: 医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2-2) 自然現象を探究するための手法を知る 別表4-3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける					
主な講義場所 物理学学生実験室(ヒポ 1F)、計算機実習室(ヒポ 2F)、物理学実験準備室 1(ヒポ 3F)、4 番教室					
授業の目的、概要等 実験形式により、学生自らが手を動かすことで物理学の知識を深化させる。 目的を達成するための方法を考え実験計画を立て、実験中はよくみ(観・視)よく考えて行動し、その結果を確かめながら実験方法を改良しつつ、最終的に得られた結果をどのように解釈したらよいかという物理学的な思考方法を学ぶ。					
授業の到達目標 1. レンズの働きを理解し、凸レンズおよび組み合わせレンズの焦点距離、主点の位置を求めることができる。 2. 自然科学に欠かせない予測手段の一つである数値シミュレーションを用い、運動方程式を解くことができる。 3. 極低温状態の固体の性質を調べ、金属、半導体、超伝導、磁性という現代物理学の主要分野である「物性物理学」の知識を得る。 4. 重力加速度の測定を通して、データの統計処理、誤差の計算方法を学ぶ。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-4	8/4	09:10-16:20		檜枝 光憲 越野 和樹 梅崎 馨章	
5-8	8/5	09:10-16:20		檜枝 光憲 越野 和樹 梅崎 馨章	
9-12	8/6	09:10-16:20		檜枝 光憲 越野 和樹 梅崎 馨章	
13-16	8/7	09:10-16:20		檜枝 光憲 越野 和樹 梅崎 馨章	
17-20	8/11	09:10-16:20		檜枝 光憲 越野 和樹 梅崎 馨章	
21-24	8/12	09:10-16:20		檜枝 光憲 越野 和樹 梅崎 馨章	
25-27	10/9	13:10-18:00		檜枝 光憲 越野 和樹 梅崎 馨章	
28-30	10/16	13:10-18:00		檜枝 光憲 越野 和樹 梅崎 馨章	

31-33	10/23	13:10-18:00		檜枝 光憲 越野 和樹 梅崎 馨章
34-36	10/30	13:10-18:00		檜枝 光憲 越野 和樹 梅崎 馨章
37-39	11/6	13:10-18:00		檜枝 光憲 越野 和樹 梅崎 馨章
授業方法 実験				
授業内容 物理実験学の講義を実験初日(第1週)に行うので休まないこと。 下記の3項目の実験を、項目ごとに2回の実験日で行う。グループ分けは、実験初日に発表する。 1. レンズの焦点距離と主点の位置(担当:梅崎) 2. 計算機による運動方程式の解法(担当:越野) 3. 物性実験、重力加速度の測定(担当:檜枝)				
成績評価の方法 実習形式のため授業の参加度およびレポートの内容を重視する。 レポート + 実験ノート 80% その他(授業の参加度、実験態度) 20%				
成績評価の基準 遅刻や実験中の態度不良による減点が多いので注意すること。 なお、「物理学実験」では、すべての授業に出席し、すべてのレポートを提出することが義務付けられている。				
準備学習等についての具体的な指示				
教科書 物理学実験テキスト(2020年度版) 東京医科歯科大学教養部自然科学系物理学分野編				
履修上の注意事項 原則、全ての授業に出席すること。欠席時は事務に欠席届を提出し、代替処置を教員と相談すること。全てのレポートを提出すること。 未提出のレポートがある場合、不合格とする。他人のレポートの丸写し、データ捏造などの不正行為がある場合、不合格とする。				
連絡先(メールアドレス) 檜枝 光憲 hieda.las@tmd.ac.jp 越野 和樹 ikuzak.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー 檜枝 光憲: 毎週金曜日 16:30~17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3 越野 和樹: 毎週月曜日 12:00~13:00 ヒポクラテス 4 階				

時間割番号	000239				
科目名	化学実験			科目ID	LA-115900-Z
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO, KATSUMATA TOSHIYUKI]				
開講時期	2020 年度通年	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜日・3～4 時限(前期5回、後期3 回)対象学生は指定された 1～3 組に分かれて化学実験、生物学実験、物理学実験を交代で行う。 対象学科: 医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2-2) 自然現象を探究するための手法を知る 別表4-3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける					
授業の目的、概要等 無機定性分析および容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人 1 セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。					
授業の到達目標 一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。 自分で実験テーマを見つけて、計画・実施することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-4	8/4	09:10-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	
5-8	8/5	09:10-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	
9-12	8/6	09:10-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	
13-16	8/7	09:10-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	
17-20	8/11	09:10-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	
21-24	8/12	09:10-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	
25-26	10/23	13:10-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	
27-28	10/30	13:10-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	
29-30	11/6	13:10-16:20		奈良 雅之	

				澤野 頼子, 勝又 敏行
31-33	11/20	13:10-18:00		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
34-36	12/4	13:10-18:00		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
授業方法 実習および講義による				
授業内容 前期 1. 化学実験総論／席決め／実験準備と講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等) 2. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その1(1-5族混合未知試料の分析) 3. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その2(1-5族混合未知試料の分析) 4. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その3(1-5族混合未知試料の分析) 5. 考察実験(ペーパークロマトグラフィー／分光光度計をもちいた比色分析等) 後期 6. 容量分析(その1) 中和滴定の練習(食酢中の酸の定量)／誤差の取り扱い方 7. 容量分析(その2) 容量分析テスト(酒石酸または炭酸カリウムの未知試料の濃度決定) 8. 容量分析(その3) キレート滴定 牛乳、水道水中のカルシウムイオンの定量				
成績評価の方法 実験のため、実験中の取り組み、記録の取り方など重視し以下の通りとする。 実験ノート(一次記録および報告)60%、 実験中の取り組み(面接、テストなどを含む)40%				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。				
教科書 「化学実験」(東京医科歯科大学教養部化学教室編)				
参考書 最新臨床検査学講座 化学／奈良雅之: 医歯薬出版, 2020 高木誠司著: 定性分析化学中巻 イオン反応編、南江堂 高木誠司著: 定量分析の実験と計算、共立出版 柴田村治著: 無機クロマトグラフ法とイオン交換分離、共立出版 D.T.Plummer 著: 廣海他訳、実験で学ぶ生化学、化学同人				
連絡先(メールアドレス) 勝又 敏行: katsumata.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子: sawano.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之: nara.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー 勝又 敏行: 毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室 澤野 頼子: 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 奈良 雅之: 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階				

時間割番号	000240				
科目名	生物学実験			科目ID	LA-116000-Z
担当教員	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則[MATSUMOTO YUKIHISA, HATSUTORI ATSUSHIKO, ITO MASANORI]				
開講時期	2020 年度通年	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	・曜日・時間: 金曜日3～5限 ・対象学科・専攻: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2－2) 自然現象を探究するための手法を知る。 4－3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける。				
主な講義場所					
ヒポクラテスホール3階 生物学生実験室					
授業の目的、概要等					
講義で学習する内容は観察や実験によって得られたものである。これらの生物学の基本知識がどのような過程で得られたかを実際に体験することによって生物学の考え方を学ぶ。また、観察の仕方、生物と機器の取り扱い方法、観察・測定した結果の数量化などの基本を学ぶ。					
授業の到達目標					
1) 生物を適切に取り扱うことができる。					
2) 実験機器を正しく使用することができる。					
3) 肉眼あるいは光学顕微鏡により生体の構造を観察し、その特徴を説明することができる。					
4) 現象から仮説を立て、仮説を検証するために適切な実験を計画・実施することができる。					
5) データを整理・分析し、レポートにまとめることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-4	8/4	09:10-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久	
5-8	8/5	09:10-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久	
9-12	8/6	09:10-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久	
13-16	8/7	09:10-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久	
17-20	8/11	09:10-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久	
21-24	8/12	09:10-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久	
25-26	10/23	13:10-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久	

27-28	10/30	13:10-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久	
29-30	11/6	13:10-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久	
31-33	11/13	13:10-18:00		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久	
34-36	11/27	13:10-18:00		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久	
授業方法 実習による。					
授業内容 肉眼あるいは光学顕微鏡下で、生物の体のつくりや生命現象を観察する。行動観察を通して、仮説とそれを証明するための実験計画を立て、実際に実験を行うことによって科学の基本的な手順を学ぶ。加えて、分子生物学の基本的な手法を学ぶ。					
成績評価の方法 実習は観察とデータの処理・考察を重視する科目なので、レポート80%、授業態度20%で成績を評価する。 再評価: 有 *欠席は原則認めない。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習等についての具体的な指示 実験を行う前に必ずテキストを読んでおくこと。					
試験の受験資格 原則的には全て出席しないと、レポートを提出することはできない。教員がとる出欠を優先し、授業開始時間(13:10)に席についていない場合は遅刻とする。3回の遅刻で1回の欠席とする。					
教科書 「新 生物学実験テキスト」 東京医科歯科大学教養部生物学教室 編(2018 年版) 参考図書は随時紹介する。					
参考書 ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著、坂井建雄、岡田隆夫 監訳、坂井建雄、橋本尚詞、小林靖、渡邊卓、貞森直樹、岡田隆夫、中谷敬 訳：医学書院、2005					
履修上の注意事項 欠席は原則認めない。 教員がとる出欠を優先し、授業開始時間(13:10)に席についていない場合は遅刻とする。3回の遅刻で欠席とする。					
連絡先(メールアドレス) 松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2) 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室					

時間割番号	000300				
科目名	サイエンス PBL 入門			科目 ID	LA-116100-Z
担当教員	服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 本田 陽子, 朝山 芳弘[HATSUTORI ATSUSHI, NARA MASAYUKI, HIEDA MITSUNORI, ITO MASANORI, TOKUNAGA SHINICHI, NAKAGUCHI ETSUSHI, SAWANO YORIKO, KOSHINO KAZUKI, IKEDA Akihiko, KATSUMATA TOSHIYUKI, MATSUMOTO YUKIHISA, UMEZAKI KEISHIYO, HONNDA Youko, ASAYAMA Yoshihiro]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 2－2)自然現象を探究するための手法を知る。 2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。 4－3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。					
主な講義場所 後日、掲示する。。					
授業の目的、概要等 1)問題抽出、論理的思考、コミュニケーション技術の向上: 次の一連の過程において必要な技術を向上させる。「資料やデータから具体的な問題点を抽出する → 知識を集め、整理する → 正確な知識と知識を根拠とした正確な論理展開によって問題点を解決する → 簡潔かつ解り易い言葉で説明し、建設的な話し合いを行う」。 2)実験研究者になるための基礎づくり: 問題点を解決するために適切な実験を計画・実施する技術を向上させる。また、実験データを解り易く整理し、実験データの解析と適切な考察を行う技術を培う。 3)医療に携わるうえでの基礎づくり 測定結果から正しい結論やその背景にあるメカニズムを推論する。その過程で必要な論理的思考力を向上させる。					
授業の到達目標 1. 具体的な問題点を抽出し、「正確な知識」と「知識を根拠とした正確な論理展開」によって問題点を解決することができる。 2. 簡潔かつ解り易い言葉で説明することができる。 3. 建設的な話し合いを行うことができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-2	12/11	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 本田 陽子,	

				朝山 芳弘
3-4	12/18	13:10-16:20		服部 淳彦 奈良 雅之 檜枝 光憲 伊藤 正則 徳永 伸一 中口 悦史 澤野 頼子 越野 和樹 池田 暁彦 勝又 敏行 松本 幸久 梅崎 馨章 本田 陽子 朝山 芳弘
5-6	1/8	13:10-16:20		服部 淳彦 奈良 雅之 檜枝 光憲 伊藤 正則 徳永 伸一 中口 悦史 澤野 頼子 越野 和樹 池田 暁彦 勝又 敏行 松本 幸久 梅崎 馨章 本田 陽子 朝山 芳弘
7-8	1/15	13:10-16:20		服部 淳彦 奈良 雅之 檜枝 光憲 伊藤 正則 徳永 伸一 中口 悦史 澤野 頼子 越野 和樹 池田 暁彦 勝又 敏行 松本 幸久 梅崎 馨章 本田 陽子 朝山 芳弘
9-10	1/22	13:10-16:20		服部 淳彦 奈良 雅之 檜枝 光憲 伊藤 正則 徳永 伸一 中口 悦史 澤野 頼子

				越野 和樹 池田 暁彦 勝又 敏行 松本 幸久 梅崎 馨章 本田 陽子 朝山 芳弘	
11-12	1/29	13:10-16:20		服部 淳彦 奈良 雅之 檜枝 光憲 伊藤 正則 徳永 伸一 中口 悦史 澤野 頼子 越野 和樹 池田 暁彦 勝又 敏行 松本 幸久 梅崎 馨章 本田 陽子 朝山 芳弘	
授業方法					
problem-based learning (PBL)					
授業内容					
10 名程度から成るグループによる学習で、配布資料(課題シートなど)から問題点を抽出し、自然科学の知識を活用して、問題点を解決することを試みる。具体的には次の 1-3 の順に行う。					
1. 配布資料の内容を理解し、学生間での話し合い、具体的な問題点を抽出する。 2. 各自が問題点を解決するために必要な情報を得た後、情報を整理する。 3. 整理した情報を発表し、議論する。発表と議論した内容をまとめることによって、問題点に対する答えを導き出す。					
この授業では学生間での話し合いが中心となり、話し合いに参加するためには、明確な目的意識をもった学習が必要である。					
成績評価の方法					
授業への参加度、グループによる話し合いへの参加、グループごとでの発表会での発表内容、発表会での質問・返答内容、ノートの記事内容による。詳細は 1 回目の授業内でのガイダンスで述べる。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
各自が問題点を解決するために必要な情報を集め、ノートに整理しておくこと。情報を集める過程でさらに問題点をみつけること。問題点を論理的方法により解決する。					
試験の受験資格					
試験を行わない。					
教科書					
課題シートなどの資料を配布する。					
参考書					
必要に応じて紹介する。					
連絡先(メールアドレス)					
伊藤 正則 itohmt.las@tmd.ac.jp					

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp
奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp
勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp
松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp
檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp
中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp
越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

徳永 伸一:前期:

水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。

上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30~17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

中口 悦史:前期:月・水 12:00~13:00, 後期:水・木 12:30~13:30, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は
随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可(要問合せ)

越野 和樹:毎週月曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000241			
科目名	科学基礎実験Ⅰ	科目ID	LA-116201-Z	
担当教員	奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 服部 淳彦, 松本 幸久, 勝又 敏行, 増田 俊平[NARA MASAYUKI, HATSUTORI ATSUSHIKO, ITO MASANORI, HATSUTORI ATSUSHIKO, MATSUMOTO YUKIHISA, KATSUMATA TOSHIYUKI, MASUDA Shunpei]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜3～4限(変則的)				
・対象学科: 保健衛生学科検査技術学専攻				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表 2-2)自然現象を探究するための手法を知る				
別表 4-3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける				
授業の目的、概要等				
無機定性分析、容量分析、光学顕微鏡を用いた観察を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。				
1人1セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、光学顕微鏡の使い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。				
授業の到達目標				
実験ノートのきちんと取り、それを報告としてまとめ、発表することができる。さらに、自分でテーマを見つけ、実験を組み立てることができることを目標とする。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	10/8	13:10-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久 奈良 雅之 勝又 敏行
3-4	10/9	13:10-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久 奈良 雅之 勝又 敏行
5	10/15	13:10-14:40		奈良 雅之 勝又 敏行
6	10/22	13:10-14:40		奈良 雅之 勝又 敏行
7-8	10/29	13:10-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久 奈良 雅之 勝又 敏行
9-10	11/5	13:10-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久 奈良 雅之 勝又 敏行

11-12	11/12	13:10-16:20		奈良 雅之 勝又 敏行
13-14	11/19	13:10-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久
15-16	11/26	13:10-16:20		檜枝 光憲
17-18	12/3	13:10-16:20		檜枝 光憲

授業方法

実習による

授業内容

1 物理学実験:重力加速度の測定と統計誤差の扱い(1)

2 物理学実験:重力加速度の測定と統計誤差の扱い(2)

3 生物学実験:マウスの解剖、身体づくりの観察

4 生物学実験:光学顕微鏡の使い方、血液塗抹標本の作製・観察

5 生物学実験:魚の黒色素胞におけるメラノソームの動き

6 化学実験:無機金属イオンの分析(1)

7 化学実験:無機金属イオンの分析(2)

8 化学実験:容量分析(1) 中和滴定(食酢中の酸の定量)

9 化学実験:容量分析(2) キレート滴定(水道水中のカルシウムの定量)

成績評価の方法

実験のため、実験中の取り組み記録の作成などを重視し以下の通りとする。

物理学分野 25% 生物学分野 35% 化学分野 40%で評価する。

化学分野では実験ノート(一次記録およびレポート)50%、

実験中の取り組み(面接・テストなどを含む)50%で評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

教科書

化学実験(東京医科歯科大学教養部化学教室編)

参考書

最新臨床検査学講座 化学／奈良雅之:医歯薬出版, 2020

連絡先(メールアドレス)

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000242		
科目名	科学基礎実験 N・O・K	科目ID	LA-116202-Z
担当教員	澤野 頼子, 勝又 敏行[SAWANO YORIKO, KATSUMATA TOSHIYUKI]		
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1
実務経験のある教員による授業			
・曜日・時間:木曜日(前半8回)/3、4時限 ・対象学科:保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科 ・募集人数:48 名程度 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー2)自然現象を探究するための手法を知る 4ー3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける			
主な講義場所 化学実験室、7 番教室			
授業の目的、概要等 定性分析、容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につけ、注意深い観察力、正確な判断力を身につける。1人 1 セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけたし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。			
授業の到達目標 一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。 自分で実験テーマを見つけて、計画・実施することができる。			
授業方法 実習および講義による			
授業内容 1. 科学基礎実験総論/講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策、数値の取り扱い等)/席決め/実験準備 2. 容量分析(1)中和滴定:食酢中の酸の定量 3. 容量分析(2)キレート滴定による水中のカルシウムの定量 4. 容量分析(3)キレート滴定による牛乳中のカルシウムの定量 5. 考察実験 各自が組みたてた実験計画を実施する 6. 無機定性分析(1)金属イオンの分析 7. 無機定性分析(2)金属イオンの分析(ペーパークロマトグラフィー) 8. 発表会			
成績評価の方法 評価:実験中の取り組みや記録の作成、実験に対する考察などを重視し、以下の通りとする。 実験ノート(一次記録、報告)60%、発表 10%、実験中の取り組み(面接・テストなどを含む)30% 再評価:有(再評価方法 再試験)			
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による			
準備学習等についての具体的な指示 予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。			
試験の受験資格 3 分の 2 以上出席			
教科書 「化学実験」(東京医科歯科大学教養部化学教室編)			
参考書 生命科学のための化学実験／高橋知義 ほか:東京教学社, 2018			

基礎化学実験 安全オリエンテーション／山口和也、山本仁：東京化学同人，2007 基礎化学実験／東京大学教養学部化学部会 編：東京化学同人，2012
他科目との関連 本科目か「科学基礎演習」のいずれかを選択すること。 希望調査を行い、希望者数が募集人数を超えた場合は抽選を行う。
履修上の注意事項 出欠は授業開始時に教員がとる。出席が3分の2以上を満たさないと、不合格となる。
連絡先(メールアドレス) 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000243				
科目名	科学基礎演習			科目ID	LA-116300-Z
担当教員	越野 和樹, 澤野 頼子, 奈良 雅之[KOSHINO KAZUKI, SAWANO YORIKO, NARA MASAYUKI]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
・曜日・時間: 木曜日・3 時限 ・対象学科: 保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科 ・募集人数: 50 名程度 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける					
主な講義場所					
10 番教室					
授業の目的、概要等					
看護や口腔保健に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ物理学や化学の基礎を演習することを基本とする。前半は物理学(力学の基礎)について、後半は化学(物理化学の基礎)について演習を行う。					
授業の到達目標					
看護や口腔保健の専門科目で役立つ物理学と化学の基礎を演習を通して学ぶ。具体的には、下記の授業計画で挙げている各項目に関して、基礎的な演習問題に取り組むことで理解を深めること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/8	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子	
2-3	10/15	13:10-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 越野 和樹	
4-5	10/16	13:10-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 越野 和樹	
6-7	10/22	13:10-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 越野 和樹	
8	10/29	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子	
9	11/5	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子	
10	11/12	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子	
11	11/19	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子	
12	11/26	13:10-14:40		越野 和樹	
13	12/3	13:10-14:40		越野 和樹	
14	12/10	13:10-14:40		越野 和樹	
15	12/17	13:10-14:40		越野 和樹	
授業方法					
講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による					
授業内容					

物理学 ・運動の法則 ・簡単な運動 ・仕事とエネルギー ・質点系の運動 化学 ・酸化・還元 ・電池 ・反応速度 ・原子・分子の構造
成績評価の方法 評価: 試験(物理学分野・化学分野毎の考査) 100%・レポート0%・その他(授業への参加度が考慮される) 再評価: 有(再評価方法 再試験) 授業内容の理解度を測るために考査や演習を行い、その成績および授業への参加度で評価を行う。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 物理学: 講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする。 化学: 講義資料(WebClassに掲載)および参考書等で関連分野にあらかじめ目を通して置く。
試験の受験資格 考査・再試験の受験資格: 3分の2以上出席
教科書 基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著.: 培風館, 2016 系統看護学講座 基礎分野 化学／奈良 雅之.: 医学書院, 2018
参考書 化学／小島一光 著.: 化学同人, 2002 医療・看護系のための化学入門／塩田三千夫, 山崎昶 共著.: 裳華房, 2003
他科目との関連 本科目が「科学基礎実験 N・O・K」のいずれかを選択すること。夏休み前に希望調査を行う。
履修上の注意事項 物理学分野、化学分野のいずれかの考査を受けなかった場合は、履修放棄とみなし、再評価の対象者とならない。
連絡先(メールアドレス) 越野 和樹 ikuzak.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子 sawano.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之 nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 越野 和樹: 毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階 澤野 頼子: 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 奈良 雅之: 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000244			
科目名	情報科学 N	科目 ID	LA-116401-Z	
担当教員	徳永 伸一, 津垣 正男[TOKUNAGA SHINICHI, TSUGAKI MASAO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 木曜4限 対象学科・専攻: 保健衛生学科 看護学専攻				
主な講義場所 計算機実習室				
授業の目的、概要等 情報科学技術に関する知識と, 情報処理能力, 論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。 (1)情報処理: 電子情報を活用するための基本的な技術。 (2)プログラミング: 論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。				
授業の到達目標 (1)情報処理: E メール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な知識および技術を習得する。 (2)プログラミング: 十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/7	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
2	5/14	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
3	5/21	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
4	5/28	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
5	6/4	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
6	6/11	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
7	6/18	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
8	6/25	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
9	7/2	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
10	7/9	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
11	7/16	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
12	7/23	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
13	7/30	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男

14	9/3	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
15	9/10	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
16	9/14	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
授業方法 パソコンを用いた実習を中心とする。				
授業内容 第1回(情報処理1) Eメール(Webメール)・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習 第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習 第3回(情報処理3) HTML 演習 第4回(プログラミング1) 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行 第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文 第6回(プログラミング3) FOR～NEXT 構文 第7回(プログラミング4) DEF 文、組み込み関数 第8回(プログラミング5) グラフィックス 第9回(プログラミング6) IF～ENDIF 構文 第10回(プログラミング7) DO～LOOP 構文 第11回(プログラミング8) 配列 第12回(プログラミング9) 応用課題1 第13回(プログラミング10) 応用課題2 第14回 タイピング試験 第15回 予備(成績評価に関わる演習等)				
成績評価の方法 分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。 (1)プログラミング: 出席、課題提出および学期末の試験による(約70点満点) (2)情報処理: 出席・タイピング試験、課題提出および試験による(約30点満点) なお本科目の再評価は、後期に実施する演習＋再試験により行う。 【再評価について】 プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。またプログラミング試験の不合格者に対しては、後期に演習を課し、さらに再試験を行う。 なお再評価の上限は70点とする。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示 高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。 また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかりと行うこと。				
試験の受験資格 原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。 (やむを得ぬ事情で欠席する場合は、Eメールにより連絡し指示を仰ぐこと)				
教科書 Web上の教材を利用する。				
他科目との関連 本科目で学ぶプログラミングを後期の「S・十進BASICで学ぶ幾何学デザイン」で応用します。				
履修上の注意事項				

実習形式の授業を行うので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となる。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。 また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う演習の課題提出を、再評価の必須要件とします。

参照ホームページ

情報処理テキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

プログラミングテキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

連絡先(メールアドレス)

徳永 伸一: tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一: 前期:

水曜 12:20-13:10 (ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20-13:10 (ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20-13:10 (ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらに多いことが多いです。

上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000245			
科目名	情報科学Ⅰ	科目ID	LA-116402-Z	
担当教員	徳永 伸一, 津垣 正男[TOKUNAGA SHINICHI, TSUGAKI MASAO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 水曜 3 限 対象学科・専攻: 保健衛生学科 検査技術学専攻				
主な講義場所 計算機実習室				
授業の目的、概要等 情報科学技術に関する知識と, 情報処理能力, 論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。 (1)情報処理: 電子情報を活用するための基本的な技術。 (2)プログラミング: 論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。				
授業の到達目標 (1)情報処理: Eメール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な知識および技術を習得する。 (2)プログラミング: 十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/7	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男
2	5/14	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男
3	5/21	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男
4	5/28	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男
5	6/4	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男
6	6/11	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男
7	6/18	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男
8	6/25	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男
9	7/2	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男
10	7/9	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男
11	7/16	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男
12	7/23	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男
13	7/30	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男

14	9/3	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男
15	9/10	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男
16	9/10	14:50-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
授業方法 パソコンを用いた実習を中心とする。				
授業内容 第1回(情報処理1) Eメール(Webメール)・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習 第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習 第3回(情報処理3) HTML 演習 第4回(プログラミング1) 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行 第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文 第6回(プログラミング3) FOR～NEXT 構文 第7回(プログラミング4) DEF 文、組み込み関数 第8回(プログラミング5) グラフィックス 第9回(プログラミング6) IF～ENDIF 構文 第10回(プログラミング7) DO～LOOP 構文 第11回(プログラミング8) 配列 第12回(プログラミング9) 応用課題1 第13回(プログラミング10) 応用課題2 第14回 タイピング試験 第15回 予備(成績評価に関わる演習等)				
成績評価の方法 分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。 (1)プログラミング: 出席、課題提出および学期末の試験による(約70点満点) (2)情報処理: 出席・タイピング試験、課題提出および試験による(約30点満点) なお本科目の再評価は、後期に実施する演習＋再試験 により行う。 【再評価について】 プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。またプログラミング試験の不合格者に対しては、後期に演習を課し、さらに再試験を行う。 なお再評価の上限は70点とする。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示 高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。 また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかりと行うこと。				
試験の受験資格 原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。 (やむを得ぬ事情で欠席する場合は、Eメールにより連絡し指示を仰ぐこと)				
教科書 Web上の教材を利用する。				
他科目との関連 本科目で学ぶプログラミングを後期の「S・十進BASICで学ぶ幾何学デザイン」で応用します。				
履修上の注意事項				

実習形式の授業を行うので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となる。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。 また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う演習の課題提出を、再評価の必須要件とします。

参照ホームページ

情報処理テキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

プログラミングテキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

連絡先(メールアドレス)

徳永 伸一: tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一: 前期:

水曜 12:20-13:10 (ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20-13:10 (ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20-13:10 (ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらに多いことが多いです。

上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000246			
科目名	情報科学 O・K	科目 ID	LA-116403-Z	
担当教員	徳永 伸一, 前澤 俊一[TOKUNAGA SHINICHI, MAEZAWA Shunnichi]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 月曜 4 限 対象学科・専攻: 口腔保健科				
主な講義場所 計算機実習室				
授業の目的、概要等 情報科学技術に関する知識と, 情報処理能力, 論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。 (1)情報処理: 電子情報を活用するための基本的な技術。 (2)プログラミング: 論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。				
授業の到達目標 (1)情報処理: E メール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な知識および技術を習得する。 (2)プログラミング: 十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	14:50-16:20		徳永 伸一, 前澤 俊一
2	5/18	14:50-16:20		徳永 伸一, 前澤 俊一
3	5/25	14:50-16:20		徳永 伸一, 前澤 俊一
4	6/1	14:50-16:20		徳永 伸一, 前澤 俊一
5	6/8	14:50-16:20		徳永 伸一, 前澤 俊一
6	6/15	14:50-16:20		徳永 伸一, 前澤 俊一
7	6/22	14:50-16:20		徳永 伸一, 前澤 俊一
8	6/29	14:50-16:20		徳永 伸一, 前澤 俊一
9	7/6	14:50-16:20		徳永 伸一, 前澤 俊一
10	7/13	14:50-16:20		徳永 伸一, 前澤 俊一
11	7/20	14:50-16:20		徳永 伸一, 前澤 俊一
12	7/27	14:50-16:20		徳永 伸一, 前澤 俊一
13	8/31	14:50-16:20		徳永 伸一, 前澤 俊一

14	9/7	14:50-16:20		徳永 伸一、 前澤 俊一
15	9/14	14:50-16:20		徳永 伸一、 前澤 俊一
授業方法 パソコンを用いた実習を中心とする。				
授業内容 第1回(情報処理1) Eメール(Webメール)・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習 第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習 第3回(情報処理3) HTML 演習 第4回(プログラミング1) 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行 第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文 第6回(プログラミング3) FOR～NEXT 構文 第7回(プログラミング4) DEF 文、組み込み関数 第8回(プログラミング5) グラフィックス 第9回(プログラミング6) IF～ENDIF 構文 第10回(プログラミング7) DO～LOOP 構文 第11回(プログラミング8) 配列 第12回(プログラミング9) 応用課題1 第13回(プログラミング10) 応用課題2 第14回 タイピング試験 第15回 予備(成績評価に関わる演習等)				
成績評価の方法 分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。 (1)プログラミング: 出席、課題提出および学期末の試験による(約70点満点) (2)情報処理: 出席・タイピング試験、課題提出および試験による(約30点満点) なお本科目の再評価は、後期に実施する演習＋再試験 により行う。 【再評価について】 プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。またプログラミング試験の不合格者に対しては、後期に演習を課し、さらに再試験を行う。 なお再評価の上限は70点とする。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示 高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。 また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかりと行うこと。				
試験の受験資格 原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。 (やむを得ぬ事情で欠席する場合は、Eメールにより連絡し指示を仰ぐこと)				
教科書 Web上の教材を利用する。				
他科目との関連 本科目で学ぶプログラミングを後期の「S・十進BASICで学ぶ幾何学デザイン」で応用します。				
履修上の注意事項 実習形式の授業を行うので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となる。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず Eメールにより連絡し、指示を仰ぐこと。 また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う演習の課				

題提出を、再評価の必須要件とします。
参照ホームページ 情報処理テキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm プログラミングテキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm
連絡先(メールアドレス) 徳永 伸一: tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 徳永 伸一:前期: 水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 後期: 金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。 上記以外の時間帯でも、事前にEメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000248			
科目名	情報処理(α)	科目ID	LA-116501-Z	
担当教員	徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾[TOKUNAGA SHINICHI, MAEZAWA Shunnichi, ENAMI Kenngo]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 木曜 1 限 対象学科・専攻: 医学科および歯学科(英語を 2 限に履修する学生)				
主な講義場所 計算機実習室および 6 番教室 (詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)				
授業の目的、概要等 医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。 単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。				
授業の到達目標 ・Eメール、テキストエディタ、タイピング等の基本的な技術を習得する。 ・表計算ソフト(Excel)によるデータ処理、HTMLによるWebページ作成の基礎を習得する。 ・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/7	09:10-10:40		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
2	5/14	09:10-10:40		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
3	5/21	09:10-10:40		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
4	5/28	09:10-10:40		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
5	6/4	09:10-10:40		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
6	6/11	09:10-10:40		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
7	6/18	09:10-10:40		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
8	6/25	09:10-10:40		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾

9	7/2	09:10-10:40		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
10	7/9	09:10-10:40		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
11	7/16	09:10-10:40		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
12	7/23	09:10-10:40		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
13	7/30	09:10-10:40		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
14	9/3	09:10-10:40		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
15	9/10	09:10-10:40		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾

授業内容

第1回 情報セキュリティ、著作権

第2回 [計]Eメール(Webメール)・LMS 利用法

第3回 パソコン・インターネットの基礎

第4回 [計]タイピング演習

第5回 無線 LAN 接続

第6回 [計]テキストエディタ演習

第7回 HTML 基礎

第8回 [計]HTML 演習

第9回 Excel 基礎

第10回 [計]Excel 演習(1)

第11回 データ処理の基礎

第12回 [計]Excel 演習(2)

第13回 総合演習

第14回 [計]Excel 演習(3)

第15回 [計]タイピング試験

([計])は計算機実習室で行う授業。医歯学科全体で計4クラスに分け、うち2クラスは第2回の内容から開始し、14週目付近に第1回の内容を行う。詳細は掲示等で確認すること)

成績評価の方法

出席および提出課題、タイピング試験による。実習の比重が高いため、出席は特に重視する。

習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席の上、すべての課題を規定通り提出して合格し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。

★やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。特に、タイピング練習を日常的に行うこと。
教科書 Web 上の教材を利用する。
履修上の注意事項 無断欠席は履修の意思がないものと見なす。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。
参照ホームページ 情報処理テキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm
連絡先(メールアドレス) 徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 徳永 伸一:前期: 水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 後期: 金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。 上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000249			
科目名	情報処理(β)	科目ID	LA-116502-Z	
担当教員	徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾[TOKUNAGA SHINICHI, MAEZAWA Shunnichi, ENAMI Kenngo]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 木曜 2 限 対象学科・専攻: 医学科および歯学科(英語を 1 限に履修する学生)				
主な講義場所 計算機実習室および 6 番教室 (詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)				
授業の目的、概要等 医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。 単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。				
授業の到達目標 ・Eメール、テキストエディタ、タイピング等の基本的な技術を習得する。 ・表計算ソフト(Excel)によるデータ処理、HTMLによるWeb ページ作成の基礎を習得する。 ・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/7	10:50-12:20		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
2	5/14	10:50-12:20		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
3	5/21	10:50-12:20		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
4	5/28	10:50-12:20		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
5	6/4	10:50-12:20		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
6	6/11	10:50-12:20		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
7	6/18	10:50-12:20		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
8	6/25	10:50-12:20		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾

9	7/2	10:50-12:20		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
10	7/9	10:50-12:20		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
11	7/16	10:50-12:20		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
12	7/23	10:50-12:20		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
13	7/30	10:50-12:20		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
14	9/3	10:50-12:20		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾
15	9/10	10:50-12:20		徳永 伸一, 前澤 俊一, 永並 健吾

授業内容

第1回 情報セキュリティ、著作権

第2回 [計]Eメール(Webメール)・LMS 利用法

第3回 パソコン・インターネットの基礎

第4回 [計]タイピング演習

第5回 無線 LAN 接続

第6回 [計]テキストエディタ演習

第7回 HTML 基礎

第8回 [計]HTML 演習

第9回 Excel 基礎

第10回 [計]Excel 演習(1)

第11回 データ処理の基礎

第12回 [計]Excel 演習(2)

第13回 総合演習

第14回 [計]Excel 演習(3)

第15回 [計]タイピング試験

([計])は計算機実習室で行う授業。医歯学科全体で計4クラスに分け、うち2クラスは第2回の内容から開始し、14週目付近に第1回の内容を行う。詳細は掲示等で確認すること)

成績評価の方法

出席および提出課題、タイピング試験による。実習の比重が高いため、出席は特に重視する。

習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席の上、すべての課題を規定通り提出して合格し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。

★やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。特に、タイピング練習を日常的に行うこと。
教科書 Web 上の教材を利用する。
履修上の注意事項 無断欠席は履修の意思がないものと見なす。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。
参照ホームページ 情報処理テキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm
連絡先(メールアドレス) 徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 徳永 伸一:前期: 水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 後期: 金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。 上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000250				
科目名	スポーツ・健康科学			科目ID	LA-116600-Z
担当教員	水野 哲也, 服部 淳彦, 田中 智彦, 難波 秀行, 大林 太郎, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男 [MIZUNO Tetsuya, HATSUTORI ATSUHIKO, TANAKA TOMOHIKO, NAMBA HIDEYUKI, OOBAYASHI Tarou, TAZAWA Ryuushi, WATANABE Youko, Mikio Hiura, YAGI TATSUO]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 後期 木曜3限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する					
主な講義場所 1 番教室					
授業の目的、概要等 教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間を育成することです。本授業ではこの理念にそって、人類への貢献の基盤となるスポーツ・身体活動及び健康に関する科学的基礎を身に就けます。具体的には、生涯における健康的で有意義な人生設計に欠かせないより良いライフスタイル形成に関する理論とその効果的な実践能力育成のための基礎を学びます。従って、この授業は原則して全学科の1年生を対象とし、特に専門教育以前に学生自身の健康管理並びにスポーツに関する一般的な教養を身に就けることをその目的とします。 本授業はスポーツ並びに健康科学に関する基礎理論を中心とした授業で、その内容は、スポーツと健康に関する人文・社会科学及び自然科学です。					
授業の到達目標 本授業の到達目標のひとつは、スポーツ並びに健康科学に関する理論を学び、それを十分に理解することです。特に本授業では、主体的(能動的)な学習態度を心がけ、単なる知識の習得に留まらず、実習系授業等の中で実施される測定、評価並びに体験との有機的な融合を図る中で、学生自身の自己管理能力の基盤と心身及び社会環境に関する基本的な実践的教養を身に就けて頂きたいと考えています。またさらに、その結果として、本授業で学んだ内容を基盤にして、スポーツ並びに健康に関する一般的な命題に対して、自らの考えを簡潔に述べる事が出来る能力を有することを授業の到達目標としています。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/8	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 田中 智彦 難波 秀行 大林 太郎 田澤 立之 渡邊 洋子 日浦 幹夫 谷木 龍男 今野 和志 戸ヶ里 泰典	
2	10/15	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 田中 智彦 難波 秀行 大林 太郎	

				田澤 立之 渡邊 洋子 日浦 幹夫 谷木 龍男 今野 和志 戸ヶ里 泰典
3	10/22	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 田中 智彦 難波 秀行 大林 太朗 田澤 立之 渡邊 洋子 日浦 幹夫 谷木 龍男 今野 和志 戸ヶ里 泰典
4	10/29	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 田中 智彦 難波 秀行 大林 太朗 田澤 立之 渡邊 洋子 日浦 幹夫 谷木 龍男 今野 和志 戸ヶ里 泰典
5	11/5	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 田中 智彦 難波 秀行 大林 太朗 田澤 立之 渡邊 洋子 日浦 幹夫 谷木 龍男 今野 和志 戸ヶ里 泰典
6	11/12	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 田中 智彦 難波 秀行 大林 太朗 田澤 立之 渡邊 洋子 日浦 幹夫 谷木 龍男 今野 和志 戸ヶ里 泰典

7	11/19	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 田中 智彦 難波 秀行 大林 太朗 田澤 立之 渡邊 洋子 日浦 幹夫 谷木 龍男 今野 和志 戸ヶ里 泰典
8	11/26	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 田中 智彦 難波 秀行 大林 太朗 田澤 立之 渡邊 洋子 日浦 幹夫 谷木 龍男 今野 和志 戸ヶ里 泰典
9	12/3	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 田中 智彦 難波 秀行 大林 太朗 田澤 立之 渡邊 洋子 日浦 幹夫 谷木 龍男 今野 和志 戸ヶ里 泰典
10	12/10	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 田中 智彦 難波 秀行 大林 太朗 田澤 立之 渡邊 洋子 日浦 幹夫 谷木 龍男 今野 和志 戸ヶ里 泰典
11	12/17	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 田中 智彦 難波 秀行 大林 太朗 田澤 立之

				渡邊 洋子, 日浦 幹夫 谷木 龍男, 今野 和志 戸ヶ里 泰典
12	1/7	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 田中 智彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫 谷木 龍男, 今野 和志 戸ヶ里 泰典
13	1/14	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 田中 智彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫 谷木 龍男, 今野 和志 戸ヶ里 泰典
14	1/21	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 田中 智彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫 谷木 龍男, 今野 和志 戸ヶ里 泰典
15	1/28	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 田中 智彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫 谷木 龍男, 今野 和志 戸ヶ里 泰典
授業方法				

授業は講義形式が中心ですが、その中での討論(意見交換)も重視しています。授業は、内容別にそれぞれの専門家が分担で行います。	
授業内容 1. 身体並びに健康に関する文化論 スポーツを含む身体活動並びに身体表現に着目し、人文・社会学的視座からその文化的価値並びにその現代的意味を考えていくとともに、広くヒトの身体と社会との関わり、またその教育の重要性及び意義について考えます。 2. 保健医学 感染症・薬物・生活習慣・エイジングなど健康を巡るさまざまな問題を取り上げ、実例を紹介しながら、検討し、医学や医療従事者として今後どのような心構えが必要なのかについても共に考えます。 3. フィットネス科学 健康生成の観点からヒトの身体運動の生理学的メカニズムや予防医学的手段としての価値や適正量など、その現代的意義を中心に考えるとともに食事(栄養、食品、調理、献立やその適切な組み合わせ方法)と休養(リラクゼーション、睡眠など)の重要性とそのメカニズムについて解説し、ストレスマネジメントを含むトータルなフィットネスマネジメント(健全なライフスタイルの形成)の意義について考えます。	
成績評価の方法 評価: 定期試験期間に審査を実施し、その理解度を評価します。 試験 100% (担当教員によっては、授業中に理解度評価を実施する場合があります) 再評価: 有 (レポートによる)	
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による	
準備学習等についての具体的な指示 生きる力の原点である”健康と体力”の意義について、主体的(能動的)に学ぶことにより、”自分の健康を守る”ことはもとより、”家族”、”地域”そして”地球”へと意識を拡大し、その健康を守るために何が重要で、時代が何を求めているかをしっかり考えてください。よって、少なくとも準備学習として受験準備では重要視して来なかった高校までの保健体育に関する授業内容を主体的に事前準備することを前提条件とします。 。	
参考書 現代霊性論／内田樹, 釈徹宗 [著], 講談社, 2013 スポーツ文化を学ぶ人のために／井上俊, 亀山佳明 編, 世界思想社, 1999 生き方としての健康科学／山崎喜比古, 朝倉隆司 編, 有信堂高文社, 2011 教養としてのスポーツ心理学／徳永幹雄 編著, 大修館書店, 2005 現代医療の社会学：日本の現状と課題／中川輝彦, 黒田浩一郎編中川, 輝彦, 黒田, 浩一郎, 世界思想社, 2015 病気にならない暮らし事典：自然派医師が実践する 76 の工夫／本間真二郎 著, 本間, 真二郎, 1969-, セブン&アイ出版, 2016 ストレス対処能力 SOC／山崎喜比古 ほか, 有信堂, 2008	
他科目との関連 実習系科目であるフィットネスマネジメント並びに保健体育学分野が実施する S 科目、セミナーとの有機的な融合を図ることで、より効果が上がるように設計されています。	
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiku/index.html	

時間割番号	000251				
科目名	スポーツ・健康科学			科目ID	LA-116600-Z
担当教員	水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ヶ里 泰典, 難波 秀行[MIZUNO Tetsuya, HATSUTORI ATSUSHIKO, HIRAI NOBUHIDE, TANAKA TOMOHIKO, YAGI TATSUO, Mikio Hiura, TOGARI TAISUKE, NAMBA HIDEYUKI]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間:後期 金曜3限 対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する					
主な講義場所 1 番教室					
授業の目的、概要等 教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間を育成することです。本授業ではこの理念にそって、人類への貢献の基盤となるスポーツ・身体活動及び健康に関する科学的基礎を身に就けます。具体的には、生涯における健康的で有意義な人生設計に欠かせないより良いライフスタイル形成に関する理論とその効果的な実践能力育成のための基礎を学びます。従って、この授業は原則して全学科の1年生を対象とし、特に専門教育以前に学生自身の健康管理並びにスポーツに関する一般的な教養を身に就けることをその目的とします。 本授業はスポーツ並びに健康科学に関する基礎理論を中心とした授業で、その内容は、スポーツと健康に関する人文・社会科学及び自然科学です。					
授業の到達目標 本授業の到達目標のひとつは、スポーツ並びに健康科学に関する理論を学び、それを十分に理解することです。特に本授業では、主体的(能動的)な学習態度を心がけ、単なる知識の習得に留まらず、実習系授業等の中で実施される測定、評価並びに体験との有機的な融合を図る中で、学生自身の自己管理能力の基盤と心身及び社会環境に関する基本的な実践的教養を身に就けて頂きたいと考えています。またさらに、その結果として、本授業で学んだ内容を基盤にして、スポーツ並びに健康に関する一般的な命題に対して、自らの考えを簡潔に述べる事が出来る能力を有することを授業の到達目標としています。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/9	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 平井 伸英 田中 智彦 谷木 龍男 日浦 幹夫 戸ヶ里 泰典 難波 秀行	
2	10/16	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 平井 伸英 田中 智彦 谷木 龍男 日浦 幹夫 戸ヶ里 泰典 難波 秀行	

3	10/23	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 平井 伸英 田中 智彦 谷木 龍男 日浦 幹夫 戸ヶ里 泰典 難波 秀行
4	10/30	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 平井 伸英 田中 智彦 谷木 龍男 日浦 幹夫 戸ヶ里 泰典 難波 秀行
5	11/6	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 平井 伸英 田中 智彦 谷木 龍男 日浦 幹夫 戸ヶ里 泰典 難波 秀行
6	11/13	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 平井 伸英 田中 智彦 谷木 龍男 日浦 幹夫 戸ヶ里 泰典 難波 秀行
7	11/20	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 平井 伸英 田中 智彦 谷木 龍男 日浦 幹夫 戸ヶ里 泰典 難波 秀行
8	11/27	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 平井 伸英 田中 智彦 谷木 龍男 日浦 幹夫 戸ヶ里 泰典 難波 秀行
9	12/4	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦

				平井 伸英 田中 智彦 谷木 龍男 日浦 幹夫 戸ヶ里 泰典 難波 秀行
10	12/11	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 平井 伸英 田中 智彦 谷木 龍男 日浦 幹夫 戸ヶ里 泰典 難波 秀行
11	12/18	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 平井 伸英 田中 智彦 谷木 龍男 日浦 幹夫 戸ヶ里 泰典 難波 秀行
12	1/8	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 平井 伸英 田中 智彦 谷木 龍男 日浦 幹夫 戸ヶ里 泰典 難波 秀行
13	1/15	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 平井 伸英 田中 智彦 谷木 龍男 日浦 幹夫 戸ヶ里 泰典 難波 秀行
14	1/22	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 平井 伸英 田中 智彦 谷木 龍男 日浦 幹夫 戸ヶ里 泰典 難波 秀行
15	1/29	13:10-14:40		水野 哲也 服部 淳彦 平井 伸英 田中 智彦

				谷木 龍男 日浦 幹夫 戸ヶ里 泰典 難波 秀行	
授業方法					
授業は講義形式が中心ですが、その中での討論(意見交換)も重視しています。授業は、内容別にそれぞれの専門家が分担で行います。					
授業内容					
1. 身体並びに健康に関する文化論 スポーツを含む身体活動並びに身体表現に着目し、人文・社会学的視座からその文化的価値並びにその現代的意味を考えていくとともに、広くヒトの身体と社会との関わり、またその教育の重要性及び意義について考えます。					
2. 保健医学 感染症・薬物・生活習慣・エイジングなど健康を巡るさまざまな問題を取り上げ、事例を紹介しながら、検討し、医学や医療従事者として今後どのような心構えが必要なのかについても共に考えます。					
3. フィットネス科学 健康生成の観点からヒトの身体運動の生理学的メカニズムや予防医学的手段としての価値や適正量など、その現代的意義を中心に考えるとともに食事(栄養、食品、調理、献立やその適切な組み合わせ方法)と休養(リラクゼーション、睡眠など)の重要性とそのメカニズムについて解説し、ストレスマネジメントを含むトータルなフィットネスマネジメント(健全なライフスタイルの形成)の意義について考えます。					
成績評価の方法					
評価: 定期試験期間に考查を実施し、その理解度を評価します。 試験 100% (担当教員によっては、授業中に理解度評価を実施する場合があります) 再評価: 有 (レポートによる)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
生きる力の原点である”健康と体力”の意義について、主体的(能動的)に学ぶことにより、”自分の健康を守る”ことはもとより、”家族”、”地域”そして”地球”へと意識を拡大し、その健康を守るために何が重要で、時代が何を求めているかをしっかり考えてください。よって、少なくとも準備学習として受験準備では重要視して来なかった高校までの保健体育に関する授業内容を主体的に事前準備することを前提条件とします。 。					
参考書					
現代霊性論／内田樹, 釈徹宗 [著], 講談社, 2013 スポーツ文化を学ぶ人のために／井上俊, 亀山佳明 編, 世界思想社, 1999 生き方としての健康科学／山崎喜比古, 朝倉隆司 編, 有信堂高文社, 2011 教養としてのスポーツ心理学／徳永幹雄 編著, 大修館書店, 2005 現代医療の社会学：日本の現状と課題／中川輝彦, 黒田浩一郎編中川, 輝彦, 黒田, 浩一郎, 世界思想社, 2015 病気になるまい暮らし事典：自然派医師が実践する 76 の工夫／本間真二郎 著, 本間, 真二郎, 1969-, セブン&アイ出版, 2016 ストレス対処能力 SOC／山崎喜比古 ほか, 有信堂, 2008					
他科目との関連					
実習系科目であるフィットネスマネジメント並びに保健体育学分野が実施する S 科目、セミナーとの有機的な融合を図ることで、より効果が上がるように設計されています。					
参照ホームページ					
http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html					

時間割番号	000878				
科目名	フィットネスマネージメント			科目ID	LA-116700-E
担当教員					
開講時期	2020 年度通年	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: [前期] 木曜3限、4限、金曜3限、4限／[後期] 木曜4限、金曜4限 対象学科: 全学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3－3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける					
授業の目的、概要等 教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。					
授業の到達目標 本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。					
授業方法 授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。 前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFASにログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。 また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。					
授業内容 基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動					

を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。
成績評価の方法 評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50% 再評価: 有 (レポート等による)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。
試験の受験資格 本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。
参考書 身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳:北大路書房, 2000 健康運動プログラムの基礎／北川 薫:市村出版, 2005 健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古:有信堂, 2017 健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則:医学書院, 2005
他科目との関連 講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiku/index.html

時間割番号	000924			
科目名	フィットネスマネージメント(前期 木3)	科目ID	LA-116701-E	
担当教員	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀[MIZUNO Tetsuya, KONNO KAZUYUKI, KURIHARA Miki]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: [前期]木曜3限 対象学科: 医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1ー8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3ー3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける				
授業の目的、概要等				
教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。				
授業の到達目標				
本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/7	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀
2	5/14	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀
3	5/21	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀
4	5/28	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志

				栗原 美紀
5	6/4	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀
6	6/11	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀
7	6/18	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀
8	6/25	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀
9	7/2	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀
10	7/9	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀
11	7/16	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀
12	7/23	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀
13	7/30	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀
14	9/3	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀
15	9/10	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、パレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法 評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50% 再評価: 有 (レポート等による)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。
試験の受験資格 本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。
参考書 身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳:北大路書房, 2000 健康運動プログラムの基礎／北川 薫:市村出版, 2005 健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古:有信堂, 2017 健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則:医学書院, 2005
他科目との関連 講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000925			
科目名	フィットネスマネージメント(前期 木4)	科目ID	LA-116702-E	
担当教員	水野 哲也, 今野 和志, 和田 拓真[MIZUNO Tetsuya, KONNO KAZUYUKI, WADA Takuma]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: [前期]木曜4限 対象学科: 医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1ー8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3ー3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける				
授業の目的、概要等				
教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。				
授業の到達目標				
本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/7	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真
2	5/14	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真
3	5/21	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真
4	5/28	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志

				和田 拓真
5	6/4	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真
6	6/11	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真
7	6/18	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真
8	6/25	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真
9	7/2	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真
10	7/9	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真
11	7/16	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真
12	7/23	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真
13	7/30	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真
14	9/3	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真
15	9/10	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、パレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法 評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50% 再評価: 有 (レポート等による)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。
試験の受験資格 本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。
参考書 身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳:北大路書房, 2000 健康運動プログラムの基礎／北川 薫:市村出版, 2005 健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古:有信堂, 2017 健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則:医学書院, 2005
他科目との関連 講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000926			
科目名	フィットネスマネージメント(前期 金3)	科目ID	LA-116703-E	
担当教員	水野 哲也, 高岡 英氣, 鈴木 敦[MIZUNO Tetsuya, TAKAOKA HIDEKI, SUZUKI Atsushi]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: [前期]金曜3限 対象学科: 保健衛生学科、口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1ー8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3ー3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける				
授業の目的、概要等				
教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。				
授業の到達目標				
本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/8	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 鈴木 敦
2	5/15	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 鈴木 敦
3	5/22	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 鈴木 敦
4	5/29	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣

				鈴木 敦
5	6/5	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 鈴木 敦
6	6/12	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 鈴木 敦
7	6/19	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 鈴木 敦
8	6/26	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 鈴木 敦
9	7/3	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 鈴木 敦
10	7/10	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 鈴木 敦
11	7/17	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 鈴木 敦
12	7/24	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 鈴木 敦
13	7/31	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 鈴木 敦
14	9/4	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 鈴木 敦
15	9/11	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 鈴木 敦

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、パレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法 評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50% 再評価: 有 (レポート等による)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。
試験の受験資格 本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。
参考書 身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳:北大路書房, 2000 健康運動プログラムの基礎／北川 薫:市村出版, 2005 健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古:有信堂, 2017 健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則:医学書院, 2005
他科目との関連 講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000927			
科目名	フィットネスマネージメント(前期 金4)	科目ID	LA-116704-E	
担当教員	水野 哲也, 高岡 英氣, 栗原 美紀, 稲垣 和希[MIZUNO Tetsuya, TAKAOKA HIDEKI, KURIHARA Miki, INAGAKI Kazuki]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: [前期]金曜4限 対象学科: 保健衛生学科、口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1ー8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3ー3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける				
授業の目的、概要等				
教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。				
授業の到達目標				
本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/8	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀
2	5/15	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀
3	5/22	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀
4	5/29	14:50-16:20		水野 哲也

				高岡 英氣 栗原 美紀
5	6/5	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀
6	6/12	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀
7	6/19	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀
8	6/26	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀
9	7/3	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀
10	7/10	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀
11	7/17	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀
12	7/24	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀
13	7/31	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀
14	9/4	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀
15	9/11	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつ

かの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。
成績評価の方法 評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50% 再評価: 有 (レポート等による)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。
試験の受験資格 本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。
参考書 身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳: 北大路書房, 2000 健康運動プログラムの基礎／北川 薫: 市村出版, 2005 健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古: 有信堂, 2017 健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則: 医学書院, 2005
他科目との関連 講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000928			
科目名	フィットネスマネージメント(後期 木A)	科目ID	LA-116705-E	
担当教員	水野 哲也, 今野 和志, 高岡 英氣, 栗原 美紀, 和田 拓真, 鈴木 敦[MIZUNO Tetsuya, KONNO KAZUYUKI, TAKAOKA HIDEKI, KURIHARA Miki, WADA Takuma, SUZUKI Atsushi]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: [後期]木曜4限 対象学科: 医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3－3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける				
授業の目的、概要等				
教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。				
授業の到達目標				
本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/8	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀 和田 拓真 鈴木 敦
2	10/22	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀 和田 拓真 鈴木 敦

3	11/5	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀 和田 拓真 鈴木 敦
4	11/19	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀 和田 拓真 鈴木 敦
5	12/3	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀 和田 拓真 鈴木 敦
6	12/17	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀 和田 拓真 鈴木 敦
7	1/14	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 栗原 美紀 和田 拓真 鈴木 敦

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用シ

システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。
試験の受験資格 本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。
参考書 身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著, 竹中晃二 監訳：北大路書房, 2000 健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005 健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017 健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005
他科目との関連 講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることにより効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000929			
科目名	フィットネスマネージメント(後期 木B)	科目ID	LA-116706-E	
担当教員	水野 哲也, 今野 和志, 和田 拓真, 稲垣 和希[MIZUNO Tetsuya, KONNO KAZUYUKI, WADA Takuma, INAGAKI Kazuki]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: [後期]木曜4限 対象学科: 医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3－3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける				
授業の目的、概要等				
教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。				
授業の到達目標				
本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/15	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真 稲垣 和希
2	10/29	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真 稲垣 和希
3	11/12	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志

				和田 拓真 稲垣 和希	
4	11/26	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真 稲垣 和希	
5	12/10	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真 稲垣 和希	
6	1/7	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真 稲垣 和希	
7	1/21	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 和田 拓真 稲垣 和希	
授業方法 授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。 受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。 前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。 また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。					
授業内容 基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。					
成績評価の方法 評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50% 再評価: 有 (レポート等による)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。					
試験の受験資格 本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。					
参考書 身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著;竹中晃二 監訳: 北大路書房, 2000 健康運動プログラムの基礎／北川 薫:市村出版, 2005					

健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古:有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則:医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることにより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

<http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html>

時間割番号	000930			
科目名	フィットネスマネージメント(後期 金 A)	科目ID	LA-116707-E	
担当教員	水野 哲也, 高岡 英氣, 栗原 美紀, 鈴木 敦, 今野 和志[MIZUNO Tetsuya, TAKAOKA HIDEKI, KURIHARA Miki, SUZUKI Atsushi, KONNO KAZUYUKI]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: [後期]金曜4限 対象学科: 保健衛生学科、口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1ー8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3ー3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける				
授業の目的、概要等				
教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。				
授業の到達目標				
本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/9	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀 鈴木 敦 今 野 和志
2	10/23	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀 鈴木 敦 今 野 和志

3	11/6	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀 鈴木 敦 今 野 和志
4	11/20	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀 鈴木 敦 今 野 和志
5	12/4	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀 鈴木 敦 今 野 和志
6	12/18	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀 鈴木 敦 今 野 和志
7	1/15	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 栗原 美紀 鈴木 敦 今 野 和志

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用シ

システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。
試験の受験資格 本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。
参考書 身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著, 竹中晃二 監訳：北大路書房, 2000 健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005 健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017 健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005
他科目との関連 講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることにより効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000931			
科目名	フィットネスマネージメント(後期 金B)	科目ID	LA-116708-E	
担当教員	水野 哲也, 鈴木 敦, 稲垣 和希[MIZUNO Tetsuya, SUZUKI Atsushi, INAGAKI Kazuki]			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: [後期]金曜4限 対象学科: 保健衛生学科、口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1ー8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3ー3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける				
授業の目的、概要等				
教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。				
授業の到達目標				
本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/16	14:50-16:20		水野 哲也 鈴木 敦 稲垣 和希
2	10/30	14:50-16:20		水野 哲也 鈴木 敦 稲垣 和希
3	11/13	14:50-16:20		水野 哲也 鈴木 敦 稲垣 和希
4	11/27	14:50-16:20		水野 哲也 鈴木 敦 稲

				垣 和希
5	12/11	14:50-16:20		水野 哲也 鈴木 敦 稲 垣 和希
6	1/8	14:50-16:20		水野 哲也 鈴木 敦 稲 垣 和希
7	1/22	14:50-16:20		水野 哲也 鈴木 敦 稲 垣 和希

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, Nオーウェン 著,竹中晃二 監訳:北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎／北川 薫:市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古:有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則:医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

<http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiku/index.html>

時間割番号	000303				
科目名	S・メンタルトレーニング			科目ID	LA-116801-Z
担当教員	谷木 龍男, 水野 哲也[YAGI TATSUO, MIZUNO Tetsuya]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 月曜1限

受講資格: スポーツの心理的側面, スポーツ心理学及びメンタルトレーニング(MT)に興味・関心があり, MT の練習を継続し, 習得する意欲があること

なんらかのスポーツあるいは競技(competition)経験を有し, 現在も継続していることが望ましい

募集人数: 14人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-5), 7), 8)

授業の目的、概要等				
競技を始めとして, 実力を発揮し, 卓越したパフォーマンスと実力発揮を求められる活動において, 自己の心身の状態に気づき, 調える心理的スキルを獲得することが不可欠です。				
メンタルトレーニング(MT)とは, スポーツ心理学や心理学の理論や技法に基づいて, 心理的スキルを習得し, 実際に競技で使えるように体系化したものです。				
今日では, MT は, スポーツ領域に留まらず, 医療領域, 教育領域など, 様々な領域に応用されています。				
本授業では, 講義形式でスポーツ心理学やメンタルトレーニングの理論と実践方法を学び, 実習形式で心理的スキル技法を練習・習得します。				

授業の到達目標				
基本的な心理的スキル技法を習得し, 日常生活の様々な場面で応用できるようになることを目指します。特に, 自律訓練法の標準練習はしっかりと練習・習得をします。				

授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	5/11	09:10-10:40		谷木 龍男, 水野 哲也
2	5/18	09:10-10:40		谷木 龍男, 水野 哲也
3	5/25	09:10-10:40		谷木 龍男, 水野 哲也
4	6/1	09:10-10:40		谷木 龍男, 水野 哲也
5	6/8	09:10-10:40		谷木 龍男, 水野 哲也
6	6/15	09:10-10:40		谷木 龍男, 水野 哲也
7	6/22	09:10-10:40		谷木 龍男, 水野 哲也
8	6/29	09:10-10:40		谷木 龍男, 水野 哲也
9	7/6	09:10-10:40		谷木 龍男, 水野 哲也
10	7/13	09:10-10:40		谷木 龍男, 水野 哲也
11	7/20	09:10-10:40		谷木 龍男,

				水野 哲也	
12	7/27	09:10-10:40		谷木 龍男, 水野 哲也	
13	8/31	09:10-10:40		谷木 龍男, 水野 哲也	
14	9/7	09:10-10:40		谷木 龍男, 水野 哲也	
15	9/14	09:10-10:40		谷木 龍男, 水野 哲也	
授業方法 スポーツ心理学やメンタルトレーニングの基礎的な知識を講義した後、その技法を実習します。練習・習得状況について集団で熟議・討議した後、発表を課します。					
授業内容 1. ガイダンス 2. メンタルトレーニングとは何か？ 3. 自己への気づき① 4. リラクゼーション 5. 自己への気づき② 6. 自己への気づき③ 7. イメージ 8. ピークパフォーマンス 9. Life History 10. 人生目標 11. 目標設定 12. 暗示技法 13. マインドフルネス&セルフ・コンパッション 14. エンカウンター 15. 総括					
成績評価の方法 評価：試験　　％・レポート　40％・その他(受講態度)60％ 再評価：有(再評価方法)　・無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 教科書・参考書の通読、メンタルトレーニングの練習及び練習記録の提出					
教科書 スポーツメンタルトレーニング教本 三訂版, 日本スポーツ心理学会編, 2016, 大修館書店					
履修上の注意事項 ・出欠管理システムへの登録を失念したなどの場合は当該授業中に速やかに申し出ること。					

時間割番号	000888				
科目名	S・英語で学ぶ医学哲学			科目ID	LA-116803-Z
担当教員	田中 智彦[TANAKA TOMOHIKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
◇ 曜日・時間: 月曜 2 限					
◇ 対象学科: 全学科					
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)					
別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する					
別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る					
別表 1-7) 人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等					
20 世紀の哲学者ガダマーが医学・医療、生と死、健康と病などについて探究した論文集 Hans-Georg Gadamer, The Enigma of Health: The Art of Healing in a Scientific Age, translated. by J.Gaiger and N.Walker (Polity Press, 1996) に収められた論文をとりあげ、参加者みなでじっくり読み解いてゆく。またそのことを通じて、「人間にとって健康とは」「医療者に必要な批判的思考とは」についても考えてゆくことにしたい。					
授業の到達目標					
(1) 英語の学術論文を「読める」ようになる基礎をすること。					
(2) 医学・医療に関する哲学的・倫理的な論点について理解を深めること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/11	10:50-12:20		田中 智彦	
2	5/18	10:50-12:20		田中 智彦	
3	5/25	10:50-12:20		田中 智彦	
4	6/1	10:50-12:20		田中 智彦	
5	6/8	10:50-12:20		田中 智彦	
6	6/15	10:50-12:20		田中 智彦	
7	6/22	10:50-12:20		田中 智彦	
8	6/29	10:50-12:20		田中 智彦	
9	7/6	10:50-12:20		田中 智彦	
10	7/13	10:50-12:20		田中 智彦	
11	7/20	10:50-12:20		田中 智彦	
12	7/27	10:50-12:20		田中 智彦	
13	8/31	10:50-12:20		田中 智彦	
14	9/7	10:50-12:20		田中 智彦	
15	9/14	10:50-12:20		田中 智彦	
授業方法					
授業はセミナー形式で進める。テキストは毎回少なくとも1頁は読むこととし、受講者にはあらかじめ訳文を準備しておくことが求められる。授業では訳文の発表・検討をもとに読み進めてゆくとともに、その中で現れてくる論点について解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。					
授業内容					
The Enigma of Health 所収の論文から次の 2 本をとりあげ、読み解いてゆく。					
(1) On the Enigmatic Character of Health					
(2) Authority and Critical Freedom					
成績評価の方法					
◇評価: 期末レポート 40%					
授業への参加度 60%(事前課題への取り組み、議論への参加度など)					

◇再評価:有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による
準備学習等についての具体的な指示 受講者には授業の前に、テキストの該当箇所をあらかじめ読み、日本語として適切な訳文を作っておくことが求められる。それはまず自分なりにテキストを理解し、その時点での到達点を言葉にした上で授業に臨むということである。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。こうしたプロセスを経ることで、英語の学術論文を読む基礎が作られるとともに、その内容をも理解することができるようになる。そのためにも、準備段階から授業における解説・議論までの能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則として3分の2以上の出席
教科書 授業で用いる論文はコピーして配布する。
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介する。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。
連絡先(メールアドレス) tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期:毎週月曜日 12:30～13:30 管理研究棟2階 哲学研究室 後期:第1・第3水曜日 12:30～15:00 管理研究棟2階 哲学研究室

時間割番号	000879				
科目名	S・フランスとヨーロッパの現在			科目ID	LA-116804-Z
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
曜日・時限: 授業明細参照					
対象学科: 医学科・歯学科・検査技術学科					
受講資格: 特になし(フランス語選択者以外も受講可能)					
募集人数: 15 名					
コンピテンシー: 別表3-4)外国文化を理解する					
授業の目的、概要等					
目的: 主としてフランスの社会・文化に関わる時事問題を通して、ヨーロッパやアフリカも視野に入れながらフランス現代社会の一端を知る。					
概要: フランスで最近話題になった社会現象や、文化的なトピックスを取り上げ、その背景となる歴史や地理、社会制度についても理解を深めます。テキストにそって様々なジャンルのトピックスに触れますが、直近のニュース報道からもそのテーマに関連して、今、話題になっている出来事を取り上げる予定です。					
授業の到達目標					
1)フランスやヨーロッパに対する興味を深め、基本的知識を得る。					
2)フランス社会やフランスから見た世界の一端に触れ、社会や文化に対する関心の幅を広げるとともに、日本を世界の中で相対化する視点を獲得する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/11	10:50-12:20		中島 ひかる	
2	5/18	10:50-12:20		中島 ひかる	
3	5/25	10:50-12:20		中島 ひかる	
4	6/1	10:50-12:20		中島 ひかる	
5	6/8	10:50-12:20		中島 ひかる	
6	6/15	10:50-12:20		中島 ひかる	
7	6/22	10:50-12:20		中島 ひかる	
8	6/29	10:50-12:20		中島 ひかる	
9	7/6	10:50-12:20		中島 ひかる	
10	7/13	10:50-12:20		中島 ひかる	
11	7/20	10:50-12:20		中島 ひかる	
12	7/27	10:50-12:20		中島 ひかる	
13	8/31	10:50-12:20		中島 ひかる	
14	9/7	10:50-12:20		中島 ひかる	
15	9/14	10:50-12:20		中島 ひかる	
授業方法					
講義と演習(発表と討論)による。					
主として教科書に沿って、フランスの現代社会を表す様々な社会現象や文化的なトピックスについて教員がその背景となる歴史や地理、社会制度も含めて提示した後、そのテーマに関する追加情報を調べたり、学生間で討論して頂きます。					
夏期休暇中には、各自の興味のあるテーマを選んでレポートを作成して頂きますので、9 月にはそれを教室で発表、教員が補足情報を					

加え、意見交換を行います。	
授業内容 教科書で提示されているトピックスは以下の通りです。受講者の希望を考慮して、順番は決めますが(教科書はフランス語で書かれていますが、教員が解説します)、適宜これ以外のトピックス(教育、コロナ対策)も取り上げたいと考えています。 ・フランスの標語 ・観光客 ・労働問題 ・自由の女神 ・人種差別 ・オリンピック ・シヨパンとフランス ・綴り字改革 ・同性愛者の権利 ・ノートル・ダム大聖堂 ・外国語学習 ・クロード・モネ ・混合結構 ・カンヌ映画祭 ・フランス料理 ・白衣の天使 ・最も美しい村 ・空飛ぶタクシー ・カトリーヌ・ドヌーブ ・ヨーロッパ文化遺産の日 昨年の受講者がレポートで扱ったトピックスの例をあげます。社会問題を扱ったレポートが多くなりましたが、文化やワイン、フランスパンと言った日常的な生活に関わるトピックスでも、それによってフランス社会の特徴を論じていれば構いません。 ・「gillets jaunes 黄色いベスト」運動 ・極右の台頭 ・アマゾン大森林火災 ・政教分離(laïcité ライシテ) ・フランスの農業 ・フランスの教育制度(バカロレア等) ・サッカーにおけるアラブマネー ・フランスにおけるイスラム教徒 ・食品ロス対策	
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート 60 %・ その他 40 %(授業中の質疑応答、発表等) 再評価:無 期末レポート、及び授業中の発表や質疑応答・議論等への参加度で評価します。授業中には、教員が指定するテーマに沿って、調べたことを発表したり議論して頂きますので、その積極的な関与を評価します。期末レポートは、授業中に取り上げたテーマも参考にしながら、フランスやヨーロッパの文化や出来事について、自分でテーマを選んで分析・コメントして頂きます。	
成績評価の基準	

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 授業で取り上げるトピックスについては、自分でも情報を収集し、日本社会や文化との差について考えておいて下さい。授業中にコメントや自分の考えを述べてもらう機会を設けます。 また、フランスやヨーロッパの社会や文化について自分が興味があるテーマに関して、情報を収集し、発表できるよう準備して下さい。順番に担当して頂きます。
試験の受験資格 3 分の 2 以上に出席したものにレポート提出資格を与える。
教科書 時事フランス語 2020 年度版／石井洋二郎:朝日出版社, 2020
他科目との関連 ヨーロッパの社会や文化に興味があれば、フランス語選択者以外も選択できます。授業中は教員が日本語で解説しますが、テキストはフランス語で書かれていますので、フランス語選択者は、時事問題のフランス語の表現に興味を持って頂けるとフランス語への理解も深まります。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
連絡先(メールアドレス) nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000937				
科目名	S・Essentials of Human Biology			科目ID	LA-116837-Z
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
This course is a general biology course taught in English.					
The content in this course complements material taught in your regular biology course [生物学(細胞・遺伝子)]. The purpose of this course is to prepare motivated students to learn and review human biology concepts through English. The course should support learning of your regular biology course content.					
授業の目的、概要等					
Students will build on their molecular and cellular biology knowledge through class discussions and self-directed study of English reading materials.					
Goals					
1) Build science vocabulary in English					
2) Improve English oral discussion ability on biology topics					
3) Present on current trends in biology primary literature					
4) Summarize in written forms important concepts in biology					
授業の到達目標					
By the end of this course, you will be able to:					
1) write short summaries about human biology concepts in English					
2) Skim and scan through primary and secondary literature in English to learn important biology concepts.					
3) Use reliable sources of primary and secondary literature of biology available in English					
4) Communicate in class discussion in English on human biology concepts					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/26	14:50-16:20		JEANETTE DENNISSON	
2	6/2	14:50-16:20		JEANETTE DENNISSON	
3	6/9	14:50-16:20		JEANETTE DENNISSON	
4-5	6/30	13:10-16:20		JEANETTE DENNISSON	
6-7	7/21	13:10-16:20		JEANETTE DENNISSON	

				N
8-9	9/1	13:10-16:20		JEANETTE DENNISSO N
10-11	9/8	13:10-16:20		JEANETTE DENNISSO N
12-13	9/15	13:10-16:20		JEANETTE DENNISSO N
14-15	9/17	13:10-16:20		JEANETTE DENNISSO N
授業方法 Students will listen to teacher mini-lectures and work in small groups to learn about biology topics each week. For each topic, there will be the following components. 1) At home reading assignment on a human biology topic 2) At home literature search on biology topic 3) Summary of teacher mini-lecture topic 4) Group presentation and discussion of biology topics				
授業内容 Human biology topics will be covered and basic biological concepts taught in Japanese biology course [生物学(細胞・遺伝子)] will be reviewed.				
成績評価の方法 Participation: 30% Assignments: 50% Final project: 20%				
成績評価の基準 Refer to「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」				
準備学習等についての具体的な指示				
試験の受験資格 This course is recommended for students with TOEFL 500+.				
教科書 Main textbooks: Essential Cell Biology 4th Ed. by Alberts et al. (2014) Campbell Biology 11th Ed. By Urry et al. (2017) Human Biology 11th Ed. Mader (2010) **Note: Purchase of these textbooks is NOT required. There are copies available in the Kounodai Library. Reading materials will be provided by the instructor.				
参考書 Japanese version of textbook: Essential 細胞生物学(原書第4版)				

Additional supplemental materials will be provided in the course folder.

他科目との関連

生物学(細胞・遺伝子)

履修上の注意事項

PC、タブレットなどが必要です。 You will need to access the course folder for reading materials during each lesson. You should bring a laptop or tablet each week. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。

The course materials will be accessed through the online course folder on Google Drive. Students will be required to have a Google account to access this material.

連絡先(メールアドレス)

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000344				
科目名	R・離散構造			科目ID	LA-116808-Z
担当教員	徳永 伸一[TOKUNAGA SHINICHI]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間:火曜 3-4 限 対象学科・専攻:医学科・歯学科					
授業の目的、概要等 この授業で扱うのは、たとえば以下のような問題です： 「 $m \times n$ の長方形が単位正方形を4つ張り合わせたL字型のタイルで隙間無く敷き詰められるための、 m と n の 必要十分条件を求めよ」 「 3×4 の長方形の中に6つの点があるとき、それら6点のうち距離 $\sqrt{5}$ 以下の2点が存在することを示せ」 「6人が参加したパーティにおいて、互いに知り合いである3人か、または互いに2知り合いでない3人のいずれかが存在することを示せ」 「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」といい、離散数学が扱う対象を総称して「離散構造」と呼びます。本科目では離散構造に関する書籍を1つ取り上げ、輪読形式のセミナーを行います。扱われる命題の大部分は直観的に理解可能で高度な知識や数式を必要としませんが、その分、論理を正確に理解し言葉で的確に説明する能力が重視されます。 本年度は V. Boltyanski & A. Soifer 著「Geometric Etude in Combinatorial Mathematics」 （「組合せ数学における幾何的なエチュード」） の適当な Chapter を選んで読むことにします。 （ただし他に適当な教材があれば受講者の希望も勘案して変更する可能性あり） 本書の英文は極めて平易であり、扱われる問題も直感的に理解しやすいものであるため、高度な読解力や数学および数学専門用語の知識は必要としません（その都度調べれば充分対応可能）。結果的に、英文を「論理的に読む」ための教材として非常に適しており、医療系の英語論文を読む際にも大いに役立つと思われます。なお、冒頭の問題は本書の例題・演習問題から選びました。					
授業の到達目標 英語で書かれた数学の平易なテキストを論理的に解読し、理解したことを整理して解説できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/26	14:50-16:20		徳永 伸一	
2	6/2	14:50-16:20		徳永 伸一	
3	6/9	14:50-16:20		徳永 伸一	
4-5	6/30	13:10-16:20		徳永 伸一	
6-7	7/21	13:10-16:20		徳永 伸一	
8-9	9/1	13:10-16:20		徳永 伸一	
10-11	9/8	13:10-16:20		徳永 伸一	
12-13	9/15	13:10-16:20		徳永 伸一	
14-15	9/17	13:10-16:20		徳永 伸一	
授業方法 輪読によるセミナー形式。					
授業内容 毎回1～2名の発表者に、各自の担当範囲(概ね1セクションの半分程度)を解説してもらいます。 ただし状況に応じて担当教員が関連分野の講義を行うこともあります。					

また発表者には担当範囲の全訳およびそれを補足するレジュメの提出を義務付けます。
成績評価の方法 発表・レジュメの内容や授業参加への積極性を総合的に評価します。
成績評価の基準 到達目標をある程度達成したと見なせること。
準備学習等についての具体的な指示 テキストを事前に読み、未知の英単語・概念等を調べて、大まかな内容を把握しておくこと。
参考書 やさしい幾何学問題ゼミナール／ピーター・フランクル, 前原潤 著, 共立出版, 1992 入門組合せ論／ラスロウ・ロバース 他著, 秋山仁, ピーター・フランクル 翻案, 共立出版, 1985
他科目との関連 後期の「数学Ⅱ(β)」で本科目の内容と関連する問題を一部扱います。
連絡先(メールアドレス) tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期: 水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 後期: 金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。 上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000921				
科目名	S・現代中国社会研究			科目ID	LA-116807-Z
担当教員	BAO MIN[BAO Min]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 火曜 3-4 限

対象学科: 全学科

募集人数: 30人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3-4、3-5

授業の目的、概要等				
現代中国社会における政治、経済、民族、教育、人口政策などの現状を紹介したうえ、中国社会が直面する問題を検討することにより、現代中国社会を理解することを目指す。				
本講義は2部から構成する。第1部は、中国の政治体制をはじめ、経済、民族、教育、人口に関する具体的な状況を紹介する。第2部は、現代中国社会が抱える問題を取り上げ、中国の実情を具体的にイメージし、適切な中国認識を持つようにつなげる。講義を通してボーダーレスな時代において中国の人と交流する基礎的な知識を身につけてもらいたい。				

授業の到達目標				
中国社会の構造を知ることにより、中国を知り、中国に関する知識を深める。				

授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	6/30	13:10-16:20		BAO MIN
3-4	7/21	13:10-16:20		BAO MIN
5-6	9/1	13:10-16:20		BAO MIN
7-8	9/8	13:10-16:20		BAO MIN
9-10	9/15	13:10-16:20		BAO MIN
11-12	9/17	13:10-16:20		BAO MIN

授業方法				
講義形式。				

授業内容				
第1回: 授業概要の紹介				
第2回: 中国の概要				
第3回: 中国の仕組み				
第4回: 中国経済の概況①				
第5回: 中国経済の概況②				
第6回: 中華民族とは				
第7回: 中国の教育体制				
第8回: 中国人口政策の変遷①				
第9回: 中国人口政策の変遷②				
第10回: 改革開放政策の功罪				
第11回: 都市部と農村部における教育格差				
第12回: 一人っ子時代における中国の高齢化問題				
第13回: 中国の少数民族問題				
第14回: 和谐社会実現の理想と現実				
第15回: まとめ 講義全体を振り返り、解説を行う				

成績評価の方法				
評価: レポート 50% ・その他(授業参加、授業中課題) 50%				
再評価: 無				

成績評価の基準				
---------	--	--	--	--

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 プリントを配布する。予習は特に必要ではないが、授業の内容を整理し、レポートに活かす。
試験の受験資格 ①原則3分の2以上出席、②授業中の課題を提出すること。
教科書 教科書は用いない。適宜プリントを配布する。
参考書 高原明生他編『東大塾 社会人のための現代中国講義』東京大学出版会 2014 年 光田剛編『現代中国入門』ちくま新書 2017 年 天児慧編著『習近平が変えた中国』小学館 2018 年
履修上の注意事項 原則 3 分の 2 以上出席すること

時間割番号	000849				
科目名	S・イギリス文学講読			科目ID	LA-116821-Z
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
セミナー形式で行う。					
授業の目的、概要等					
19 世紀後半から 20 世紀前半のイギリスで書かれた「探偵小説」を英語で読む。 主にコナン・ドイルの「シャーロック・ホームズ」の中編・短編、アガサ・クリスティーの短編などを取り上げ、可能な限り精読する。 また、近代社会の成立と個人のアイデンティティという問題と探偵小説というジャンルが、どのようにかかわっているのかについても考察する。 あわせて、「探偵小説」というジャンルにしばしば与えられる「芸術性が低い」「芸術的価値を認められない」との批判的評価の背景についても考える。					
授業の到達目標					
英文をざっくり適当に読むのではなく、きちんと精読・吟読するように努め、その過程で文脈や背景知識を調べながら、一つ一つの言葉の裏にある大きな社会の枠組みを想像してみる。 また、調べた知識や、丁寧に英文を読んだうえでの感想を、他の学生と議論・共有する。この議論を通して、同じ英文を読んだときに、読んだ人の数だけ異なる感想があるという当たり前の事実を改めてよく理解するとともに、翻って自らの読解力・想像力・嗜好・思考などを相対的に把握することを目指す。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-2	6/30	13:10-16:20		猪熊 恵子	
3-4	7/21	13:10-16:20		猪熊 恵子	
5-6	9/1	13:10-16:20		猪熊 恵子	
7-8	9/8	13:10-16:20		猪熊 恵子	
9-11	9/15	13:10-18:00		猪熊 恵子	
12-13	9/17	13:10-16:20		猪熊 恵子	
14-15	9/18	09:10-12:20		猪熊 恵子	
授業方法					
セミナー形式を取る。 原則として一日2時間続きの授業形式であるため、事前に十分な予習をしたうえで授業に臨むことが求められる。 授業内では予習してきた英文の訳出確認、個々の学生の訳出の違いについての意見交換をおこなったうえで、個々の作家の生きた時代背景などの大きな枠組みの確認と、それに関するディスカッションをする。あわせて、その短編を翻案した映像資料などを確認し、同一作品の受容法がメディアの違いや文化・時代の流れにしたがってどのように変化していくかを議論する。					
授業内容					
第一回: ガイダンス 第二回から第五回: シャーロック・ホームズ短編「踊る人形」(The Adventure of the Dancing Men)、およびベネディクト・カンバーバッチ主演『シャーロック』第一シリーズ_The Blind Banker_ 第六回から第九回: シャーロック・ホームズ中編『バスカヴィル家の犬』(The hound of the Baskervilles) ※教員の抜粋する箇所のみ、およびグラナダ・テレビシリーズ『シャーロック・ホームズの冒険』第四シリーズの同作品映像 第十回から第十三回: アガサ・クリスティー『ポワロ登場』のなかからいくつかの短編、およびデヴィッド・スーシェ主演のポワロシリーズ 第十四回: 総括およびディスカッション回 第十五回: 最終レポート提出および意見交換					
成績評価の方法					
評価: クラス内での議論への参加・貢献度: 40%、授業内発表(訳出課題の提出含む): 30%、最終レポート 30% 再評価: 無					

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習等についての具体的な指示 上記授業内容からも明らかなように、英語の短編(および長編の抜粋)を三作品分読む授業である。そのため、授業開始前に十全な準備が要求される。 履修が決定した学生には、授業前にメール等で予習課題と予習方法などを通知する。指定された箇所を十分に読んで、授業内発表用の資料を作成し、そのうえで授業に臨むことが必須。その後も、授業内で指定された箇所を訳出したり、その短編の書かれた社会や時代背景について十分に調査することが求められる。
試験の受験資格 試験ではなく、レポートおよび授業内発表を評価する。全体の3分の1以上欠席した者には原則として単位を認定しない。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。
参照ホームページ 参考文献および使用テキストは、教員からコピーを配布する。
連絡先(メールアドレス) inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000861				
科目名	S・タンパク質の科学			科目ID	LA-116810-Z
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜2時限 対象学科: 全学科 受講資格: タンパク質に興味のある者 募集人数: 16 名 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2－1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表2－4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける					
授業の目的、概要等					
タンパク質は食品に含まれる物質としてなじみがありますが、生命現象に直接かかわる物質(酵素、抗体、情報受容・伝達タンパク質など)として非常に重要です。この授業では化学、生命科学におけるタンパク質およびそれを構成するアミノ酸について、基本概念の導入講義を行った上で、少人数のグループに分かれて学生自らが問題提起・討論・解決を行うPBL(Problem Based Learning)を通して学習し、その成果を発表会にて発表します。					
授業の到達目標					
講義、PBL および発表を通して、化学、生命科学におけるタンパク質およびアミノ酸の基礎を理解し、レポートにまとめる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/8	10:50-12:20		澤野 頼子	
2	5/15	10:50-12:20		澤野 頼子	
3	5/22	10:50-12:20		澤野 頼子	
4	5/29	10:50-12:20		澤野 頼子	
5	6/5	10:50-12:20		澤野 頼子	
6	6/12	10:50-12:20		澤野 頼子	
7	6/19	10:50-12:20		澤野 頼子	
8	6/24	16:30-18:00		澤野 頼子	
9	6/26	10:50-12:20		澤野 頼子	
10	7/3	10:50-12:20		澤野 頼子	
11	7/10	10:50-12:20		澤野 頼子	
12	7/17	10:50-12:20		澤野 頼子	
13	7/24	10:50-12:20		澤野 頼子	
14	7/31	10:50-12:20		澤野 頼子	
15	9/4	10:50-12:20		澤野 頼子	
16	9/11	10:50-12:20		澤野 頼子	
授業方法					
講義およびアクティブラーニング(PBL、課題発表)による					
授業内容					
アミノ酸・タンパク質に関する講義、PBL、発表					
成績評価の方法					
評価 : レポート 20% ・ その他(授業への参加度、発表等など) 80%					
再評価: 無					
授業時の取り組み状況(PBL での活動状況、発表会など)を重視し、それに関連したレポートとともに評価を行う。					
成績評価の基準					

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 アミノ酸やタンパク質に関してインターネットや書籍等から情報収集を行う。
試験の受験資格 原則3分の2以上出席
参考書 ヴォート基礎生化学／D.Voet, J.G.Voet, C.W.Pratt 著,田宮信雄, 村松正實, 八木達彦, 遠藤斗志也 訳:東京化学同人, 2010 タンパク質の構造と機能: カラー図説／グレゴリー A. ペツコ／著,ダグマール リンゲ／著,横山 茂之／監訳,宮島 郁子／訳:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005 タンパク質の構造入門／Carl Branden, John Tooze 著,勝部幸輝 [ほか]監訳:ニュートンプレス, 2000 タンパク質入門: その化学構造とライフサイエンスへの招待／高山光男 著:内田老鶴圃, 2006 タンパク質科学: 構造・物性・機能／後藤祐児, 桑島邦博, 谷澤克行 編:化学同人, 2005 アミノ酸: タンパク質と生命活動の化学／船山信次 著:東京電機大学出版局, 2009 タンパク質・アミノ酸の新栄養学／岸恭一, 木戸康博 編:講談社, 2007 Essentialタンパク質科学／Mike Williamson 著,津本浩平, 植田正, 前仲勝実 監訳,Williamson, Michael P., 1957-,津本, 浩平,植田, 正,前仲, 勝実:南江堂, 2016
履修上の注意事項 履修希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。
連絡先(メールアドレス) sawano.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000347				
科目名	S・分子分光学演習:基礎編			科目ID	LA-116811-Z
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
火曜日3, 4時限(変則) + 夏季集中型: ・対象学科:全学科 ・募集人数:10名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1・2・3)科学的思考方法を知る 4-3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける					
主な講義場所 分光測定は化学教員実験室で行います。 オプションとして、分析展の見学ツアーを予定しています。					
授業の目的、概要等 近年の技術的な進歩に伴って、医歯学や生命科学の分野における分子分光学の果たす役割は大きくなっています。この科目では担当教員の専門分野である“分子分光学”を通じて「ミクロのものの見方」を学びます。まずは化学の基礎として、原子の構造、分子の構造を講義ならびに演習を通じて理解します。次に、実際に分光装置を用いて分光測定の基本操作に慣れます。実験テーマを決めて、分光測定で得られたスペクトルをコンピュータで解析します。					
授業の到達目標 (1)原子の構造、分子の構造について理解できる。 (2)基本操作を習得することにより、一人で分光測定ができる。 (3)基本物質の振動スペクトルから構造を読み取ることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-2	6/30	13:10-16:20		奈良 雅之	
3-4	7/21	13:10-16:20		奈良 雅之	
5-6	9/1	13:10-16:20		奈良 雅之	
7-8	9/8	13:10-16:20		奈良 雅之	
9-10	9/15	13:10-16:20		奈良 雅之	
11-12	9/17	13:10-16:20		奈良 雅之	
授業方法 演習・実験形式を取り入れたアクティブラーニングを行う。					
授業内容 タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料などを研究対象として、分光学的手法(主として赤外分光法もしくはラマン分光法)によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。 1.2.(初回) ガイダンス、原子の構造(おもに講義) 3.4. 原子の構造、分子の構造(講義ならびに演習) 5.6. 分子分光学.量子化学に関する概説 7.8. 分子分光学.量子化学に関する概説 9.10. 分光学に関する基本操作を習得する。 11-14. 実験テーマを決めて、取り組む。(実験ならびに結果解析)(夏休み期間) 15. 実験経過、研究成果を発表する。 実験レポート(報告書)として報告する。 履修者が多い場合は、実験は2もしくは3つのグループに分けて行う場合があります。					

成績評価の方法 評価: 報告会での発表・レポート 70%・ その他 30% (実験の取り組み方) 再評価: 無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 ガイダンスの折に資料を配付しますので、配付資料を事前に読んでください。
試験の受験資格 考查の受験資格: 原則3分の2以上出席
教科書 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著, 一国雅巳 訳: オーム社, 1995 必要な文献はコピーして配付します
参考書 系統看護学講座／奈良雅之: 医学書院, 2018 赤外分光測定法: 基礎と最新手法／田隅 三生 編著, 日本分光学会編集委員会 編: エス・ティ・ジャパン, 2012 ハート基礎有機化学／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著, 秋葉欣哉, 奥彬 訳: 培風館, 2002
他科目との関連 一般化学では講義しない原子、分子の構造を取り扱います。
履修上の注意事項 分子分光法についてさらに理解を深めたい方は、後期の S・生体分子分光法演習をお勧めします。
連絡先(メールアドレス) nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000871				
科目名	S・数学基礎			科目ID	LA-116835-Z
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科(主に高校数学Ⅲ未履修者)					
募集人数:最大40名					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1), 4-1), 4-2)					
授業の目的、概要等					
大学数学ならびに数理・データサイエンスの基礎としての線形代数と微積分の入門と、それらのために必要な高校数学の補強を行う。					
授業の到達目標					
基本的な計算問題を解くことができる。基本的な定理を理解できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-2	6/30	13:10-16:20		中口 悦史	
3-4	7/21	13:10-16:20		中口 悦史	
5-6	9/1	13:10-16:20		中口 悦史	
7-8	9/8	13:10-16:20		中口 悦史	
9	9/15	09:10-10:40		中口 悦史	
10-11	9/15	13:10-16:20		中口 悦史	
12-13	9/17	13:10-16:20		中口 悦史	
14-15	9/18	09:10-12:20		中口 悦史	
授業方法					
板書による講義と演習を交えながら授業を進める。					
授業内容					
前半は主に高校数学の内容を復習しながら概観し、体系的に捉え直す。					
後半は主に大学の線形代数・微積分の基本的な内容を、演習を交えて学習する。					
成績評価の方法					
評価 : 試験 50% ・ レポート 0% ・ その他(授業内演習) 50%					
再評価: 無					
試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ、論証や計算の精確さを総合的に評価するために、期末に筆記試験によって行う。期末試験に代えて発表(板書)形式の総合演習を行うことがある。					
「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
高校数学の内容をよく思い出し、不明な点を整理して授業に臨むことが望ましい。					
試験の受験資格					
授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回の演習提出。					
教科書					
数学/統計学／宇田川誠一、井川俊彦、谷口哲也 著、宇田川、誠一、井川、俊彦、1948-、谷口、哲也、幾何学、:医歯薬出版、2019					
参考書					
データサイエンスのための数学／椎名洋、椎名、洋(1961-)、姫野、哲人、保科、架風、清水、昌平、講談社サイエンティフィク、:講談社、2019-08					
数学入門／上村豊、坪井堅二 著、上村、豊、1953-、坪井、堅二、1954-、:東京化学同人、2002					
偏微分・重積分・線形代数／上村豊、坪井堅二著、上村、豊、坪井、堅二、:東京化学同人、2004					
アートのための数学／牟田淳 著、:オーム社、2008					

デザインのための数学／牟田淳 著.：オーム社, 2010
数学入門 上／遠山啓 著.遠山, 啓.：岩波書店, 1993
数学入門 下／遠山啓 著.：岩波書店, 1993-06
数学の学び方・教え方／遠山啓著.遠山, 啓.：岩波書店, 1972
その他, 高校数学の参考書。

履修上の注意事項

・出欠確認は出欠管理システムと、授業中の点呼等による確認を併用する。 ・授業日程をよく確認のこと。夏季集中日程については、履修者と相談して決定する。 ・口腔保健工学専攻の学生は、後期開講の「S・数学解析」の履修も検討すること。

連絡先(メールアドレス)

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期：月・水 12:00～13:00, 後期：水・木 12:30～13:30, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可(要問合せ)

時間割番号	000856				
科目名	S・基礎力学			科目ID	LA-116812-Z
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
・曜日・時間: 時間割を参照のこと					
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)					
別表2-1)					
別表4-2)					
授業の目的、概要等					
ボールの運動から太陽のまわりを回る惑星の運動にいたるまで、我々の身の回りで見られる殆どの運動は、17世紀にニュートンによりまとめられた「ニュートン力学」によって定量的に説明できます。ニュートン力学によれば、運動方程式や万有引力の法則などの数個の基本法則に基づいて、あらゆる物理現象を統一的かつ定量的に説明することができます。また、基本法則を発展させることによって、エネルギー保存のような新しい概念を導出することができます。力学を学ぶことによって、物体の運動の基本法則を知ると同時に、基本法則に基づいて物理現象を理解しようとする考え方や、基本法則をどのように具体的事象に適用してゆくかを学びます。具体的には、(i) 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されること、(ii) 基本方程式から様々な保存則が導かれること、(iii) それらを適用して実際の物体の運動を予言すること、を学びます。					
物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。					
授業の到達目標					
ニュートン力学の提供する世界観を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には、					
- 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されることを理解する。					
- 基本方程式から様々な保存則を導出する。					
- 運動方程式や保存則を適用して実際の物体の運動を予言できるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/13	14:50-16:20		越野 和樹	
2	5/20	14:50-16:20		越野 和樹	
3	5/27	14:50-16:20		越野 和樹	
4	6/3	14:50-16:20		越野 和樹	
5	6/10	14:50-16:20		越野 和樹	
6	6/17	14:50-16:20		越野 和樹	
7	6/24	14:50-16:20		越野 和樹	
8	7/1	14:50-16:20		越野 和樹	
9	7/8	14:50-16:20		越野 和樹	
10	7/15	14:50-16:20		越野 和樹	
11	7/22	14:50-16:20		越野 和樹	
12	7/29	14:50-16:20		越野 和樹	
13	9/2	14:50-16:20		越野 和樹	
14	9/9	14:50-16:20		越野 和樹	
15	9/16	14:50-16:20		越野 和樹	
授業方法					
講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による					
授業内容					

運動と力／さまざまな力／エネルギー保存則・運動量保存則／さまざまな運動
成績評価の方法 評価: 期末考査および授業への参加度 再評価: 上記評価が6割未満の者に対して再試験を行う 授業内容の理解度を測るために期末考査や演習を行い、その成績および授業への参加度で評価を行う。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする。
試験の受験資格 初回の講義において説明する
教科書 基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著.: 培風館, 2016
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる。
連絡先(メールアドレス) ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000312																																																																																				
科目名	S・水の科学			科目ID	LA-116813-Z																																																																																
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																																																																				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
・曜日・時間:金曜1時限 ・対象学科:全学科 ・募集人数:30 名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける 別表2－5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う																																																																																					
授業の目的、概要等 水に対する世間の関心が高いことはご存じのことでしょう。例えば、水道水に対する不安、不満、嗜好飲料に対するブランド志向などからミネラルウォーターが一般家庭の中で定着しています。また、十分な科学的な根拠なしに、水に新しい機能を求める風潮がありますし、本屋の棚には「水で病気が治った？」といった怪しげな本も見受けられます。日常生活の中で当たり前としてとらえがちな「水」ですが、実は非常に複雑で奥が深く、なかなか一筋縄で理解できるものではありません。そこで、「水」に関するテーマを科学的な視点はもちろん、社会的な視点からも眺めることにより、その広さと深さを勉強します。																																																																																					
授業の到達目標 1. 水、水溶液を科学的な視点で理解できる。 2.「水」に関連する興味のあるテーマについて、自分で調べてプレゼンテーションを行うことができる。																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/9</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>10/16</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>10/23</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>10/30</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>11/6</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>11/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>11/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>8</td><td>11/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>9</td><td>12/4</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>10</td><td>12/11</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>11</td><td>12/18</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>12</td><td>1/8</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>13</td><td>1/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>14</td><td>1/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>15</td><td>1/29</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/9	09:10-10:40		奈良 雅之	2	10/16	09:10-10:40		奈良 雅之	3	10/23	09:10-10:40		奈良 雅之	4	10/30	09:10-10:40		奈良 雅之	5	11/6	09:10-10:40		奈良 雅之	6	11/13	09:10-10:40		奈良 雅之	7	11/20	09:10-10:40		奈良 雅之	8	11/27	09:10-10:40		奈良 雅之	9	12/4	09:10-10:40		奈良 雅之	10	12/11	09:10-10:40		奈良 雅之	11	12/18	09:10-10:40		奈良 雅之	12	1/8	09:10-10:40		奈良 雅之	13	1/15	09:10-10:40		奈良 雅之	14	1/22	09:10-10:40		奈良 雅之	15	1/29	09:10-10:40		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/9	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
2	10/16	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
3	10/23	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
4	10/30	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
5	11/6	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
6	11/13	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
7	11/20	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
8	11/27	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
9	12/4	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
10	12/11	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
11	12/18	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
12	1/8	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
13	1/15	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
14	1/22	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
15	1/29	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
授業方法 教員による講義の部分はできるだけ少なくてし、受講者が積極的に参加するように、輪読、グループ学習、発表会など能動学習(アクティブラーニング)を実践します。特に、机上の議論だけでなく、「どの水がうまいか?」「どの水を使うと、おいしいコーヒーが飲めるか?」など実際に比較実験を行う(自分の舌で確かめる)ことにより、朝の眠気を吹き飛ばすようにしたいと思います。																																																																																					
授業内容 1.ガイダンス 2.水に関する講義																																																																																					

3.水、水溶液に関連する文献の輪読 4.ミネラルウォーターの試飲会 and/or コーヒーの試飲会 5. 水に関する簡単な実験(←実験希望者を対象) 6.報告会 など
成績評価の方法 評価:授業中のグループ活動が特に重要ですので、授業への貢献度(50%)、発表・プレゼンテーション(20%)、レポート(30%)で評価します。 アクティブラーニングの提出物(レポート)よりもアクティブラーニングの活動を評価として重視します。 再評価:無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 新聞記事、インターネットなどから水に関する情報を収集してください。
試験の受験資格 期末考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
教科書 水を科学する／川瀬義矩 著, :東京電機大学出版局, 2011
参考書 水の話・十講 : その科学と環境問題／鈴木啓三 著, :化学同人, 1997 水とはなにか : ミクロに見たそのふるまい／上平 恒／著, :講談社, 1979 系統看護学講座 化学／奈良雅之:医学書院, 2018
他科目との関連 分子レベルの化学に興味を持っている方は、「分子分光学演習:基礎編」の履修をお勧めします。
履修上の注意事項 1限の授業に遅刻、無断欠席する人は、グループ活動の妨げになりますので、履修しないでください。 グループ学習が嫌いな人には向いていません。
連絡先(メールアドレス) nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000812																																												
科目名	S・Topics in the News			科目ID	LA-116814-Z																																								
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]																																												
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1																																								
実務経験のある教員による授業																																													
・曜日・時間: 金曜1限 ・対象: 医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学 ・募集人数: 24名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表3－5)																																													
授業の目的、概要等 Do you keep up with the news? What's happening these days in Japan and around the world? More importantly, why are these events happenings? How might they affect you and other people in the future? What's your opinion about them? It's essential to know what's going on in the world around you in order to have intelligent conversations with others and be a responsible citizen. However, understanding the news is not easy, particularly when it is in a foreign language. In this course, students will improve their understanding of current events and develop both their critical thinking skills and English abilities through reading, analyzing, and discussing articles on newsworthy topics.																																													
授業の到達目標 By the end of this course, students will be able to: 1. Critically read news articles in English 2. Intelligently discuss (in English) a variety of current issues and events taking place in Japan and around the world																																													
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>5/8</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>2</td><td>5/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>3</td><td>5/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>4</td><td>5/29</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>5</td><td>6/5</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>6</td><td>6/12</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>7</td><td>6/19</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK FOSS</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/8	09:10-10:40		PATRICK FOSS	2	5/15	09:10-10:40		PATRICK FOSS	3	5/22	09:10-10:40		PATRICK FOSS	4	5/29	09:10-10:40		PATRICK FOSS	5	6/5	09:10-10:40		PATRICK FOSS	6	6/12	09:10-10:40		PATRICK FOSS	7	6/19	09:10-10:40		PATRICK FOSS
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																									
1	5/8	09:10-10:40		PATRICK FOSS																																									
2	5/15	09:10-10:40		PATRICK FOSS																																									
3	5/22	09:10-10:40		PATRICK FOSS																																									
4	5/29	09:10-10:40		PATRICK FOSS																																									
5	6/5	09:10-10:40		PATRICK FOSS																																									
6	6/12	09:10-10:40		PATRICK FOSS																																									
7	6/19	09:10-10:40		PATRICK FOSS																																									

8	6/26	09:10-10:40		PATRICK F OSS
9	6/29	16:30-18:00		PATRICK F OSS
10	7/3	09:10-10:40		PATRICK F OSS
11	7/10	09:10-10:40		PATRICK F OSS
12	7/17	09:10-10:40		PATRICK F OSS
13	7/24	09:10-10:40		PATRICK F OSS
14	7/31	09:10-10:40		PATRICK F OSS
15	9/4	09:10-10:40		PATRICK F OSS
16	9/11	09:10-10:40		PATRICK F OSS
授業方法 Discussion Skills Instruction and Practice				
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Group Discussions, Skills Instruction, and Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Because this course will focus on current issues and events, the topic for any particular class will depend on what is newsworthy at that time. Students will also occasionally choose articles to present and discuss. Throughout the course, the following critical reading/thinking skills will likely be addressed: Separating fact from opinion Identifying missing information Differentiating causes and effects Identifying perspectives and bias Identifying generalizations, assumptions, and stereotypes Evaluating tone and word choice Distinguishing between emotional and logical arguments Evaluating inferences Evaluating evidence and credibility Determining the validity of conclusions Evaluating one's own reactions and opinions				
成績評価の方法 評価: quizzes/response papers 20% participation/discussion presentations 50% comprehensive test or assignment 30% 再評価: 無				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				

Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 There is no official final examination for this course.
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先(メールアドレス) foss.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10 毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10 管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000819				
科目名	S・英語で学ぶ力学			科目ID	LA-116817-Z
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2-1) 別表4-2)				
授業の目的、概要等					
ニュートンの運動方程式にもとづく古典力学を英文テキストにより学ぶことにより、科学英語に親しむことを目的とする。					
授業の到達目標					
下記トピックについて英文教材に基づいて理解し、演習問題を解けることを目標とする: NEWTON'S LAWS OF DYNAMICS, CONSERVATION OF MOMENTUM, WORK AND POTENTIAL ENERGY, CENTER OF MASS, MOMENT OF INERTIA					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-4	8/25	09:10-16:20		越野 和樹	
5-8	8/26	09:10-16:20		越野 和樹	
9-12	8/27	09:10-16:20		越野 和樹	
13-15	8/28	09:10-14:40		越野 和樹	
授業方法					
講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による					
授業内容					
NEWTON'S LAWS OF DYNAMICS, CONSERVATION OF MOMENTUM, WORK AND POTENTIAL ENERGY, CENTER OF MASS, MOMENT OF INERTIA					
成績評価の方法					
評価:授業への参加度およびレポート					
再評価:無					
授業内容の理解度を測るためにレポート課題を課し、その成績および授業への参加度で評価を行う。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
前期「力学」を更に発展させた内容を学ぶため、前期「力学」の内容に関する極めて深い理解および演習能力を前提条件とする。.					
履修上の注意事項					
前期「力学」において優秀な成績をおさめている者、あるいは同等以上の学力を有することを受講資格とする。 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。					
連絡先(メールアドレス)					
ikuzak.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階					

時間割番号	000353				
科目名	S・現代パフォーミングアーツ入門			科目ID	LA-116818-Z
担当教員	徳永 伸一[TOKUNAGA SHINICHI]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
8 月下旬または 9 月上旬(予定)に開講する短期集中科目です。スケジュールの詳細は掲示にて通知します。 対象学科・専攻:全学科					
主な講義場所 湯島キャンパスで開講します。詳細は掲示にて確認してください。					
授業の目的、概要等 「パフォーミング・アーツ(Performing Arts)」とは音楽、演劇、ダンス等「演じられる」芸術の総称です。 「現代」と謳っていますが、いわゆる「現代的」なものを扱うという意味ではなく、現在活動中のアーティスト(＋彼らに直接的に影響を与えた人たち)にスポットを当てます。生のパフォーマンス体験に勝る「学習」はありませんが、教室内では難しいので主に代用品としてCD・DVD等の記録媒体やインターネット上のコンテンツを用います。現在までのところ、入手可能なソフトの都合で音楽(ジャズ、クラシックからロック、J-POP まで何でも)の比重が高いですが、他のジャンル(音楽＋ビジュアルによるパフォーマンス、コンテンポラリーダンス等)も徐々に増やす予定。 より重要なのは聴衆・観客としてパフォーマンスに「参加」することで、結果として生涯にわたって芸術と主体的に関わる術を学ぶことが究極の目標です (よって必ずしも単位取得は重要ではなく、単位と関係なく野次馬的・娯楽的に参加する学生も歓迎します)。					
授業の到達目標 ・様々なパフォーミングアートに対し、自分の言葉で批評し、感想を整理してわかりやすく述べることができる。 ・未知のアートに対する興味に基づいて自ら探究し、文化的背景を学習すると共に、体験(鑑賞)行動に発展させることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	8/24	10:00-16:00		徳永 伸一	
2	8/25	10:00-16:00		徳永 伸一	
3	8/26	10:00-16:00		徳永 伸一	
4	8/27	10:00-16:00		徳永 伸一	
5	8/28	19:00-20:30		徳永 伸一	
授業方法 講義、映像・音源鑑賞およびディスカッション。					
授業内容 各授業ごとに大まかなテーマ(ジャンルやアーティスト個人等)を決め、関連するソフトやインターネット上のコンテンツを鑑賞します。 また 2014 年度より、授業期間中に開催した、外部講師(演奏家等)による公開講座を、授業の一部として取り入れています。					
成績評価の方法 評価項目は以下の2点： (1) 各回の授業の関するレポート (2) 授業時間外に各自が体験したコンサートやパフォーマンス公演に関する詳細なレポート (1)と(2)は同等に評価するので、欠席した場合はその回数に応じて(2)のレポートを余分に提出することによって穴埋めしてもらいます。					
成績評価の基準 到達目標をある程度達成したと見なせること。					

準備学習等についての具体的な指示 授業のための特別な準備は必要ありませんが、日頃からアートに関心を持ち、積極的に鑑賞して、感性を磨くよう心掛けてください。
教科書 特にありませんが、主にインターネットで得られる情報を積極的に活用します。
他科目との関連 直接の関連はありませんが、「芸術Ⅱ」(室田尚子先生)の履修を推奨します。
参照ホームページ 過去の記録(の一部): http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/cparts.htm 2014 年度の公開講座(「Saigenji と旅するブラジル」)の様子: https://www.facebook.com/tmdu.public/posts/720148531368330 2015 年度の公開講座(「レオナルド・ブラーボと旅するブラジル」)の様子: https://www.facebook.com/tmdu.public/posts/890552230994625 2017 年度の公開講座「岩川光とケーナ大解剖」は、大学公開講座の情報サイト「まなナビ」(https://mananavi.com/)にレポート記事が公開予定です。
連絡先(メールアドレス) tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期: 水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 後期: 金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。 上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000855				
科目名	S・Essentials of Medical Language			科目ID	LA-116820-Z
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
This course is an introduction to medical terminology in English. As a medical professional, you will need to know technical medical vocabulary presented in textbooks and literature. You will also need to understand how to use non-technical vocabulary that you use with non-medical professionals, such as patients. In this class, you will learn technical medical language to describe systems of the body. You will also practice how to communicate with patients in English using non-technical language.					
授業の目的、概要等					
The purpose of this course is to build medical terminology and understand how to communicate with patients in English.					
Goals					
1) Learn medical language and how it is used in written and oral forms					
2) Identify and “translate” medical language into lay term (non-technical) language					
3) Apply medical and lay terminology in written and oral forms.					
授業の到達目標					
By the end of this course, you will be able to:					
1) Break down medical language into elements (for example, prefix, suffix, root words)					
2) Describe medical language used for major body systems					
3) Create own English conversation with a patient using non-technical language					
4) Communicate with patients about subjective and objective symptoms, and provide an assessment and plan for common diseases.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	
2	10/19	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	
3	11/2	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	
4	11/16	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	
5	12/7	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	
6	12/21	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	
7-10	12/23	09:10-16:20		JEANETTE DENNISSON	
11-14	12/24	09:10-16:20		JEANETTE	

				DENNISSO N	
15	1/18	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSO N	
授業方法 Students will work in small groups to complete tasks in class. For each unit, there will be the following two components. 1) Group tasks related to vocabulary building for each body system 2) One-on-one patient encounter based on a common disease for each body system					
授業内容 The 4 main units covered in this course are organized by body system: 1) Whole body (systemic) 2) Digestive system (from mouth to rectum) 3) Cardiovascular/Circulatory system (heart and blood) 4) Respiratory system (nose, lungs) For each unit, medical language will be introduced, including body parts and their functions, diseases and medical procedures. You will be tested on the content of these units through in-class activities, weekly quizzes, patient encounters and a final written examination.					
成績評価の方法 Class participation: 30% Assignments: 30% Final assessment: 40%					
準備学習等についての具体的な指示 Before Class: You should read the selected parts of the textbook before each class. Reading materials will be provided online course folder. In Class: Your active participation is mandatory for class activities. As part of the class, you will be roleplaying doctor-patient conversations. Vocabulary List: Creating your own vocabulary list throughout the course is greatly encouraged. Online Course Folder: Regular access to the online course folder will be required in and outside of class. A laptop or tablet is recommended for every class. Patient encounters: For roleplaying with patients, you should prepare a white coat, stethoscope (if available), and mask. Students should wear comfortable clothes that allow them to lay, sit, and move their body parts with ease. Short skirts, shorts or low-cut shirts should be avoided.					
試験の受験資格 Any English level is welcome.					
教科書 Main textbook: Bedside Manner by Simon Capper (2013) Essentials of Medical Language 3rd Ed. by Locker and Allan (2015)					

****Note:** Purchase of the textbooks is NOT required. Chapters used in class will be available by the instructor.

履修上の注意事項

PC、タブレットなどが必要です。 You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。

We will use Google Drive to share course materials and submit assignments. A Google account is required.

連絡先(メールアドレス)

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000322				
科目名	S・フランス語でニュースを読む			科目ID	LA-116824-Z
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
曜日・時限: 月曜 2 限 対象学科: 全学科 受講資格: フランス語前期履修者(あるいは同等のフランス語力のある者) 募集人数: 10 名 コンピテンシー: 別表3-4) 外国文化を理解する					
授業の目的、概要等					
目的: フランス語文法の知識をもとに、フランス語で書かれたフランス、ヨーロッパ、世界のニュースや文化記事を読み、現代的な語彙や表現に触れるとともに、フランス現代社会の一端を知る。 概要: 4 月以来学習してきたフランス語の文法知識を使って、フランスで実際に読まれている時事的な文章に触れ、現代を特徴的に表す単語や表現を中心に、内容を把握します。後期の初めは難しいと感じることがあるかも知れませんが、その時点でまだ学習していない文法項目については解説しますし、ニュース記事には英語と共通する単語も多いので、内容に興味があれば理解できます。 前期終了のフランス語の学力があり、少し先取りして文法を学習し、今のフランスや世界を知りたいという意欲のある人の参加を歓迎します。					
授業の到達目標					
1) 1 年生の文法知識で、'リライトしないフランス語の文章が読めるという実感を得る。 2) 現代的な時事表現に触れ、ニュース記事の読解の中で基本的な文法事項や語彙を確認する。 3) ニュースを通してフランス社会やフランスから見た世界の一端に触れ、社会や文化に対する関心を広げる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	10:50-12:20		中島 ひかる	
2	10/12	10:50-12:20		中島 ひかる	
3	10/19	10:50-12:20		中島 ひかる	
4	10/26	10:50-12:20		中島 ひかる	
5	11/2	10:50-12:20		中島 ひかる	
6	11/9	10:50-12:20		中島 ひかる	
7	11/16	10:50-12:20		中島 ひかる	
8	11/23	10:50-12:20		中島 ひかる	
9	11/30	10:50-12:20		中島 ひかる	
10	12/7	10:50-12:20		中島 ひかる	
11	12/14	10:50-12:20		中島 ひかる	
12	12/21	10:50-12:20		中島 ひかる	
13	1/18	10:50-12:20		中島 ひかる	
14	1/25	10:50-12:20		中島 ひかる	
15	2/1	10:50-12:20		中島 ひかる	
授業方法					
演習による。 初めに、ニュースサイトを幾つか提示します。受講者は、その中から毎週、自分が興味ある記事を選んで、私に URL を送って下さい。それを教室で皆で読んでいきます。細かい点にはあまりこだわらず、内容が理解できるよう指導しますが、適宜、文法が実際の記事でどう使					

われているかや、ニュース記事に特徴的な文体に注意を促します。
授業内容 毎回、各自で選んだ記事を教室で訳して頂きながら、理解があやふやなところやニュースの背景を説明します。また、文法における学習事項と照らし合わせながら、重要なフランス語の構文や単語を解説します。受講者が多い場合は、2回に1回程度程度担当して頂きます。 2019年度の受講者が選んだ記事の例を挙げます。 ・黄色いベスト運動 ・サッカー(パリサンジェルマン) ・新型コロナウイルス ・イギリスのEU離脱 ・中国とアメリカの貿易摩擦 ・パリの交通スト ・海の再生 ・使い捨て容器の禁止 ・アフリカの未来(人口構成)
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート0%・ その他 100%(授業への準備・授業の発表等) 再評価:無 フランス現代社会に興味を持って頂くことが授業の大きな目的ですので、自分の興味のある、自分の力で読解可能な記事を選び、責任を持って授業への準備を行い、教室で皆にわかるように訳読、コメントをおこなったか、という点を評価します。 学力に差があると思いますが、多少わからない文法事項があっても構いません。自分が興味をもったニュースを選び、積極的に予習して授業に参加することを重視します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 自分の力にあった、興味を持てる記事を選ぶところから授業の準備が始まります。各授業の前の週の金曜日 18 時までには各自で1つずつ記事を選んで、その URL を私に送信して下さい。 短い記事を選んで結構ですので、選んだ記事については概略を説明でき、主要な部分は訳せるように準備して下さい。理解できない箇所、訳せない箇所があっても構いませんので、不明な点は明確にして授業に臨んで下さい。 国際ニュースの場合は、関連記事が日本語でも読める場合が多いので、日本語のニュースを検索して事件の概略を理解してからフランス語を読むと、フランス語も理解しやすくなります。授業をきっかけに、世界の出来事に目を向けるのも授業の目的の一つです。
試験の受験資格 試験は行わず、授業における発表で評価する
教科書 ・francetvinfo http://www.francetvinfo.fr/ テレビ報道を文字起こした記事なので、構文が比較的わかりやすく、映像付きの記事も多い。 ・パリジャン http://www.leparisien.fr/ ・パリマッチ http://www.parismatch.com/ ・フィガロ http://www.lefigaro.fr/

・リベラシオン http://www.liberation.fr/ ・ネット新聞 http://www.20minutes.fr/ ・ル・モンド http://www.lemonde.fr/ 無料購読の場合、一ヶ月の閲覧数に制限あり
参考書 ・テレビ放送(1週間分のニュース報道のアーカイブ) 閲覧には silverlight(無料でダウンロードできます)が必要です。 http://jt.france2.fr/20h/
他科目との関連 フランス語の必修授業より先行して文法項目が出てきますが、最初は細かい文法事項にはあまりこだわらず、理解に必要な概略にのみ触れて授業を進めます。
履修上の注意事項 少人数授業ですので出席は必須です。体調不良等で休む場合は、教員にメールで連絡して下さい。
連絡先(メールアドレス) nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟3階フランス語研究室

時間割番号	000963																																																																
科目名	R・Japanisches Denken を読む			科目ID	LA-116840-Z																																																												
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]																																																																
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																																												
実務経験のある教員による授業																																																																	
・曜日・時間:後期:月曜 2 限 ・対象学科:全学科 ・受講資格:ドイツ語を履修していること ・募集人数:20 人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－4)異なる空間の文化を理解する 別表1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表1－7)人間の心への理解を深める 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する																																																																	
授業の目的、概要等 日本に住んでいたドイツ人哲学者ロベルト・シンチンゲル(Robert Schinzinger)が、ドイツ人の読者向けに書いた Japanisches Denken という本を原文で読んでいきます。1 年前期で学んだ文法事項だけでは全く足りないのです、後期に学ぶ文法事項も先取りして読んでいきます。ある程度読み進めたら書いてある内容について話し合う予定です。																																																																	
授業の到達目標 原文講読ですので、なるべく多く原文を読んでいきます。第1 章の歴史的な日本の考え方について:神道、仏教、儒学、の部分を読み進めます。ドイツ人哲学者が、日本の思想についてどのようにドイツ語でドイツの読者に伝えようとしたかを考えることが目標です。																																																																	
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>SCHINZINGER EMI</td></tr><tr><td>2</td><td>10/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>SCHINZINGER EMI</td></tr><tr><td>3</td><td>10/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>SCHINZINGER EMI</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>SCHINZINGER EMI</td></tr><tr><td>5</td><td>11/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>SCHINZINGER EMI</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>SCHINZINGER EMI</td></tr><tr><td>7</td><td>11/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>SCHINZINGER EMI</td></tr><tr><td>8</td><td>11/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>SCHINZINGER EMI</td></tr><tr><td>9</td><td>11/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>SCHINZINGER EMI</td></tr><tr><td>10</td><td>12/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>SCHINZINGER EMI</td></tr><tr><td>11</td><td>12/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>SCHINZINGER</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/5	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI	2	10/12	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI	3	10/19	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI	4	10/26	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI	5	11/2	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI	6	11/9	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI	7	11/16	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI	8	11/23	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI	9	11/30	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI	10	12/7	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI	11	12/14	10:50-12:20		SCHINZINGER
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																													
1	10/5	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI																																																													
2	10/12	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI																																																													
3	10/19	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI																																																													
4	10/26	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI																																																													
5	11/2	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI																																																													
6	11/9	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI																																																													
7	11/16	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI																																																													
8	11/23	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI																																																													
9	11/30	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI																																																													
10	12/7	10:50-12:20		SCHINZINGER EMI																																																													
11	12/14	10:50-12:20		SCHINZINGER																																																													

				ER EMI
12	12/21	10:50-12:20		SCHINZING ER EMI
13	1/18	10:50-12:20		SCHINZING ER EMI
14	1/25	10:50-12:20		SCHINZING ER EMI
15	2/1	10:50-12:20		SCHINZING ER EMI
授業方法 ゼミナー形式。毎回予習をしてきてもらって、授業中に原文を読んで訳していきます。教員が説明・解説しなければならないところもたくさんあります。				
授業内容 毎回次の週までに予習してきてもらうところを決めます。授業中は原文を読んで訳していき、ある程度読み進んだら、内容について話し合います。 最終回に理解の度合いを確かめるために試験を行います。				
成績評価の方法 予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。 最終回に行う試験の成績がが 50 パーセント。 再評価: 無				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 毎回原文をたくさん読んでいきますので、予習がとても重要です。 毎回指示がある箇所まで辞書を使って自宅で予習してきてください。 1 年前期に習った文法事項では全く足りないのので、後期に習う文法事項も先取りしながら読んでいきます。1 年生が使っているドイツ語の教科書を持ってきてください。教科書のドイツ語とは格段に違う難しいドイツ語をたくさん読みますので覚悟が必要です。 受講前の準備としては、前期に習ったドイツ語の文法をよく復習しておいてください。				
試験の受験資格 原則 3 分の 2 以上出席				
教科書 Japanisches Denken : der weltanschauliche Hintergrund des heutigen Japan／Robert Schinzinger : Erich Schmidt, 1983 ドイツで出版された古い本ですので、購入はせず、プリントを使います。				
参考書 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきました。 電子辞書よりも紙の辞書の方が詳しいのでよいのですが、 電子辞書のほうが早く調べられます。 もし電子辞書をこれから購入するのであれば、 そしてこれからもドイツ語を続けるのであれば、 カシオ Ex-word XD-SX7100 がおすすめです。 携帯やスマートフォンに入っているフリー・アプリの独和辞典は使用禁止。				
履修上の注意事項 原文を読むので、ドイツ語を履修していない人は取れません。 毎回予習してくることが履修条件です。 ドイツ語で日本の思想について書かれた本を読みますので、絶対に難しいです。 ドイツ語を読むことと日本の思想に興味がない人はとらないでください。				
連絡先(メールアドレス)				

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000326				
科目名	S・糖の科学			科目ID	LA-116826-Z
担当教員	勝又 敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜日 2 限(後期)					
募集人数: 5名					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
別表2-2) 自然現象を探究するための手法を知る					
別表4-3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける					
授業の目的、概要等					
糖と聞くとまず思い浮かぶのが砂糖である。砂糖は料理などで気軽に使われ、身近にたくさんあるが、ほかにも様々なところで糖は私たちに関わっている。糖の仲間であるデンプンは米やパンの主成分であり、人間のエネルギー源として毎日の生活に欠かせないものである。食品以外でも木や紙の主成分はセルロースという多糖であり、軟膏や手術糸などはアルギン酸という多糖が使われている。このように糖はもっとも身近にある有機化合物である。分子レベルで見た時も、生物の構成成分としてもエネルギー源として使われるのをはじめとしてタンパク質、核酸、脂質などと結合して、生体内で起こる反応に重要な機能を担っていることが明らかになってきている。中でもタンパク質の多くは糖鎖の修飾をもち、生理活性や構造の維持に糖鎖が重要役割を果たしていると考えられている。					
この実習では糖の働きに関する英文のレビューを読み、糖の機能や構造に関する理解を深め、論文購読や糖鎖分析に関する実験を体験することを通して生体における糖の役割や重要性について最新の知識を勉強していく予定である。					
授業の到達目標					
糖に関する基礎知識を習得し、自分で実験計画を立て実験を行い、成果をまとめることができることを目標とする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	10:50-12:20		勝又 敏行	
2	10/12	10:50-12:20		勝又 敏行	
3	10/19	10:50-12:20		勝又 敏行	
4	10/26	10:50-12:20		勝又 敏行	
5	11/2	10:50-12:20		勝又 敏行	
6	11/9	10:50-12:20		勝又 敏行	
7	11/16	10:50-12:20		勝又 敏行	
8	11/23	10:50-12:20		勝又 敏行	
9	11/30	10:50-12:20		勝又 敏行	
10	12/7	10:50-12:20		勝又 敏行	
11	12/14	10:50-12:20		勝又 敏行	
12	12/21	10:50-12:20		勝又 敏行	
13	1/18	10:50-12:20		勝又 敏行	
14	1/25	10:50-12:20		勝又 敏行	
15	2/1	10:50-12:20		勝又 敏行	
授業方法					
実験や演習を中心にアクティブラーニングを行う。					
授業内容					
1. 糖のペーパークロマトグラフィー					
2. 化学的な糖タンパク質の検出					
3. 抗体、レクチンを使った特異的な構造の検出					
4. 糖の組成分析					

5. HPLC を用いた糖鎖構造解析 6. 論文講読
成績評価の方法 実験と演習を中心として行うため以下の通りとする。 評価: 試験 0%、レポート 50%、その他(実験中の参加度や実験ノートなど)50% 再評価 有(レポート再提出)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 実験後に考察をし、次回の実験のテーマ設定にいかせるようにすること。
参考書 コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ajit Varki [[ほか編], 鈴木康夫, 木全弘治 監訳: 丸善, 2010 ポストゲノム時代の糖鎖生物学がわかる／谷口直之 編: 羊土社, 2002 糖鎖科学への招待／辻崇一 共著, 梶本哲也 共著: 三共出版, 2008
連絡先(メールアドレス) katsumata.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000317				
科目名	S・数学解析			科目ID	LA-116827-Z
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
対象学科: 口腔保健学科口腔保健工学専攻 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 4-1), 4-2)					
授業の目的、概要等 口腔保健工学専攻専門科目履修のために知っておくべき、数学・応用数学・計算科学の基礎分野を概観する。そのために最低限必要な高校数学の知識を復習しながら、関連する項目を学習する。					
授業の到達目標 微積分, 線形代数, 数値計算の基本的な考え方を理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/7	09:10-10:40		中口 悦史	
2	10/14	09:10-10:40		中口 悦史	
3	10/21	09:10-10:40		中口 悦史	
4	10/28	09:10-10:40		中口 悦史	
5	11/4	09:10-10:40		中口 悦史	
6	11/11	09:10-10:40		中口 悦史	
7	11/18	09:10-10:40		中口 悦史	
8	11/25	09:10-10:40		中口 悦史	
9	12/2	09:10-10:40		中口 悦史	
10	12/9	09:10-10:40		中口 悦史	
11	12/16	09:10-10:40		中口 悦史	
12	1/6	09:10-10:40		中口 悦史	
13	1/13	09:10-10:40		中口 悦史	
14	1/20	09:10-10:40		中口 悦史	
15	1/27	09:10-10:40		中口 悦史	
授業方法 板書による講義と演習を交えながら授業を進める。 必要に応じて授業の最後に5分間演習を行う。					
授業内容 前半は高校の数学Ⅰ・Ⅱ・Aの内容を復習しながら概観し、体系的に捉え直す。 後半は大学の線形代数と微積分の基礎を、演習を交えながら学習する。 さらに全体を通して、コンピュータにおける数値計算や画像処理の観点からの解説を加える。					
成績評価の方法 評価 : 試験 50% ・ レポート 0% ・ その他(授業内演習) 50% 再評価: 無 試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ、論証や計算の正確さを総合的に評価するために、期末に筆記試験によって行う。期末試験に代えて発表(板書)形式の総合演習を行うことがある。 「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による					
準備学習等についての具体的な指示 高校までの数学の学習内容をよく復習し、不明な点を整理して授業に臨むことが望ましい。					

試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席, ならびに, 出席回の演習への参加。
教科書 数学/統計学／宇田川誠一, 井川俊彦, 谷口哲也 著, 宇田川, 誠一, 1960-, 井川, 俊彦, 1948-, 谷口, 哲也, 幾何学, :医歯薬出版, 2019
参考書 数学入門 (大学生のための基礎シリーズ1)／上村豊, 坪井堅二:東京化学同人, 2002 数学入門 II ～偏微分・重積分・線形代数～(大学生のための基礎シリーズ6)／上村豊, 坪井堅二:東京化学同人, 2004 数学概論 一線形代数／微分積分一／田代嘉宏:裳華房, 1993 数値計算／洲之内治男 著,:サイエンス社, 2002 初めて学ぶ図学と製図／松井悟, 竹之内和樹, 藤智亮, 森山茂章 著,:朝倉書店, 2011 アートのための数学／牟田淳 著,:オーム社, 2008 デザインのための数学／牟田淳 著,:オーム社, 2010 いかにして問題をとくか／G. ポリア 著, 柿内 賢信 訳:丸善株式会社出版事業部 その他, 高校数学の参考書。
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと, 授業中の点呼等を併用する。
連絡先(メールアドレス) nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期:月・水 12:00～13:00, 後期:水・木 12:30～13:30, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可(要問合せ)

時間割番号	000853				
科目名	S・実用統計学			科目ID	LA-116828-Z
担当教員	徳永 伸一[TOKUNAGA SHINICHI]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜 1 限 対象学科: 保健衛生学科、口腔保健学科					
授業の目的、概要等					
保健衛生学科・口腔保健学科の皆さんが学ぶ「統計学」を補完する形で、講義と演習を交えながら、より実践的な統計学を学習します。					
保健衛生学科や口腔保健学科の卒業研究では統計処理が多用されますが、これに対処するためには、必修科目の「統計学」だけでは充分とはいえません。この授業では、「統計学」の学習内容をより確かなものとすると共に、将来卒業研究等で必要になると思われるレベルの統計学や、Excel を用いた簡単な統計処理の技術を習得することを目指します。担当者は皆さんの先輩から相談を受け、指導を行った経験がありますので、その内容も反映させていく予定です。					
授業の到達目標					
・必修科目「統計学」の理解をより確実なものとし、実際の統計処理に応用できるようにする。					
理を理解し、実際の問題に応用できるようにする。					
・Excel の基本的な使用法を習得する。特に、本格的な統計処理ソフトを使う前段階として、Excel を用いた簡単な統計処理を実行できるようにする。					
・クロス表の検定や初歩的なノンパラメトリック検定など、実用上重要となる統計手法の原					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/9	09:10-10:40		徳永 伸一	
2	10/16	09:10-10:40		徳永 伸一	
3	10/23	09:10-10:40		徳永 伸一	
4	10/30	09:10-10:40		徳永 伸一	
5	11/6	09:10-10:40		徳永 伸一	
6	11/13	09:10-10:40		徳永 伸一	
7	11/20	09:10-10:40		徳永 伸一	
8	11/27	09:10-10:40		徳永 伸一	
9	12/4	09:10-10:40		徳永 伸一	
10	12/11	09:10-10:40		徳永 伸一	
11	12/18	09:10-10:40		徳永 伸一	
12	1/8	09:10-10:40		徳永 伸一	
13	1/15	09:10-10:40		徳永 伸一	
14	1/22	09:10-10:40		徳永 伸一	
15	1/29	09:10-10:40		徳永 伸一	
授業内容					
(以下は仮のスケジュールです。履修者のレベルや希望に応じて調整予定)					
第1回 : ガイダンス					
第2回 : Excel 入門					
第3回 : 乱数の分布と標本平均の分布1 (講義)					
第4回 : 乱数の分布と標本平均の分布2 (演習)					
第5回 : 正規分布1 (講義)					
第6回 : 正規分布2 (演習)					
第7回 : 2項分布と正規近似1 (講義)					
第8回 : 2項分布と正規近似2 (演習)					

第9回 :t分布1(講義) 第10回:t分布2(演習) 第11回:相関と回帰、散布図1(講義) 第12回:相関と回帰、散布図2(演習) 第13回:カイニ乗検定、ノンパラメトリック検定、ANOVAと多重検定法1(講義) 第14回:カイニ乗検定、ノンパラメトリック検定、ANOVAと多重検定法2(演習) 第15回:(予備)
成績評価の方法 原則として出席および授業中に行う演習課題により評価しますが、それらの評価が一定基準に達しない履修者を対象に、評価の不足を補うためのレポート課題や試験を課す可能性があります。
準備学習等についての具体的な指示 必修科目「統計学」の授業内容をよく把握しておくこと。また自宅のパソコンに Excel をインストールし、使えるようにしておくこと。
参考書 数学/統計学／井川俊彦、清田正夫、徳永伸一、山舘周恒、熊坂一成 著、:医歯薬出版、2005 やさしい医療系の統計学／佐藤敏雄、村松幸 著、:医歯薬出版、2002 入門統計解析／松原望 著、:東京図書、2007 バイオサイエンスの統計学：正しく活用するための実践理論／市原清志 著、:南江堂、1990
他科目との関連 「統計学」の進行に合わせて、内容を確認しながら進めます。
連絡先(メールアドレス) tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期: 水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 後期: 金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。 上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000816																																												
科目名	S・Discussions on Human Behavior			科目ID	LA-116829-Z																																								
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]																																												
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																								
実務経験のある教員による授業	・曜日・時間: 金曜1限 ・対象: 医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学 ・募集人数: 12名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表3－5) 別表4－5)																																												
授業の目的、概要等 Why do students usually wait until the last minute to do an assignment? Why is dieting so difficult? Why do some people drink Aquarius and others drink Pocari Sweat? How much would you pay for a piece of great chocolate? Would you be happy or unhappy if your grandparents gave you 5000 yen on New Year's Day? What if you won the same 5000 yen in a contest? This course will look at some of the ways people behave in their daily lives and what influences their behavior, using the popular book “Predictably Irrational” by Dan Ariely as a base. The course goals are to deepen students’ understanding of the behavior of others and their own behavior while at the same time improving their overall English abilities and critical thinking skills.																																													
授業の到達目標 By the end of this course, students will be able to: 1. Better understand why people make certain types of decisions 2. Make better personal decisions 3. Reflect and discuss (in English) on their own behavior and the behavior of others																																													
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/9</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>2</td><td>10/16</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>3</td><td>10/23</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>4</td><td>10/30</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>5</td><td>11/6</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>6</td><td>11/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>7</td><td>11/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>PATRICK F</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/9	09:10-10:40		PATRICK F OSS	2	10/16	09:10-10:40		PATRICK F OSS	3	10/23	09:10-10:40		PATRICK F OSS	4	10/30	09:10-10:40		PATRICK F OSS	5	11/6	09:10-10:40		PATRICK F OSS	6	11/13	09:10-10:40		PATRICK F OSS	7	11/20	09:10-10:40		PATRICK F
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																									
1	10/9	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																									
2	10/16	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																									
3	10/23	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																									
4	10/30	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																									
5	11/6	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																									
6	11/13	09:10-10:40		PATRICK F OSS																																									
7	11/20	09:10-10:40		PATRICK F																																									

				OSS
8	11/27	09:10-10:40		PATRICK F OSS
9	12/4	09:10-10:40		PATRICK F OSS
10	12/11	09:10-10:40		PATRICK F OSS
11	12/18	09:10-10:40		PATRICK F OSS
12	1/8	09:10-10:40		PATRICK F OSS
13	1/15	09:10-10:40		PATRICK F OSS
14	1/22	09:10-10:40		PATRICK F OSS
15	1/29	09:10-10:40		PATRICK F OSS
授業方法 Discussion Presentation Skills Instruction and Practice				
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Individual reports and group discussions Week 15: Review/Final assignment due Each week, the instructor and/or one or more students will report on a short section of the course textbook and lead a discussion based on it. Once every three classes, students will write short response papers on topics that have been discussed or that they are researching on their own. The final writing assignment will be an essay that is related to the content of the course. There will be no quizzes or tests.				
成績評価の方法 評価: class presentations 30% participation 30% response papers 20% final assignment 20% 再評価: 無				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.				
試験の受験資格 There is no official final examination for this course.				
教科書 Predictably Irrational／Ariely, Dan:Harper, 2010				
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。				
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.				
連絡先(メールアドレス) foss.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10				

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000323																																																																																				
科目名	S・一般化学演習			科目ID	LA-116830-Z																																																																																
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																																																																				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
・曜日・時間: 金曜1時限 ・対象学科: 医学科、歯学科、保健衛生学科検査技術学専攻 ・募集人数 40名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る 4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける																																																																																					
授業の目的、概要等 化学の講義だけではなかなか理解ができない方、演習を通して一般化学の理解を深めたい方を対象に「マグロウヒル大学演習 一般化学」の補充問題や市販の問題集を主な題材として演習を行います。受講者は単に問題を解くだけでなく、その解説をみんなの前で行いますので、プレゼンテーションの練習になるでしょう。受講する側は、その説明を通して理解できたかどうかを評価したり、議論したりしますので、履修者全員が参加しなければいけません。予習にかなりの時間が費やさなければならないことを覚悟の上で授業に臨んで下さい。																																																																																					
授業の到達目標 「マグロウヒル大学演習 一般化学」の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。 演習形式の授業に参加することを通して、能動的に学習態度を身につける。																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>5/8</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>5/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>5/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>5/29</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>6/5</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>6/12</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>6/19</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>8</td><td>6/26</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>9</td><td>7/3</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>10</td><td>7/10</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>11</td><td>7/17</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>12</td><td>7/24</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>13</td><td>7/31</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>14</td><td>9/4</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>15</td><td>9/11</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	5/8	09:10-10:40		奈良 雅之	2	5/15	09:10-10:40		奈良 雅之	3	5/22	09:10-10:40		奈良 雅之	4	5/29	09:10-10:40		奈良 雅之	5	6/5	09:10-10:40		奈良 雅之	6	6/12	09:10-10:40		奈良 雅之	7	6/19	09:10-10:40		奈良 雅之	8	6/26	09:10-10:40		奈良 雅之	9	7/3	09:10-10:40		奈良 雅之	10	7/10	09:10-10:40		奈良 雅之	11	7/17	09:10-10:40		奈良 雅之	12	7/24	09:10-10:40		奈良 雅之	13	7/31	09:10-10:40		奈良 雅之	14	9/4	09:10-10:40		奈良 雅之	15	9/11	09:10-10:40		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	5/8	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
2	5/15	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
3	5/22	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
4	5/29	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
5	6/5	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
6	6/12	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
7	6/19	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
8	6/26	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
9	7/3	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
10	7/10	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
11	7/17	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
12	7/24	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
13	7/31	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
14	9/4	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
15	9/11	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
授業方法 学生参加型の発表形式で授業が進行します。																																																																																					
授業内容 第1・2回 序論:単位、気体の測定、気体の分子量 第3・4回 電離平衡(酸・塩基) 第5・6回 電離平衡（錯体と沈殿） 第7・8回 化学熱力学分野 第9・10回 化学熱力学分野 第11・12回 原子の構造																																																																																					

第 13・14 回 分子の構造 第 15 回 総合演習
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)30%・レポート(学習実践記録)30% その他40%(授業中の発表、参加度) 授業中の演習への参加度を重視しますので、その他のウエイトを高くしました。 再評価:無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習:指定された問題をノートに解いておく。 復習:授業中の解説を聞いて、自分で理解できるまでの過程を学習実践記録として記す
試験の受験資格 定期試験の受験資格:原則3分の2以上の出席
教科書 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳:オーム社, 1995
参考書 フレンドリー基礎物理化学演習／田中潔, 荒井貞夫 共著,:三共出版, 2013 系統看護学講座／奈良 雅之,:医学書院, 2018
連絡先(メールアドレス) nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000833				
科目名	S・Basic Concepts in Physics			科目ID	LA-116831-Z
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜1限 対象学科: 医学科、歯学科 (英語で物理を学ぶ意欲のある人) 募集人数: 10人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2－1) 別表3－1) 別表4－2)					
授業の目的、概要等					
English is the common language on an international scene in not only natural science but also medicine and dentistry. Many Japanese researchers including me have the experience that had trouble with English. Thus, for your future preparations, it is meaningful to take a class of the natural science in English early at the stage of the freshman. In this lecture, you will learn various topics of physics by using English: classical mechanics, thermodynamics, sound wave, and introductory electrodynamics. It is also aim at obtaining not only the knowledge of the physics but also a communicative competence in English.					
授業の到達目標					
As for the purpose of this lecture, you will acquire the ability to adsorb useful information in physics from English lecture and text.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/9	09:10-10:40		檜枝 光憲	
2	10/16	09:10-10:40		檜枝 光憲	
3	10/23	09:10-10:40		檜枝 光憲	
4	10/30	09:10-10:40		檜枝 光憲	
5	11/6	09:10-10:40		檜枝 光憲	
6	11/13	09:10-10:40		檜枝 光憲	
7	11/20	09:10-10:40		檜枝 光憲	
8	11/27	09:10-10:40		檜枝 光憲	
9	12/4	09:10-10:40		檜枝 光憲	
10	12/11	09:10-10:40		檜枝 光憲	
11	12/18	09:10-10:40		檜枝 光憲	
12	1/8	09:10-10:40		檜枝 光憲	
13	1/15	09:10-10:40		檜枝 光憲	
14	1/22	09:10-10:40		檜枝 光憲	
15	1/29	09:10-10:40		檜枝 光憲	
授業方法					
Lecture Presentation Practice					
授業内容					
Classical mechanics Introductory thermodynamics Nuclear Physics					
成績評価の方法					
attendance/participation 30% class assignments/quizzes 40%					

presentation 30%
再評価: 無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential. Check all unknown English words and read through the text book before the class.
参考書 Sears and Zemansky's university physics with modern physics／Hugh D. Young, Roger A. Freedman ; contributing author, A. Lewis Ford, Young, Hugh D., Freedman, Roger A., Ford, A. Lewis (Albert Lewis), Sears, Francis Weston, Zemansky, Mark Waldo, : Pearson, 2014
履修上の注意事項 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させます。
連絡先(メールアドレス) hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000815																																																																																				
科目名	S・翻訳演習		科目ID	LA-116833-Z																																																																																	
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]																																																																																				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
・曜日・時間: 金曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－1) 別表3－4)																																																																																					
授業の目的、概要等 目的: 互いの訳文について前向きに意見を交換しながら、読む力と、読みとったことを伝える力をつけること。 概要: 英文を日本語に訳す課題(10回ほど)を通して、翻訳について考える。受講者は訳文をつくり、提出する。持ち帰る課題のほか、授業内の課題もある。																																																																																					
授業の到達目標 1) 精読。 2) 文脈の理解につとめる。																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>2</td><td>10/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>3</td><td>10/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>4</td><td>10/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>5</td><td>11/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>6</td><td>11/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>7</td><td>11/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>8</td><td>11/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>9</td><td>12/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>10</td><td>12/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>11</td><td>12/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>12</td><td>1/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>13</td><td>1/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>14</td><td>1/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>15</td><td>1/29</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>畔柳 和代</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/9	10:50-12:20		畔柳 和代	2	10/16	10:50-12:20		畔柳 和代	3	10/23	10:50-12:20		畔柳 和代	4	10/30	10:50-12:20		畔柳 和代	5	11/6	10:50-12:20		畔柳 和代	6	11/13	10:50-12:20		畔柳 和代	7	11/20	10:50-12:20		畔柳 和代	8	11/27	10:50-12:20		畔柳 和代	9	12/4	10:50-12:20		畔柳 和代	10	12/11	10:50-12:20		畔柳 和代	11	12/18	10:50-12:20		畔柳 和代	12	1/8	10:50-12:20		畔柳 和代	13	1/15	10:50-12:20		畔柳 和代	14	1/22	10:50-12:20		畔柳 和代	15	1/29	10:50-12:20		畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/9	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																	
2	10/16	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																	
3	10/23	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																	
4	10/30	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																	
5	11/6	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																	
6	11/13	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																	
7	11/20	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																	
8	11/27	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																	
9	12/4	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																	
10	12/11	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																	
11	12/18	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																	
12	1/8	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																	
13	1/15	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																	
14	1/22	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																	
15	1/29	10:50-12:20		畔柳 和代																																																																																	
授業方法 互いの訳文を検討するほか、翻訳に関するエッセイ等の一部を読む。 数回の講義も含む。 課題の訳文は、フィクションとノンフィクションだが、ノンフィクションの場合も、英米文学にかかわる文章が主となる。																																																																																					

授業内容 第1回 イン트로ダクション 第2回～第14回 訳文について意見交換（講義数回を含む） 受講者から事前に提出された訳文を検討する。 第15回 まとめ(授業内の課題あり)
成績評価の方法 評価:授業外で取り組む課題(提出+受取状況および内容を評価):50%、参加度および授業内課題:50%、 再評価: なし
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 わからなかったら、言葉の意味を勝手に決めずに辞書を引く。調べる。考える。 ※空白だらけの訳文は、未提出とみなす。最後まで訳すこと。 ※提出物の体裁も整えること。
参考書 イエスの言葉：ケセン語訳／山浦玄嗣:文藝春秋, 2011 翻訳に遊ぶ／木村栄一:岩波書店, 2012 さあ、見張りを立てよ／ハーバー・リー 著,上岡伸雄 訳:早川書房, 2016 冬の鷹／吉村昭:新潮社, 1988
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先(メールアドレス) kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000936				
科目名	S・データサイエンス入門			科目ID	LA-116836-Z
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
対象学科: 全学科 募集人数: 40名以内 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 2-3), 2-4), 4-4)					
授業の目的、概要等 第4の科学とも称されるようになりつつあるデータサイエンスの基礎を学習する。					
授業の到達目標 データサイエンスの基本的な観点を説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/9	10:50-12:20		中口 悦史	
2	10/16	10:50-12:20		中口 悦史	
3	10/23	10:50-12:20		中口 悦史	
4	10/30	10:50-12:20		中口 悦史	
5	11/6	10:50-12:20		中口 悦史	
6	11/13	10:50-12:20		中口 悦史	
7	11/20	10:50-12:20		中口 悦史	
8	11/27	10:50-12:20		中口 悦史	
9	12/4	10:50-12:20		中口 悦史	
10-11	12/23	13:10-16:20		中口 悦史	
12-13	12/24	13:10-16:20		中口 悦史	
14	1/22	10:50-12:20		中口 悦史	
15	1/29	10:50-12:20		中口 悦史	
授業方法 前半は板書による講義を中心として演習を交えながら授業を進める。 後半は PBL 型演習を行い、最後に発表会で共有する。					
授業内容 前半は、データサイエンスの基礎、主に確率論と記述統計、統計モデルについて、演習を交えながら学ぶ。後半は、1 班 6 名程度の PBL (Problem-Based Learning) によって、テーマ別に調査研究を行い、最終回に発表会を行う。さらに、一連の学習を元に、課題レポートを提出する。					
成績評価の方法 評価：試験 0%・レポート 30%・その他 70%(授業内演習 30%, PBL への取組等 40%) 再評価：無 授業内演習と PBL の活動状況、期末レポートを総合して成績評価を行う。授業内演習や PBL 活動への取り組み具合により授業への参加度や理解度を測る。期末試験に代えてレポートを課す。 「試験の受験資格」を満たし、かつ PBL 発表会に参加し、課題レポートを提出したもののみを、評価の対象とする。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による					
準備学習等についての具体的な指示					

高校までの確率・統計分野の内容をよく思い出し、不明な点を整理して授業に臨むことが望ましい。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席。
教科書 データサイエンス入門／竹村彰通著、竹村、彰通(1952-)、:岩波書店、2018-04
参考書 データサイエンス入門／竹村彰通、姫野哲人、高田聖治 編、竹村、彰通、1952-、姫野、哲人、高田、聖治、1965-、: 学術図書出版社、2019 大学生のためのデータサイエンス：オフィシャルスタディノート：無料で学べる大学講座 gacco／滋賀大学データサイエンス学部 編、滋賀大学データサイエンス学部、: 日本統計協会、2018 大学生のためのデータサイエンス(Ⅲ)ービジネスにつながる「機械学習」の基礎知識から先人事例までー／滋賀大学データサイエンス学部、: 日本統計協会 データサイエンスの基礎／濱田悦生著、濱田、悦生、狩野、裕(1958-)、講談社サイエンティフィク、: 講談社、2019-08 統計モデルと推測 = Statistical Model and Inference、／松井秀俊、小泉和之、著、竹村彰通 編、松井、秀俊、小泉、和之、竹村、彰通、1952-、: 講談社、2019 多変量解析法入門／永田靖、棟近雅彦共著、永田、靖(数学)、棟近、雅彦、: サイエンス社、2001 東京大学のデータサイエンティスト育成講座：Python で手を動かして学ぶデータ分析／中山浩太郎 監修、塚本邦尊、山田典一、大澤文孝 著、中山、浩太郎、塚本、邦尊、山田、典一、大沢、文孝、1973-、: マイナビ出版、2019 データサイエンティスト養成読本：登竜門編／高橋淳一、野村嗣、西村隆宏、水上ひろき、林田賢二、森清貴、越水直人、露崎博之、早川敦士、牧允皓、黒柳敬一 著、高橋、淳一、pub. 2017、野村、嗣、西村、隆宏、: 技術評論社、2017 データサイエンティスト養成読本 改訂 2 版／佐藤洋行、原田博植、里洋平、和田計也、早川敦士、倉橋一成、下田倫大、大成浩子、奥野晃裕、中川帝人、長岡裕己、中原誠 著、佐藤、洋行、pub. 2016、原田、博植、里、洋平、1984-、: 技術評論社、2016 データサイエンティスト養成読本：R 活用編／養成読本編集部、: 技術評論社、2015 追加： ・逸見功『統計ソフト「R」超入門』（講談社ブルーバックス、2018 年）ISBN: 9784065020494 ・石井一夫『R とグラフで実感する生命科学のための統計入門』（羊土社、2017 年）ISBN: 9784758120791 ・Peter Dalggaard 著、岡田昌史 監訳『R による医療統計学 原著 2 版』（丸善出版、2017 年）ISBN: 9784621087756 ・市原清志『バイオサイエンスの統計学』（南江堂、1990 年）ISBN: 9784524220366 ・立山秀利『入門者の Python』（講談社ブルーバックス、2018 年）ISBN: 9784065131633
履修上の注意事項 後半の PBL 型演習は日程を振り替えて、冬季休業中や試験期間中の集中日程で行う予定のため、授業日程をよく確認のこと。冬季集中日程の都合が合わない学生がいる場合は調整する。
連絡先(メールアドレス) nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期: 月・水 12:00～13:00、後期: 水・木 12:30～13:30、いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可(要問合せ)

時間割番号	000938				
科目名	S・Understanding Poetry from a Comparative Perspective			科目ID	LA-116838-Z
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

授業の目的、概要等

For much of history, in both pre-literate and literate societies and cultures, poetry was considered the king of all arts—more so than drama, painting or other visual arts. Even today the power of lyric poetry endures in various genres of modern songwriting. Why has poetry had such an enduring power through the ages? To answer this and other pressing questions, this course will take a comparative approach to understanding poetry. Understanding what poetry is and how poetic language works and creates intellectual and linguistic pleasure will be key concerns of this course. We will of course spend a great deal of time reading poems closely, even memorizing a few along the way. Further, we will learn how poetry was understood and practiced in the past. We will also examine from a more modern perspective how poetry functioned in society: Why did people compose poetry? How was poetry socially justified?

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/9	10:50-12:20		CANNELL DAVID
2	10/16	10:50-12:20		CANNELL DAVID
3	10/23	10:50-12:20		CANNELL DAVID
4	10/30	10:50-12:20		CANNELL DAVID
5	11/6	10:50-12:20		CANNELL DAVID
6	11/13	10:50-12:20		CANNELL DAVID
7	11/20	10:50-12:20		CANNELL DAVID
8	11/27	10:50-12:20		CANNELL DAVID
9	12/4	10:50-12:20		CANNELL DAVID
10	12/11	10:50-12:20		CANNELL DAVID
11	12/18	10:50-12:20		CANNELL DAVID
12	1/8	10:50-12:20		CANNELL DAVID
13	1/15	10:50-12:20		CANNELL DAVID
14	1/22	10:50-12:20		CANNELL DAVID
15	1/29	10:50-12:20		CANNELL DAVID

授業方法

Mix of class discussion, lecture, and mini-lecture

準備学習等についての具体的な指示
教科書 Texts will be available as email attachments or handouts.
備考 Class discussion will be in English. Class materials will primarily be in English. Notebook, A-5 size

時間割番号	000939				
科目名	S・プログラミングで学ぶ幾何学デザイン			科目ID	LA-116839-Z
担当教員	徳永 伸一[TOKUNAGA SHINICHI]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜 2 限 対象学科: 全学科 (ただし医学科・歯学科の学生は、十進 BASIC または他のプログラミング言語を事前にある程度独習しておく必要があります)					
主な講義場所 計算機実習室					
授業の目的、概要等 前期「情報科学」の授業でおなったプログラミング言語によるグラフィックスの応用として、様々な幾何学模様を描くプログラミングの技法を学習します。 「情報科学」で用いた「十進 BASIC」を用いても良いし、他のプログラミング言語を用いても構いません。					
授業の到達目標 様々な幾何学デザインの構造を理解し、それらを描画するプログラムを作成できるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/9	10:50-12:20		徳永 伸一	
2	10/16	10:50-12:20		徳永 伸一	
3	10/23	10:50-12:20		徳永 伸一	
4	10/30	10:50-12:20		徳永 伸一	
5	11/6	10:50-12:20		徳永 伸一	
6	11/13	10:50-12:20		徳永 伸一	
7	11/20	10:50-12:20		徳永 伸一	
8	11/27	10:50-12:20		徳永 伸一	
9	12/4	10:50-12:20		徳永 伸一	
10	12/11	10:50-12:20		徳永 伸一	
11	12/18	10:50-12:20		徳永 伸一	
12	1/8	10:50-12:20		徳永 伸一	
13	1/15	10:50-12:20		徳永 伸一	
14	1/22	10:50-12:20		徳永 伸一	
15	1/29	10:50-12:20		徳永 伸一	
授業方法 講義およびパソコンを用いた実習					
授業内容 前半は主にサンプルプログラムや幾何学デザインの解説を行い、それに基づいてプログラムを作成します。 後半は各自が考案または収集した幾何学デザインを実現するプログラムを作成し、発表を行ってもらいます。					
成績評価の方法 提出課題による					
成績評価の基準 原則として各授業での課題プログラムをすべて作成・提出し、さらにオリジナルのプログラムを提出することが必須となります。 プログラミングの技術より、独創的なアイデアや幾何学的なセンスを重視して評価します。					
準備学習等についての具体的な指示 幾何学デザインに必要な数学的知識およびプログラミング技法を事前に予習しておくこと。					

他科目との関連 前期の「情報科学」で学習したプログラミングの技法を発展的に活用します。
履修上の注意事項 前期の「情報科学」で扱った幾何学図形グラフィックスのプログラミング技法(あるいは他のプログラミング言語による同程度の技法)を習得しておくことが望ましい。
参照ホームページ http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm (前期「情報科学」のプログラミングテキスト)
連絡先(メールアドレス) tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期: 水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 後期: 金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。 上記以外の時間帯でも、事前にEメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000969				
科目名	S・数理生物学入門			科目ID	
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
月曜日 1 限目					
主な講義場所					
Zoom による遠隔授業					
授業の目的、概要等					
数理生物学とは様々な生命現象を数理科学的な視点から解明しようとする学問です。そのカバーする領域は広く、その基盤となる理論も多岐にわたります。この講義では生命科学領域における理論的な研究を広く俯瞰し、その基礎となる理論について概説していきます。					
授業の到達目標					
この講義では医学・生命科学領域における理論的研究にがどのようなものを理解し、その基礎となる理論について学習することで、将来医療や研究に従事する際に必要となる数理的リテラシーを身につけることを目的としている。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	09:10-10:40		中林 潤	
2	10/12	09:10-10:40		中林 潤	
3	10/19	09:10-10:40		中林 潤	
4	10/26	09:10-10:40		中林 潤	
5	11/2	09:10-10:40		中林 潤	
6	11/9	09:10-10:40		中林 潤	
7	11/16	09:10-10:40		中林 潤	
8	11/23	09:10-10:40		中林 潤	
9	11/30	09:10-10:40		中林 潤	
10	12/7	09:10-10:40		中林 潤	
11	12/14	09:10-10:40		中林 潤	
12	12/21	09:10-10:40		中林 潤	
13	1/18	09:10-10:40		中林 潤	
14	1/25	09:10-10:40		中林 潤	
15	2/1	09:10-10:40		中林 潤	
授業方法					
講義形式					
授業内容					
“1.数理生物学概論					
2.細胞増殖の数理モデル					
3.2 種間の競争系					
4.離散時間モデル					
5.形態形成の数理モデル					
6.進化とゲーム理論					
7.最適制御理論					
8.ニューラルネットワークの数理					
9.機械学習と行列代数					

10.パターン認識 11.ベイズ理論とその応用 12.情報科学の基礎とバイオインフォマティクス 13.生命科学領域におけるデータ駆動型科学 14.高次元データの解析手法と多様体 15.ネットワーク理論とべき乗則”
成績評価の方法 “評価：試験 100%・レポート 0%・その他() 0% 再評価：有○(再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 受講前に参考図書を読んでおくことが望ましい
参考書 数理生物学入門：生物社会のダイナミクスを探る／巖佐庸 著,巖佐 庸, 1952-,: 共立出版, 1998 数理生態学／巖佐庸担当編集,巖佐 庸,日本生物物理学会シリーズ・ニューバイオフィジックス刊行委員会,: 共立出版, 1997 理論生物学の基礎／関村利朗, 山村則男共編,関村, 利朗,山村, 則男,: 海游舎, 2012
履修上の注意事項 ・出欠・遅刻は評価の際、マイナスとなります。
備考 キーワード: 数理モデル 力学系 ニューラルネットワーク 機械学習 ベイズ理論 情報科学 バイオインフォマティクス ネットワーク理論 べき乗則 トポロジカルデータ解析 多様体
連絡先(メールアドレス) nakab.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜～金曜 A.M.10:00 – P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9

時間割番号	000970				
科目名	S・江戸文学散歩			科目ID	
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 1－7) 人間の心への理解を深める 2－3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る					
授業の目的、概要等 文学など芸術作品は、時代や土地とどのように結びついているのだろうか。 天下泰平の江戸の時代、文学の享受者層は拡大し、また歌舞伎など舞台芸術となり、エンターテインメントとして昇華していく中で、更なる淘汰が行われた。また享受者は、文学を生み出す層ともなっていく。 授業では、江戸という土地や時代に生み出された芸術作品を鑑賞を通し、文学や社会、土地について考察することを目的とする。					
授業の到達目標 ①江戸文学を鑑賞する力を身につける。 ②日本の伝統芸能に対する理解を深める。 ③実際の事件が芸術作品として昇華する過程を読む。 ④自分の関わる土地を文学的視点から見直す。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	10:50-12:20		木谷 真紀子	
2	10/12	10:50-12:20		木谷 真紀子	
3	10/19	10:50-12:20		木谷 真紀子	
4	10/26	10:50-12:20		木谷 真紀子	
5	11/2	10:50-12:20		木谷 真紀子	
6	11/9	10:50-12:20		木谷 真紀子	
7	11/16	10:50-12:20		木谷 真紀子	
8	11/23	10:50-12:20		木谷 真紀子	
9	11/30	10:50-12:20		木谷 真紀子	
10	12/7	10:50-12:20		木谷 真紀子	
11	12/14	10:50-12:20		木谷 真紀子	
12	12/21	10:50-12:20		木谷 真紀子	
13	1/18	10:50-12:20		木谷 真紀子	
14	1/25	10:50-12:20		木谷 真紀子	
15	2/1	10:50-12:20		木谷 真紀子	
授業方法 担当者が講義を行い、受講者はそれを聞いたうえで、ディスカッションや課題を通し、理解を深める。また受講者全員が、自分の故郷や自分の関わる土地を描いた文学作品についてプレゼンテーションを行う。					
授業内容 授業では「東海道四谷怪談」「仮名手本忠臣蔵」、さらに時間が許せば松尾芭蕉を扱う予定である。両作品は江戸時代に生まれたが、ドラマや演劇として再生され続けてきた。内容理解だけに留まらず、両作品の魅力はどこにあるのか、なぜ「再生」され続けるのか、受講者とともに分析を深めたい。					
成績評価の方法 期末レポート 50％ その他 50％(授業に関する課題 30％・プレゼンテーション 20％)					
成績評価の基準					

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。	
準備学習等についての具体的な指示	
①なるべく原文から作品を鑑賞する。 ②作品を自分のことばで説明できるまで理解を深める。 ③作品のもとになった事件について調査する。 ④自分の関わった土地と関係する文学作品を読み、プレゼンテーションをする。	
試験の受験資格	
レポート提出:3分の2以上の出席を原則とする。	
教科書	
, 2011	
授業中に指示	
参考書	
授業中にも紹介する。	
履修上の注意事項	
教員のとり出欠を優先させる。「授業内課題や授業後コメントシート」が提出されていない場合には、欠席扱いになる。	

時間割番号	000971				
科目名	S・サイエンスフロンティア概論			科目ID	
担当教員	檜枝 光憲, 服部 淳彦, 奈良 雅之, 伊藤 正則, 中林 潤, 越野 和樹, 中口 悦史, 澤野 頼子, 徳永 伸一, 勝又 敏行, 松本 幸久 [HIEDA MITSUNORI, HATSUTORI ATSUSHI, NARA MASAYUKI, ITO MASANORI, NAKABAYASHI Junn, KOSHINO KAZUKI, NAKAGUCHI ETSUSHI, SAWANO YORIKO, TOKUNAGA SHINICHI, KATSUMATA TOSHIYUKI, MATSUMOTO YUKIHISA]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
・曜日・時間: 冬季集中 ・対象専攻: 全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。					
授業の目的、概要等					
サイエンス(基礎科学)は社会の基盤をなす学問であり、工学、創薬、医療などテクノロジーの進歩の裏には必ずサイエンスがベースになっている。生物学、化学、物理学、数学の研究者である自然系教員が、それぞれの研究分野に関連したトピックを選び、自身の研究内容や当該領域における研究トレンド、研究方法、期待される成果などをレクチャーし、さらに社会や医療との接点などを教授する。					
授業の到達目標					
最近のサイエンスの研究に触れることで、研究者として必要な基盤知識の獲得とリサーチマインドを高めること。					
授業方法					
講義(非同期型を基本とするが、一部は同期型で実施する)					
授業内容					
非同期型授業(オンデマンド)					
1. 導入 (檜枝)					
2. 宇宙生物医学のフロンティア (服部)					
3. アンチエイジングのフロンティア (服部)					
4. 昆虫の学習と記憶 (松本)					
5. 振動分光学の生命科学への応用 (奈良)					
6. 振動分光によるカルシウム結合タンパク質の構造活性相関の解明 (奈良)					
7. 植物の生存戦略 (澤野)					
8. 生体高分子の分析法 (勝又)					
9. 摩擦の物理 (檜枝)					
10. 極低温の物質科学研究: 超伝導と超流動 (檜枝)					
11. 超伝導量子ビットを用いた回路量子電気力学 (越野)					
12. 網羅的ゲノム解析とがんゲノム医療 (中林)					
13. 計算数理論理学 (中口)					
同期型授業					
14. 卵母細胞の成熟機構と行動の脳制御機構 (伊藤)					
15. グラフの周遊問題とゲノム解析 (徳永)					
成績評価の方法					
評価: 授業毎に課す課題 100% (授業に参加した上で提出)					
再評価: なし					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					

準備学習等についての具体的な指示 各教員によって対応が違うが事前学習の指示があった場合にはそれに従うこと。
試験の受験資格 試験は実施しないが、原則 2/3 以上の出席が必要
履修上の注意事項 非同期型遠隔授業を基本とします(一部、同期型で実施します)。原則 2/3 以上の授業に出席すること。
連絡先(メールアドレス) 檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp 中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp 徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp 松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp 中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp 越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3 中林 潤:月曜～金曜 A.M.10:00 – P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 徳永 伸一:前期: 水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 後期: 金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらに多いことが多いです。 上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2) 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室 松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室 中口 悦史:前期: 月・水 12:00～13:00, 後期:水・木 12:30～13:30, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は 随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可(要問合せ) 越野 和樹:毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000297				
科目名	教養総合講座			科目ID	LA-116900-Z
担当教員	PATRICK FOSS, 木谷 真紀子, 中口 悦史, 奈良 雅之, 松本 幸久[PATRICK FOSS, KITANI Makiko, NAKAGUCHI ETSUSHI, NARA MASAYUKI, MATSUMOTO YUKIHISA]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
・曜日・時間:火曜日3・4限 ・対象学科・専攻:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1ー10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる。 2ー4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。 3ー2)自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける 3ー3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける。 4ー4)情報についての基本技能を身につける					
授業の目的、概要等					
(1)人文社会科学から自然科学までの学問領域を横断して、共通のテーマを深く考察する機会を与えることによって、自発的な学びの態度と幅広い視野を身につけさせる。					
(2)すべての学生が共に学ぶ教養部の特性を活かし、学科の枠を超えた相互理解を育むことを通じて、将来のチーム医療の基盤となるグループ学習、グループディスカッションを初年次より体験する。					
(3)学問を身につける上で基礎的な技能となる、コミュニケーション、文章表現、情報活用、プレゼンテーションの能力の向上を図る。					
授業の到達目標					
大学での学習に必要な討論、文章表現および情報活用に関する基本的なスキルを身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-2	5/19	14:50-18:00		PATRICK F OSS, 檜枝 光憲, 木谷 真紀子, 田中 智彦, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 中林 潤, 奈良 雅 之, 服部 淳 彦, 伊藤 正 則, 畔柳 和 代, JEANET TE DENNIS SON, 猪熊 恵子, SCHIN ZINGER E MI, 中島 ひ かる, BAO MIN, 勝又	

				敏行, 松本 幸久
3-4	6/16	13:10-16:20		PATRICK F OSS, 檜枝 光憲, 高尾 千津子, 田中 智彦, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 畔柳 和代, JEAN ETTE DEN NISSON, 猪 熊 恵子, SC HINZINGER EMI, 中島 ひかる, 水野 哲也, 勝又 敏行, 松本 幸久
5-6	6/23	13:10-16:20		PATRICK F OSS, 檜枝 光憲, 高尾 千津子, 田中 智彦, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 畔柳 和代, JEAN ETTE DEN NISSON, 猪 熊 恵子, SC HINZINGER EMI, 中島 ひかる, 水野 哲也, 勝又 敏行, 松本 幸久
7-8	7/7	13:10-16:20		PATRICK F OSS, 檜枝 光憲, 高尾 千津子, 田中

				智彦, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 畔柳 和代, JEAN ETTÉ DEN NISSON, 猪 熊 恵子, SC HINZINGER EMI, 中島 ひかる, 水野 哲也, 勝又 敏行, 松本 幸久
9-10	7/14	13:10-16:20		PATRICK F OSS, 檜枝 光憲, 高尾 千津子, 田中 智彦, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 畔柳 和代, JEAN ETTÉ DEN NISSON, 猪 熊 恵子, SC HINZINGER EMI, 中島 ひかる, 水野 哲也, 勝又 敏行, 松本 幸久
11-12	7/28	13:10-16:20		PATRICK F OSS, 檜枝 光憲, 高尾 千津子, 田中 智彦, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 奈良 雅之, 服部

				淳彦, 伊藤 正則, 畔柳 和代, JEAN ETTE DEN NISSON, 猪 熊 恵子, SC HINZINGER EMI, 中島 ひかる, 水野 哲也, 勝又 敏行, 松本 幸久
13-14	9/18	13:10-16:20		PATRICK F OSS, 檜枝 光憲, 高尾 千津子, 田中 智彦, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 畔柳 和代, JEAN ETTE DEN NISSON, 猪 熊 恵子, SC HINZINGER EMI, 中島 ひかる, 水野 哲也, 勝又 敏行, 松本 幸久
15-16	9/25	13:10-16:20		PATRICK F OSS, 檜枝 光憲, 高尾 千津子, 田中 智彦, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 畔柳 和代, JEAN ETTE DEN NISSON, 猪 熊 恵子, SC

				HINZINGER EMI, 中島 ひかる, 水野 哲也, 勝又 敏行, 松本 幸久	
授業方法 講義とセミナー形式を基本とし、添削・演習や発表も課す。 教養部ガイダンスや第1回目の日(5月19日)に、詳細な説明を行う。					
授業内容 本授業は(1)基礎ゼミ、(2)文章表現リテラシー、(3)情報活用リテラシーの3つの内容から構成される。これらは、対象学生全員を8名程度のグループに分けて、並行して進められる。 (1)基礎ゼミでは、指定された課題図書と初回の基調講演を参考にして、班ごとに大きなテーマに沿って課題を見つけ、問題を抽出し、情報収集と討論を行い、最終回(発表会)で班の考えを述べる。2グループに1名ずつ、教養部教員がチュータとして参加する。 (2)文章表現リテラシーでは、講義と添削により、論理的文章の書き方を実践的に学ぶ。 (3)情報活用リテラシーでは、情報の収集・分析・提示について、演習を交えながら学ぶ。 「基礎ゼミ」内の主なイベント予定は下記のとおり。一部変更の可能性があるので、開講後もウェブクラスでの通知に注意すること。 5月19日(火) 外部講師による基調講演、ガイダンス 7月7日(火) 基礎ゼミ交流戦 + 反省会 9月11日(金) 最終発表会前リハーサル 9月18日(金) 最終発表会					
成績評価の方法 評価: その他 100% 基礎ゼミ(60%)、文章表現リテラシー(20%)、情報活用リテラシー(20%) 出席状況や課題への取り組み方、授業への参加態度などをもとに総合的に評価する。 なお、指定した期日までにレポートの提出が無い場合は、不可とする。 再評価: 無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習等についての具体的な指示 「基礎ゼミ指定教科書」および「文章表現リテラシーの課題図書」は第1回の授業時までに手元に準備し、必ず読んでおくこと。					
教科書 <基礎ゼミ指定教科書> 小島道一『リサイクルと世界経済：貿易と環境保護は両立できるか』(中公新書、2018年)。 講演前後に通読すること。 <文章表現リテラシー指定教科書> フレッド・ピアス 著、藤井留美 訳『外来種は本当に悪者か?』(草思社文庫、2019年) 第1回の授業時までに手元に準備し、必ず読んでおくこと。					
参考書					

レポートの作り方：情報収集からプレゼンテーションまで／江下雅之：中央公論新社，2003 年 悪文：伝わる文章の作法／岩淵悦太郎 編著，岩淵，悦太郎，1905-1978，：KADOKAWA，2016 レポートの組み立て方／木下 是雄 著，木下／是雄：筑摩書房 日本語の思考法／木下是雄 著，木下，是雄，1917-2014，：中央公論新社，2009 （注意） 上記、江下雅之『レポートの作り方：情報収集からプレゼンテーションまで』（中央公論新社、2003 年）は「文章表現リテラシー」および「情報活用リテラシー」で参照を求める指定参考書です。
連絡先(メールアドレス) PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp 中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10 毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10 管理研究棟 3階 フォス研究室 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室 中口 悦史:前期:月・水 12:00～13:00, 後期:水・木 12:30～13:30, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可(要問合せ)